# 松阪市
# 第 10 次高齢者保健福祉計画及び
# 第９期介護保険事業計画策定に向けた
# アンケート調査報告書

令和５年５月

松　　阪　　市

# 目次


Ⅰ　調査の概要 ..... 1
　１　調査の目的 ..... 1
　２　調査対象 ..... 1
　３　調査期間 ..... 1
　４　調査方法 ..... 1
　５　回収状況 ..... 1
　６　調査結果の表示方法 ..... 2
　７　「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果の分析について ..... 3

Ⅱ　調査結果 ..... 5
　１　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ..... 5
　　回答者属性 ..... 5
　　問１　あなたのご家族や生活状況について ..... 6
　　問２　からだを動かすことについて ..... 10
　　問３　食べることについて ..... 18
　　問４　毎日の生活について ..... 25
　　問５　地域での活動について ..... 33
　　問６　たすけあいについて ..... 39
　　問７　健康について ..... 44
　　問８　認知症にかかる相談窓口の把握について ..... 51
　　問９　日常生活の不安について ..... 57
　　問 10　地域包括支援センターについて ..... 60
　　問 11　在宅医療と介護について ..... 70
　　問 12　松阪市の介護予防や認知症支援の取組みについて ..... 75
　２　在宅介護実態調査に関する調査 ..... 78
　　１　基本調査項目（Ａ票） ..... 78
　　２　主な介護者様用の調査項目（Ｂ票） ..... 88
　　３　要介護認定データ ..... 92
　　４　在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討 ..... 97
　　５　仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 ..... 118
　　６　仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 ..... 137
　　７　将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 ..... 148
　　８　医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討 ..... 158
　　９　サービス未利用の理由など ..... 166

３　介護支援専門員アンケート調査 ..... 181
（１）回答者属性 ..... 181
（２）サービスの状況について ..... 189
（３）サービス担当者会議について ..... 195
（４）地域包括支援センターの役割について ..... 198
（５）認知症の方の支援について ..... 199
（６）高齢者虐待について ..... 201
（７）医療と介護の連携について ..... 204
（８）ケアマネジャー業務全般について ..... 207
（９）重層的支援について ..... 212
（10）松阪市への意向について ..... 215
４　居所変更実態調査 ..... 218
（１）地域内の居所移動の実態 ..... 218
（２）居所変更した理由 ..... 222
５　介護人材実態調査 ..... 223
（１）サービス系統別の資格保有の状況 ..... 223
（２）年齢別の資格保有状況 ..... 224
（３）サービス系統別の正規職員・非正規職員の割合 ..... 225
（４）過去１年間の介護職員の職場の変化 ..... 226
（５）貴事業所の状況について ..... 227
（６）人材確保について ..... 232
（７）働きやすい職場づくりについて ..... 239
（８）人材育成について ..... 243
（９）運営上の課題について ..... 246
（10）新型コロナウイルス感染症の影響について ..... 248
Ⅲ　生活機能評価等に関する分析 ..... 250
１　機能別リスク該当者割合の分析 ..... 250
（１）運動器 ..... 250
（２）閉じこもり ..... 252
（３）転倒 ..... 254
（４）栄養 ..... 256
（５）口腔 ..... 258
（６）認知 ..... 260
（７）うつ ..... 262

２　日常生活 ..... 264
（１）手段的自立度（ＩＡＤＬ） ..... 264
３　社会参加 ..... 266
（１）知的能動性 ..... 266

Ⅳ　調査結果のまとめ ..... 268
（１）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ..... 268
（２）在宅介護実態調査に関する調査 ..... 271
（３）介護支援専門員アンケート調査 ..... 260
（４）居所変更実態調査 ..... 273
（５）介護人材実態調査 ..... 273

# Ⅰ　調査の概要

## 1　調査の目的

令和５年度に策定を予定している「松阪市第 10 次高齢者保健福祉計画及び第９期介護保険事業計画」の基礎資料として、高齢者保健福祉施策の実施状況、介護給付実績の評価、日常生活圏域における高齢者ニーズ等について調査を実施します。

## 2　調査対象

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：65 歳以上の要介護者を除く高齢者
在宅介護実態調査に関する調査：在宅で生活している要支援・要介護者のうち更新申請及び区分変更申請に伴う認定調査を受ける高齢者
介護支援専門員へのアンケート調査（在宅生活改善調査）
：松阪市内の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員
居所変更実態調査：松阪市内の介護施設等（サービス付き高齢者向け住宅含む）
介護人材実態調査：松阪市内の介護施設等（サービス付き高齢者向け住宅含む）

## 3　調査期間

令和５年３月

## 4　調査方法

介護予防･日常生活圏域ニーズ調査、介護支援専門員へのアンケート調査（在宅生活改善調査）、居所変更実態調査、介護人材実態調査：郵送配付・郵送回収方式
在宅介護実態調査に関する調査：直接配付・直接回収方式

## 5　回収状況

| | 配布数 | 有効回答数 | 有効回答率 |
|---|---|---|---|
| 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 | 3000 通 | 2404 通 | 80.1% |
| 在宅介護実態調査に関する調査 | 605 通 | 605 通 | 100.0% |
| 介護支援専門員へのアンケート調査（在宅生活改善調査） | 220 通 | 171 通 | 77.7% |
| 居所変更実態調査 | 90 通 | 77 通 | 85.5% |
| 介護人材実態調査 | 300 通 | 240 通 | 80.0% |

## 6　調査結果の表示方法

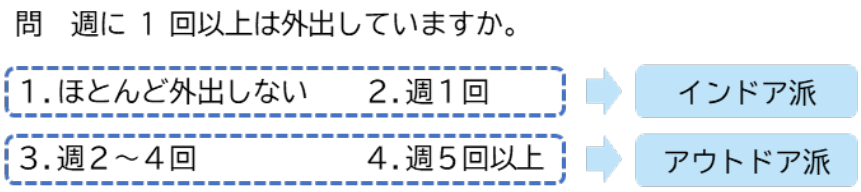
・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを　で網かけをしています。（無回答を除く）
・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が１桁の場合は、コメントを差し控えています。

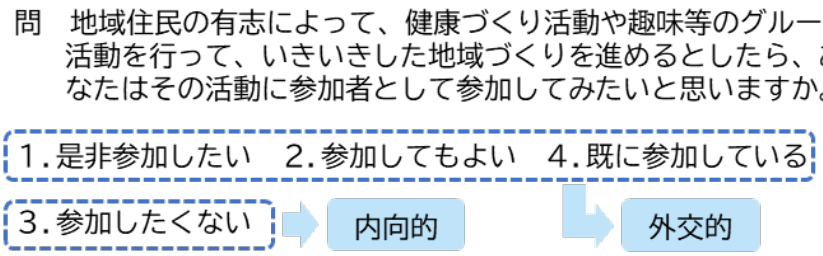
## 7　「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果の分析について

本報告書は、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することに主眼を置き、「介護予防・フレイル対策、認知症予防」へとつなげていくための、基礎調査として位置づけられています。

フレイルとは加齢とともに体や心の働き、社会的なつながりなどが弱くなった状態のことを指し、予防に取り組むことでその進行を緩め健康な状態に戻すことも可能であることから、高齢者をタイプ別に分類し、虚弱高齢者を把握する項目とのクロス集計・分析を行います。

なお、高齢者の「タイプ別分類別」は、下記に示すように問「週に１回以上は外出していますか」及び問「健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思いますか」の設問より判定しています。

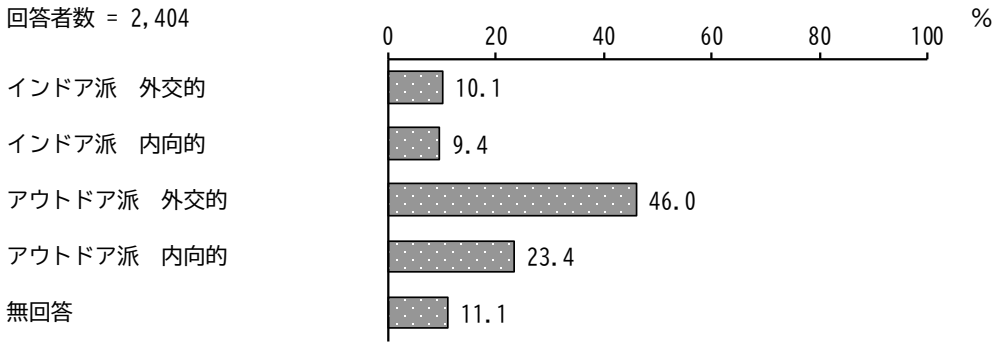



| タイプ別分類 | 特性 | 想定される事業の方向性 |
|---|---|---|
| インドア派<br>外交的 | 現在は、自宅の中で楽しむ志向が強いが、潜在的な外交的志向がある | ・介護予防事業、サロンへの参加促進<br>・ボランティア等への参加促進　など |
| インドア派<br>内向的 | 現在、今後も、自宅の中で楽しむ志向が強い | ・介護予防など健康情報の提供<br>・生涯学習情報の提供<br>・在宅生活を支援するための情報提供　など |
| アウトドア派<br>外交的 | 自宅の外で楽しむ志向が強く、外交的志向もある | ・介護予防事業、サロンへの参加促進<br>・各種事業の運営者との育成支援<br>・ボランティア等への参加促進　など |
| アウトドア派<br>内向的 | 自宅の外で楽しむ志向が強いが、外交的志向はあまりない | ・介護予防など健康情報の提供<br>・生涯学習情報の提供<br>・在宅生活を支援するための情報提供　など |

**高齢者の外出タイプ別**

「アウトドア派　外交的」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「アウトドア派　内向的」の割合が 23.4%、「インドア派　外交的」の割合が 10.1%となっています。



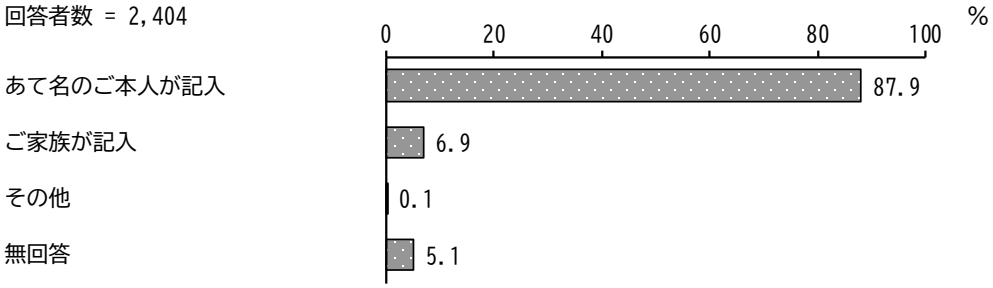
# Ⅱ　調査結果

## 1　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 回答者属性

調査票を記入されたのはどなたですか（１つを選択）

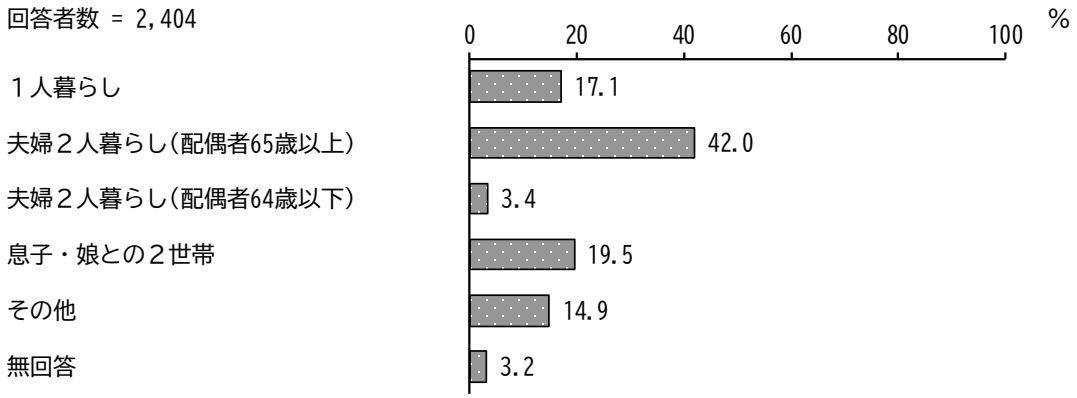
「あて名のご本人が記入」の割合が 87.9%、「ご家族が記入」の割合が 6.9%となっています。



## 問１　あなたのご家族や生活状況について

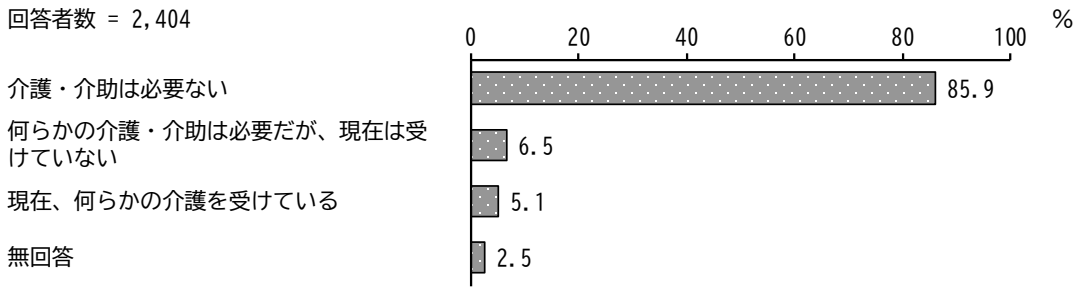
### （１）家族構成をお教えください（１つを選択）

「夫婦２人暮らし(配偶者 65 歳以上)」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「息子・娘との２世帯」の割合が 19.5%、「1 人暮らし」の割合が 17.1%となっています。




### （２）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（１つを選択）

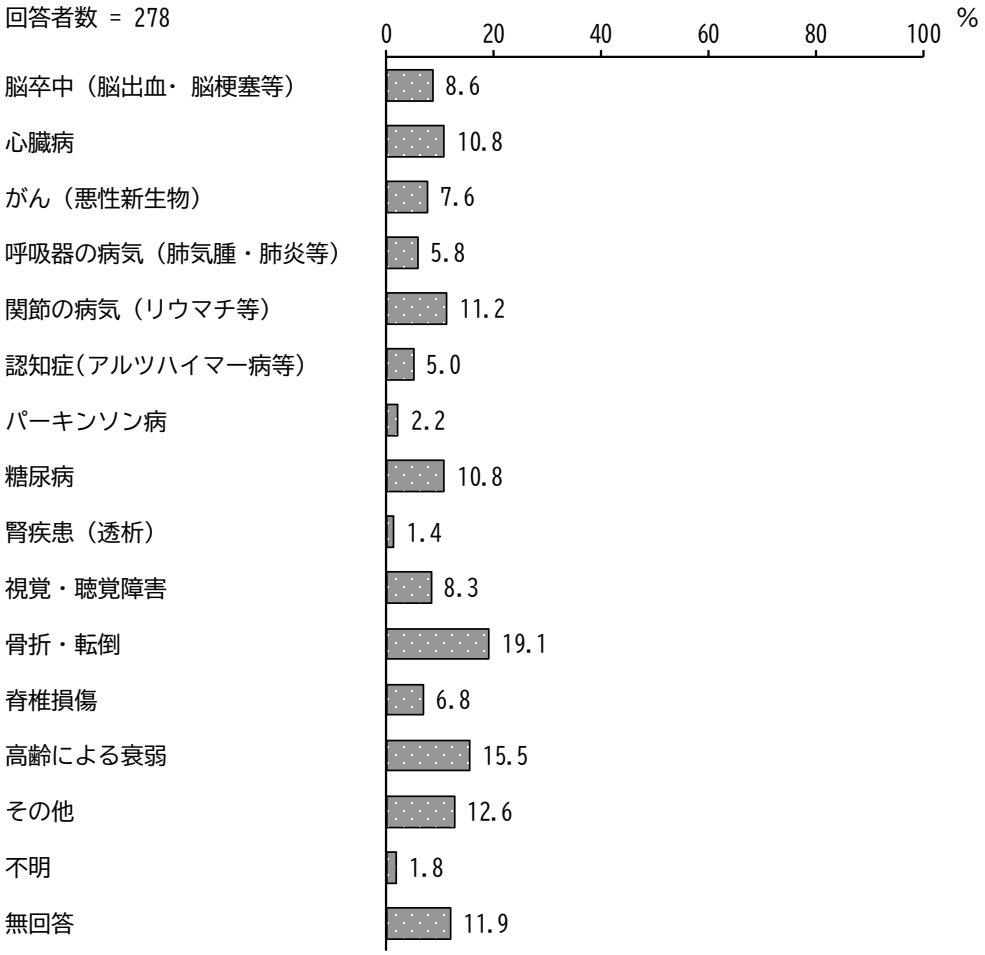
「介護・介助は必要ない」の割合が 85.9%と最も高くなっています。



（2）において「2．何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「3．現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお伺いします

①介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（複数選択可）

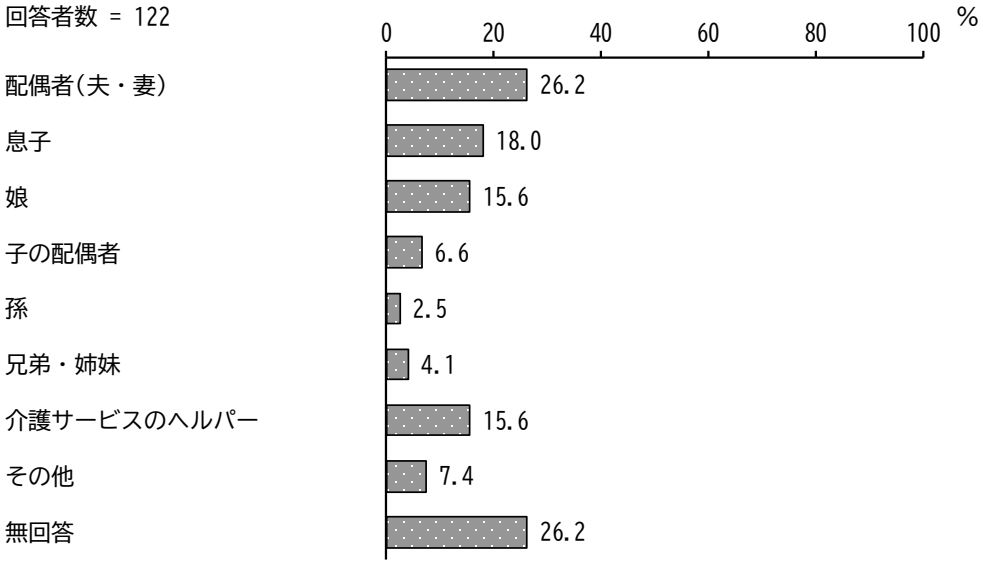
「骨折・転倒」の割合が19.1%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」の割合が15.5%、「関節の病気（リウマチ等）」の割合が11.2%となっています。



## （2）において「3．現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお伺いします

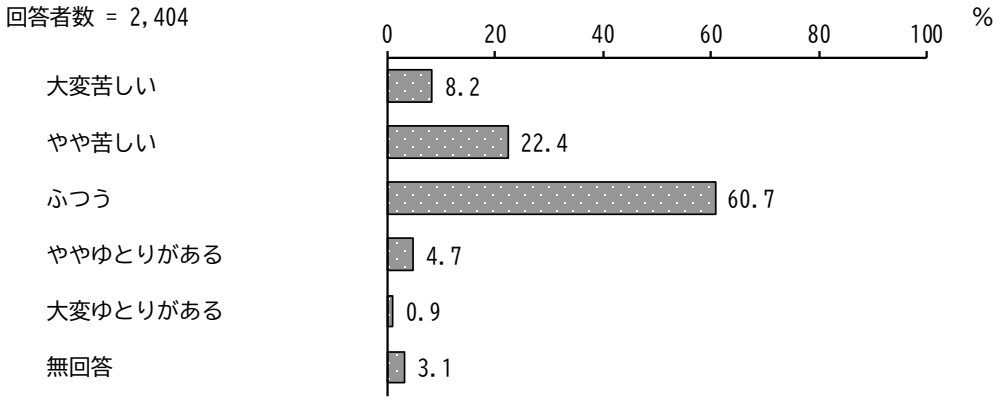
### ②主にどなたの介護、介助を受けていますか（複数選択可）

「配偶者(夫・妻)」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「息子」の割合が 18.0%、「娘」、「介護サービスのヘルパー」の割合が 15.6%となっています。



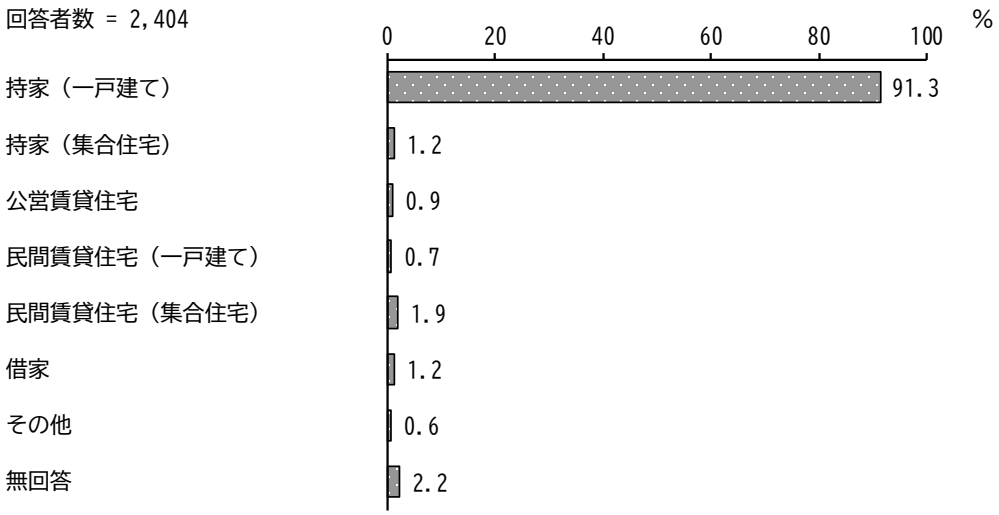

## （3）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つを選択）

「ふつう」の割合が 60.7%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 22.4%となっています。



## （４）お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（１つを選択）

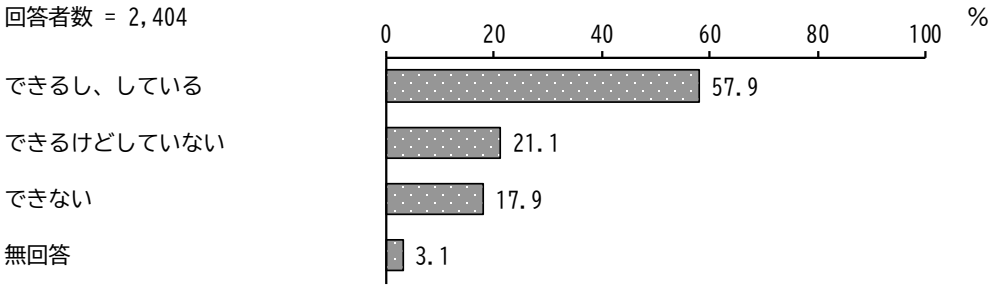
「持家（一戸建て）」の割合が 91.3%と最も高くなっています。



## 問2　からだを動かすことについて

### （1）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか（1つを選択）

「できるし、している」の割合が57.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が21.1%、「できない」の割合が17.9%となっています。




【高齢者の外出タイプ別】

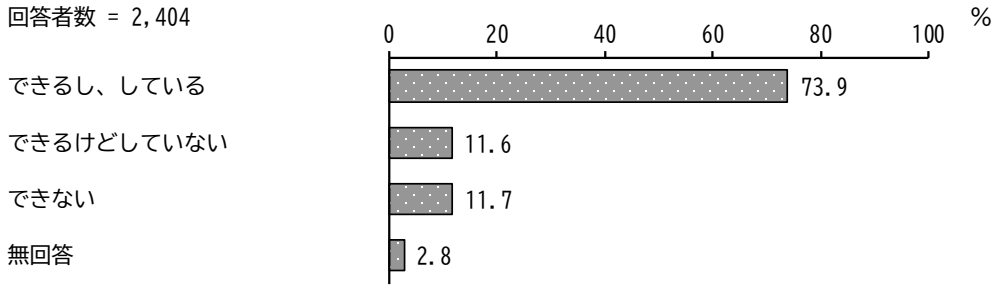
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「できない」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | できるし、している | できるけどしていない | できない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 57.9 | 21.1 | 17.9 | 3.1 |
| インドア派　外交的 | 242 | 48.3 | 20.7 | 27.7 | 3.3 |
| インドア派　内向的 | 226 | 29.2 | 24.3 | 44.2 | 2.2 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 66.8 | 21.7 | 10.9 | 0.5 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 61.7 | 20.6 | 16.5 | 1.1 |

## （２）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（１つを選択）

「できるし、している」の割合が 73.9%と最も高く、次いで「できない」の割合が 11.7%、「できるけどしていない」の割合が 11.6%となっています。




【高齢者の外出タイプ別】

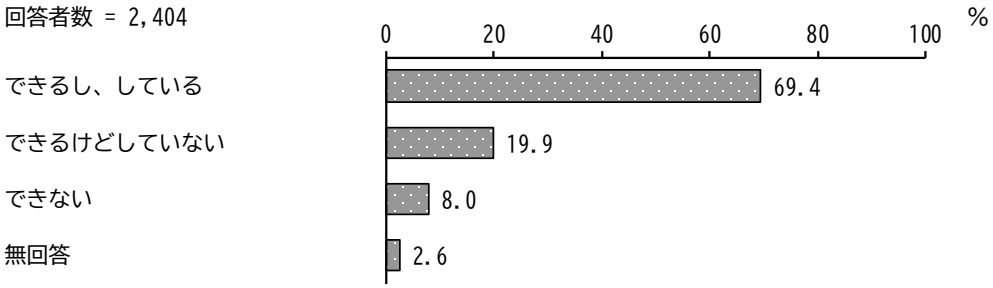
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「できない」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | できるし、している | できるけどしていない | できない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 73.9 | 11.6 | 11.7 | 2.8 |
| インドア派　外交的 | 242 | 62.4 | 16.1 | 21.1 | 0.4 |
| インドア派　内向的 | 226 | 47.8 | 18.1 | 33.6 | 0.4 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 84.7 | 8.9 | 5.8 | 0.5 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 75.3 | 12.6 | 11.0 | 1.1 |

## （3）15 分位続けて歩いていますか（1 つを選択）

「できるし、している」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 19.9%となっています。




【高齢者の外出タイプ別】

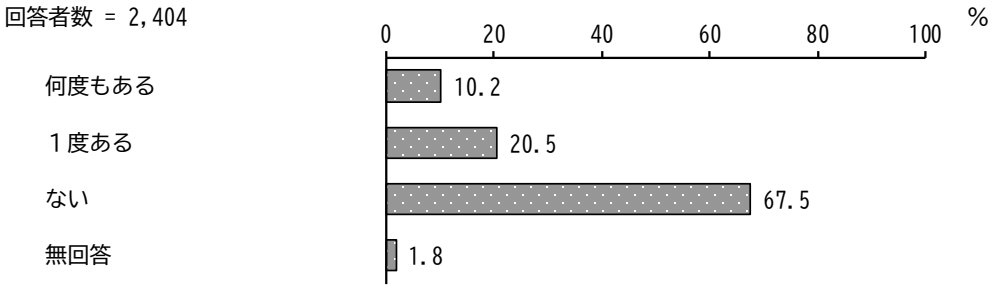
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「できるけどしていない」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | できるし、している | できるけどしていない | できない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 69.4 | 19.9 | 8.0 | 2.6 |
| インドア派　外交的 | 242 | 59.9 | 25.6 | 14.0 | 0.4 |
| インドア派　内向的 | 226 | 42.0 | 27.9 | 28.3 | 1.8 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 79.9 | 17.0 | 2.8 | 0.4 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 68.9 | 22.6 | 7.8 | 0.7 |

## （４）過去１年間に転んだ経験がありますか（１つを選択）

「ない」の割合が 67.5%と最も高く、次いで「１度ある」の割合が 20.5%、「何度もある」の割合が 10.2%となっています。




【高齢者の外出タイプ別】

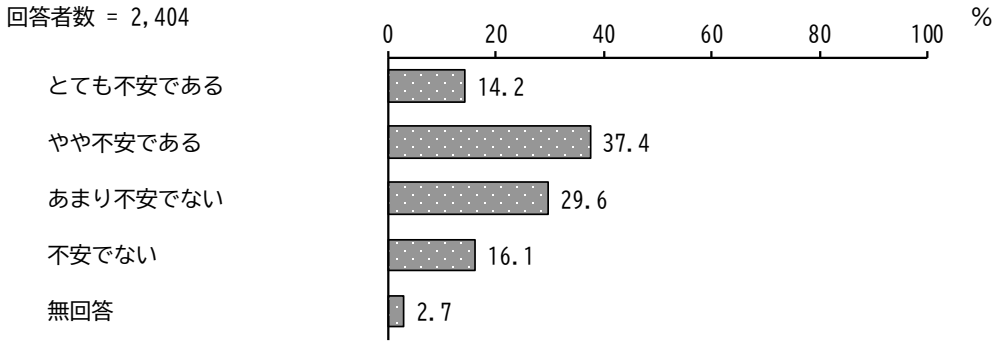
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「何度もある」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 何度もある | １度ある | ない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 10.2 | 20.5 | 67.5 | 1.8 |
| インドア派　外交的 | 242 | 15.3 | 22.7 | 62.0 | － |
| インドア派　内向的 | 226 | 23.0 | 23.0 | 52.7 | 1.3 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 7.1 | 19.6 | 73.3 | － |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 9.6 | 20.8 | 69.6 | － |

## （５）転倒に対する不安は大きいですか（１つを選択）

「やや不安である」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が 29.6%、「不安でない」の割合が 16.1%となっています。




【高齢者の外出タイプ別】

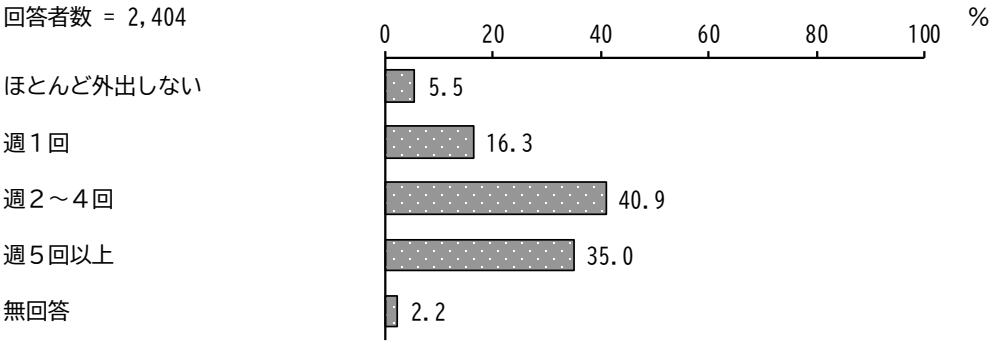
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「とても不安である」「やや不安である」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | とても不安である | やや不安である | あまり不安でない | 不安でない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 14.2 | 37.4 | 29.6 | 16.1 | 2.7 |
| インドア派　外交的 | 242 | 21.9 | 48.8 | 21.9 | 6.6 | 0.8 |
| インドア派　内向的 | 226 | 33.2 | 46.0 | 13.3 | 6.6 | 0.9 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 7.9 | 35.8 | 35.1 | 20.2 | 0.9 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 13.2 | 35.1 | 33.1 | 17.8 | 0.9 |

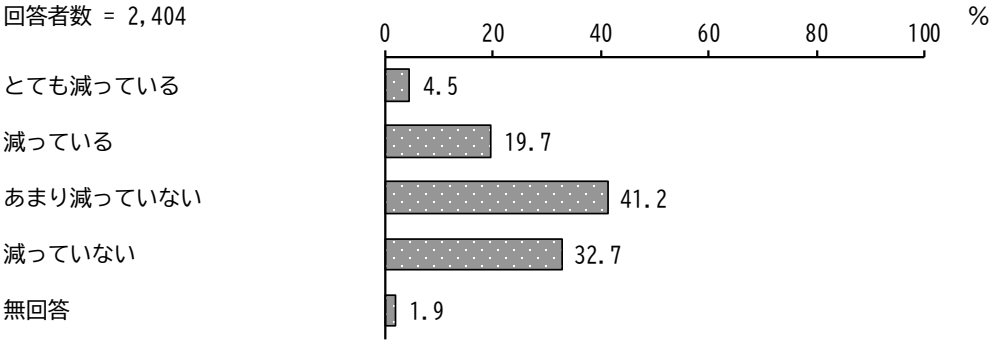
## （６）週に１回以上は外出していますか（１つを選択）

「週２～４回」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「週５回以上」の割合が 35.0%、「週１回」の割合が 16.3%となっています。



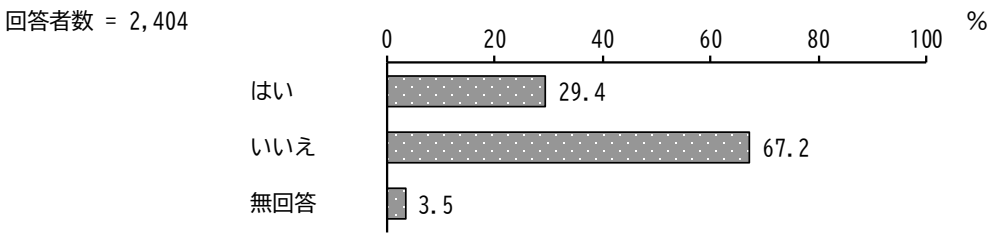

## （７）昨年と比べて外出の回数が減っていますか（１つを選択）

「あまり減っていない」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「減っていない」の割合が 32.7%、「減っている」の割合が 19.7%となっています。




## （８）外出を控えていますか（１つを選択）

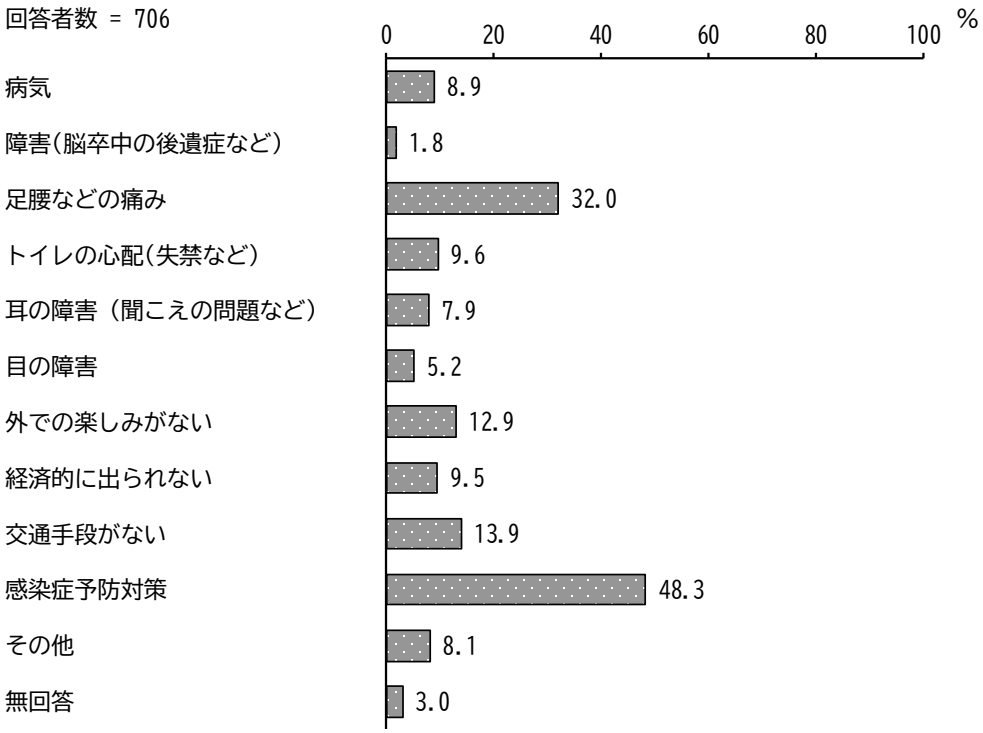
「はい」の割合が 29.4%、「いいえ」の割合が 67.2%となっています。



（８）において「１．はい」と回答された方にお伺いします

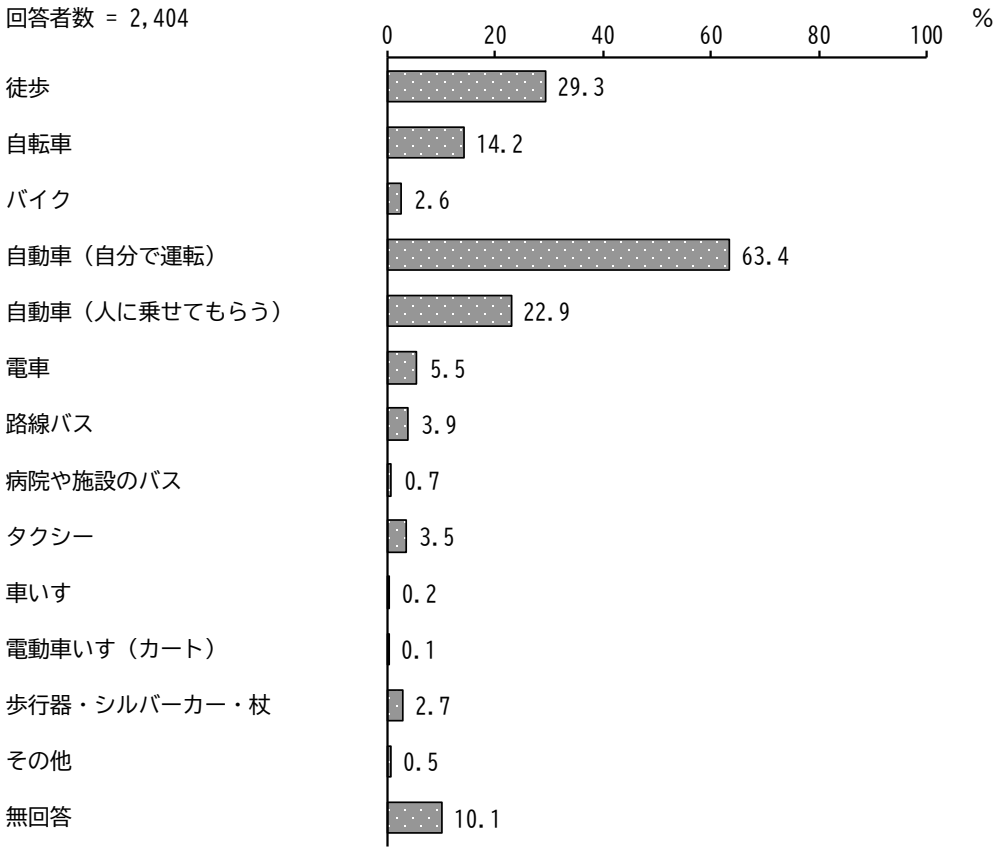
①外出を控えている理由は、次のどれですか（複数選択可）

「感染症予防対策」の割合が 48.3%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」の割合が 32.0%、「交通手段がない」の割合が 13.9%となっています。



## （9）外出する際の移動手段は何ですか（複数選択可）

「自動車（自分で運転）」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 29.3%、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が 22.9%となっています。




【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、本庁で「徒歩」の割合が高くなっています。

単位：%

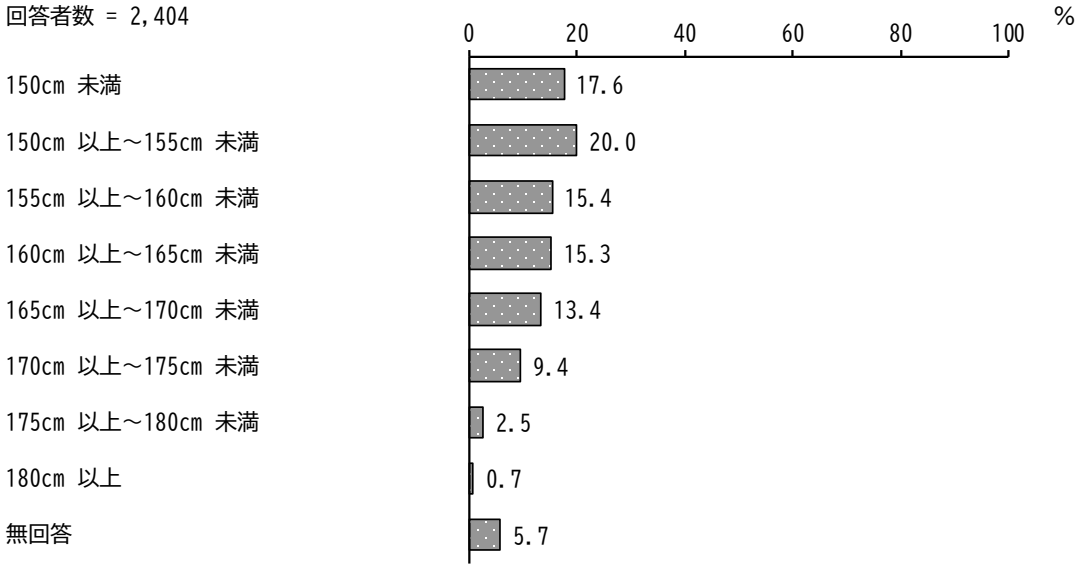
| 区分 | 回答者数（件） | 徒歩 | 自転車 | バイク | 自動車（自分で運転） | 自動車（人に乗せてもらう） | 電車 | 路線バス | 病院や施設のバス | タクシー | 車いす | 電動車いす（カート） | 歩行器・シルバーカー・杖 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 29.3 | 14.2 | 2.6 | 63.4 | 22.9 | 5.5 | 3.9 | 0.7 | 3.5 | 0.2 | 0.1 | 2.7 | 0.5 | 10.1 |
| 本庁 | 941 | 35.2 | 18.6 | 3.2 | 60.8 | 22.4 | 6.6 | 5.3 | 0.4 | 5.7 | － | － | 3.4 | 0.6 | 9.5 |
| 嬉野 | 410 | 32.4 | 17.8 | 1.7 | 66.6 | 20.5 | 9.8 | 2.9 | － | 3.2 | 0.2 | － | 2.0 | 0.2 | 10.7 |
| 三雲 | 355 | 25.1 | 16.3 | 3.9 | 66.2 | 21.4 | 5.9 | 2.0 | － | 3.9 | 0.6 | 0.3 | 2.3 | 0.6 | 8.7 |
| 飯南 | 348 | 25.9 | 8.3 | 2.6 | 63.5 | 27.3 | 1.7 | 4.6 | 2.0 | 0.3 | － | － | 3.4 | 0.3 | 8.3 |
| 飯高 | 346 | 17.9 | 2.0 | 0.9 | 64.2 | 24.6 | 1.2 | 2.6 | 2.0 | － | 0.9 | 0.6 | 1.2 | 0.3 | 13.9 |

## 問３　食べることについて

### （１）身長・体重

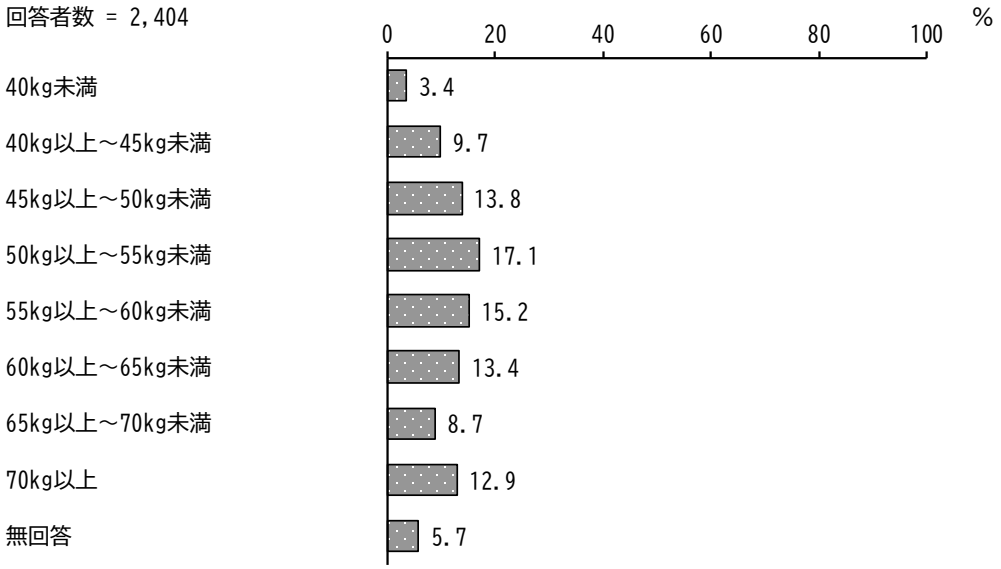
**身長**

「150cm 以上～155cm 未満」の割合が 20.0%と最も高く、次いで「150cm 未満」の割合が 17.6%、「155cm 以上～160cm 未満」の割合が 15.4%となっています。



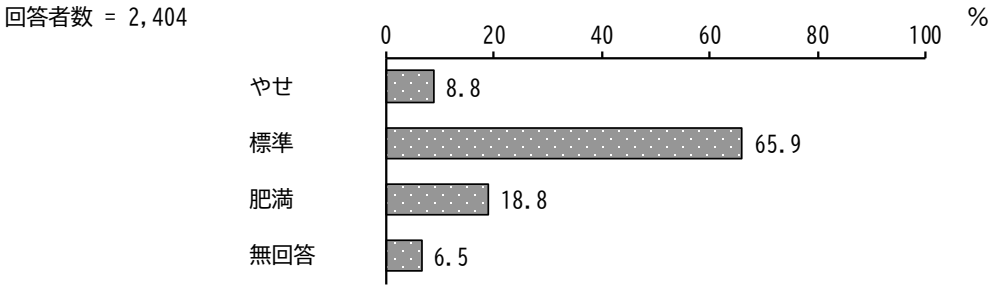

**体重**

「50kg 以上～55kg 未満」の割合が 17.1%と最も高く、次いで「55kg 以上～60kg 未満」の割合が 15.2%、「45kg 以上～50kg 未満」の割合が 13.8%となっています。



## BMI

「標準」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「肥満」の割合が 18.8%となっています。




【家族構成別】

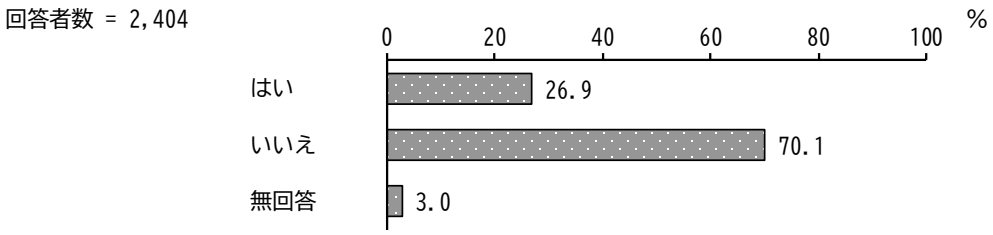
家族構成別にみると、他に比べ、夫婦２人暮らし(配偶者 64 歳以下)で「肥満」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | やせ | 標準 | 肥満 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 8.8 | 65.9 | 18.8 | 6.5 |
| １人暮らし | 411 | 10.2 | 62.8 | 18.5 | 8.5 |
| 夫婦２人暮らし(配偶者 65 歳以上) | 1009 | 7.2 | 68.3 | 19.0 | 5.5 |
| 夫婦２人暮らし(配偶者 64 歳以下) | 82 | 2.4 | 70.7 | 25.6 | 1.2 |
| 息子・娘との２世帯 | 468 | 9.4 | 65.8 | 18.8 | 6.0 |
| その他 | 357 | 11.8 | 63.0 | 16.8 | 8.4 |

## （２）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（１つを選択）

「はい」の割合が 26.9%、「いいえ」の割合が 70.1%となっています。




【高齢者の外出タイプ別】

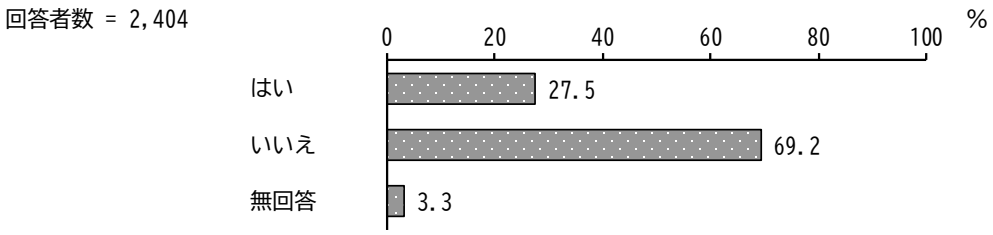
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「はい」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | はい | いいえ | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 26.9 | 70.1 | 3.0 |
| インドア派　外交的 | 242 | 30.6 | 68.2 | 1.2 |
| インドア派　内向的 | 226 | 47.8 | 48.7 | 3.5 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 21.7 | 76.2 | 2.2 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 26.7 | 71.0 | 2.3 |

## （３）お茶や汁物等でむせることがありますか（１つを選択）

「はい」の割合が 27.5%、「いいえ」の割合が 69.2%となっています。




【高齢者の外出タイプ別】

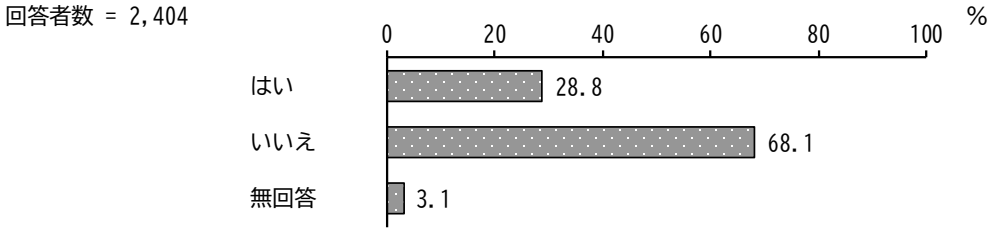
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「はい」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | はい | いいえ | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 27.5 | 69.2 | 3.3 |
| インドア派　外交的 | 242 | 32.2 | 65.7 | 2.1 |
| インドア派　内向的 | 226 | 43.8 | 51.8 | 4.4 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 24.2 | 73.4 | 2.4 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 26.2 | 71.4 | 2.5 |

## （４）口の渇きが気になりますか（１つを選択）

「はい」の割合が 28.8%、「いいえ」の割合が 68.1%となっています。



【高齢者の外出タイプ別】

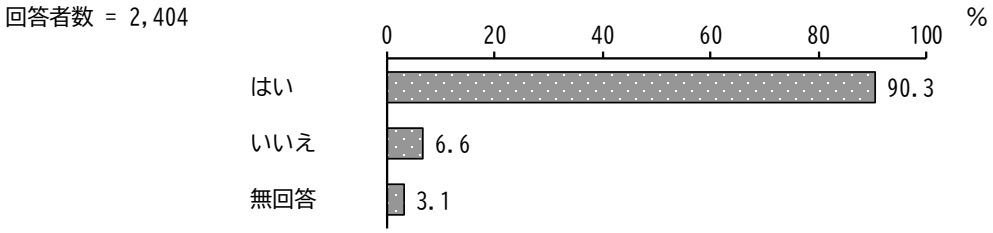
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | はい | いいえ | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 28.8 | 68.1 | 3.1 |
| インドア派　外交的 | 242 | 33.5 | 65.7 | 0.8 |
| インドア派　内向的 | 226 | 43.8 | 52.7 | 3.5 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 24.8 | 72.8 | 2.4 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 27.2 | 70.1 | 2.7 |

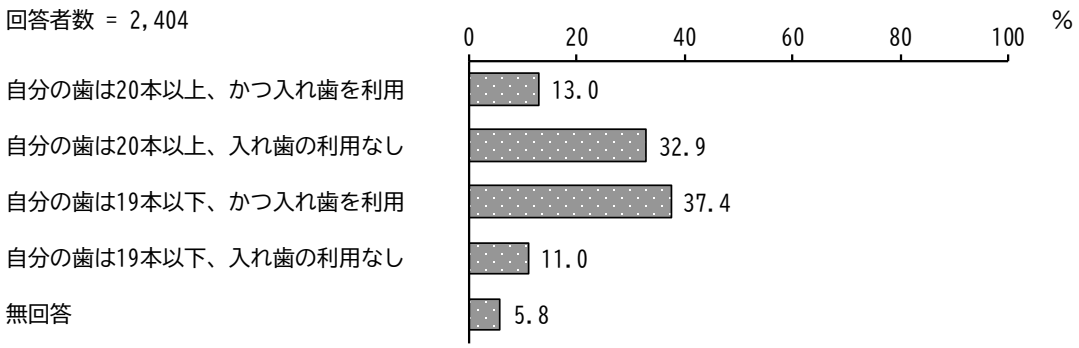
## （５）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（１つを選択）

「はい」の割合が 90.3%、「いいえ」の割合が 6.6%となっています。



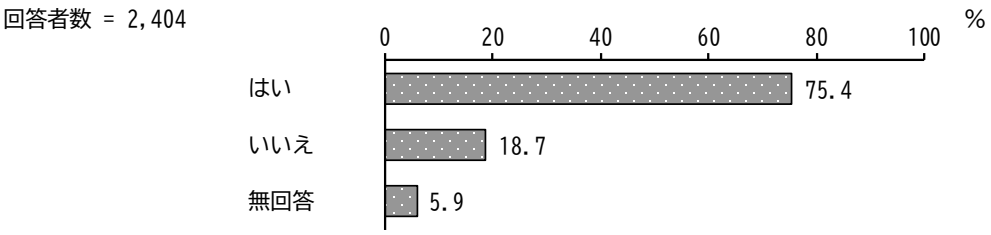

## （６）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）（１つを選択）

「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 32.9%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 13.0%となっています。



①噛み合わせは良いですか（１つを選択）

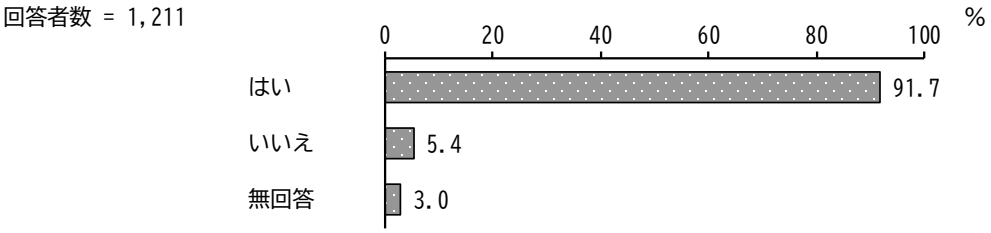
「はい」の割合が 75.4%、「いいえ」の割合が 18.7%となっています。




（６）において「１．自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「３．自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方にお伺いします

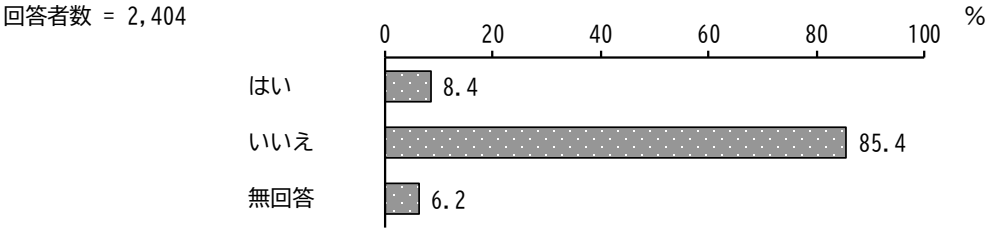
②毎日入れ歯の手入れをしていますか（１つを選択）

「はい」の割合が 91.7%、「いいえ」の割合が 5.4%となっています。



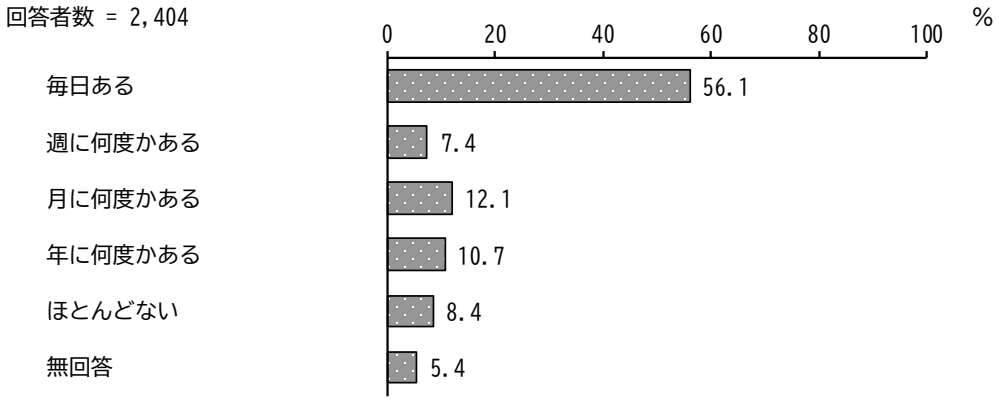

（７）６か月間で２～３kg 以上の体重減少がありましたか（１つを選択）

「はい」の割合が 8.4%、「いいえ」の割合が 85.4%となっています。



## （８）どなたかと食事をともにする機会はありますか（１つを選択）

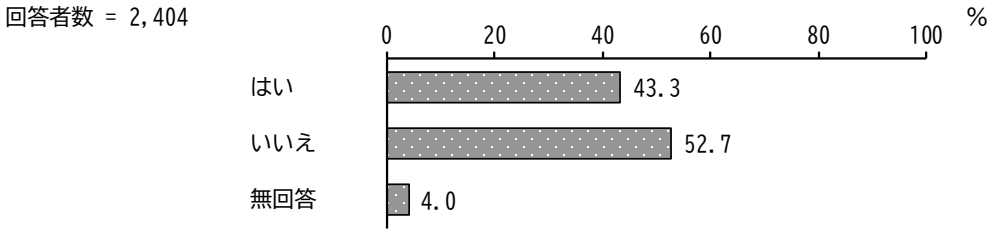
「毎日ある」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が 12.1%、「年に何度かある」の割合が 10.7%となっています。



## 問４　毎日の生活について

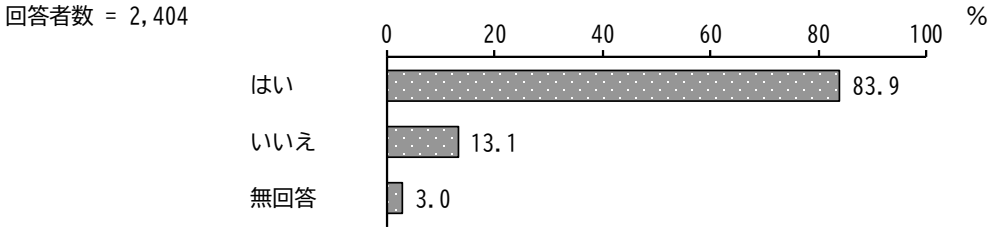
### （１）物忘れが多いと感じますか（１つを選択）

「はい」の割合が 43.3%、「いいえ」の割合が 52.7%となっています。



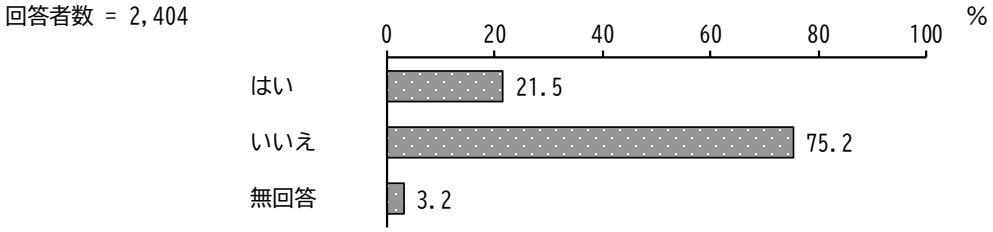

### （２）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（１つを選択）

「はい」の割合が 83.9%、「いいえ」の割合が 13.1%となっています。



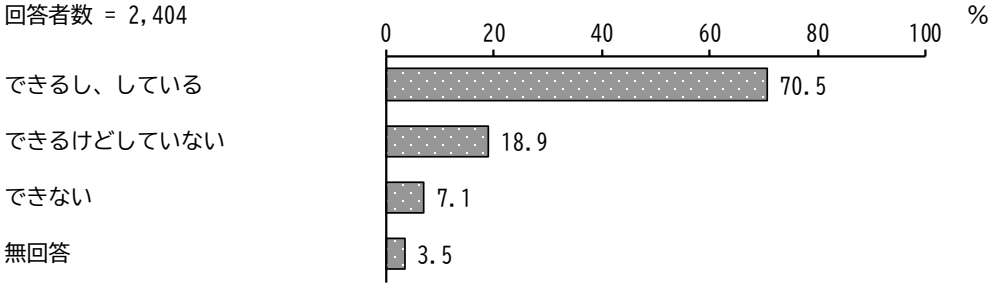

### （３）今日が何月何日かわからない時がありますか（１つを選択）

「はい」の割合が 21.5%、「いいえ」の割合が 75.2%となっています。



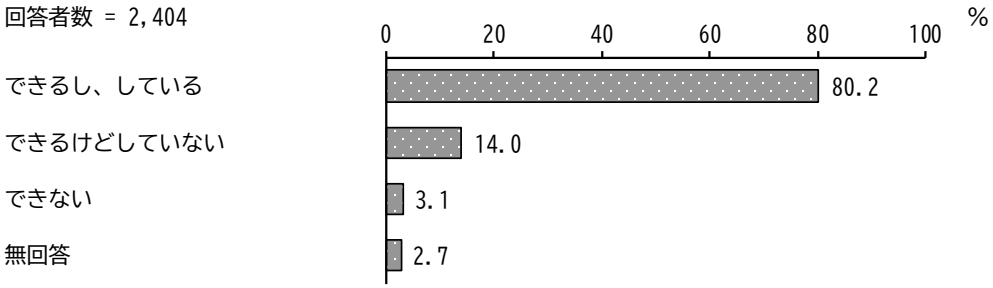

### （４）バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）（１つを選択）

「できるし、している」の割合が 70.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 18.9%となっています。



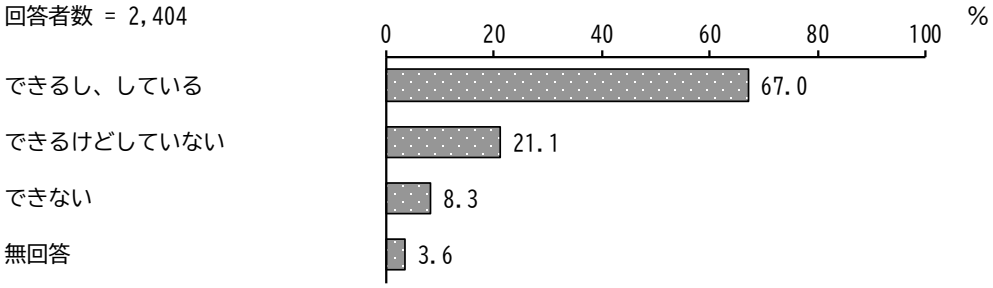
## （５）自分で食品・日用品の買物をしていますか（１つを選択）

「できるし、している」の割合が 80.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 14.0%となっています。



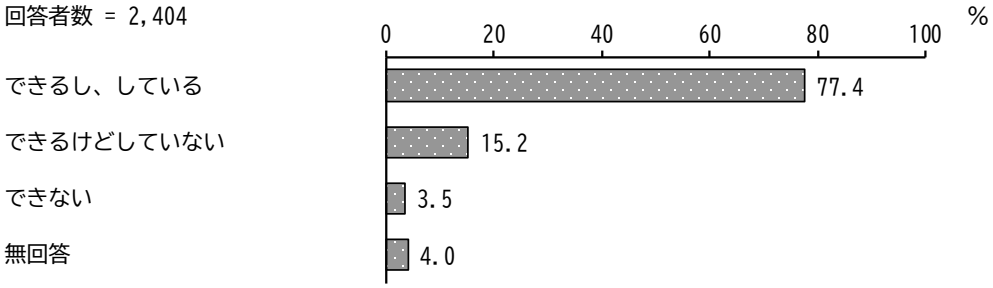

## （６）自分で食事の用意をしていますか（１つを選択）

「できるし、している」の割合が 67.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 21.1%となっています。



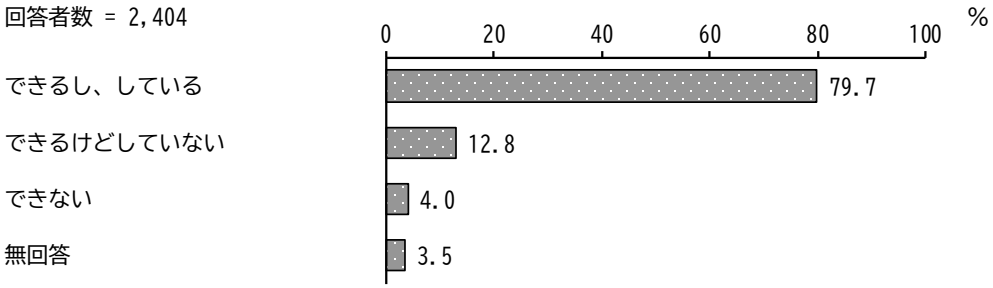

## （７）自分で請求書の支払いをしていますか（１つを選択）

「できるし、している」の割合が 77.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 15.2%となっています。



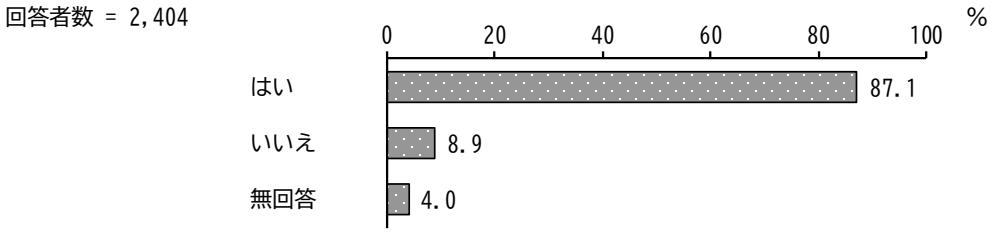
## （８）自分で預貯金の出し入れをしていますか（１つを選択）

「できるし、している」の割合が 79.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 12.8%となっています。



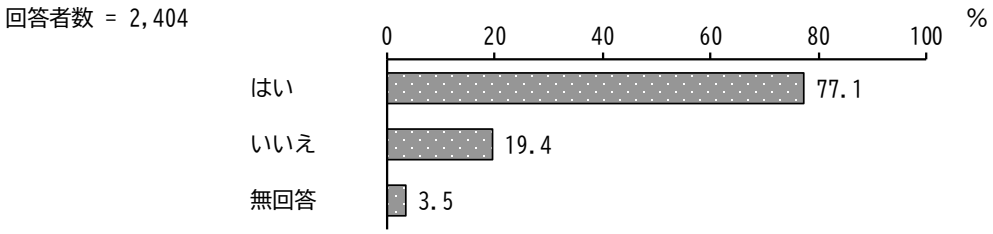

## （９）年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（１つを選択）

「はい」の割合が 87.1%、「いいえ」の割合が 8.9%となっています。



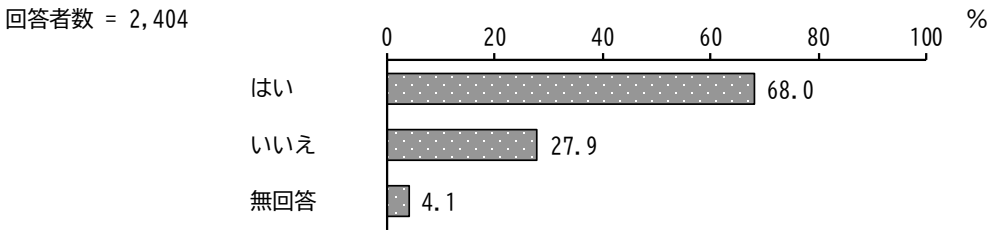

## （10）新聞を読んでいますか（１つを選択）

「はい」の割合が 77.1%、「いいえ」の割合が 19.4%となっています。



## （11）本や雑誌を読んでいますか（１つを選択）

「はい」の割合が 68.0%、「いいえ」の割合が 27.9%となっています。




【高齢者の外出タイプ別】

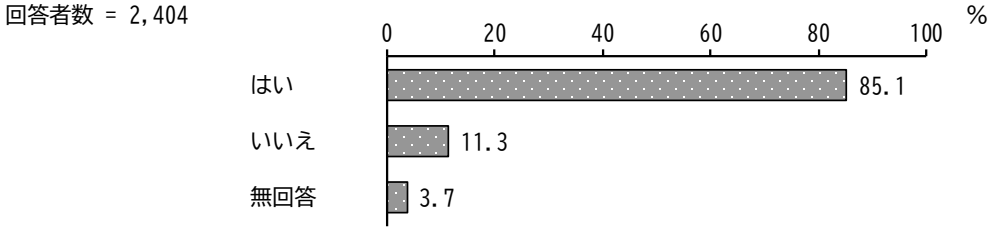
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | はい | いいえ | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 68.0 | 27.9 | 4.1 |
| インドア派　外交的 | 242 | 63.6 | 34.3 | 2.1 |
| インドア派　内向的 | 226 | 50.9 | 47.3 | 1.8 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 79.5 | 20.2 | 0.3 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 63.0 | 36.3 | 0.7 |

## （12）健康についての記事や番組に関心がありますか（１つを選択）

「はい」の割合が 85.1%、「いいえ」の割合が 11.3%となっています。



【高齢者の外出タイプ別】

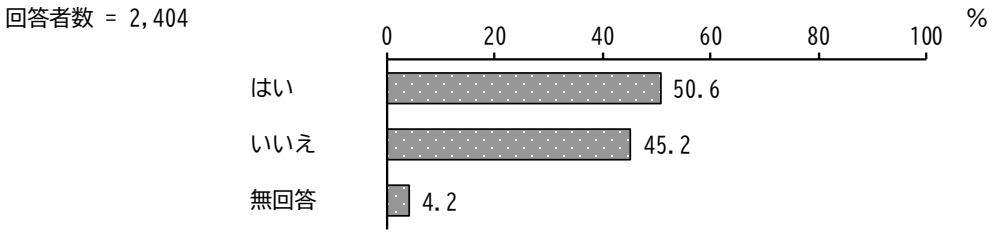
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | はい | いいえ | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 85.1 | 11.3 | 3.7 |
| インドア派　外交的 | 242 | 92.6 | 5.8 | 1.7 |
| インドア派　内向的 | 226 | 76.5 | 22.6 | 0.9 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 93.0 | 6.9 | 0.1 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 79.9 | 19.6 | 0.5 |

## （13）友人の家を訪ねていますか（１つを選択）

「はい」の割合が 50.6%、「いいえ」の割合が 45.2%となっています。




【高齢者の外出タイプ別】

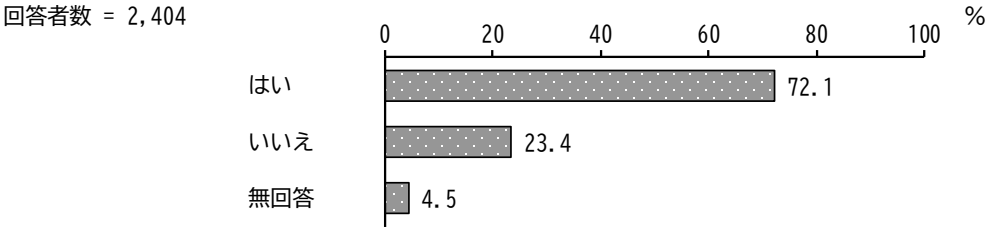
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | はい | いいえ | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 50.6 | 45.2 | 4.2 |
| インドア派　外交的 | 242 | 47.1 | 51.2 | 1.7 |
| インドア派　内向的 | 226 | 22.6 | 76.5 | 0.9 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 62.8 | 36.4 | 0.8 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 42.9 | 56.2 | 0.9 |

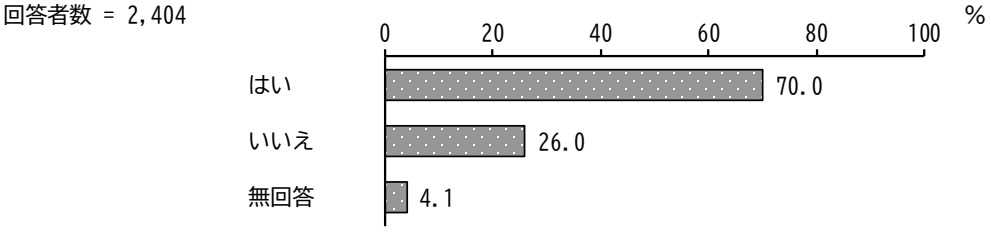
## （14）家族や友人の相談にのっていますか（１つを選択）

「はい」の割合が 72.1%、「いいえ」の割合が 23.4%となっています。



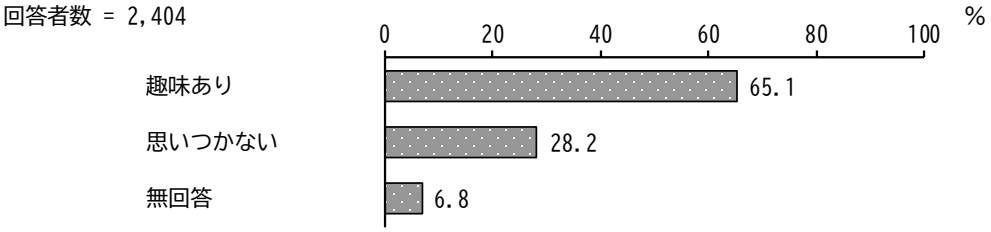

## （15）若い人に自分から話しかけることがありますか（１つを選択）

「はい」の割合が 70.0%、「いいえ」の割合が 26.0%となっています。




## （16）趣味はありますか（１つを選択）

「趣味あり」の割合が 65.1%、「思いつかない」の割合が 28.2%となっています。




【主な趣味】

- ハイキング
- ヨガ
- 庭木のせん定
- ムセン、オーディオ
- ゴルフ
- 音楽
- 体操
- 旅行

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「思いつかない」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 趣味あり | 思いつかない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 65.1 | 28.2 | 6.8 |
| インドア派　外交的 | 242 | 59.9 | 33.1 | 7.0 |
| インドア派　内向的 | 226 | 47.3 | 50.4 | 2.2 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 76.5 | 21.7 | 1.8 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 61.4 | 35.4 | 3.2 |

【幸福度別】

幸福度別にみると、０～３点と４～６点で「思いつかない」の割合が、７～１０点で「趣味あり」の割合が高くなっています。

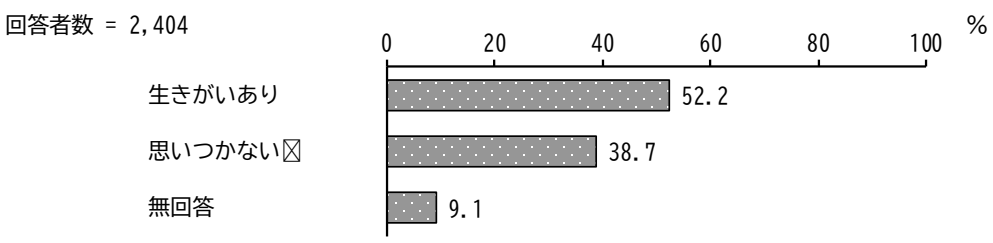
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 趣味あり | 思いつかない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 65.1 | 28.2 | 6.8 |
| ０～３点 | 98 | 39.8 | 56.1 | 4.1 |
| ４～６点 | 764 | 55.5 | 38.2 | 6.3 |
| ７～１０点 | 1424 | 72.5 | 21.0 | 6.5 |

※幸福度別：問７「（２）あなたは現在どの程度幸せですか。」を
「０～３点」「４～６点」「７～１０点」の３区分にまとめ、集計しています。

## （17）生きがいはありますか（１つを選択）

「生きがいあり」の割合が 52.2%、「思いつかない」の割合が 38.7%となっています。



【主な生きがい】

- 外出して皆んなと話す
- 旅行
- 孫の成長
- 犬の散歩へついていく
- 仕事上の目標
- 自分の仕事や趣味をすること

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「思いつかない」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 生きがいあり | 思いつかない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 52.2 | 38.7 | 9.1 |
| インドア派　外交的 | 242 | 50.4 | 43.4 | 6.2 |
| インドア派　内向的 | 226 | 31.4 | 63.7 | 4.9 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 62.1 | 32.9 | 5.0 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 51.6 | 44.7 | 3.7 |

【幸福度別】

幸福度別にみると、０～３点と４～６点で「思いつかない」の割合が、７～１０点で「生きがいあり」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 生きがいあり | 思いつかない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 52.2 | 38.7 | 9.1 |
| ０～３点 | 98 | 15.3 | 78.6 | 6.1 |
| ４～６点 | 764 | 36.1 | 55.2 | 8.6 |
| ７～１０点 | 1424 | 63.9 | 27.1 | 9.0 |

## 問５　地域での活動について

（１）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※ ①～⑧それぞれに回答してください

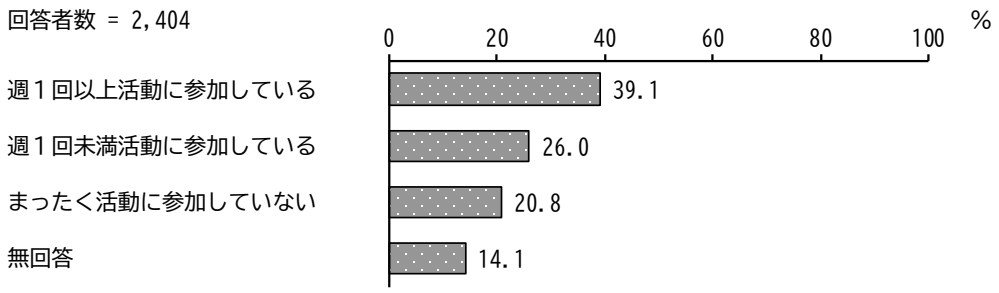
『⑧収入のある仕事』で「週４回以上」の割合が、『③趣味関係のグループ』で「月１～３回」の割合が、『⑦住民自治協議会・自治会・町内会』で「年に数回」の割合が、『④学習・教養サークル』『⑤介護予防のためのグループ』『⑥老人クラブ』で「参加していない・できない」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 週４回以上 | 週２～３回 | 週１回 | 月１～３回 | 年に数回 | 参加していない・できない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①ボランティアのグループ | 2404 | 1.0 | 0.6 | 1.0 | 4.5 | 7.4 | 57.1 | 28.5 |
| ②スポーツ関係のグループやクラブ | 2404 | 2.7 | 5.7 | 3.5 | 5.5 | 3.7 | 52.2 | 26.7 |
| ③趣味関係のグループ | 2404 | 1.5 | 3.2 | 3.3 | 10.1 | 5.2 | 50.7 | 26.0 |
| ④学習・教養サークル | 2404 | 0.3 | 0.6 | 1.2 | 3.4 | 3.2 | 60.8 | 30.6 |
| ⑤介護予防のためのグループ | 2404 | 0.5 | 0.5 | 0.8 | 2.5 | 2.5 | 62.6 | 30.6 |
| ⑥老人クラブ | 2404 | 0.3 | 0.4 | 0.6 | 3.7 | 5.1 | 61.2 | 28.7 |
| ⑦住民自治協議会・自治会・町内会 | 2404 | 0.8 | 0.6 | 0.6 | 7.1 | 22.3 | 41.3 | 27.3 |
| ⑧収入のある仕事 | 2404 | 14.3 | 7.3 | 1.1 | 2.3 | 2.9 | 45.6 | 26.5 |

**地域活動の参加状況**

「週１回以上活動に参加している」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「週１回未満活動に参加している」の割合が 26.0%、「まったく活動に参加していない」の割合が 20.8%となっています。




※①～⑧のいずれかで「週４回以上」「週２～３回」「週１回」を回答した方を「週１回以上活動に参加している」、「週１回以上活動に参加している」に該当した方以外で、「月１～３回」「年に数回」と回答した方を「週１回未満活動に参加している」、すべて「参加していない・できない」と回答し方を「まったく活動に参加していない」として集計しています。

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「まったく活動に参加していない」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 週１回以上活動に参加している | 週１回未満活動に参加している | まったく活動に参加していない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 39.1 | 26.0 | 20.8 | 14.1 |
| インドア派　外交的 | 242 | 27.3 | 40.5 | 20.2 | 12.0 |
| インドア派　内向的 | 226 | 10.6 | 22.1 | 51.8 | 15.5 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 53.7 | 29.6 | 11.4 | 5.2 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 35.8 | 19.4 | 32.6 | 12.3 |

【幸福度別】

幸福度別にみると、０～３点と４～６点で「まったく活動に参加していない」の割合が、７～１０点で「週１回以上活動に参加している」の割合が高くなっています。

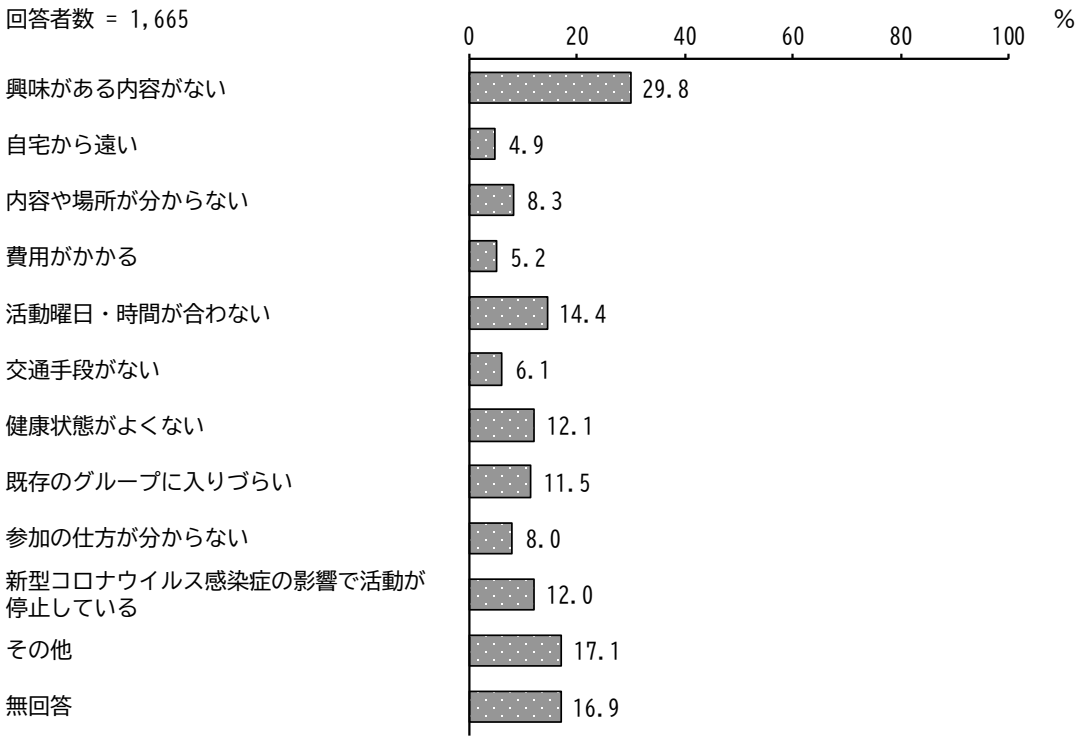
単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 週１回以上活動に参加している | 週１回未満活動に参加している | まったく活動に参加していない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 39.1 | 26.0 | 20.8 | 14.1 |
| ０～３点 | 98 | 24.5 | 22.4 | 38.8 | 14.3 |
| ４～６点 | 764 | 31.8 | 28.4 | 25.9 | 13.9 |
| ７～１０点 | 1424 | 44.7 | 25.8 | 17.0 | 12.6 |

（1）において、1つでも「参加していない・できない」と回答された方にお伺いします

①参加していない理由として当てはまるものはどれですか（複数選択可）

「興味がある内容がない」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「活動曜日・時間が合わない」の割合が 14.4%、「健康状態がよくない」の割合が 12.1%となっています。




【圏域別】

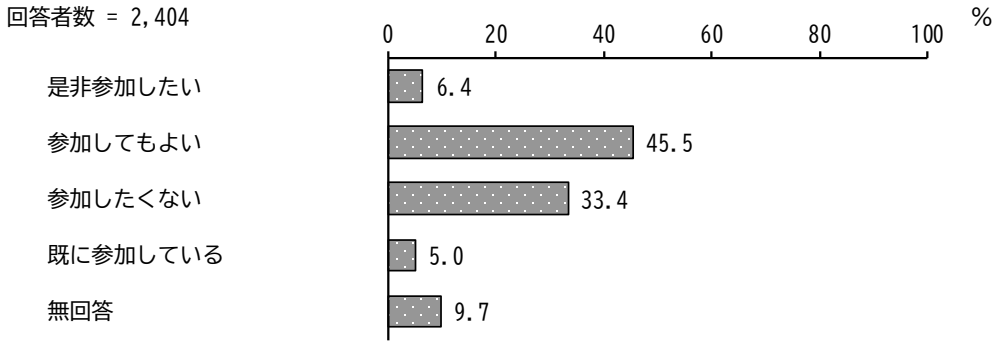
圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 興味がある内容がない | 自宅から遠い | 内容や場所が分からない | 費用がかかる | 活動曜日・時間が合わない | 交通手段がない | 健康状態がよくない | 既存のグループに入りづらい | 参加の仕方が分からない | 新型コロナウイルス感染症の影響で活動が停止している | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 1665 | 29.8 | 4.9 | 8.3 | 5.2 | 14.4 | 6.1 | 12.1 | 11.5 | 8.0 | 12.0 | 17.1 | 16.9 |
| 本庁 | 685 | 32.1 | 5.1 | 9.9 | 7.2 | 14.7 | 7.0 | 9.8 | 11.7 | 10.7 | 11.5 | 16.2 | 15.6 |
| 嬉野 | 294 | 31.6 | 3.7 | 8.8 | 4.8 | 16.0 | 4.8 | 10.2 | 15.3 | 8.5 | 14.3 | 17.0 | 16.7 |
| 三雲 | 253 | 25.3 | 4.7 | 9.5 | 4.7 | 11.5 | 7.9 | 15.4 | 13.8 | 7.5 | 12.6 | 16.2 | 17.4 |
| 飯南 | 238 | 28.6 | 5.5 | 4.6 | 3.4 | 13.0 | 5.0 | 13.4 | 5.9 | 3.4 | 11.8 | 18.1 | 21.8 |
| 飯高 | 191 | 26.2 | 5.8 | 5.2 | 2.1 | 16.2 | 4.2 | 16.8 | 8.9 | 4.2 | 9.9 | 19.4 | 14.7 |

（２）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（１つを選択）

「参加してもよい」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 33.4%となっています。




【高齢者の外出タイプ別】

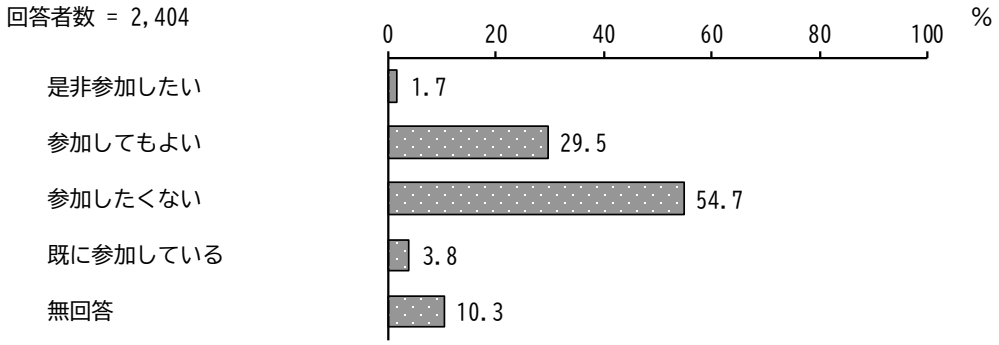
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「参加したくない」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 是非参加したい | 参加してもよい | 参加したくない | 既に参加している | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 6.4 | 45.5 | 33.4 | 5.0 | 9.7 |
| インドア派　外交的 | 242 | 11.2 | 81.8 | － | 7.0 | － |
| インドア派　内向的 | 226 | － | － | 100.0 | － | － |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 11.0 | 79.7 | － | 9.3 | － |
| アウトドア派　内向的 | 562 | － | － | 100.0 | － | － |

（３）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（１つを選択）

「参加したくない」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 29.5%となっています。




【高齢者の外出タイプ別】

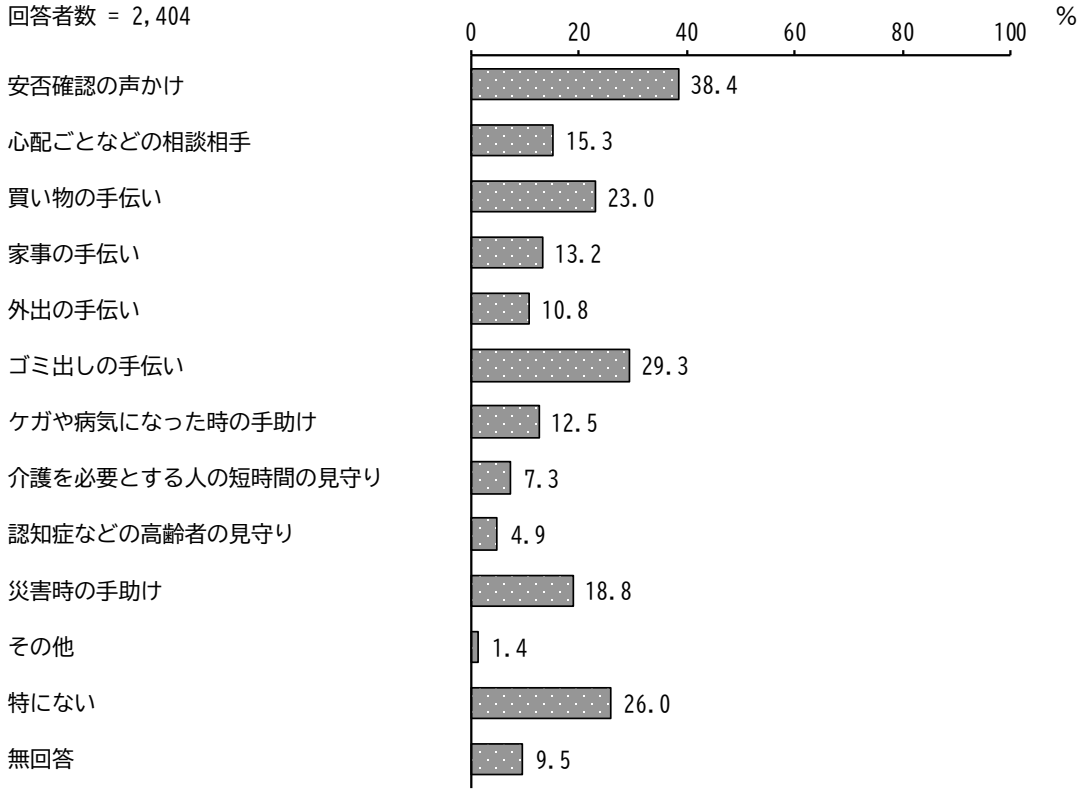
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「参加したくない」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 是非参加したい | 参加してもよい | 参加したくない | 既に参加している | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 1.7 | 29.5 | 54.7 | 3.8 | 10.3 |
| インドア派　外交的 | 242 | 3.3 | 45.0 | 43.8 | 3.3 | 4.5 |
| インドア派　内向的 | 226 | － | 0.9 | 98.2 | － | 0.9 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 2.9 | 50.4 | 37.0 | 7.2 | 2.4 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | － | 2.5 | 97.3 | － | 0.2 |

## （4）あなたができると思う生活支援はありますか（複数選択可）

「安否確認の声かけ」の割合が38.4%と最も高く、次いで「ゴミ出しの手伝い」の割合が29.3%、「特にない」の割合が26.0%となっています。




【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、飯南と飯高で「安否確認の声かけ」の割合が高くなっています。

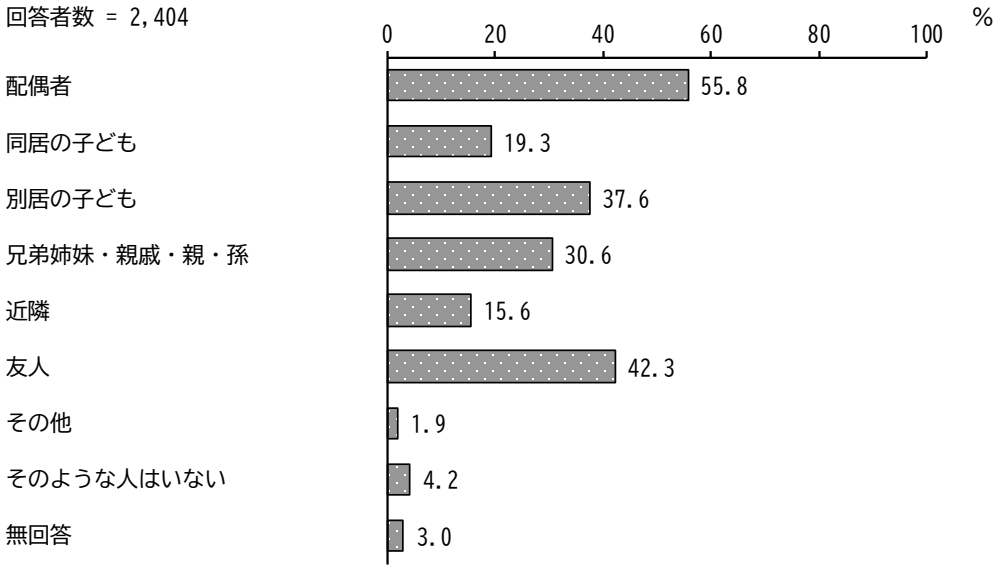
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 安否確認の声かけ | 心配ごとなどの相談相手 | 買い物の手伝い | 家事の手伝い | 外出の手伝い | ゴミ出しの手伝い | ケガや病気になった時の手助け | 介護を必要とする人の短時間の見守り | 認知症などの高齢者の見守り | 災害時の手助け | その他 | 特にない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 38.4 | 15.3 | 23.0 | 13.2 | 10.8 | 29.3 | 12.5 | 7.3 | 4.9 | 18.8 | 1.4 | 26.0 | 9.5 |
| 本庁 | 941 | 37.9 | 17.3 | 21.8 | 13.8 | 10.9 | 31.9 | 12.9 | 8.1 | 4.9 | 18.0 | 1.5 | 26.2 | 8.9 |
| 嬉野 | 410 | 36.6 | 12.9 | 25.6 | 12.4 | 11.0 | 28.3 | 9.0 | 7.3 | 4.4 | 16.8 | 1.0 | 27.1 | 8.3 |
| 三雲 | 355 | 34.1 | 13.2 | 20.0 | 10.1 | 6.5 | 24.2 | 11.3 | 4.5 | 3.1 | 21.4 | 0.8 | 31.3 | 9.6 |
| 飯南 | 348 | 42.0 | 12.6 | 24.1 | 14.4 | 11.8 | 29.9 | 14.1 | 7.8 | 3.7 | 19.5 | 1.7 | 21.3 | 12.1 |
| 飯高 | 346 | 43.4 | 17.6 | 25.7 | 14.7 | 13.9 | 28.3 | 15.3 | 7.8 | 8.4 | 19.9 | 2.0 | 22.5 | 10.1 |

## 問６　たすけあいについて

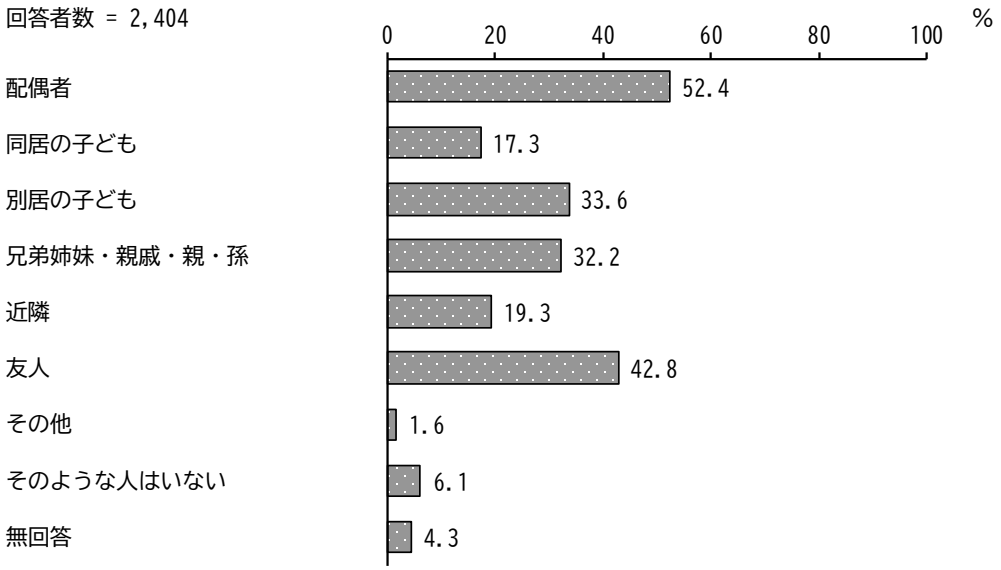
### （１）あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人（複数選択可）

「配偶者」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「友人」の割合が 42.3%、「別居の子ども」の割合が 37.6%となっています。



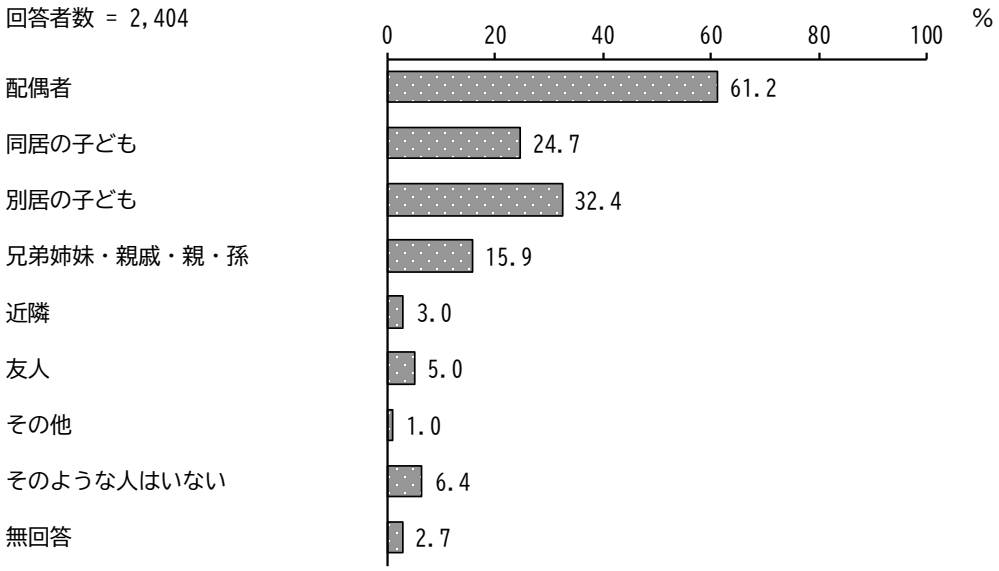

### （２）反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人（複数選択可）

「配偶者」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「友人」の割合が 42.8%、「別居の子ども」の割合が 33.6%となっています。



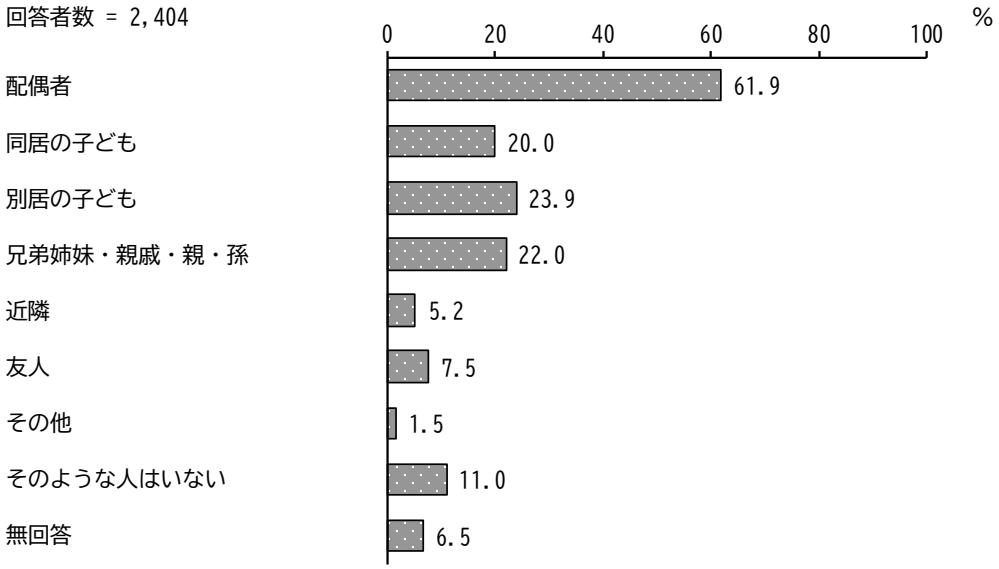
## （３）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数選択可）

「配偶者」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 32.4%、「同居の子ども」の割合が 24.7%となっています。



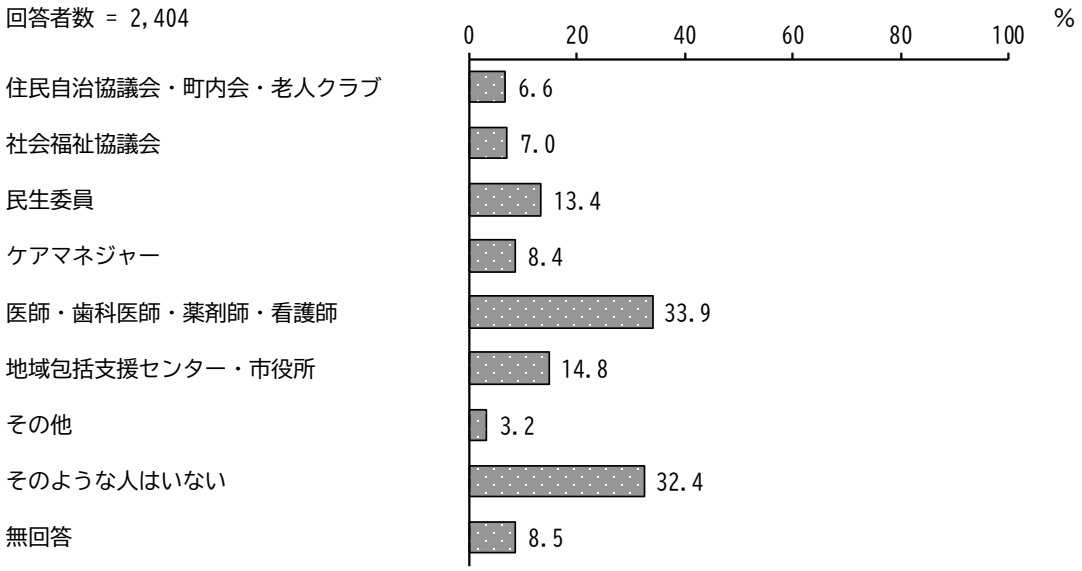

## （４）反対に、看病や世話をしてあげる人（複数選択可）

「配偶者」の割合が 61.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 23.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 22.0%となっています。



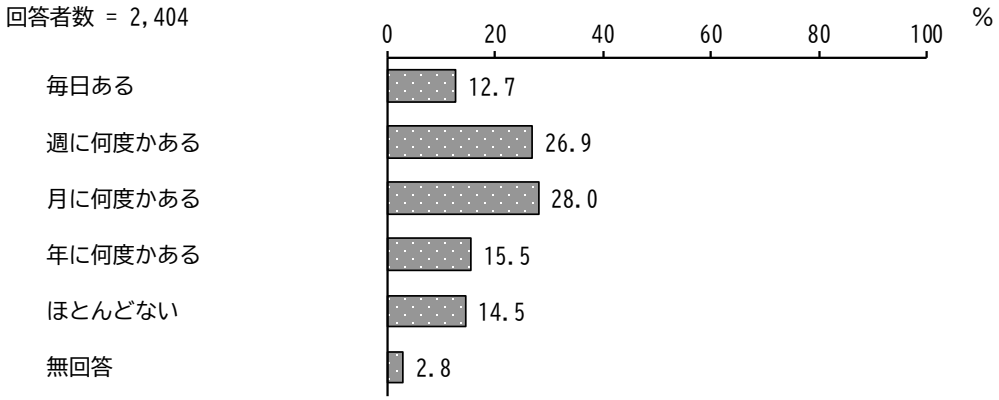
## （５）家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（複数選択可）

「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「そのような人はいない」の割合が 32.4%、「地域包括支援センター・市役所」の割合が 14.8%となっています。




## （６）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（１つを選択）

「月に何度かある」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が 26.9%、「年に何度かある」の割合が 15.5%となっています。



【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「ほとんどない」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 毎日ある | 週に何度かある | 月に何度かある | 年に何度かある | ほとんどない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 12.7 | 26.9 | 28.0 | 15.5 | 14.5 | 2.8 |
| インドア派　外交的 | 242 | 7.4 | 23.1 | 31.0 | 21.5 | 15.3 | 2.5 |
| インドア派　内向的 | 226 | 5.3 | 15.0 | 22.6 | 14.6 | 39.4 | 3.5 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 14.6 | 31.2 | 31.1 | 15.0 | 7.0 | 1.4 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 11.0 | 23.8 | 24.4 | 17.8 | 20.8 | 2.7 |

【幸福度別】

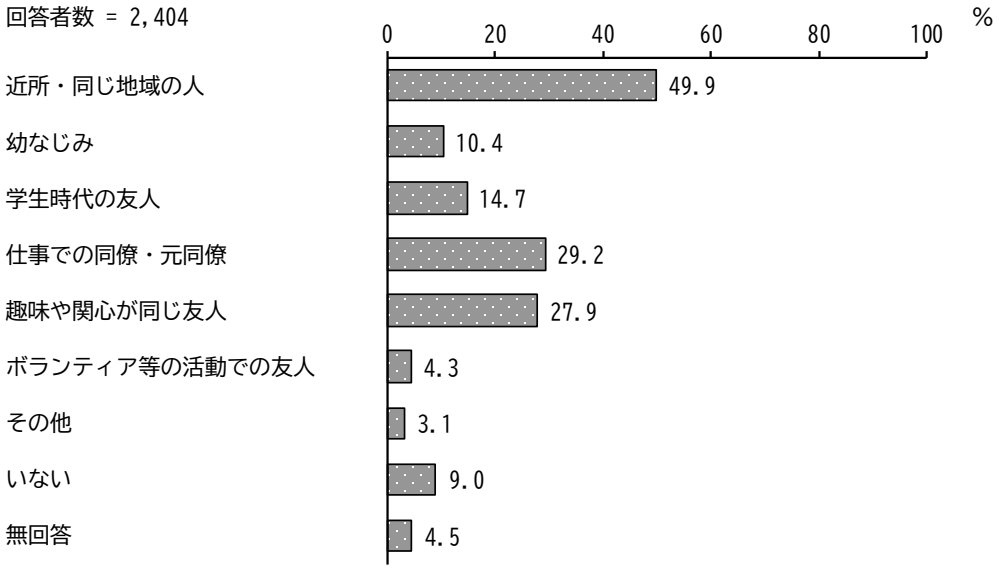
幸福度別にみると、０～３点と４～６点で「ほとんどない」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 毎日ある | 週に何度かある | 月に何度かある | 年に何度かある | ほとんどない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 12.7 | 26.9 | 28.0 | 15.5 | 14.5 | 2.8 |
| ０～３点 | 98 | 8.2 | 11.2 | 24.5 | 10.2 | 44.9 | 1.0 |
| ４～６点 | 764 | 8.2 | 23.7 | 27.9 | 19.1 | 20.0 | 1.3 |
| ７～１０点 | 1424 | 15.4 | 30.8 | 28.9 | 14.3 | 9.6 | 1.5 |

## （7）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（複数選択可）

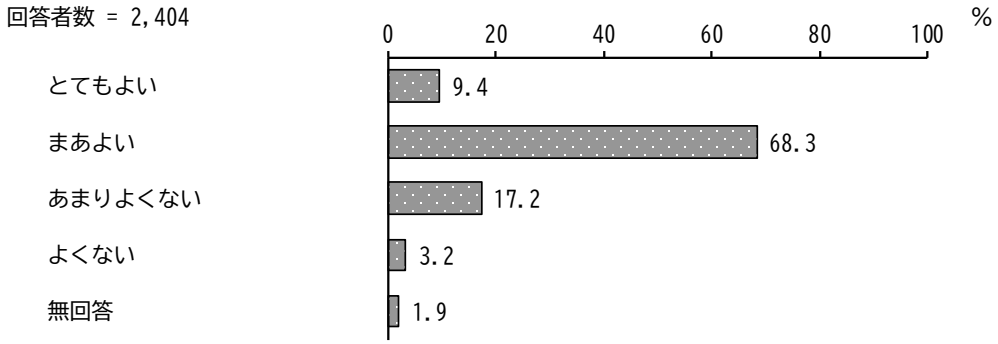
「近所・同じ地域の人」の割合が 49.9%と最も高く、次いで「仕事での同僚・元同僚」の割合が 29.2%、「趣味や関心が同じ友人」の割合が 27.9%となっています。



## 問７　健康について

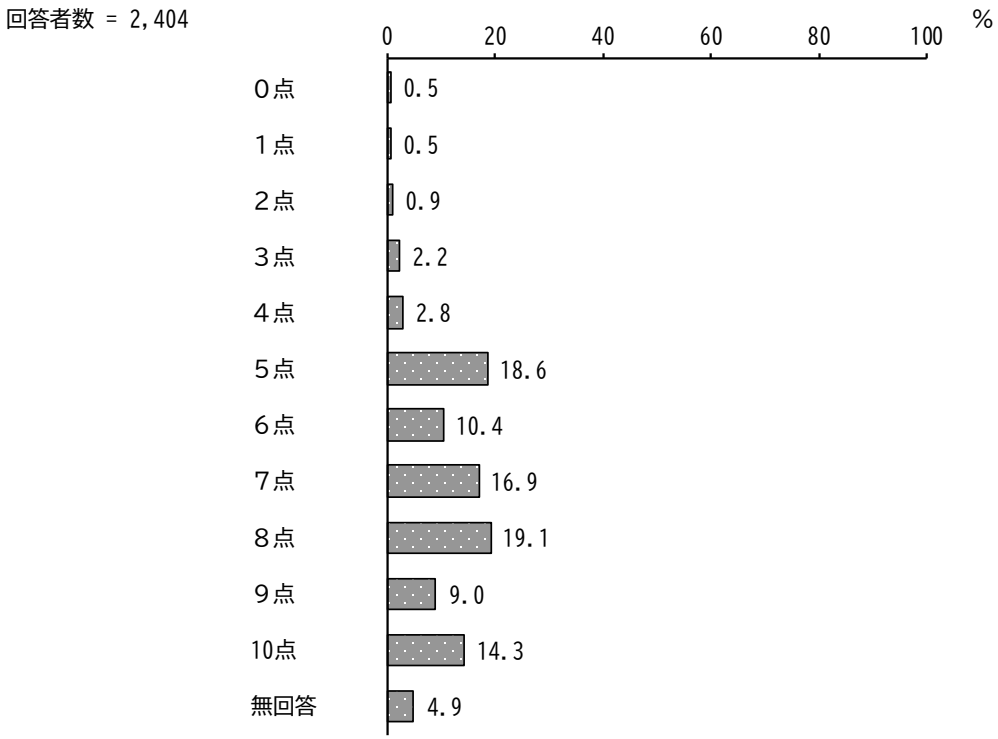
### （１）現在のあなたの健康状態はいかがですか（１つを選択）

「まあよい」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が 17.2%となっています。



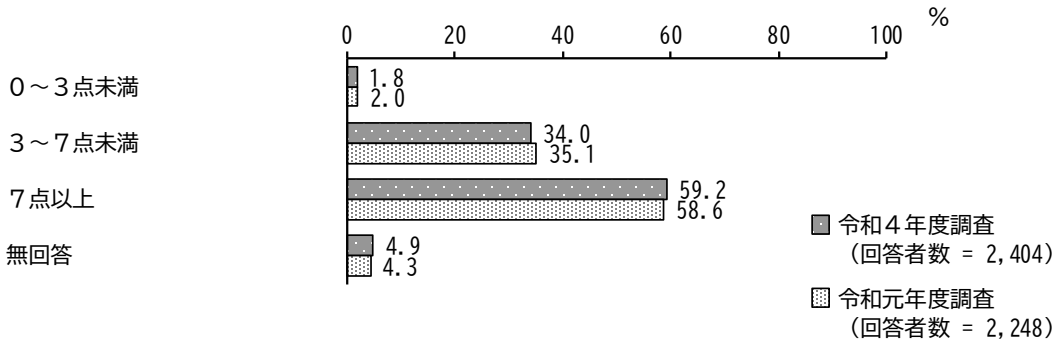

### （２）あなたは現在どの程度幸せですか。（当てはまる点数１つを選択）

「８点」の割合が 19.1%と最も高く、次いで「５点」の割合が 18.6%、「７点」の割合が 16.9%となっています。



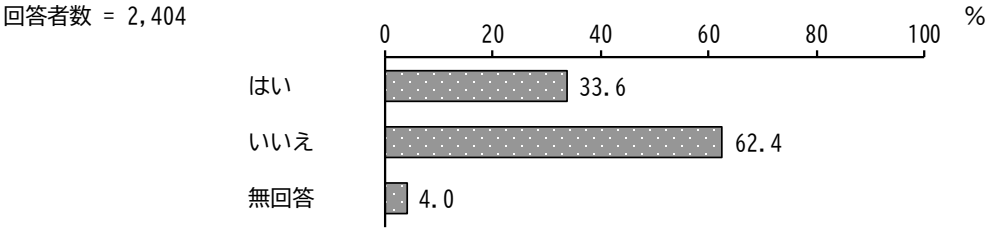
【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。




## （３）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（１つを選択）

「はい」の割合が 33.6%、「いいえ」の割合が 62.4%となっています。




【高齢者の外出タイプ別】

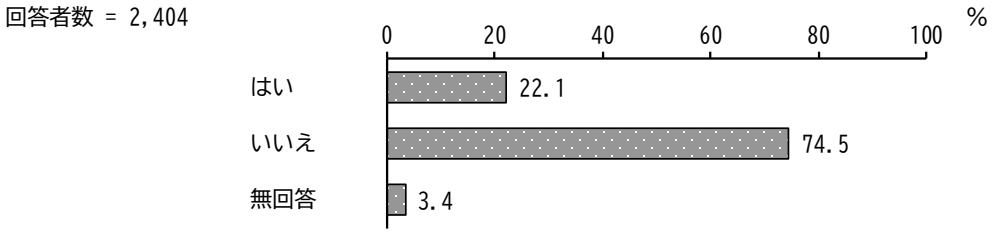
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「はい」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | はい | いいえ | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 33.6 | 62.4 | 4.0 |
| インドア派　外交的 | 242 | 38.0 | 59.1 | 2.9 |
| インドア派　内向的 | 226 | 52.7 | 44.2 | 3.1 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 29.4 | 68.1 | 2.5 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 34.5 | 61.2 | 4.3 |

## （４）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（１つを選択）

「はい」の割合が 22.1%、「いいえ」の割合が 74.5%となっています。




【高齢者の外出タイプ別】

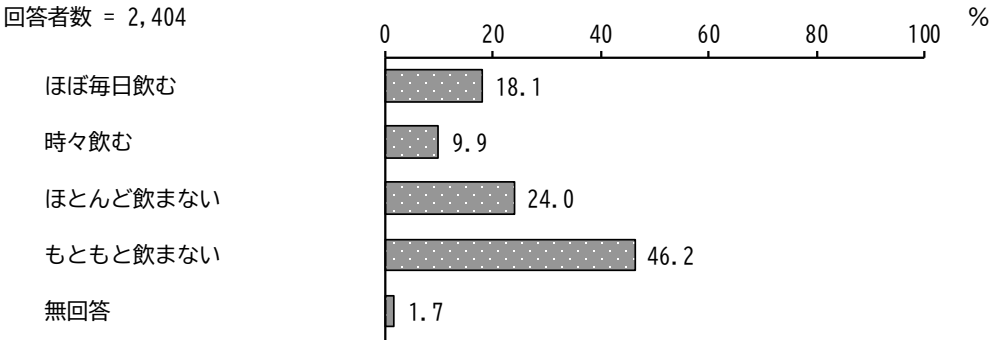
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「はい」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | はい | いいえ | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 22.1 | 74.5 | 3.4 |
| インドア派　外交的 | 242 | 24.8 | 71.9 | 3.3 |
| インドア派　内向的 | 226 | 39.8 | 56.2 | 4.0 |
| アウトドア派　外交的 | 1107 | 16.8 | 81.7 | 1.5 |
| アウトドア派　内向的 | 562 | 25.3 | 71.9 | 2.8 |

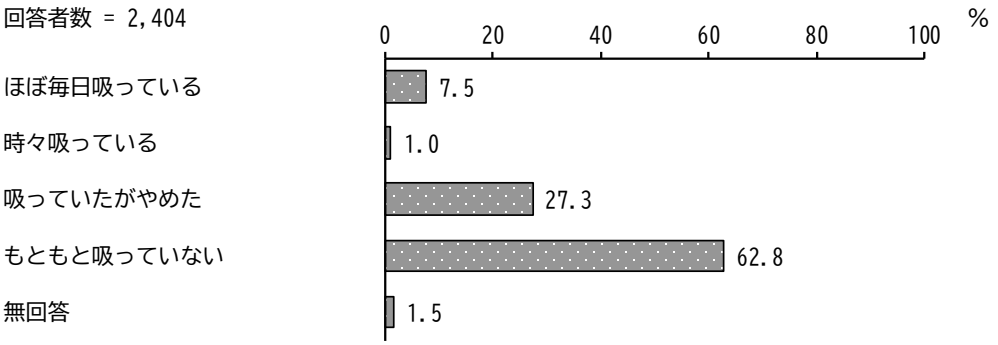
## （５）お酒は飲みますか（１つを選択）

「もともと飲まない」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が 24.0%、「ほぼ毎日飲む」の割合が 18.1%となっています。



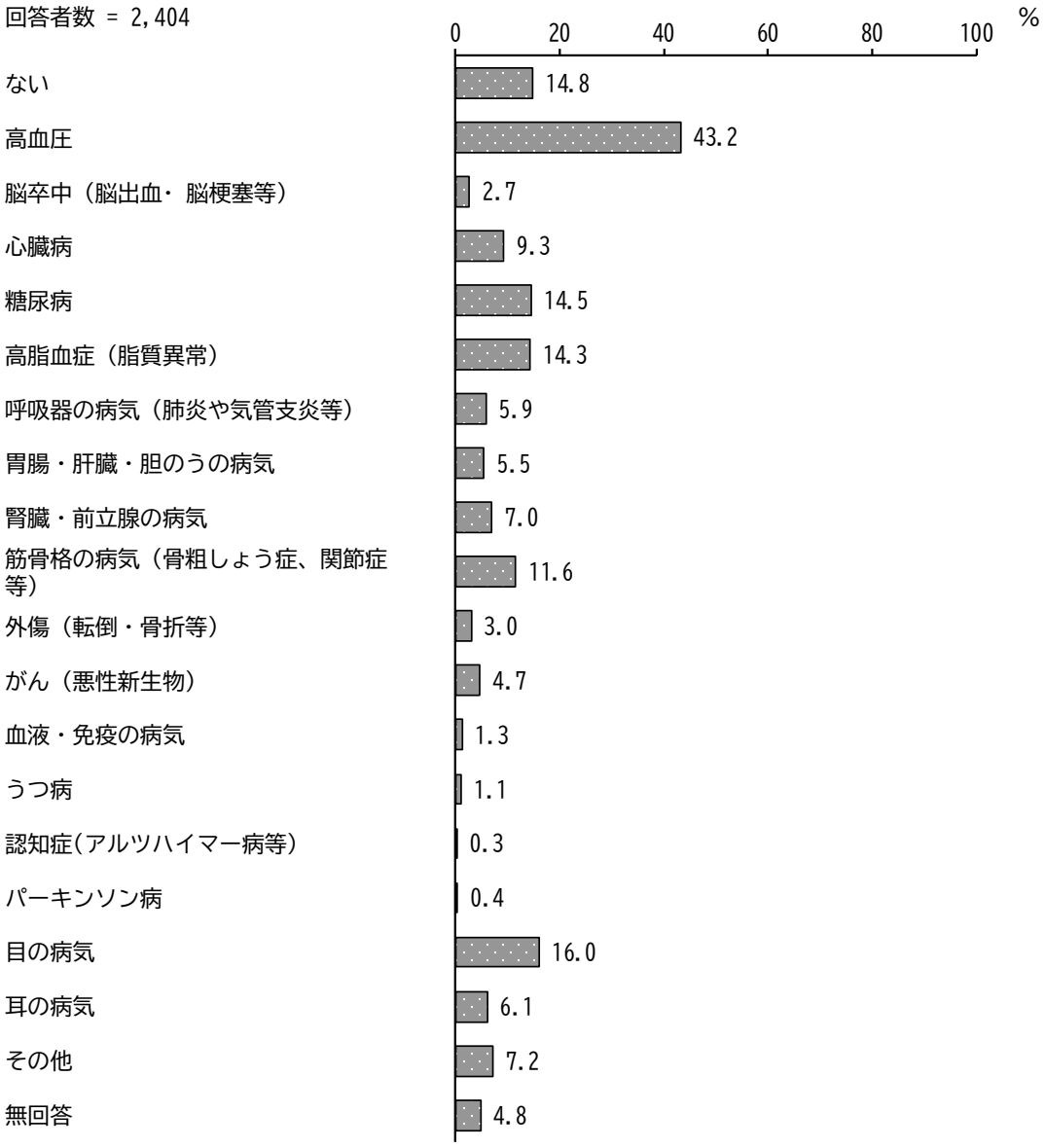
## （６）タバコは吸っていますか（１つを選択）

「もともと吸っていない」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 27.3%となっています。



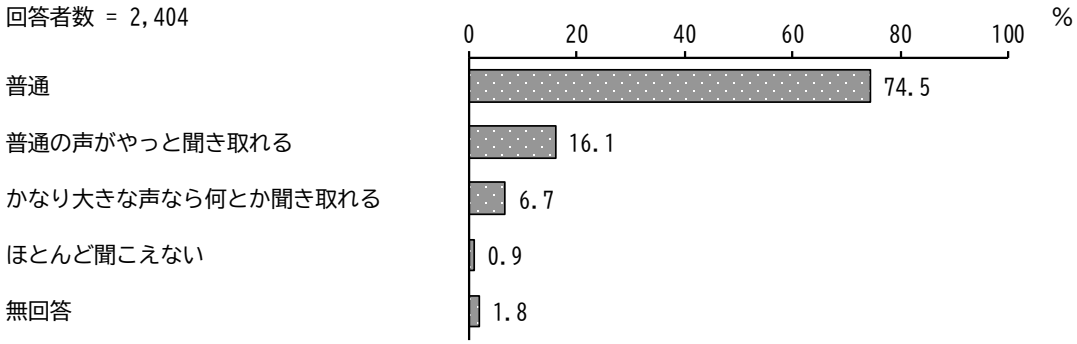

## （７）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（複数選択可）

「高血圧」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が 16.0%、「ない」の割合が 14.8%となっています。



## （８）現在のあなたの耳の聞こえの状態はいかがですか（１つを選択）

「普通」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「普通の声がやっと聞き取れる」の割合が 16.1%となっています。




【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

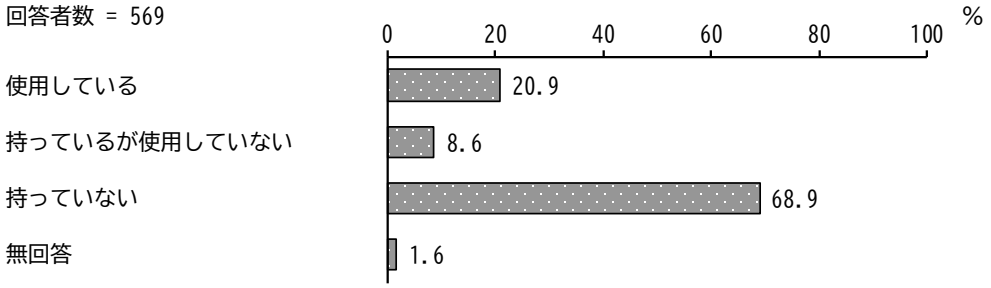
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 普通 | 普通の声がやっと聞き取れる | かなり大きな声なら何とか聞き取れる | ほとんど聞こえない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 74.5 | 16.1 | 6.7 | 0.9 | 1.8 |
| 本庁 | 941 | 75.7 | 15.8 | 6.4 | 0.9 | 1.3 |
| 嬉野 | 410 | 78.5 | 13.7 | 5.1 | 1.0 | 1.7 |
| 三雲 | 355 | 71.8 | 18.6 | 6.2 | 1.1 | 2.3 |
| 飯南 | 348 | 70.7 | 17.0 | 9.5 | 0.3 | 2.6 |
| 飯高 | 346 | 73.4 | 15.9 | 7.2 | 1.4 | 2.0 |

（9）は、（8）で「2．普通の声がやっと聞き取れる」「3．かなり大きな声なら何とか聞き取れる」「4．ほとんど聞こえない」と回答した方にお伺いします

（9）現在、補聴器を使用していますか（1つを選択）

「持っていない」の割合が68.9%と最も高く、次いで「使用している」の割合が20.9%となっています。




【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

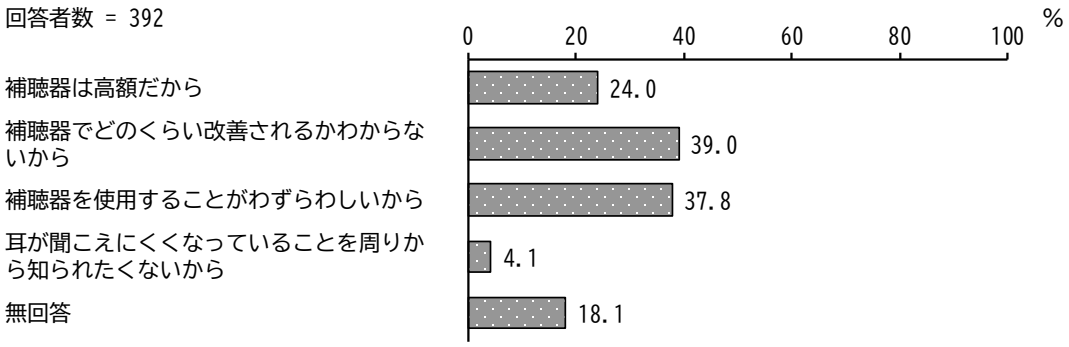
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 使用している | 持っているが使用していない | 持っていない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 569 | 20.9 | 8.6 | 68.9 | 1.6 |
| 本庁 | 217 | 18.0 | 10.6 | 70.5 | 0.9 |
| 嬉野 | 81 | 24.7 | 6.2 | 69.1 | － |
| 三雲 | 92 | 17.4 | 7.6 | 71.7 | 3.3 |
| 飯南 | 93 | 24.7 | 9.7 | 62.4 | 3.2 |
| 飯高 | 85 | 24.7 | 5.9 | 68.2 | 1.2 |

（10）は、（９）で「３．持っていない」と回答した方にお伺いします

（10）　補聴器を持っていない理由は何ですか（複数選択可）

「補聴器でどのくらい改善されるかわからないから」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「補聴器を使用することがわずらわしいから」の割合が 37.8%、「補聴器は高額だから」の割合が 24.0%となっています。




【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、三雲で「補聴器を使用することがわずらわしいから」の割合が、飯高で「補聴器でどのくらい改善されるかわからないから」の割合が、飯南で「補聴器は高額だから」の割合が高くなっています。

単位：%

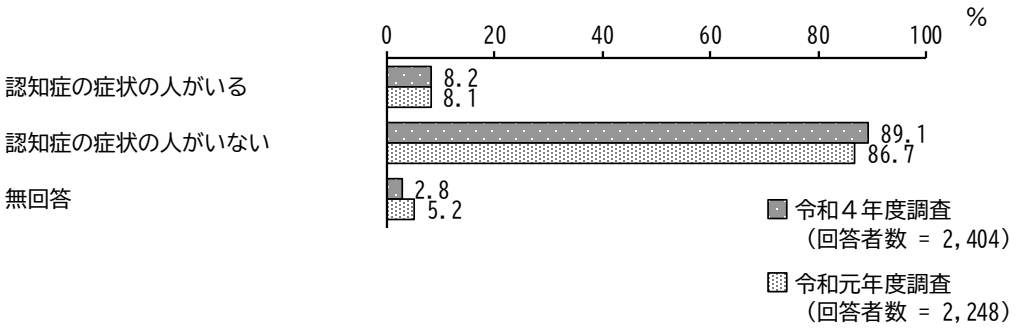
| 区分 | 回答者数（件） | 補聴器は高額だから | 補聴器でどのくらい改善されるかわからないから | 補聴器を使用することがわずらわしいから | 耳が聞こえにくくなっていることを周りから知られたくないから | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 392 | 24.0 | 39.0 | 37.8 | 4.1 | 18.1 |
| 本庁 | 153 | 26.1 | 34.6 | 41.8 | 5.2 | 16.3 |
| 嬉野 | 56 | 10.7 | 41.1 | 32.1 | 5.4 | 23.2 |
| 三雲 | 66 | 28.8 | 37.9 | 45.5 | 1.5 | 13.6 |
| 飯南 | 58 | 29.3 | 43.1 | 36.2 | 3.4 | 22.4 |
| 飯高 | 58 | 20.7 | 44.8 | 25.9 | 3.4 | 19.0 |

## 問８　認知症にかかる相談窓口の把握について

### （１）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（１つを選択）

「認知症の症状の人がいる」の割合が 8.2%、「認知症の症状の人がいない」の割合が 89.1%となっています。

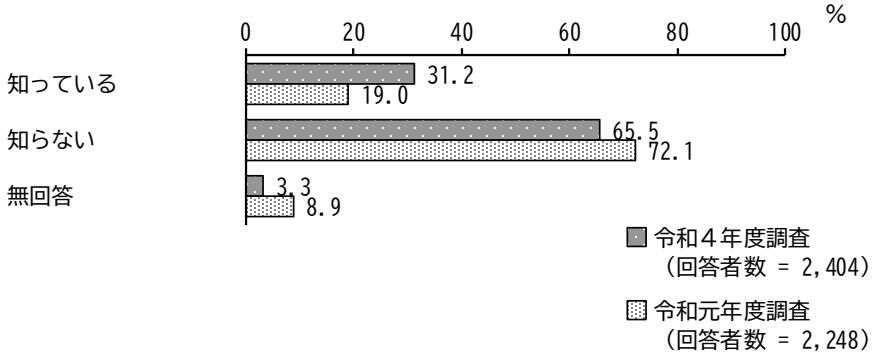
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。




### （２）認知症に関する相談窓口を知っていますか（１つを選択）

「知っている」の割合が 31.2%、「知らない」の割合が 65.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。




【本人または家族に認知症の症状の人がいるか別】

本人または家族に認知症の症状の人がいるか別にみると、認知症の症状の人がいるで「知っている」の割合が高くなっています。

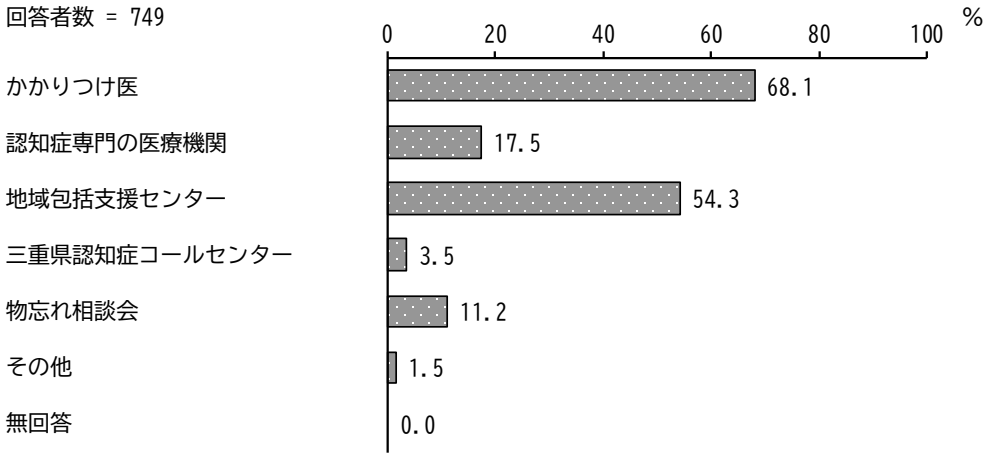
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 知っている | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 31.2 | 65.5 | 3.3 |
| 認知症の症状の人がいる | 196 | 53.6 | 43.9 | 2.6 |
| 認知症の症状の人がいない | 2141 | 29.8 | 69.0 | 1.3 |

（3）は、（2）で「1．はい」と回答された方にお伺いします

（3）どの相談窓口を知っていますか（複数選択可）

「かかりつけ医」の割合が68.1%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が54.3%、「認知症専門の医療機関」の割合が17.5%となっています。




【本人または家族に認知症の症状の人がいるか別】

本人または家族に認知症の症状の人がいるか別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | かかりつけ医 | 認知症専門の医療機関 | 地域包括支援センター | 三重県認知症コールセンター | 物忘れ相談会 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 749 | 68.1 | 17.5 | 54.3 | 3.5 | 11.2 | 1.5 | － |
| 認知症の症状の人がいる | 105 | 66.7 | 18.1 | 59.0 | 1.0 | 7.6 | 1.9 | － |
| 認知症の症状の人がいない | 637 | 68.1 | 17.3 | 53.7 | 3.9 | 11.6 | 1.4 | － |

【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、飯高と飯南で「かかりつけ医」の割合が、三雲で「認知症専門の医療機関」の割合が高くなっています。

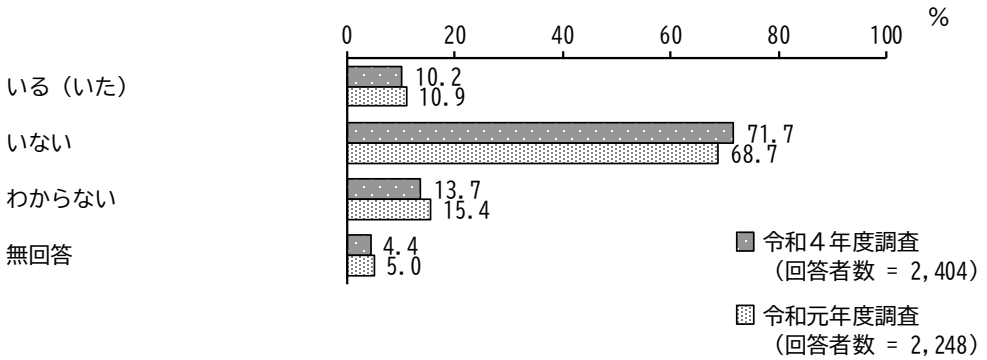
単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | かかりつけ医 | 認知症専門の医療機関 | 地域包括支援センター | 三重県認知症コールセンター | 物忘れ相談会 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 749 | 68.1 | 17.5 | 54.3 | 3.5 | 11.2 | 1.5 | － |
| 本庁 | 243 | 62.6 | 21.0 | 50.2 | 4.1 | 16.5 | 2.9 | － |
| 嬉野 | 141 | 71.6 | 19.9 | 53.9 | 5.0 | 8.5 | 1.4 | － |
| 三雲 | 103 | 55.3 | 23.3 | 56.3 | 5.8 | 5.8 | 1.9 | － |
| 飯南 | 113 | 74.3 | 8.8 | 57.5 | 0.9 | 12.4 | － | － |
| 飯高 | 148 | 77.7 | 12.2 | 58.1 | 1.4 | 8.1 | － | － |

## （４）あなたの家族や近所の方の中に、認知症のために行方不明になる（家に戻れない）方はみえますか（みえましたか）（１つを選択）

「いない」の割合が 71.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 13.7%、「いる（いた）」の割合が 10.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【本人または家族に認知症の症状の人がいるか別】

本人または家族に認知症の症状の人がいるか別にみると、認知症の症状の人がいるで「いる（いた）」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | いる（いた） | いない | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 10.2 | 71.7 | 13.7 | 4.4 |
| 認知症の症状の人がいる | 196 | 19.9 | 66.8 | 12.2 | 1.0 |
| 認知症の症状の人がいない | 2141 | 9.6 | 73.3 | 14.1 | 3.1 |

【圏域別】

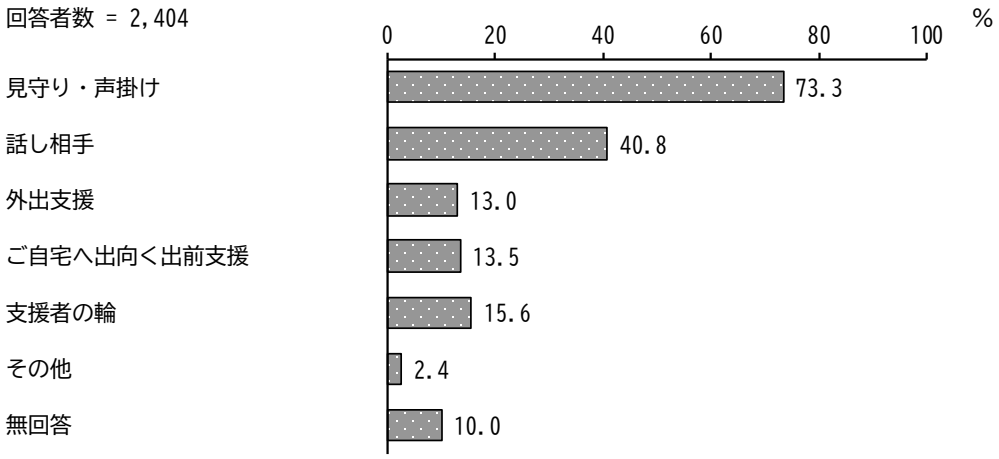
圏域別にみると、他に比べ、飯高で「いない」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | いる（いた） | いない | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 10.2 | 71.7 | 13.7 | 4.4 |
| 本庁 | 941 | 10.5 | 70.8 | 15.2 | 3.5 |
| 嬉野 | 410 | 12.2 | 69.3 | 14.9 | 3.7 |
| 三雲 | 355 | 10.7 | 67.0 | 17.5 | 4.8 |
| 飯南 | 348 | 10.6 | 74.4 | 9.5 | 5.5 |
| 飯高 | 346 | 6.4 | 78.9 | 8.7 | 6.1 |

## （５）認知症の人やその家族への支援について、どのような支え合いが必要だと思いますか（複数回答可）

「見守り・声掛け」の割合が 73.3%と最も高く、次いで「話し相手」の割合が 40.8%、「支援者の輪」の割合が 15.6%となっています。




【本人または家族に認知症の症状の人がいるか別】

本人または家族に認知症の症状の人がいるか別にみると、認知症の症状の人がいるで「話し相手」「ご自宅へ出向く出前支援」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 見守り・声掛け | 話し相手 | 外出支援 | ご自宅へ出向く出前支援 | 支援者の輪 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 73.3 | 40.8 | 13.0 | 13.5 | 15.6 | 2.4 | 10.0 |
| 認知症の症状の人がいる | 196 | 71.4 | 49.5 | 17.9 | 20.9 | 16.3 | 5.1 | 2.6 |
| 認知症の症状の人がいない | 2141 | 75.0 | 40.8 | 12.8 | 13.2 | 15.8 | 2.1 | 8.9 |

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

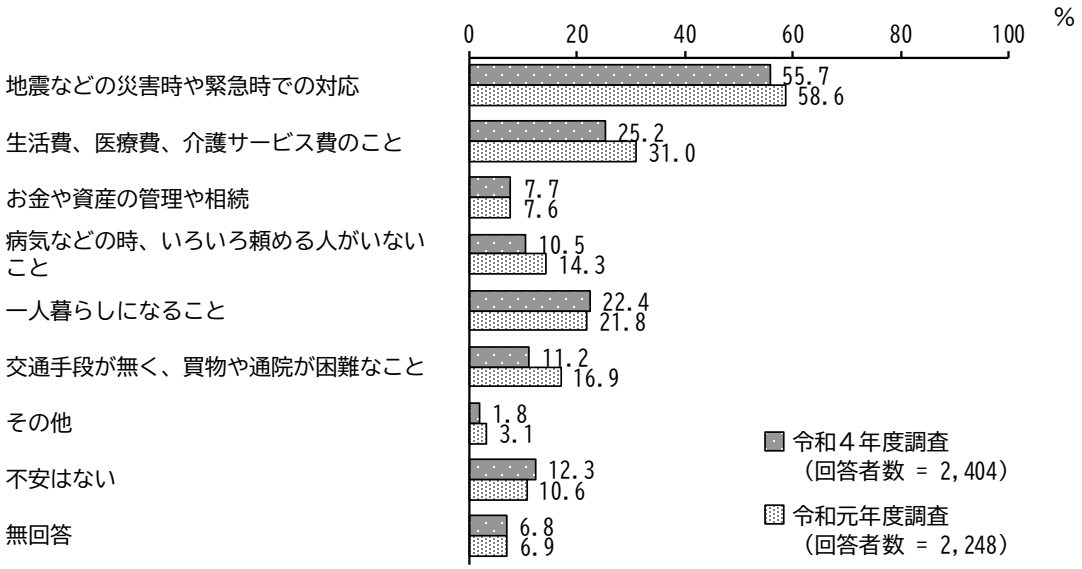
| 区分 | 回答者数（件） | 見守り・声掛け | 話し相手 | 外出支援 | ご自宅へ出向く出前支援 | 支援者の輪 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 73.3 | 40.8 | 13.0 | 13.5 | 15.6 | 2.4 | 10.0 |
| 本庁 | 941 | 75.8 | 40.4 | 13.9 | 14.6 | 17.0 | 1.9 | 7.5 |
| 嬉野 | 410 | 70.7 | 42.0 | 12.4 | 12.4 | 16.8 | 3.4 | 10.2 |
| 三雲 | 355 | 71.3 | 40.8 | 14.6 | 12.1 | 15.2 | 1.7 | 11.0 |
| 飯南 | 348 | 74.7 | 39.4 | 10.1 | 12.1 | 15.2 | 3.7 | 10.9 |
| 飯高 | 346 | 71.1 | 42.5 | 12.1 | 14.5 | 11.3 | 1.7 | 14.2 |

## 問９　日常生活の不安について

### （１）日常生活で不安を感じるのはどんなことですか（３つ以内）

「地震などの災害時や緊急時での対応」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「生活費、医療費、介護サービス費のこと」の割合が 25.2%、「一人暮らしになること」の割合が 22.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「生活費、医療費、介護サービス費のこと」「交通手段が無く、買物や通院が困難なこと」の割合が減少しています。




【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、三雲で「地震などの災害時や緊急時での対応」の割合が、飯南と飯高で「交通手段が無く、買物や通院が困難なこと」の割合が高くなっています。

単位：%

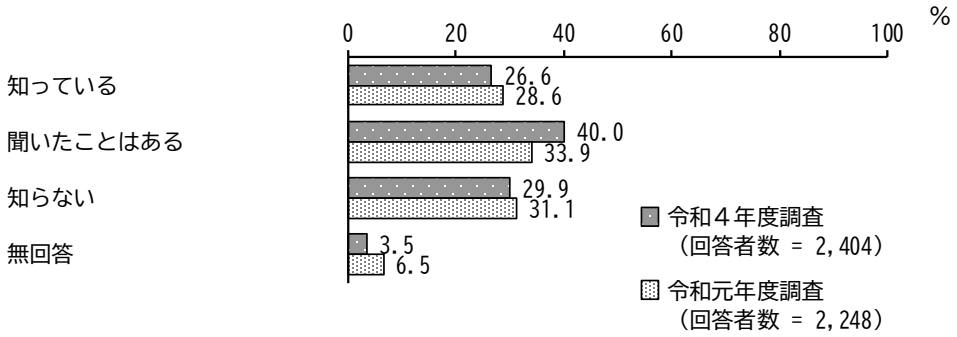
| 区分 | 回答者数（件） | 地震などの災害時や緊急時での対応 | 生活費、医療費、介護サービス費のこと | お金や資産の管理や相続 | 病気などの時、いろいろ頼める人がいないこと | 一人暮らしになること | 交通手段が無く、買物や通院が困難なこと | その他 | 不安はない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 55.7 | 25.2 | 7.7 | 10.5 | 22.4 | 11.2 | 1.8 | 12.3 | 6.8 |
| 本庁 | 941 | 56.5 | 27.6 | 9.1 | 11.1 | 20.7 | 10.1 | 2.2 | 11.5 | 5.7 |
| 嬉野 | 410 | 59.5 | 20.7 | 6.8 | 9.0 | 25.6 | 7.3 | 0.7 | 11.7 | 7.8 |
| 三雲 | 355 | 65.6 | 30.1 | 6.5 | 9.3 | 18.6 | 9.6 | 1.4 | 13.0 | 4.2 |
| 飯南 | 348 | 47.4 | 23.9 | 8.0 | 12.4 | 25.9 | 16.4 | 1.7 | 11.2 | 8.6 |
| 飯高 | 346 | 47.1 | 20.5 | 5.2 | 10.1 | 23.4 | 15.6 | 2.3 | 15.6 | 8.7 |

## （２）①「成年後見制度」、②「日常生活自立支援事業」をご存知ですか（１つを選択）

**①成年後見制度**

「聞いたことはある」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 29.9%、「知っている」の割合が 26.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「聞いたことはある」の割合が増加しています。




【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、三雲で「知らない」の割合が高くなっています。

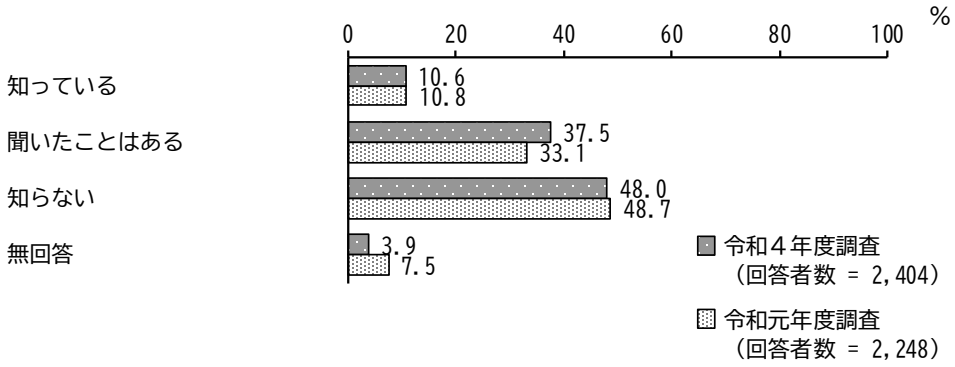
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 知っている | 聞いたことはある | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 26.6 | 40.0 | 29.9 | 3.5 |
| 本庁 | 941 | 28.8 | 39.0 | 29.0 | 3.2 |
| 嬉野 | 410 | 26.6 | 42.2 | 29.3 | 2.0 |
| 三雲 | 355 | 23.1 | 36.9 | 35.2 | 4.8 |
| 飯南 | 348 | 23.9 | 40.8 | 30.2 | 5.2 |
| 飯高 | 346 | 26.9 | 42.2 | 27.5 | 3.5 |

**②日常生活自立支援事業**

「知らない」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「聞いたことはある」の割合が 37.5%、「知っている」の割合が 10.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。




【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、飯高で「聞いたことはある」の割合が高くなっています。

単位：%

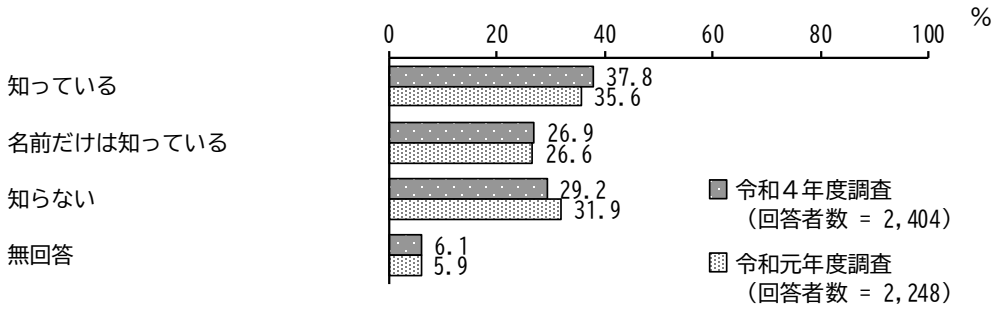
| 区分 | 回答者数（件） | 知っている | 聞いたことはある | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 10.6 | 37.5 | 48.0 | 3.9 |
| 本庁 | 941 | 10.1 | 36.7 | 50.4 | 2.9 |
| 嬉野 | 410 | 10.2 | 34.4 | 52.4 | 2.9 |
| 三雲 | 355 | 7.9 | 34.9 | 51.3 | 5.9 |
| 飯南 | 348 | 11.2 | 38.5 | 44.5 | 5.7 |
| 飯高 | 346 | 14.7 | 45.1 | 36.4 | 3.8 |

## 問 10　地域包括支援センターについて

### （1）地域包括支援センターを知っていますか（1つを選択）

「知っている」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 29.2%、「名前だけは知っている」の割合が 26.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。




【圏域別】

圏域別にみると、三雲以外の圏域では「知っている」の割合が最も高くなっています。一方、三雲では「知らない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 知っている | 名前だけは知っている | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 37.8 | 26.9 | 29.2 | 6.1 |
| 本庁 | 941 | 36.5 | 25.5 | 31.8 | 6.3 |
| 嬉野 | 410 | 38.0 | 26.8 | 32.2 | 2.9 |
| 三雲 | 355 | 29.6 | 25.4 | 37.7 | 7.3 |
| 飯南 | 348 | 42.0 | 28.7 | 22.1 | 7.2 |
| 飯高 | 346 | 45.7 | 30.1 | 17.1 | 7.2 |

【圏域（地域包括支援センター）別】

圏域（地域包括支援センター）別にみると、第一地域包括支援センター以外の圏域（地域包括支援センター）では「知っている」の割合が最も高くなっています。一方、第一地域包括支援センターでは「知らない」の割合が最も高くなっています。

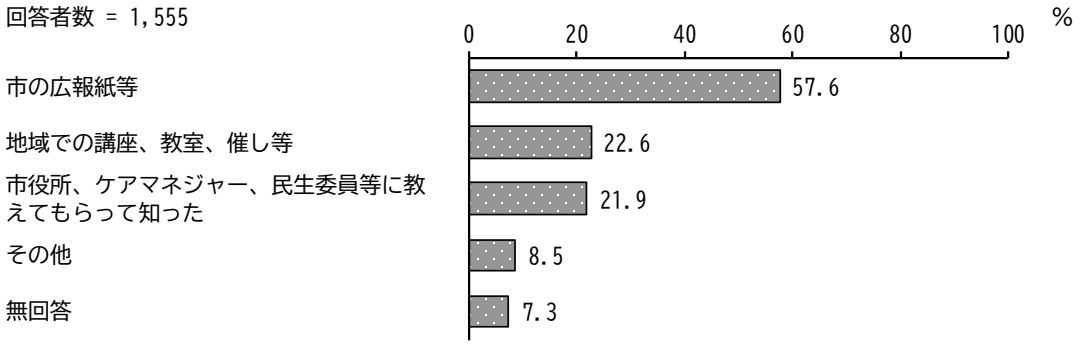
単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 知っている | 名前だけは知っている | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 37.8 | 26.9 | 29.2 | 6.1 |
| 第一地域包括支援センター | 274 | 29.6 | 26.6 | 37.6 | 6.2 |
| 第二地域包括支援センター | 828 | 34.5 | 26.1 | 34.2 | 5.2 |
| 第三地域包括支援センター | 694 | 43.8 | 29.4 | 19.6 | 7.2 |
| 第四地域包括支援センター | 312 | 40.4 | 25.6 | 25.6 | 8.3 |
| 第五地域包括支援センター | 292 | 38.0 | 24.3 | 33.9 | 3.8 |

（2）～（3）は、（1）で「1．知っている」「2．名前だけは知っている」と回答した方にお伺いします

（2）地域包括支援センターをどのようにして知りましたか（複数選択可）

「市の広報紙等」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「地域での講座、教室、催し等」の割合が 22.6%、「市役所、ケアマネジャー、民生委員等に教えてもらって知った」の割合が 21.9%となっています。




【圏域別】

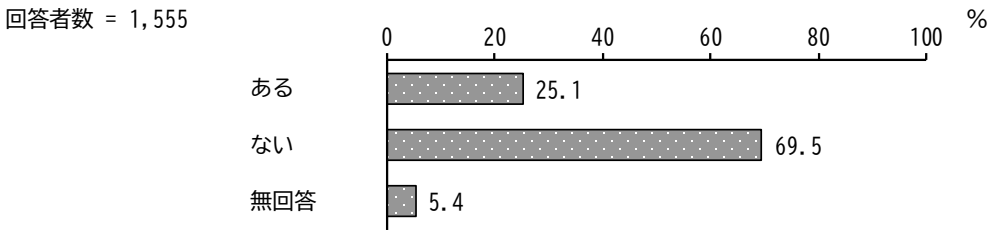
圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 市の広報紙等 | 地域での講座、教室、催し等 | 市役所、ケアマネジャー、民生委員等に教えてもらって知った | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 1555 | 57.6 | 22.6 | 21.9 | 8.5 | 7.3 |
| 本庁 | 583 | 55.7 | 22.6 | 24.7 | 10.5 | 5.8 |
| 嬉野 | 266 | 60.9 | 18.4 | 22.2 | 5.6 | 8.6 |
| 三雲 | 195 | 58.5 | 19.0 | 21.0 | 5.1 | 9.2 |
| 飯南 | 246 | 56.9 | 25.6 | 18.3 | 9.3 | 8.1 |
| 飯高 | 262 | 58.0 | 27.1 | 19.8 | 8.8 | 6.9 |

## （3）いままでに地域包括支援センターを利用したことがありますか（1つを選択）

「ある」の割合が 25.1%、「ない」の割合が 69.5%となっています。




【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | ある | ない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 1555 | 25.1 | 69.5 | 5.4 |
| 本庁 | 583 | 26.6 | 69.3 | 4.1 |
| 嬉野 | 266 | 22.9 | 70.3 | 6.8 |
| 三雲 | 195 | 22.6 | 72.3 | 5.1 |
| 飯南 | 246 | 24.8 | 67.9 | 7.3 |
| 飯高 | 262 | 26.3 | 68.3 | 5.3 |

（4）は、（1）で「1．知っている」と回答した方にお伺いします

（4）地域包括支援センターでは下記について相談や対応をおこなっていますが知っていますか
※①～⑨それぞれに回答してください

『③介護保険、その他保健福祉サービスに関すること』『⑨要支援認定者・事業対象者のケアプラン作成や相談』で「知っており利用したことがある」の割合が、『①介護予防や健康(うつ等心の健康を含む)に関すること』『②認知症に関すること』で「知っているが利用したことがない」の割合が、『⑤消費者被害に関すること』『⑦高齢者の虐待に関すること』で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 全体 | 知っており利用したことがある | 知っているが利用したことがない | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| ①介護予防や健康(うつ等心の健康を含む)に関すること | 909 | 10.7 | 53.8 | 13.9 | 21.7 |
| ②認知症に関すること | 909 | 8.8 | 55.7 | 13.2 | 22.3 |
| ③介護保険、その他保健福祉サービスに関すること | 909 | 17.1 | 50.2 | 10.9 | 21.9 |
| ④一人暮らし、高齢者世帯等の生活に関すること | 909 | 5.9 | 51.3 | 18.4 | 24.4 |
| ⑤消費者被害に関すること | 909 | 1.3 | 38.4 | 33.9 | 26.4 |
| ⑥成年後見制度に関すること | 909 | 1.4 | 46.6 | 25.7 | 26.2 |
| ⑦高齢者の虐待に関すること | 909 | 1.1 | 41.4 | 31.1 | 26.4 |
| ⑧介護家族や介護離職に関すること | 909 | 3.7 | 43.5 | 26.6 | 26.2 |
| ⑨要支援認定者・事業対象者のケアプラン作成や相談 | 909 | 17.8 | 46.3 | 13.5 | 22.3 |

### ①　介護予防や健康(うつ等心の健康を含む）に関すること

【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、飯高と嬉野で「知っているが利用したことがない」の割合が、三雲で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 知っており利用したことがある | 知っているが利用したことがない | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 909 | 10.7 | 53.8 | 13.9 | 21.7 |
| 本庁 | 343 | 13.1 | 51.0 | 18.7 | 17.2 |
| 嬉野 | 156 | 7.1 | 59.6 | 10.9 | 22.4 |
| 三雲 | 105 | 9.5 | 41.0 | 19.0 | 30.5 |
| 飯南 | 146 | 13.7 | 54.8 | 11.0 | 20.5 |
| 飯高 | 158 | 7.0 | 61.4 | 5.7 | 25.9 |

### ②　認知症に関すること

【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、飯高で「知っているが利用したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 知っており利用したことがある | 知っているが利用したことがない | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 909 | 8.8 | 55.7 | 13.2 | 22.3 |
| 本庁 | 343 | 9.0 | 54.5 | 18.1 | 18.4 |
| 嬉野 | 156 | 9.6 | 60.3 | 9.6 | 20.5 |
| 三雲 | 105 | 13.3 | 45.7 | 16.2 | 24.8 |
| 飯南 | 146 | 7.5 | 55.5 | 10.3 | 26.7 |
| 飯高 | 158 | 5.7 | 60.8 | 6.3 | 27.2 |

### ③　介護保険、その他保健福祉サービスに関すること

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 知っており利用したことがある | 知っているが利用したことがない | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 909 | 17.1 | 50.2 | 10.9 | 21.9 |
| 本庁 | 343 | 18.7 | 49.0 | 12.8 | 19.5 |
| 嬉野 | 156 | 16.7 | 52.6 | 10.3 | 20.5 |
| 三雲 | 105 | 19.0 | 43.8 | 14.3 | 22.9 |
| 飯南 | 146 | 12.3 | 52.7 | 10.3 | 24.7 |
| 飯高 | 158 | 17.1 | 52.5 | 5.1 | 25.3 |

### ④　一人暮らし、高齢者世帯等の生活に関すること

【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、三雲と本庁で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 知っており利用したことがある | 知っているが利用したことがない | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 909 | 5.9 | 51.3 | 18.4 | 24.4 |
| 本庁 | 343 | 5.8 | 49.0 | 23.6 | 21.6 |
| 嬉野 | 156 | 5.1 | 55.1 | 17.9 | 21.8 |
| 三雲 | 105 | 5.7 | 41.9 | 24.8 | 27.6 |
| 飯南 | 146 | 5.5 | 54.1 | 12.3 | 28.1 |
| 飯高 | 158 | 7.6 | 55.7 | 8.9 | 27.8 |

### ⑤ 消費者被害に関すること

【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、本庁と三雲で「知らない」の割合が、飯南で「知っているが利用したことがない」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 知っており利用したことがある | 知っているが利用したことがない | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 909 | 1.3 | 38.4 | 33.9 | 26.4 |
| 本庁 | 343 | 2.0 | 34.4 | 41.4 | 22.2 |
| 嬉野 | 156 | 0.6 | 41.0 | 32.1 | 26.3 |
| 三雲 | 105 | 1.0 | 31.4 | 39.0 | 28.6 |
| 飯南 | 146 | 0.7 | 45.2 | 24.7 | 29.5 |
| 飯高 | 158 | 1.3 | 43.0 | 24.1 | 31.6 |

### ⑥ 成年後見制度に関すること

【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、本庁で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 知っており利用したことがある | 知っているが利用したことがない | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 909 | 1.4 | 46.6 | 25.7 | 26.2 |
| 本庁 | 343 | 1.5 | 43.1 | 32.9 | 22.4 |
| 嬉野 | 156 | 2.6 | 50.0 | 22.4 | 25.0 |
| 三雲 | 105 | 1.0 | 41.0 | 28.6 | 29.5 |
| 飯南 | 146 | 0.7 | 50.7 | 18.5 | 30.1 |
| 飯高 | 158 | 1.3 | 51.3 | 17.7 | 29.7 |

### ⑦　高齢者の虐待に関すること

【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、本庁で「知らない」の割合が、飯高と飯南で「知っているが利用したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 知っており利用したことがある | 知っているが利用したことがない | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 909 | 1.1 | 41.4 | 31.1 | 26.4 |
| 本庁 | 343 | 2.0 | 37.3 | 37.9 | 22.7 |
| 嬉野 | 156 | 0.6 | 42.9 | 30.8 | 25.6 |
| 三雲 | 105 | 1.0 | 33.3 | 37.1 | 28.6 |
| 飯南 | 146 | － | 47.9 | 22.6 | 29.5 |
| 飯高 | 158 | 0.6 | 48.1 | 20.3 | 31.0 |

### ⑧　介護家族や介護離職に関すること

【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、飯南で「知っているが利用したことがない」の割合が、本庁と三雲で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 知っており利用したことがある | 知っているが利用したことがない | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 909 | 3.7 | 43.5 | 26.6 | 26.2 |
| 本庁 | 343 | 4.1 | 41.4 | 32.7 | 21.9 |
| 嬉野 | 156 | 3.2 | 42.9 | 27.6 | 26.3 |
| 三雲 | 105 | 6.7 | 34.3 | 32.4 | 26.7 |
| 飯南 | 146 | 1.4 | 53.4 | 15.8 | 29.5 |
| 飯高 | 158 | 3.8 | 45.6 | 18.4 | 32.3 |

### ⑨　要支援認定者・事業対象者のケアプラン作成や相談

【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、飯南で「知っているが利用したことがない」の割合が高くなっています。

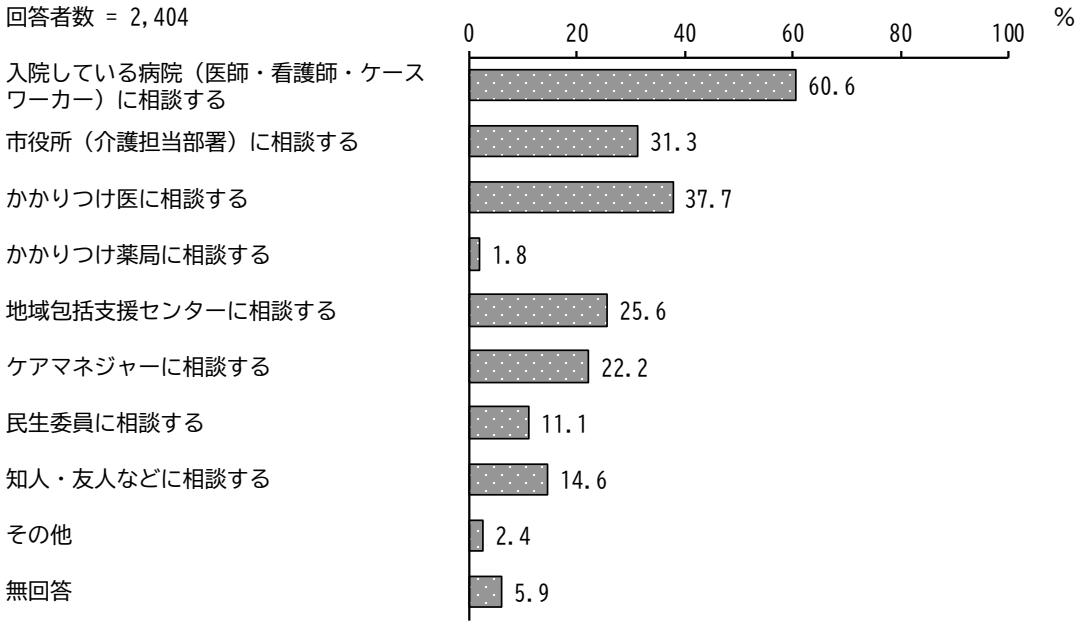
単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 知っており利用したことがある | 知っているが利用したことがない | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 909 | 17.8 | 46.3 | 13.5 | 22.3 |
| 本庁 | 343 | 21.0 | 44.3 | 16.9 | 17.8 |
| 嬉野 | 156 | 20.5 | 44.2 | 14.1 | 21.2 |
| 三雲 | 105 | 21.0 | 39.0 | 13.3 | 26.7 |
| 飯南 | 146 | 8.2 | 54.8 | 11.0 | 26.0 |
| 飯高 | 158 | 15.2 | 49.4 | 8.2 | 27.2 |

## 問 11　在宅医療と介護について

### （1）もし、あなたやご家族が退院後に、ただちに自宅での療養や介護が必要になったとき、どこに相談しますか（複数回答可）

「入院している病院（医師・看護師・ケースワーカー）に相談する」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「かかりつけ医に相談する」の割合が 37.7%、「市役所（介護担当部署）に相談する」の割合が 31.3%となっています。




【圏域別】

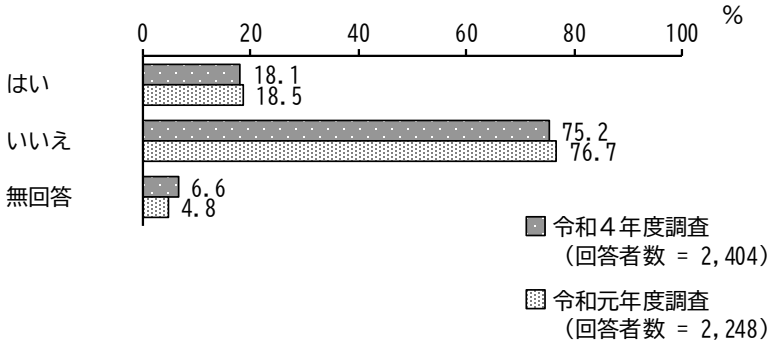
圏域別にみると、他に比べ、飯高で「地域包括支援センターに相談する」「民生委員に相談する」の割合が、嬉野で「かかりつけ医に相談する」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 入院している病院（医師・看護師・ケースワーカー）に相談する | 市役所（介護担当部署）に相談する | かかりつけ医に相談する | かかりつけ薬局に相談する | 地域包括支援センターに相談する | ケアマネジャーに相談する | 民生委員に相談する | 知人・友人などに相談する | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 60.6 | 31.3 | 37.7 | 1.8 | 25.6 | 22.2 | 11.1 | 14.6 | 2.4 | 5.9 |
| 本庁 | 941 | 64.6 | 36.8 | 34.8 | 2.1 | 22.2 | 22.0 | 8.5 | 17.0 | 2.6 | 5.3 |
| 嬉野 | 410 | 61.0 | 29.3 | 43.2 | 1.7 | 28.8 | 19.5 | 11.5 | 12.0 | 2.4 | 4.9 |
| 三雲 | 355 | 60.6 | 34.6 | 34.9 | 1.4 | 20.0 | 20.6 | 6.2 | 12.4 | 1.7 | 7.9 |
| 飯南 | 348 | 56.3 | 24.4 | 37.4 | 0.9 | 28.2 | 25.6 | 14.7 | 12.6 | 2.0 | 6.3 |
| 飯高 | 346 | 53.2 | 22.8 | 42.8 | 2.6 | 33.8 | 24.0 | 19.1 | 15.3 | 3.2 | 6.1 |

## （２）いままでに（１）の相談先に相談されたことがありますか（１つを選択）

「はい」の割合が 18.1%、「いいえ」の割合が 75.2%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。




【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

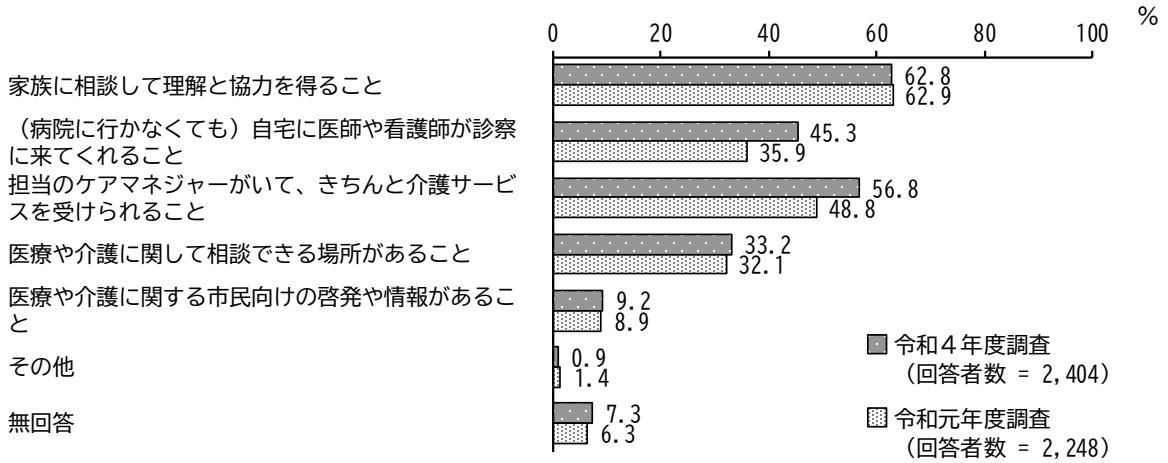
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | はい | いいえ | 無回答 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 18.1 | 75.2 | 6.6 |
| 本庁 | 941 | 17.5 | 76.0 | 6.5 |
| 嬉野 | 410 | 18.5 | 76.6 | 4.9 |
| 三雲 | 355 | 16.9 | 77.2 | 5.9 |
| 飯南 | 348 | 20.1 | 70.7 | 9.2 |
| 飯高 | 346 | 18.5 | 74.3 | 7.2 |

## （3）もし、あなたが自宅での療養や介護を希望されるとき、何が大切だと思いますか（複数回答可）

「家族に相談して理解と協力を得ること」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「担当のケアマネジャーがいて、きちんと介護サービスを受けられること」の割合が 56.8%、「（病院に行かなくても）自宅に医師や看護師が診察に来てくれること」の割合が 45.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「（病院に行かなくても）自宅に医師や看護師が診察に来てくれること」「担当のケアマネジャーがいて、きちんと介護サービスを受けられること」の割合が増加しています。




【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

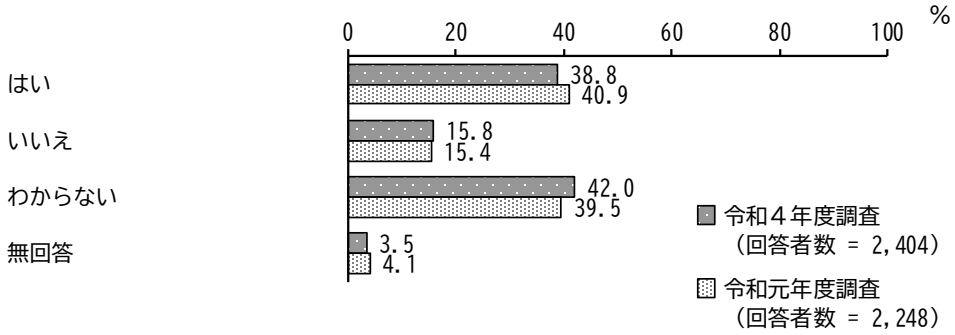
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 家族に相談して理解と協力を得ること | （病院に行かなくても）自宅に医師や看護師が診察に来てくれること | 担当のケアマネジャーがいて、きちんと介護サービスを受けられること | 医療や介護に関して相談できる場所があること | 医療や介護に関する市民向けの啓発や情報があること | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 62.8 | 45.3 | 56.8 | 33.2 | 9.2 | 0.9 | 7.3 |
| 本庁 | 941 | 62.7 | 46.9 | 60.1 | 36.6 | 10.5 | 1.1 | 6.6 |
| 嬉野 | 410 | 63.2 | 43.9 | 58.5 | 34.4 | 10.0 | 0.5 | 5.4 |
| 三雲 | 355 | 62.0 | 39.7 | 53.0 | 32.4 | 7.3 | 0.6 | 7.9 |
| 飯南 | 348 | 63.5 | 46.3 | 54.0 | 30.7 | 7.8 | 1.4 | 9.2 |
| 飯高 | 346 | 62.4 | 47.1 | 52.0 | 25.4 | 8.4 | 0.6 | 9.2 |

## （４）あなたは自宅で最期を迎えたいと思いますか（１つを選択）

「わからない」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「はい」の割合が 38.8%、「いいえ」の割合が 15.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。




【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

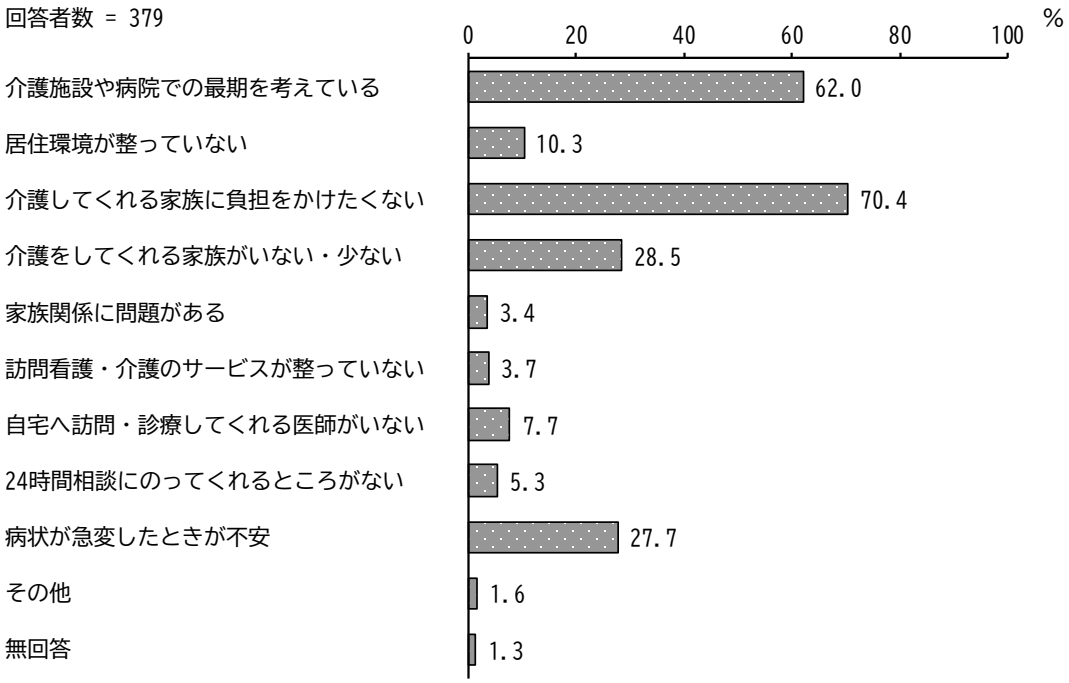
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | はい | いいえ | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 38.8 | 15.8 | 42.0 | 3.5 |
| 本庁 | 941 | 38.4 | 18.0 | 40.0 | 3.7 |
| 嬉野 | 410 | 34.9 | 17.8 | 44.9 | 2.4 |
| 三雲 | 355 | 36.6 | 16.3 | 43.4 | 3.7 |
| 飯南 | 348 | 43.1 | 10.9 | 41.7 | 4.3 |
| 飯高 | 346 | 42.8 | 11.8 | 42.5 | 2.9 |

（５）は、（４）で「２．いいえ」と回答した方にお伺いします

（５）その理由は何ですか（複数回答可）

「介護してくれる家族に負担をかけたくない」の割合が 70.4%と最も高く、次いで「介護施設や病院での最期を考えている」の割合が 62.0%、「介護をしてくれる家族がいない・少ない」の割合が 28.5%となっています。




【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、嬉野で「介護施設や病院での最期を考えている」の割合が、飯高で「居住環境が整っていない」の割合が高くなっています。

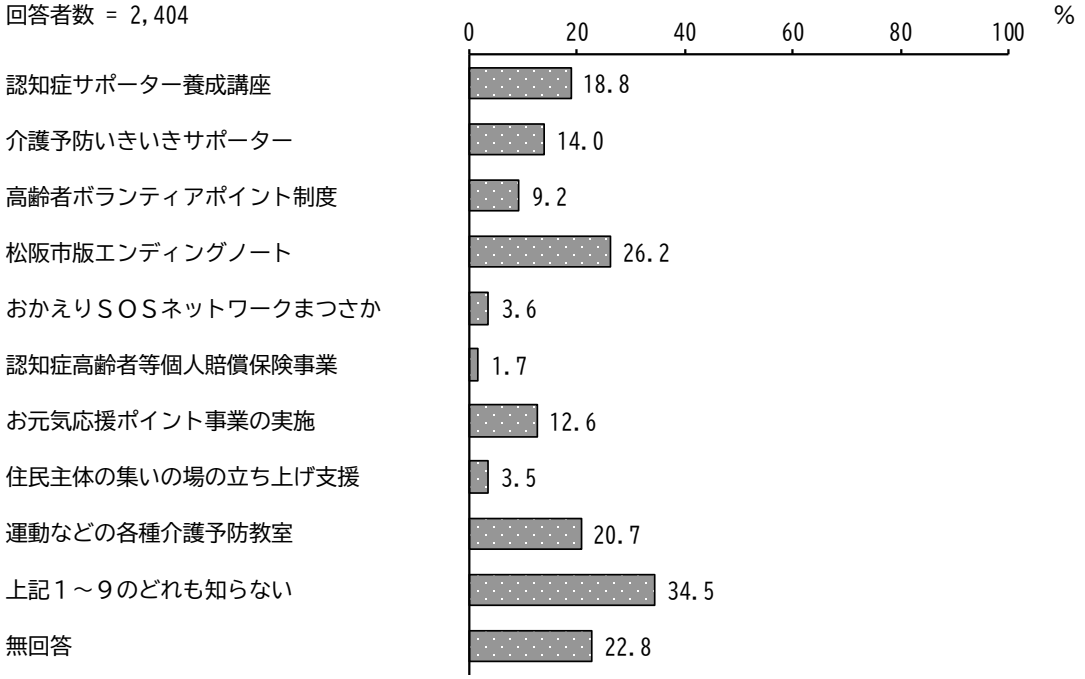
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 介護施設や病院での最期を考えている | 居住環境が整っていない | 介護してくれる家族に負担をかけたくない | 介護をしてくれる家族がいない・少ない | 家族関係に問題がある | 訪問看護・介護のサービスが整っていない | 自宅へ訪問・診療してくれる医師がいない | 24時間相談にのってくれるところがない | 病状が急変したときが不安 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 379 | 62.0 | 10.3 | 70.4 | 28.5 | 3.4 | 3.7 | 7.7 | 5.3 | 27.7 | 1.6 | 1.3 |
| 本庁 | 169 | 59.8 | 10.1 | 67.5 | 30.2 | 2.4 | 4.1 | 5.9 | 4.1 | 27.8 | 1.8 | 0.6 |
| 嬉野 | 73 | 75.3 | 12.3 | 75.3 | 30.1 | 2.7 | 4.1 | 11.0 | 6.8 | 26.0 | － | － |
| 三雲 | 58 | 62.1 | 1.7 | 74.1 | 29.3 | 8.6 | 3.4 | 10.3 | 6.9 | 24.1 | 1.7 | 1.7 |
| 飯南 | 38 | 52.6 | 7.9 | 65.8 | 26.3 | 2.6 | 2.6 | 10.5 | 2.6 | 31.6 | － | 7.9 |
| 飯高 | 41 | 56.1 | 22.0 | 73.2 | 19.5 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | 7.3 | 31.7 | 4.9 | － |

## 問 12　松阪市の介護予防や認知症支援の取組みについて

（１）松阪市では、地域包括支援センターとともに次の取組みに力を入れています
ご存知のものに○をしてください（複数選択可）

「上記１～９のどれも知らない」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「松阪市版エンディングノート」の割合が 26.2%、「運動などの各種介護予防教室」の割合が 20.7%となっています。




【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、飯高で「運動などの各種介護予防教室」「お元気応援ポイント事業の実施」の割合が、三雲で「上記１～９のどれも知らない」の割合が高くなっています。

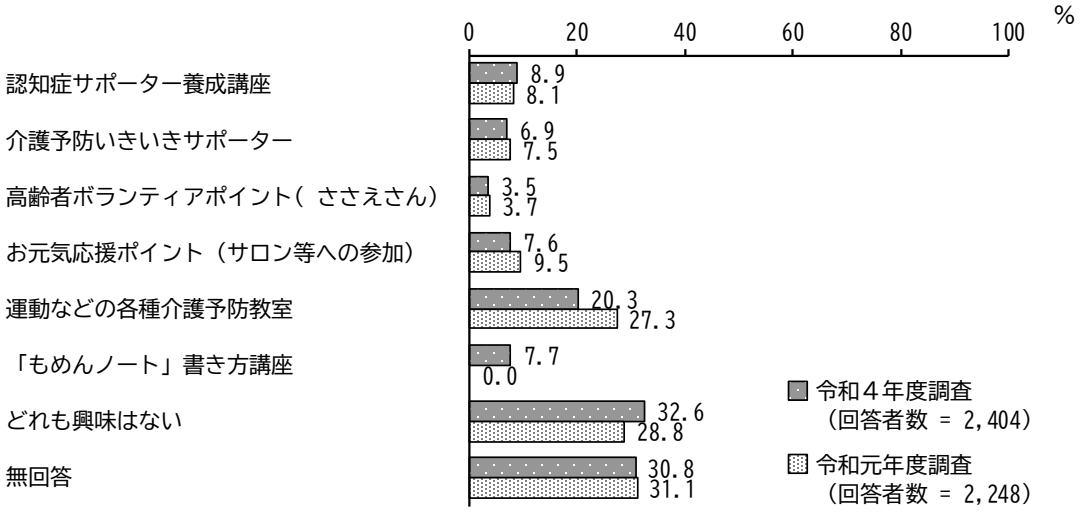
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 認知症サポーター養成講座 | 介護予防いきいきサポーター | 高齢者ボランティアポイント制度 | 松阪市版エンディングノート | おかえりＳＯＳネットワークまつさか | 認知症高齢者等個人賠償保険事業 | お元気応援ポイント事業の実施 | 住民主体の集いの場の立ち上げ支援 | 運動などの各種介護予防教室 | 上記1～9のどれも知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 18.8 | 14.0 | 9.2 | 26.2 | 3.6 | 1.7 | 12.6 | 3.5 | 20.7 | 34.5 | 22.8 |
| 本庁 | 941 | 18.1 | 12.3 | 8.8 | 30.9 | 4.3 | 1.8 | 12.0 | 3.6 | 18.7 | 37.0 | 19.7 |
| 嬉野 | 410 | 19.3 | 14.1 | 11.2 | 22.0 | 3.9 | 1.7 | 10.5 | 2.4 | 18.8 | 37.6 | 20.5 |
| 三雲 | 355 | 13.8 | 9.9 | 6.5 | 20.6 | 3.7 | 1.4 | 5.6 | 2.0 | 13.8 | 41.4 | 26.2 |
| 飯南 | 348 | 22.4 | 19.0 | 10.6 | 24.1 | 3.4 | 2.0 | 17.5 | 6.9 | 27.3 | 29.3 | 25.6 |
| 飯高 | 346 | 22.0 | 17.6 | 9.5 | 26.3 | 1.7 | 1.7 | 19.4 | 2.6 | 28.6 | 22.5 | 27.5 |

## （２）あなたが受けてみたい、やってみたいと思うものはありますか（複数選択可）

「どれも興味はない」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「運動などの各種介護予防教室」の割合が 20.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「運動などの各種介護予防教室」の割合が減少しています。




【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 認知症サポーター養成講座 | 介護予防いきいきサポーター | 高齢者ボランティアポイント（ささえさん） | お元気応援ポイント（サロン等への参加） | 運動などの各種介護予防教室 | 「もめんノート」書き方講座 | どれも興味はない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 2404 | 8.9 | 6.9 | 3.5 | 7.6 | 20.3 | 7.7 | 32.6 | 30.8 |
| 本庁 | 941 | 8.7 | 7.5 | 3.9 | 7.5 | 21.7 | 9.2 | 33.9 | 27.1 |
| 嬉野 | 410 | 8.8 | 6.6 | 2.9 | 7.3 | 20.2 | 8.3 | 34.1 | 28.0 |
| 三雲 | 355 | 10.1 | 5.4 | 3.9 | 6.5 | 23.4 | 7.3 | 33.2 | 30.7 |
| 飯南 | 348 | 8.0 | 5.7 | 3.2 | 9.8 | 16.7 | 3.7 | 33.6 | 33.3 |
| 飯高 | 346 | 8.7 | 8.1 | 2.9 | 7.2 | 17.1 | 7.5 | 26.0 | 41.9 |

## （3）次のことについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください

**①介護保険や高齢者福祉サービスについて**

- 現在は知識がないけれど、今後必要になってくるのかなぁという位です。
- 内容が理解できていない。
- 主人がデイでお世話になっているので、助かります。デイに行っている間だけでも、私の通院などに行く事ができます。
- 介護保険料の見直し(減額)
- 現在福祉サービスを受けているが、これからますますいろんな面で沢山援助を受ける事になるのではないかと思う。この様な状態になる前に、保健施設の入所をする事になると思うが、介護保険料もだんだ高くなり入所したくても入れない場合が出て来るのではないかと思う。

**②独居や高齢者のみの世帯が増えるなか、虚弱な高齢者のために地域でできることについて**

- 声を掛け合う。
- １人暮らしや足が不自由な人、認知症の人が近所にいる時は、皆の見守りがないといけない。何か事件があっては遅いし、後は災害時に声かけができる。
- 声かけや見守り体制が必要
- 毎月 2 回ですが、地域でラジオ体そうをしてもらっています。参加していますが最近は腰痛のため、欠席ですが、治ったら、また参加したいと
- 民生委員充実する。

**③自らが希望する医療・介護を受けるための延命治療や在宅医療の考え方について**

- 延命治療はいらない、と考えている。
- 延命治療は不要。
- 自宅に応診してくれる医師が多くいてほしい。近くに病院があればありがたいが、家から遠い。
- 父母が在宅医療により自宅で亡くなったので良かったと思っている。延命治療はしてほしくない
- 延命治療はしたくないと考える

**④その他のご意見があれば、ご自由にお書きください**

- これから除々に勉強してゆきたい。
- 今回の記入は本人ではできない為家族が記していますので家族が知っていることも記入した所も有ります特に問 12.1.11 等ほとんど無理です。
- 市役所の窓口(相談)への連絡方法等を周知して欲しい
- 80 才位までは元気でいたい。趣味を持ちたい。
- 市役所内で何か困った時に SOS の電話した時にスムーズに対応して頂きたいと思います。

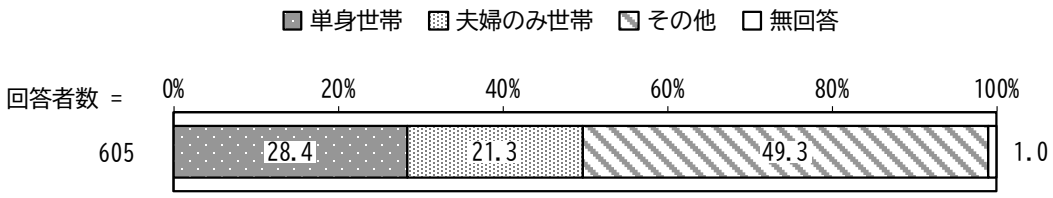
# 2　在宅介護実態調査に関する調査

## 1　基本調査項目（A票）

### （1）世帯類型

「その他」の割合が最も高く 49.3%となっています。次いで、「単身世帯（28.4%）」、「夫婦のみ世帯（21.3%）」となっています。

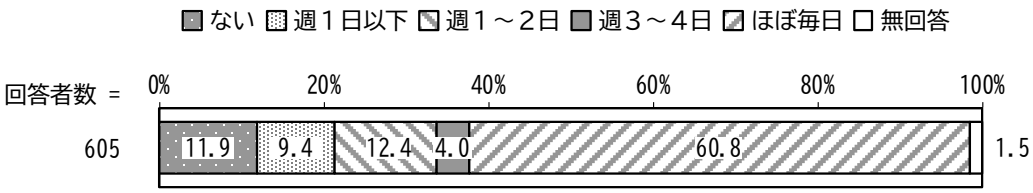
図表 1-1　世帯類型（単数回答）




### （2）家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く 60.8%となっています。次いで、「週 1～2 日（12.4%）」、「ない（11.9%）」となっています。

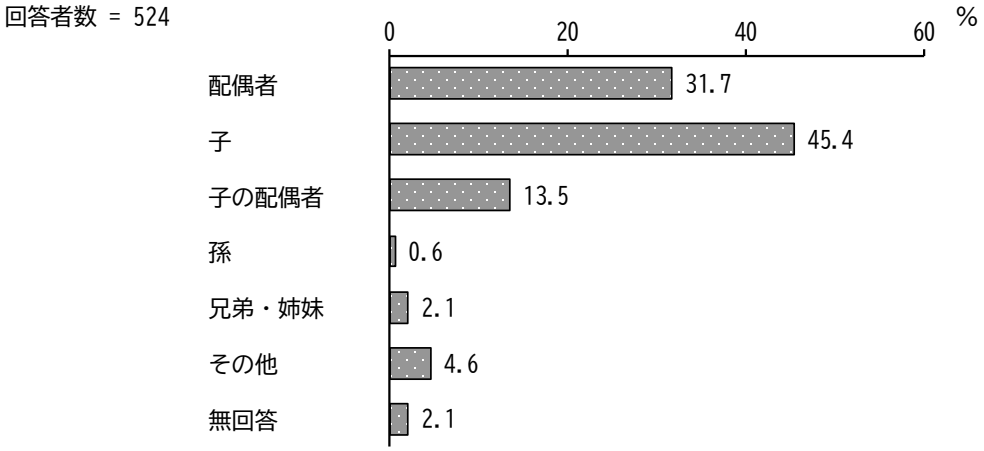
図表 1-2　家族等による介護の頻度（単数回答）



## （3）主な介護者の本人との関係

「子」の割合が最も高く 45.4%となっています。次いで、「配偶者（31.7%）」、「子の配偶者（13.5%）」となっています。

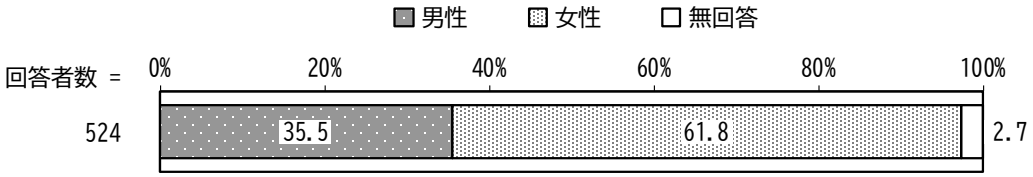
図表 1-3　主な介護者の本人との関係（単数回答）




## （4）主な介護者の性別

「女性」の割合が 61.8%となっています。次いで、「男性（35.5%）」となっています。

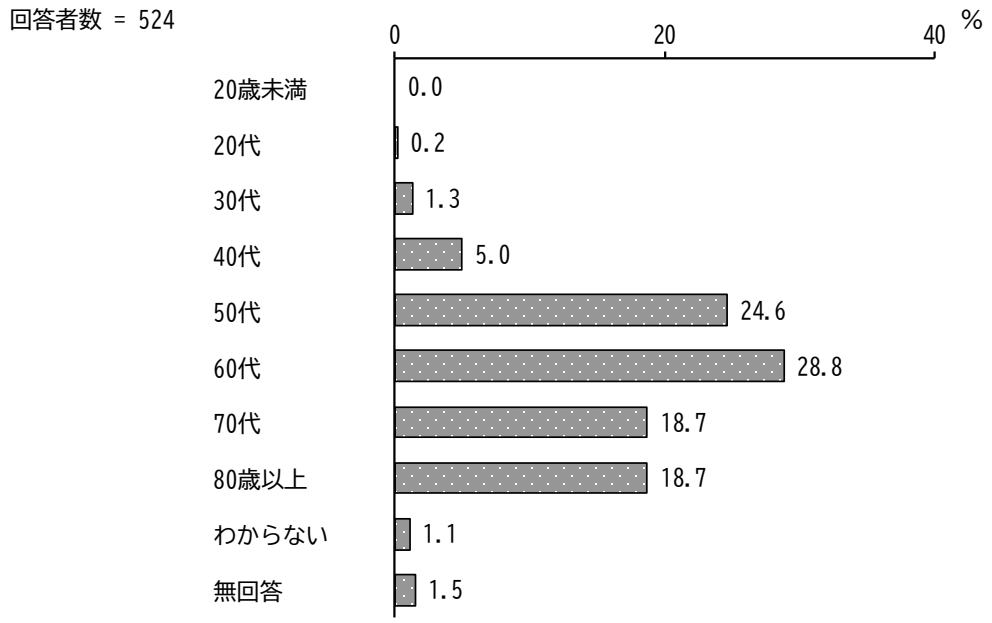
図表 1-4　主な介護者の性別（単数回答）



## （５）主な介護者の年齢

「60 代」の割合が最も高く 28.8%となっています。次いで、「50 代（24.6%）」、「70 代（18.7%）」、「80 歳以上（18.7%）」となっています。50 代以上が 90%を占めています。

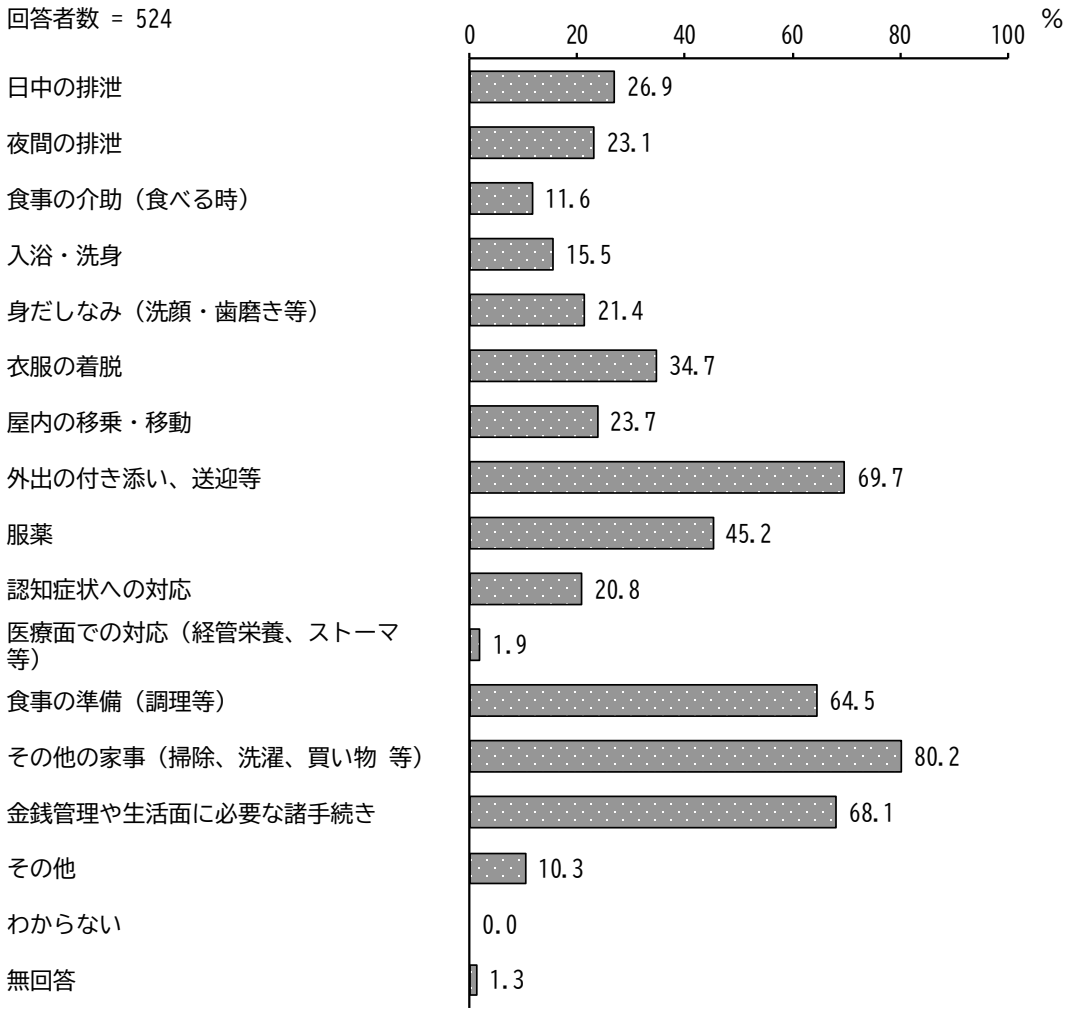
図表 1-5　主な介護者の年齢（単数回答）



## （6）主な介護者が行っている介護

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 80.2%となっています。次いで、「外出の付き添い、送迎等（69.7%）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（68.1%）」となっています。

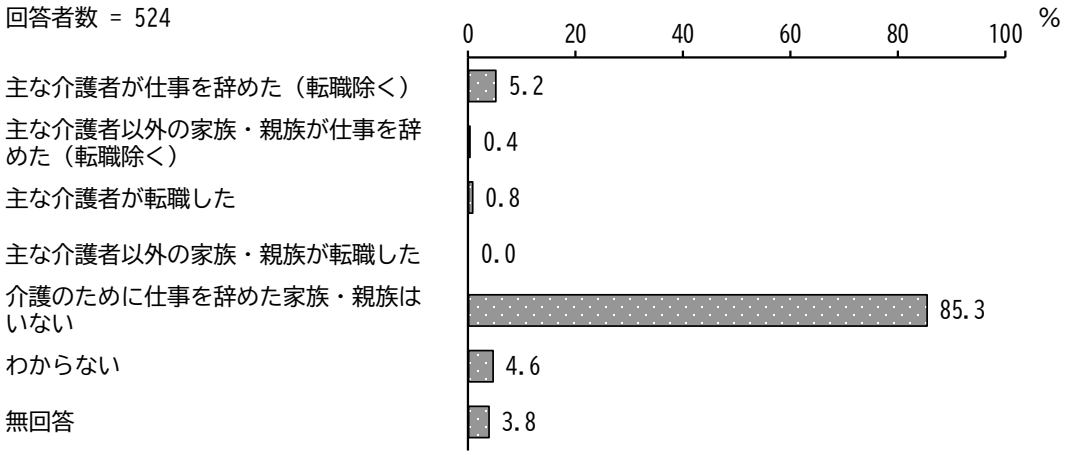
図表 1-6　主な介護者が行っている介護（複数回答）



## （7）介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 85.3%となっています。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）(5.2%)」、「わからない（4.6%)」となっています。

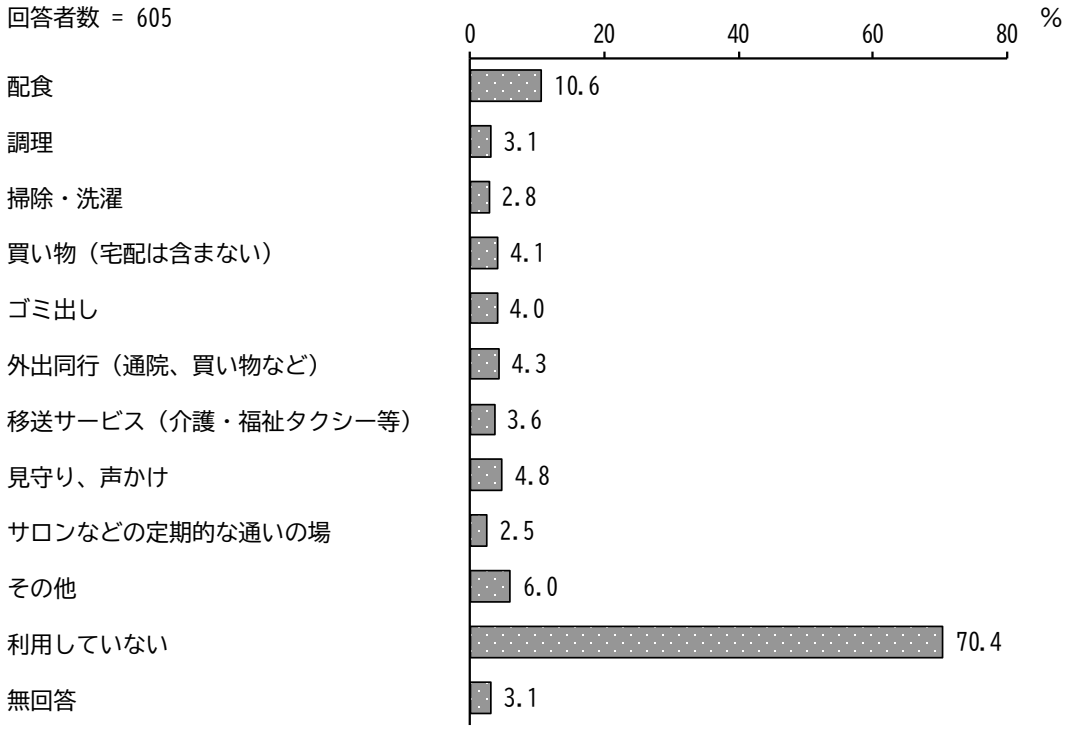
図表 1-7　介護のための離職の有無（複数回答）



## （８）保険外の支援・サービスの利用状況

「利用していない」の割合が最も高く 70.4%となっています。次いで、「配食（10.6%）」、「その他（6.0%）」となっています。

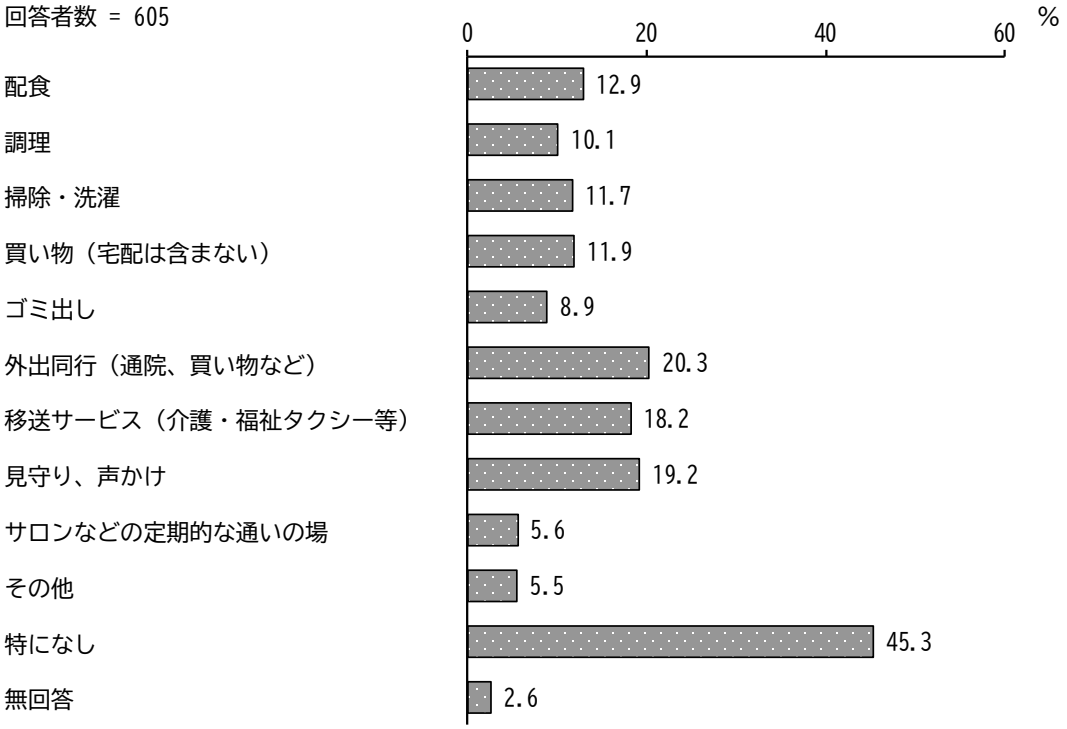
図表 1-8　保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



## （9）在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

「特になし」の割合が最も高く 45.3%となっています。次いで、「外出同行（通院、買い物など）（20.3%）」、「見守り、声かけ（19.2%）」となっています。

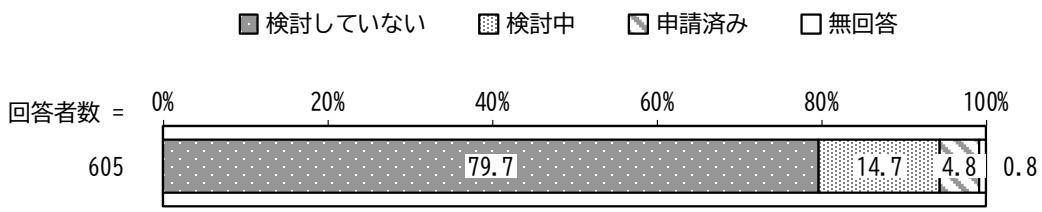
図表 1-9　在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）




## （10）施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 79.7%となっています。次いで、「検討中（14.7%）」、「申請済み（4.8%）」となっています。

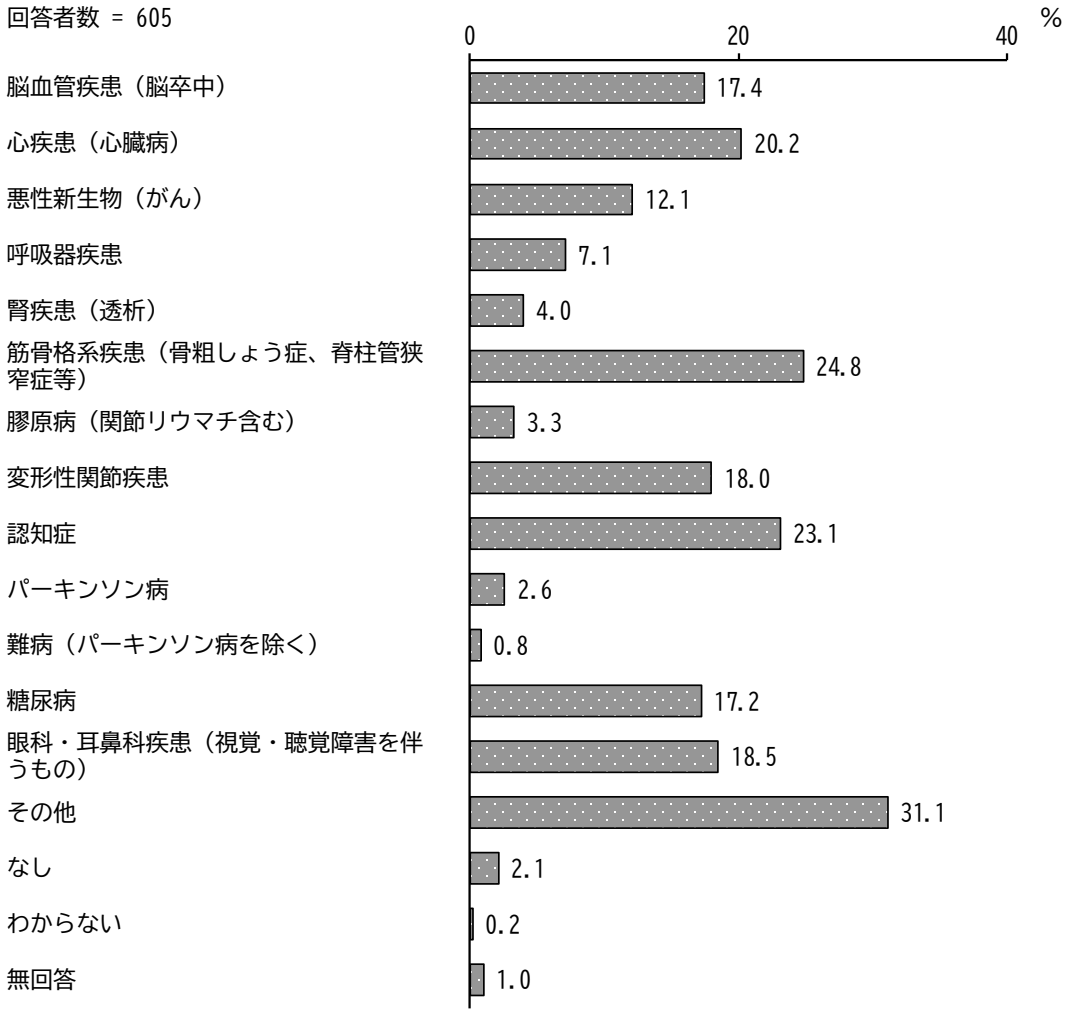
図表 1-10　施設等検討の状況（単数回答）



## （11）本人が抱えている傷病

「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が最も高く 24.8%となっています。次いで、「認知症（23.1%）」、「心疾患（心臓病）（20.2%）」となっています。

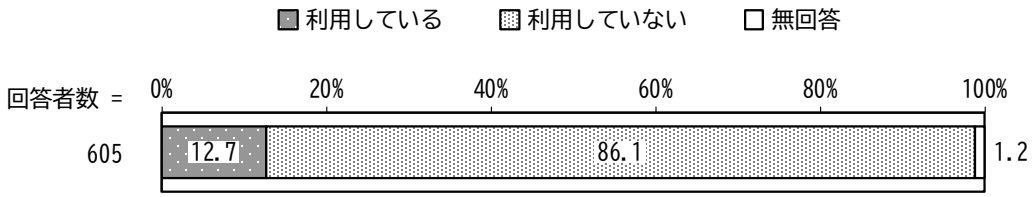
図表 1-11　本人が抱えている傷病（複数回答）



## （12）訪問診療の利用の有無

「利用していない」の割合が最も高く 86.1%となっています。次いで、「利用している（12.7%）」となっています。

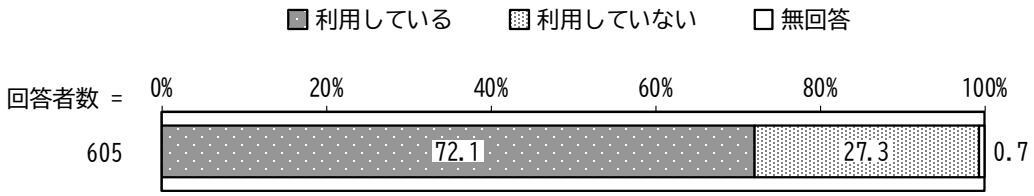
図表 1-12　訪問診療の利用の有無（単数回答）




## （13）介護保険サービスの利用の有無

「利用している」の割合が最も高く 72.1%となっています。次いで、「利用していない（27.3%）」となっています。

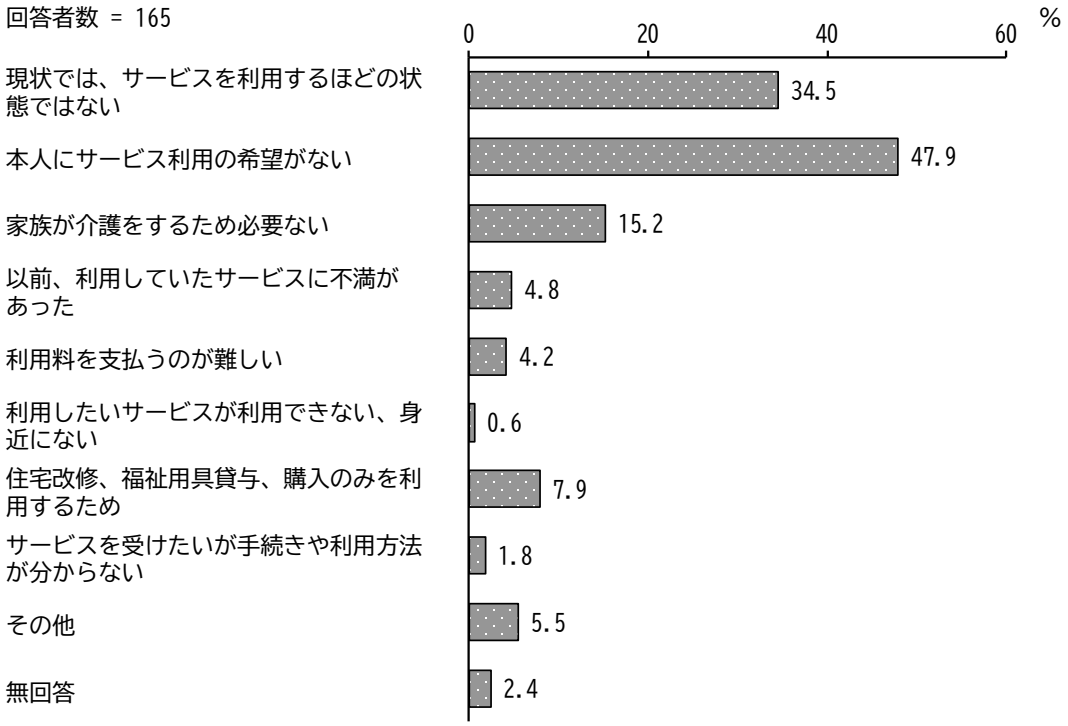
図表 1-13　介護保険サービスの利用の有無（単数回答）



## （14）介護保険サービス未利用の理由

「本人にサービス利用の希望がない」の割合が最も高く 47.9%となっています。次いで、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない（34.5%）」、「家族が介護をするため必要ない（15.2%）」となっています。

図表 1-14　介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）

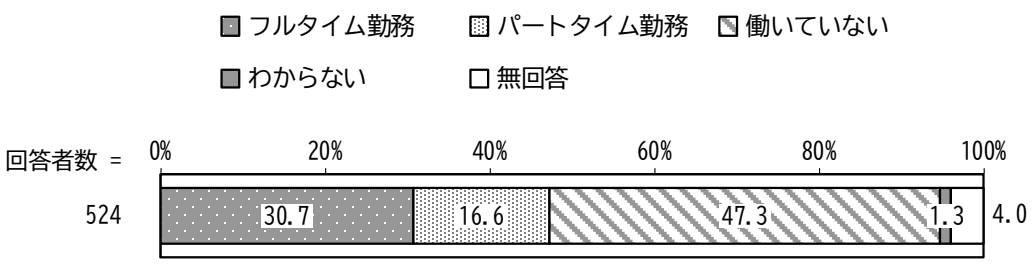


## 2　主な介護者用の調査項目（B票）

### （1）主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 47.3%となっています。次いで、「フルタイム勤務(30.7%)」、「パートタイム勤務（16.6%)」となっています。

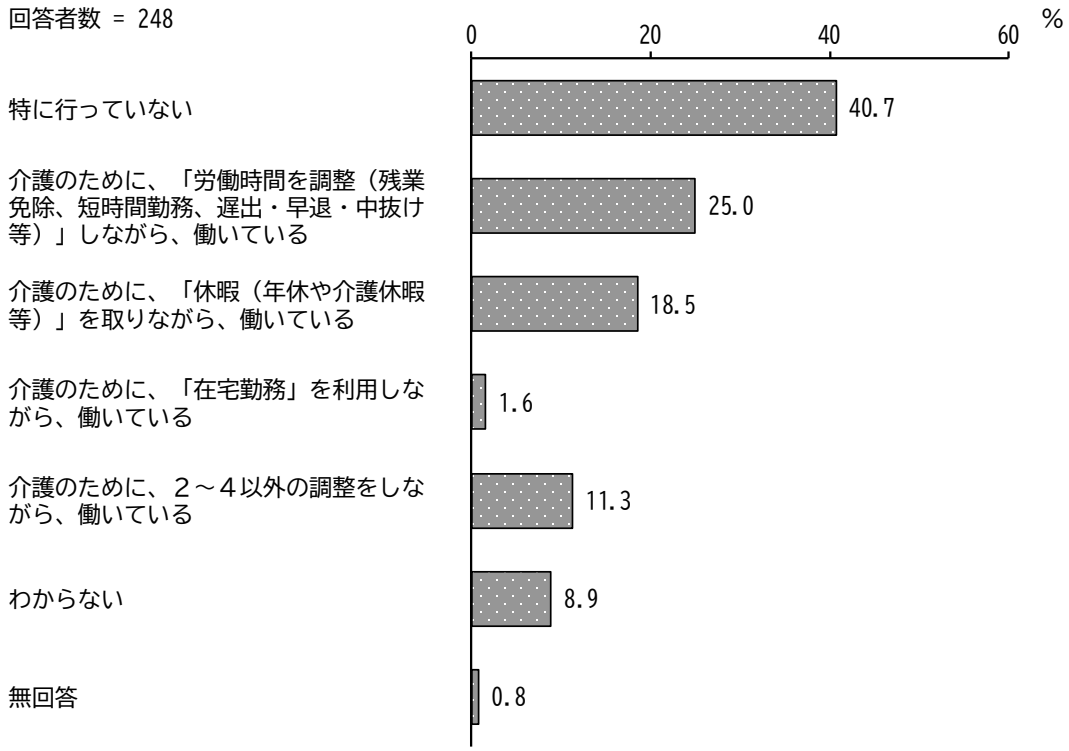
図表 2-1　主な介護者の勤務形態（単数回答）



## （２）主な介護者の方の働き方の調整の状況

「特に行っていない」の割合が最も高く 40.7%となっています。次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（25.0%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（18.5%）」となっています。

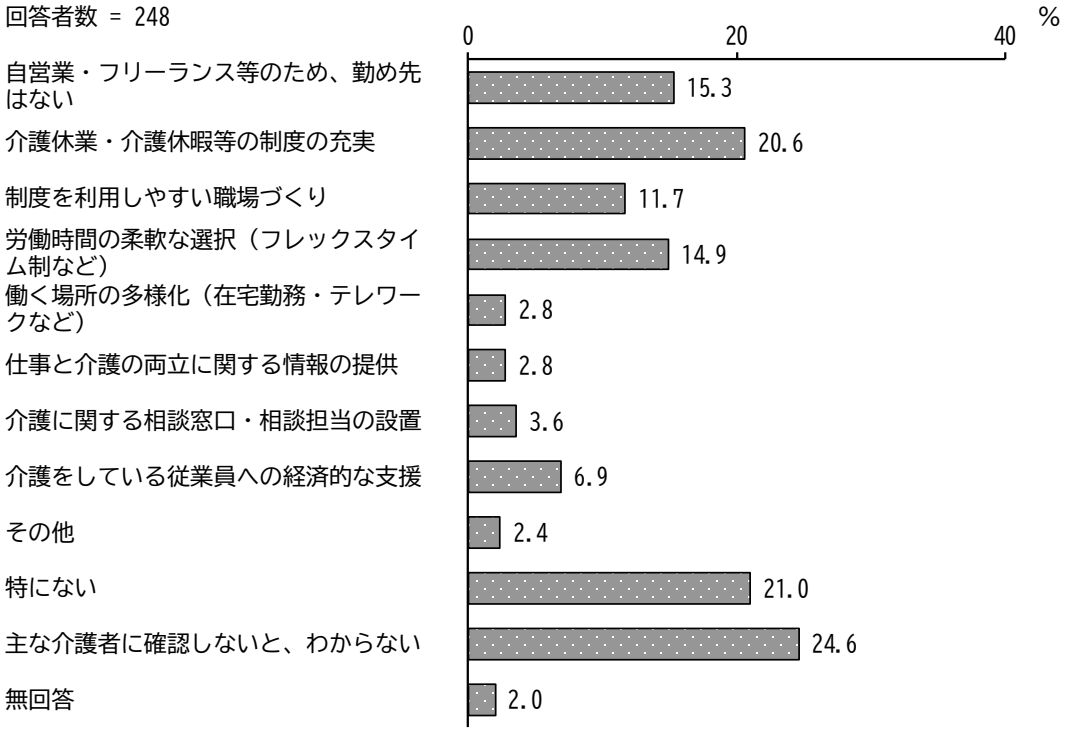
図表 2-2　主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



## （３）就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

「主な介護者に確認しないと、わからない」の割合が最も高く 24.6%となっています。次いで、「特にない（21.0%）」、「介護休業・介護休暇等の制度の充実（20.6%）」となっています。

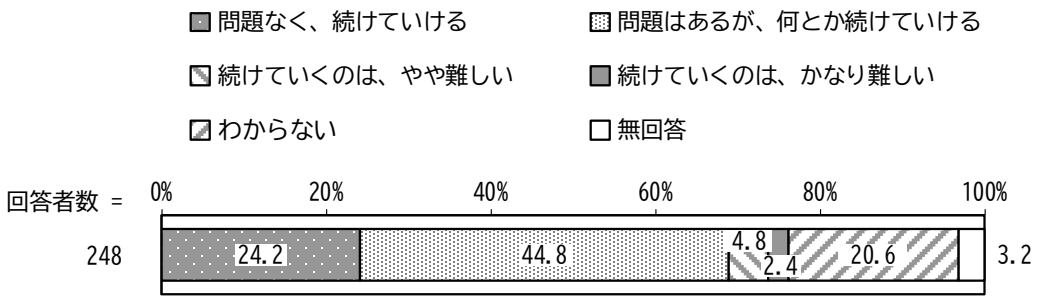
図表 2-3　就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）



## （4）主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 44.8%となっています。次いで、「問題なく、続けていける（24.2%)」、「わからない（20.6%)」となっています。

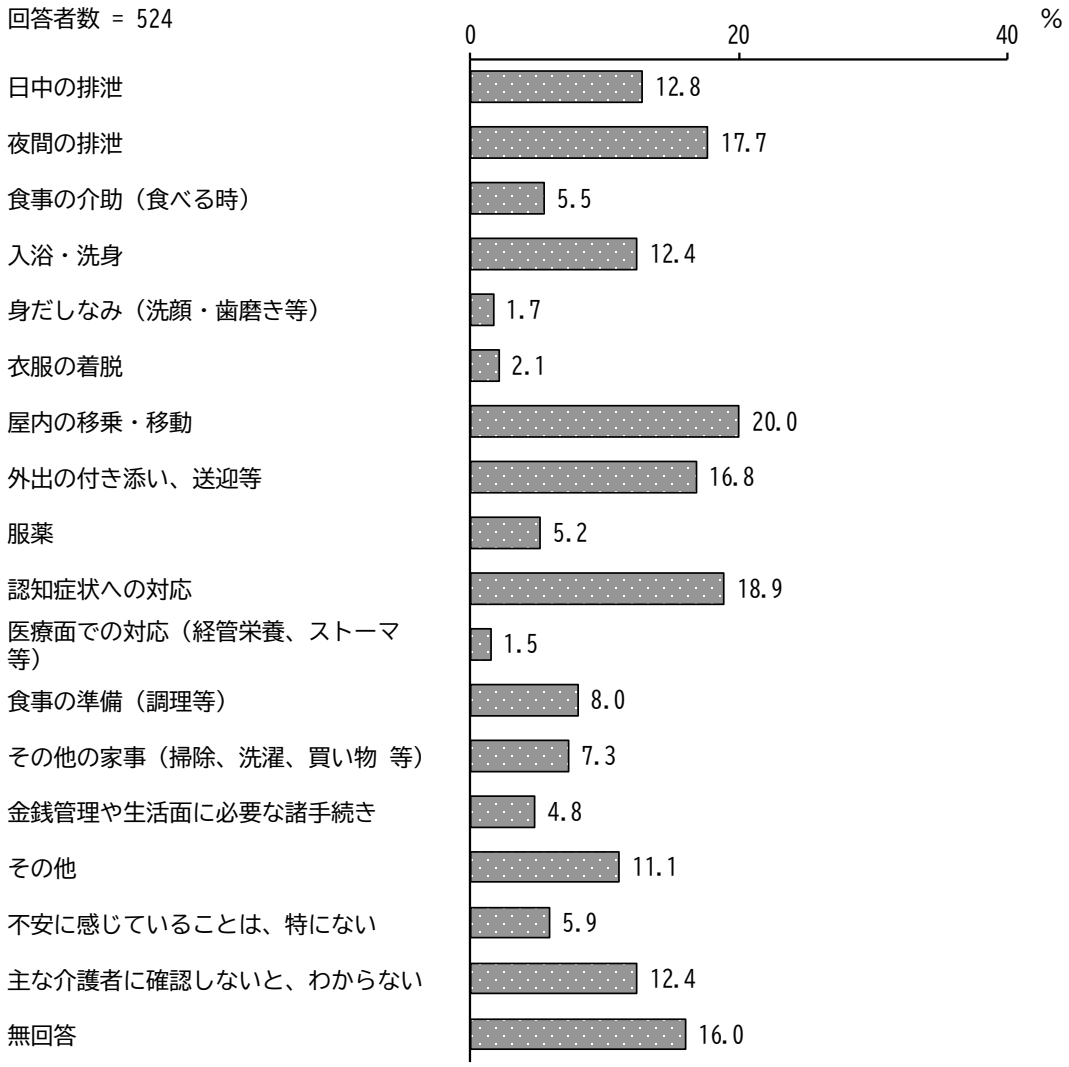
図表 2-4　主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）




## （5）今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「屋内の移乗・移動」の割合が最も高く 20.0%となっています。次いで、「認知症状への対応（18.9%)」、「夜間の排泄（17.7%)」となっています。

図表 2-5　今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）

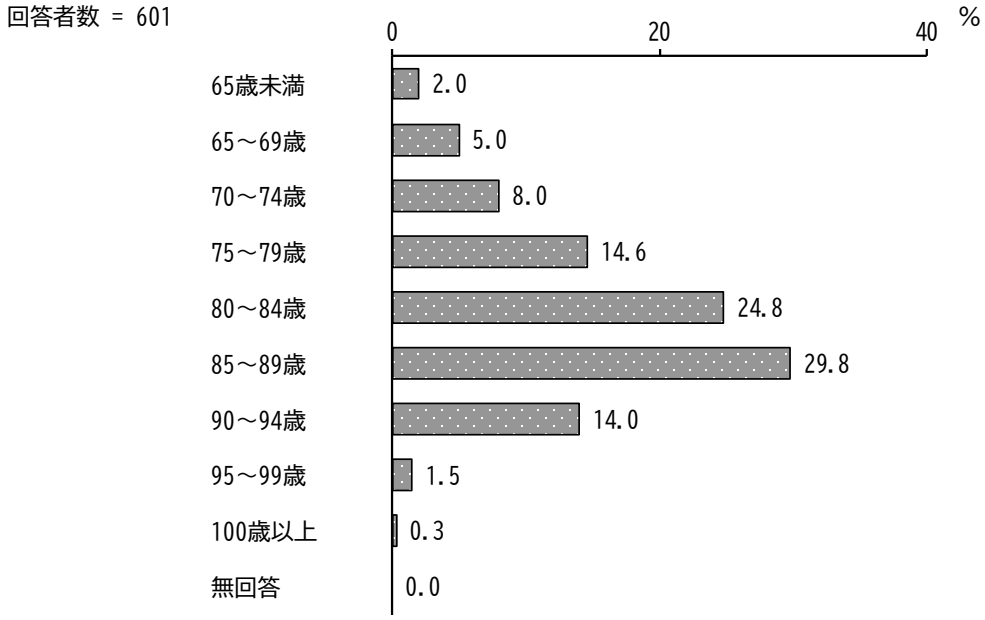


## 3　要介護認定データ

### （1）年齢

「85～89 歳」の割合が最も高く 29.8%となっています。次いで、「80～84 歳（24.8%）」、「75～79 歳（14.6%）」となっています。

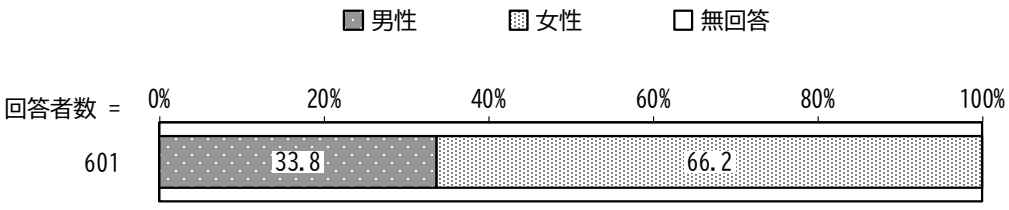
図表 3-1　年齢




### （2）性別

「女性」の割合が高く 66.2%となっています。「男性」は 33.8%となっています。

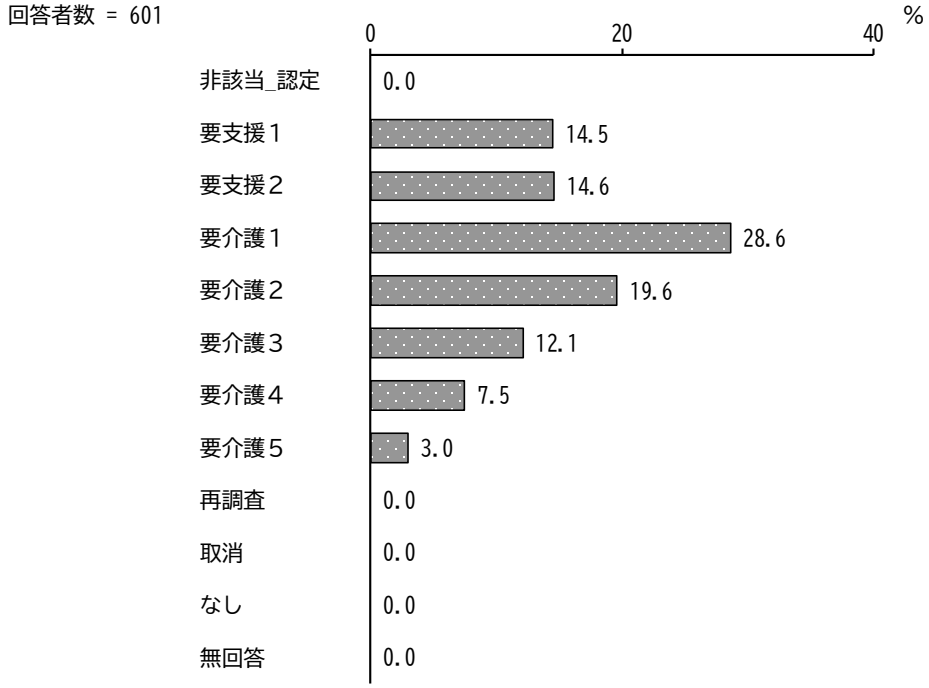
図表 3-2　性別



## （３）二次判定結果（要介護度）

「要介護１」の割合が最も高く 28.6%となっています。次いで、「要介護２（19.6%）」、「要支援２（14.6%）」となっています。

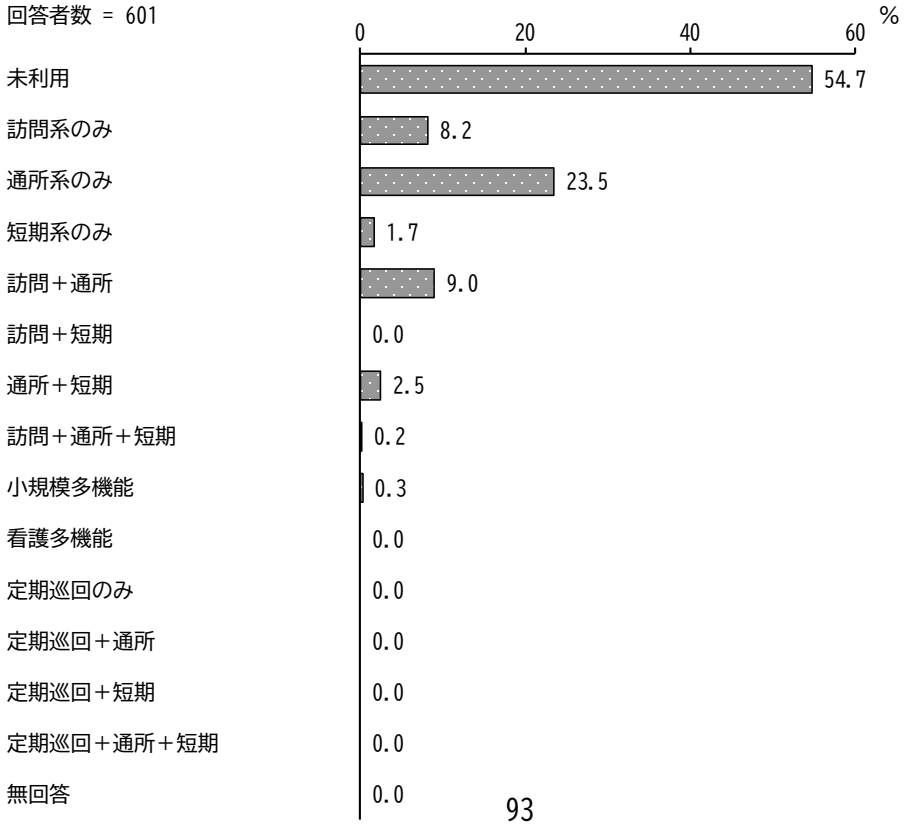
図表 3-3　二次判定結果




## （４）サービス利用の組み合わせ

「未利用」の割合が最も高く 54.7%となっています。次いで、「通所系のみ（23.5%）」、「訪問＋通所（9.0%）」となっています。

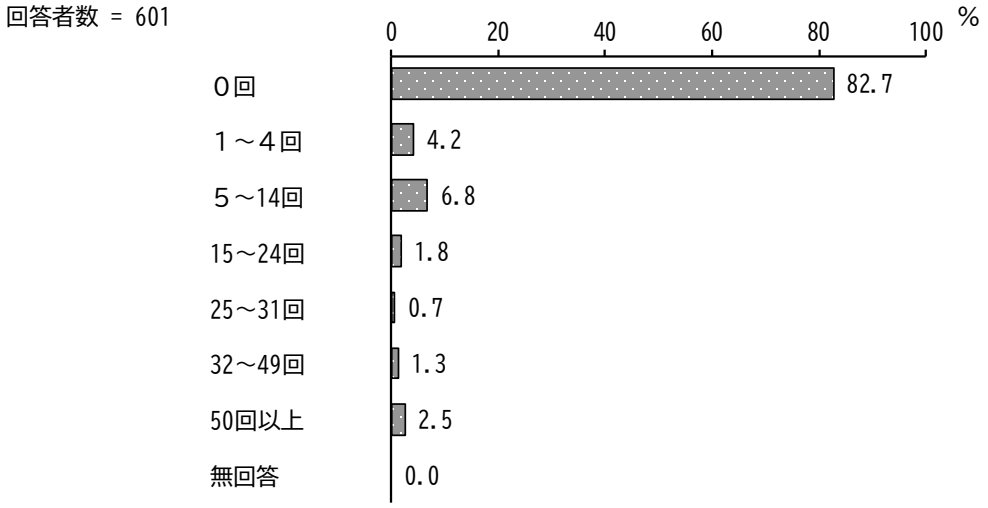
図表 3-4　サービス利用の組み合わせ



## （５）訪問系サービスの合計利用回数

「0 回」の割合が最も高く 82.7%となっています。次いで、「5～14 回（6.8%）」、「1～4 回（4.2%）」となっています。

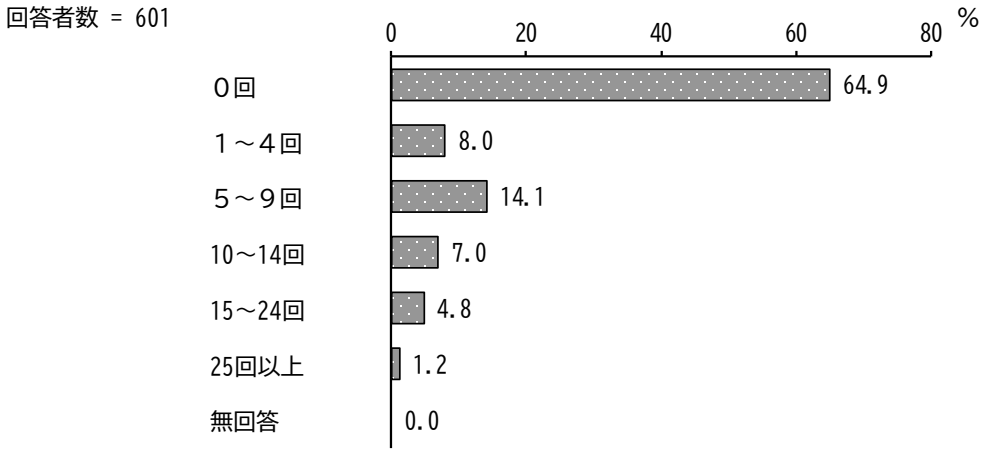
図表 3-5　サービスの利用回数（訪問系）




## （６）通所系サービスの合計利用回数

「0 回」の割合が最も高く 64.9%となっています。次いで、「5～9 回（14.1%）」、「1～4 回（8.0%）」となっています。

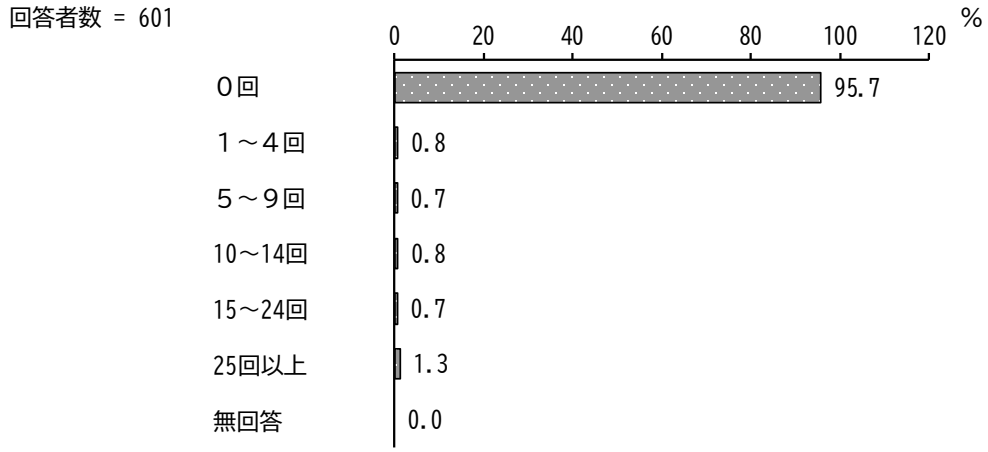
図表 3-6　サービスの利用回数（通所系）



## （７）短期系サービスの合計利用回数

「0 回」の割合が最も高く 95.7%となっています。次いで、「25 回以上(1.3%)」、「1～4 回(0.8%)」、「10～14 回（0.8%)」となっています。

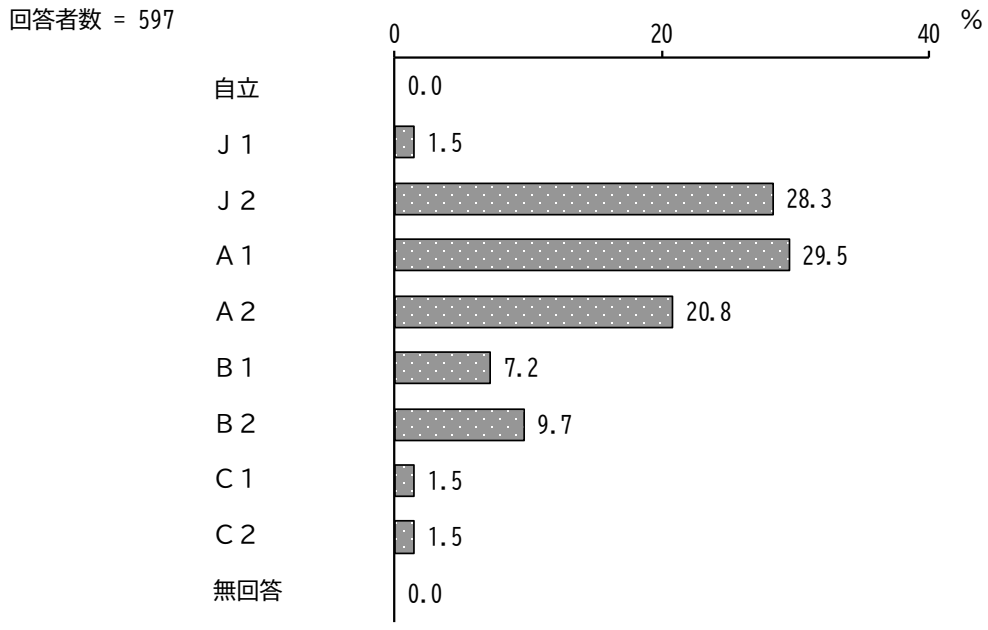
図表 3-7　サービスの利用回数（短期系）




## （８）障害高齢者の日常生活自立度

「Ａ１」の割合が最も高く 29.5%となっています。次いで、「Ｊ２（28.3%)」、「Ａ２（20.8%)」となっています。

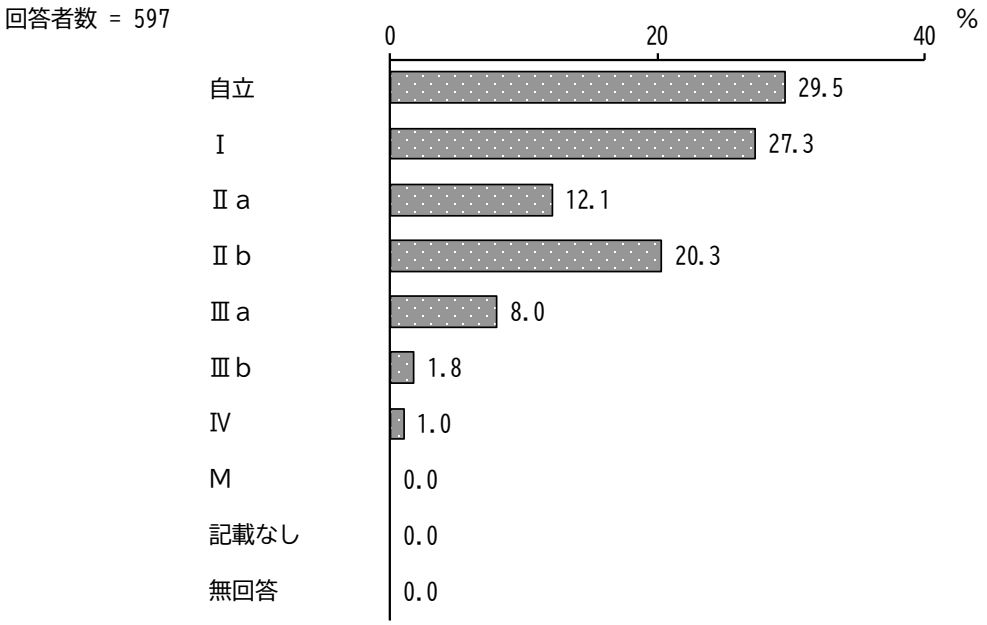
図表 3-8　障害高齢者の日常生活自立度



## （９）認知症高齢者の日常生活自立度

「自立」の割合が最も高く 29.5%となっています。次いで、「Ⅰ（27.3%)」、「Ⅱｂ（20.3%)」となっています。

図表 3-9　認知症高齢者の日常生活自立度



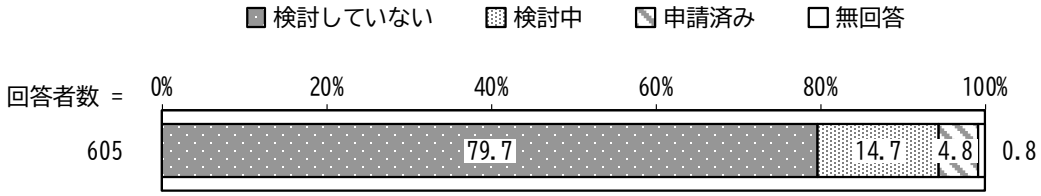
# ４　在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

## （１）基礎集計

**施設等検討の状況**

「検討していない」の割合が最も高く 79.7%となっています。次いで、「検討中（14.7%）」、「申請済み（4.8%）」となっています。

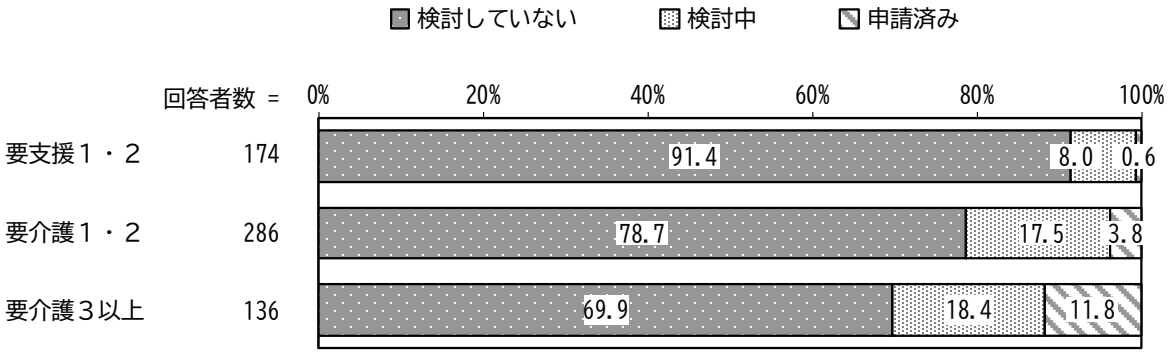
図表 1-1　施設等検討の状況




【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 91.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 8.0%、「申請済み」が 0.6%となっています。「要介護１・２」では「検討していない」が 78.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 17.5%、「申請済み」が 3.8%となっています。「要介護３以上」では「検討していない」が 69.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 18.4%、「申請済み」が 11.8%となっています。

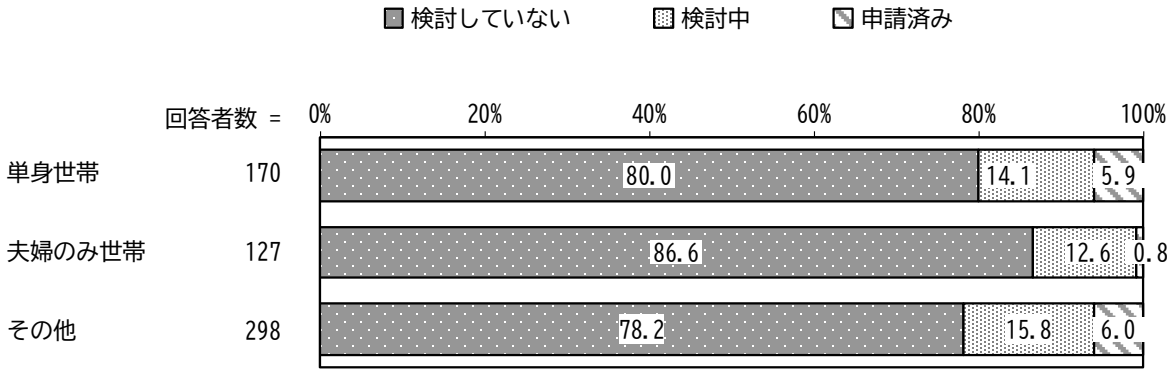
図表 1-2　要介護度別・施設等検討の状況



【世帯類型別】

世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が 80.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 14.1%、「申請済み」が 5.9%となっています。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が 86.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 12.6%、「申請済み」が 0.8%となっています。「その他」では「検討していない」が 78.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 15.8%、「申請済み」が 6.0%となっています。

図表 1-3　世帯類型別・施設等検討の状況

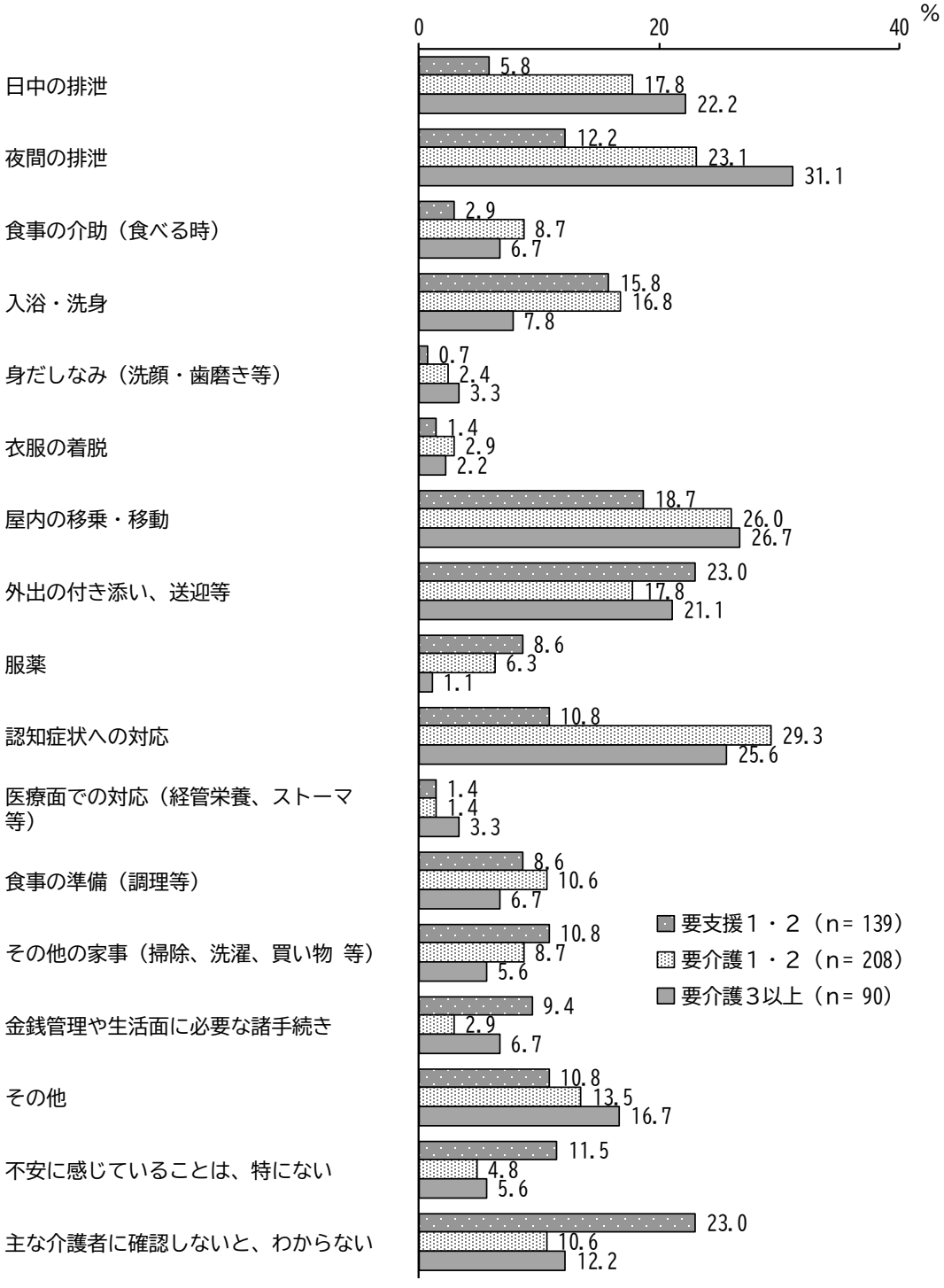


## （2）要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「外出の付き添い、送迎等」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 23.0%と最も割合が高く、次いで「屋内の移乗・移動」が 18.7%、「入浴・洗身」が 15.8%となっています。「要介護１・２」では「認知症状への対応」が 29.3%と最も割合が高く、次いで「屋内の移乗・移動」が 26.0%、「夜間の排泄」が 23.1%となっています。「要介護３以上」では「夜間の排泄」が 31.1%と最も割合が高く、次いで「屋内の移乗・移動」が 26.7%、「認知症状への対応」が 25.6%となっています。

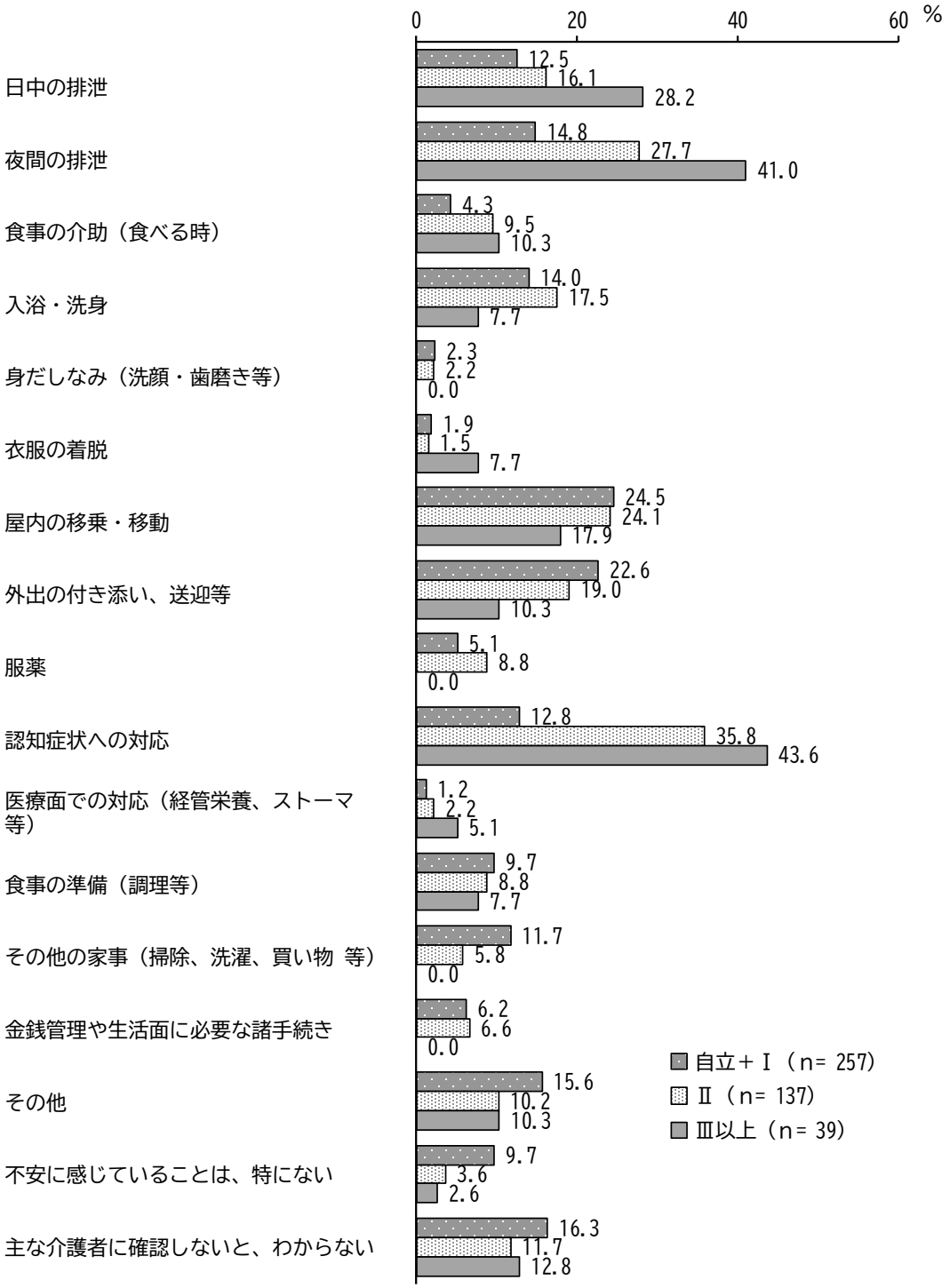
図表 1-4　要介護度別・介護者が不安に感じる介護



【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「屋内の移乗・移動」が 24.5%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 22.6%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 16.3%となっています。「Ⅱ」では「認知症状への対応」が 35.8%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 27.7%、「屋内の移乗・移動」が 24.1%となっています。「Ⅲ以上」では「認知症状への対応」が 43.6%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 41.0%、「日中の排泄」が 28.2%となっています。

図表 1-5　認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護

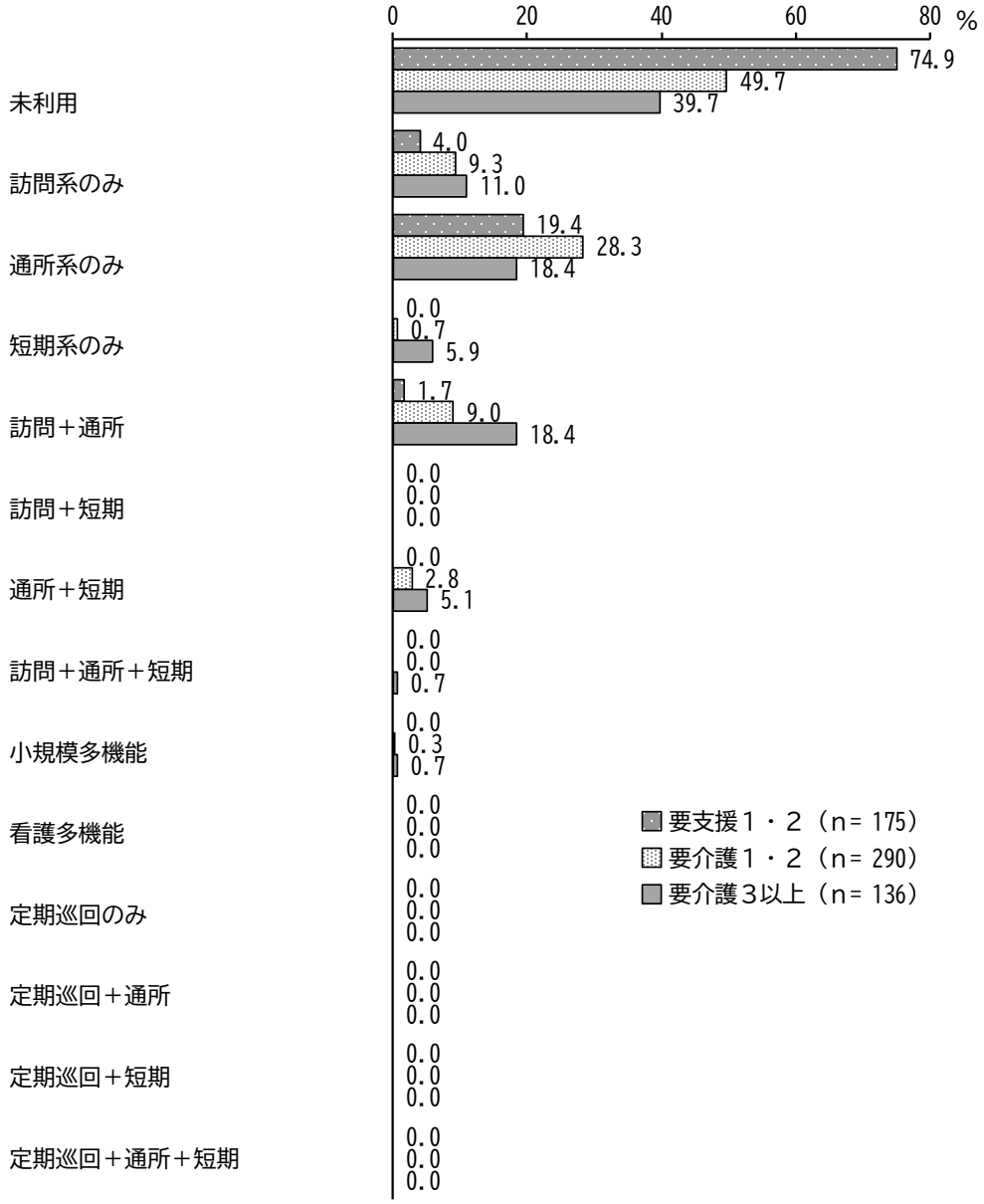


## （3）要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が 74.9%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が 19.4%、「訪問系のみ」が 4.0%となっています。「要介護１・２」では「未利用」が 49.7%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が 28.3%、「訪問系のみ」が 9.3%となっています。「要介護３以上」では「未利用」が 39.7%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」、「訪問＋通所」が 18.4%、「訪問系のみ」が 11.0%となっています。

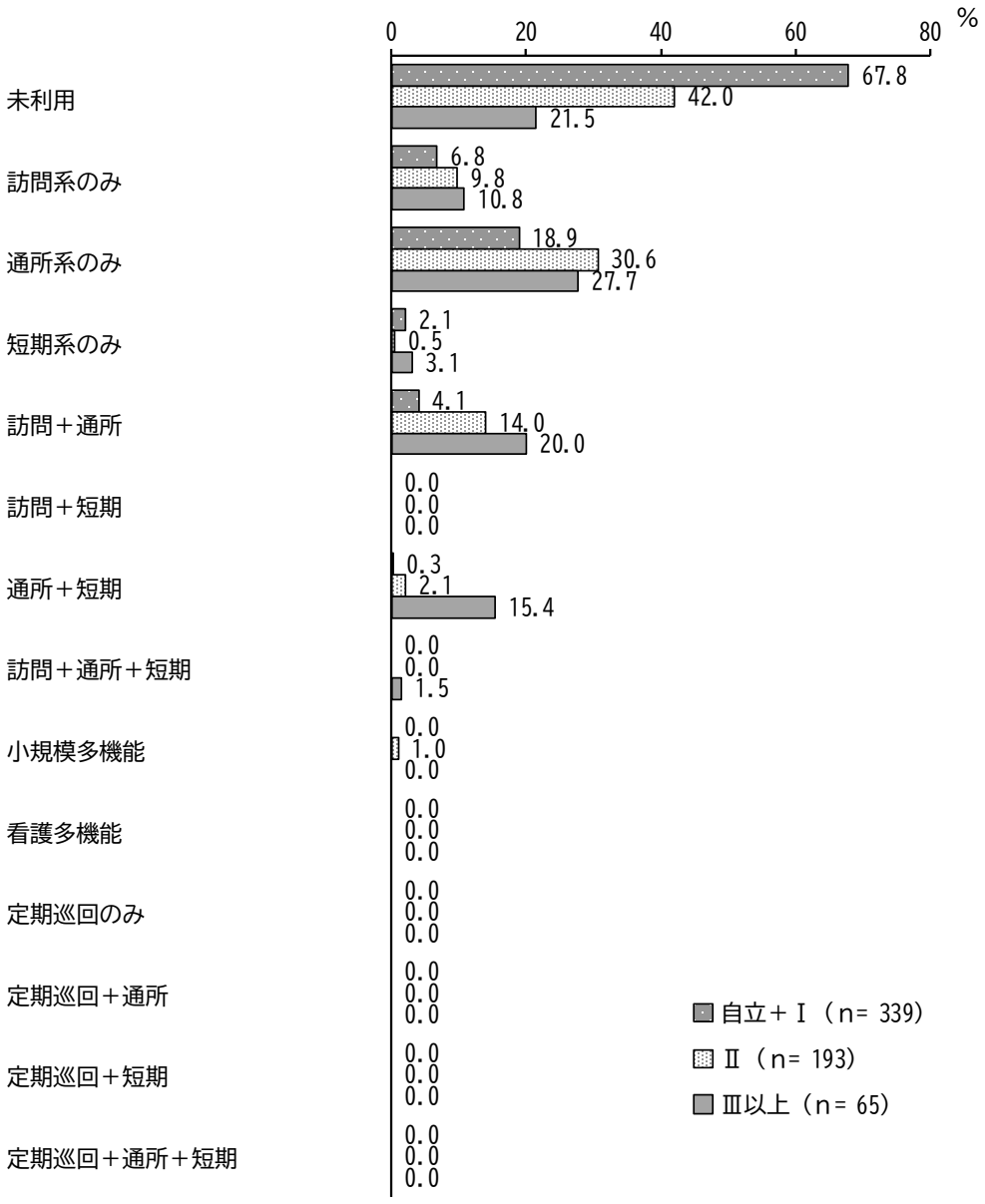
図表 1-6　要介護度別・サービス利用の組み合わせ



【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が 67.8%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が 18.9%、「訪問系のみ」が 6.8%となっています。「Ⅱ」では「未利用」が 42.0%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が 30.6%、「訪問＋通所」が 14.0%となっています。「Ⅲ以上」では「通所系のみ」が 27.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が 21.5%、「訪問＋通所」が 20.0%となっています。

図表 1-7　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ

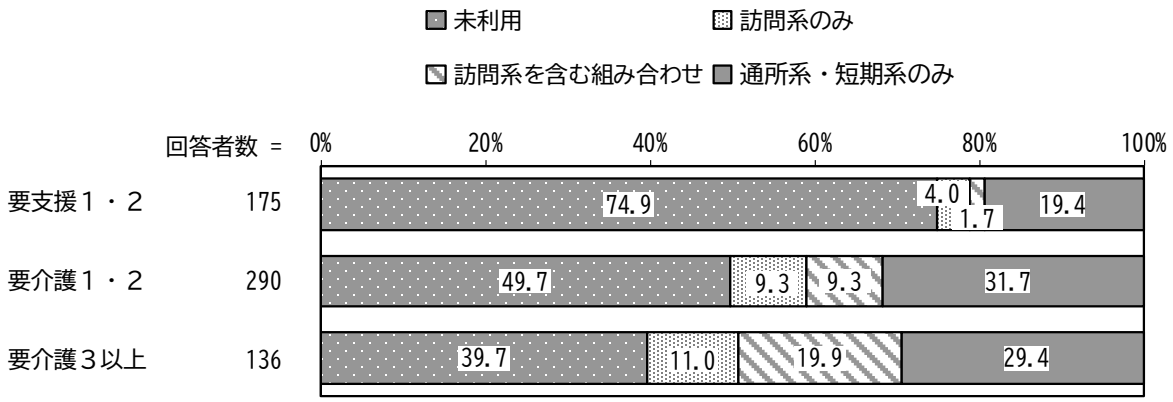


**サービス利用の組み合わせのパターンを簡略化した集計分析**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が 74.9%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 19.4%、「訪問系のみ」が 4.0%となっています。「要介護１・２」では「未利用」が 49.7%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 31.7%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が 9.3%となっています。「要介護３以上」では「未利用」が 39.7%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 29.4%、「訪問系を含む組み合わせ」が 19.9%となっています。

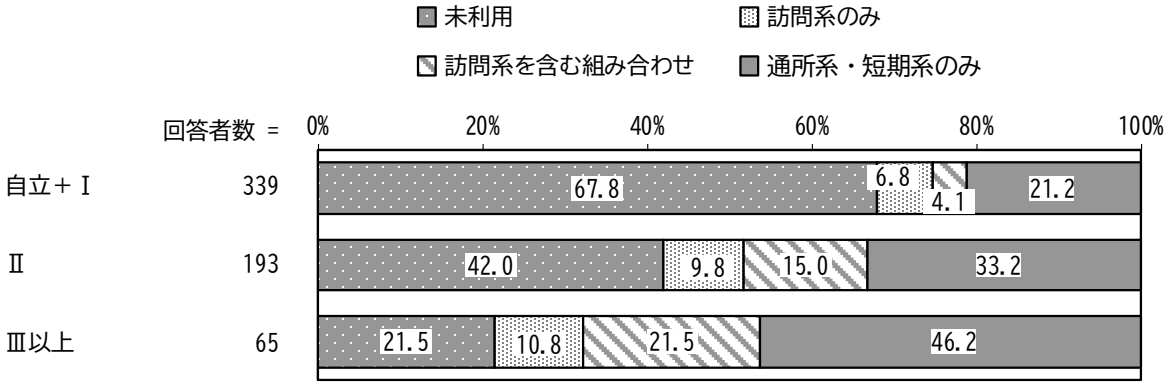
図表 1-8　要介護度別・サービス利用の組み合わせ




【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が 67.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 21.2%、「訪問系のみ」が 6.8%となっています。「Ⅱ」では「未利用」が 42.0%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 33.2%、「訪問系を含む組み合わせ」が 15.0%となっています。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が 46.2%と最も割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が 21.5%、「訪問系のみ」が 10.8%となっています。

図表 1-9　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



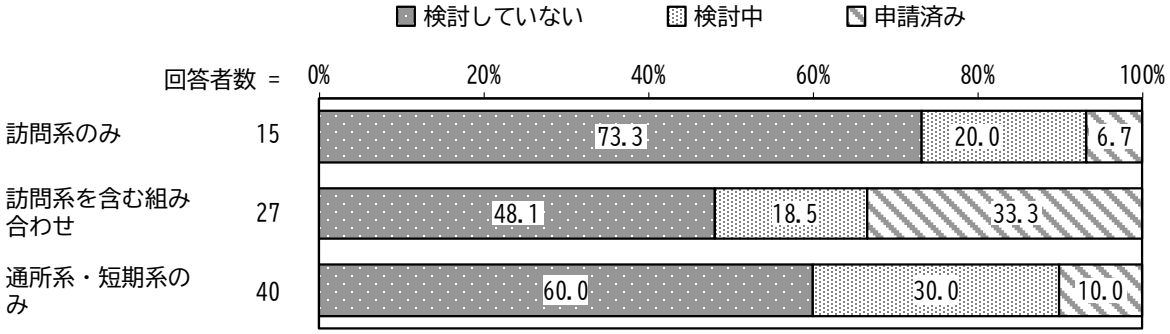
## （4）「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

**施設等検討の状況（要介護３以上）**

【サービス利用の組み合わせ別】

サービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が 73.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 20.0%、「申請済み」が 6.7%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が 48.1%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が 33.3%、「検討中」が 18.5%となっています。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が 60.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 30.0%、「申請済み」が 10.0%となっています。

図表 1-10　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護３以上）

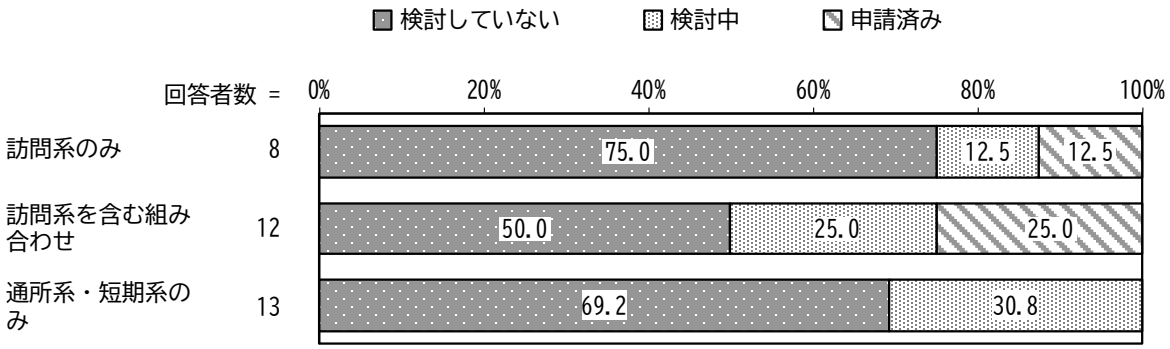



**施設等検討の状況（要介護４以上）**

【サービス利用の組み合わせ別】

サービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が 75.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 12.5%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が 50.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 25.0%となっています。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が 69.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 30.8%、「申請済み」が 0.0%となっています。

図表 1-11　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護４以上）

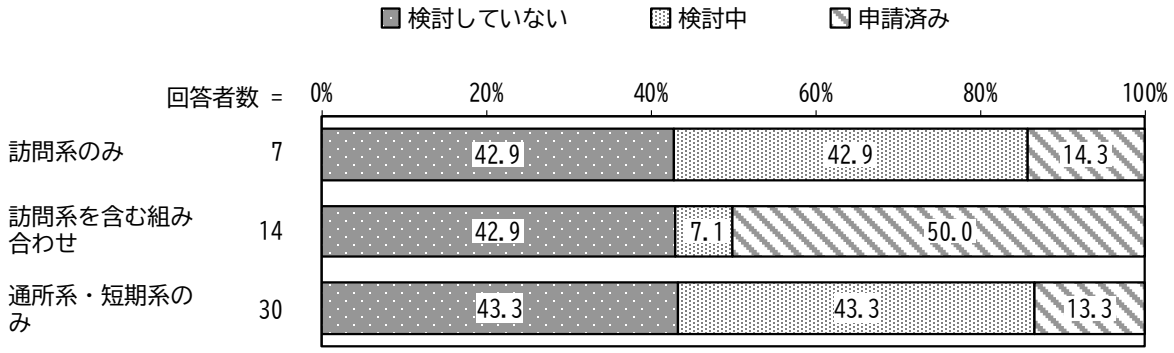


**施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）**

【サービス利用の組み合わせ別】

サービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」、「検討中」が 42.9%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が 14.3%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「申請済み」が 50.0%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が 42.9%、「検討中」が 7.1%となっています。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」、「検討中」が 43.3%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が 13.3%となっています。

図表 1-12　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）

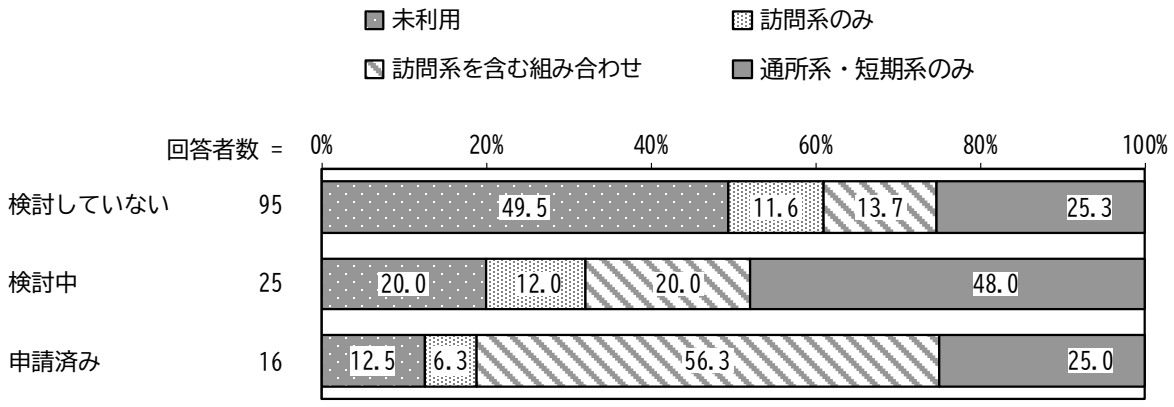



**サービス利用の組み合わせ**

【施設等検討の状況（要介護３以上）別】

施設等検討の状況（要介護３以上）別にみると、「検討していない」では「未利用」が 49.5%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 25.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が 13.7%となっています。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が 48.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が 20.0%、「訪問系のみ」が 12.0%となっています。「申請済み」では「訪問系を含む組み合わせ」が 56.3%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 25.0%、「未利用」が 12.5%となっています。

図表 1-13　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護３以上）

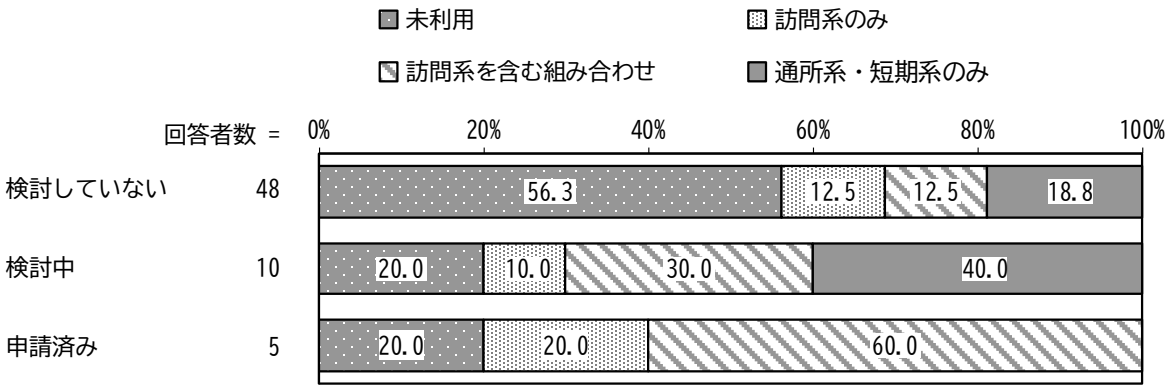


【施設等検討の状況（要介護４以上）別】

施設等検討の状況（要介護４以上）別にみると、「検討していない」では「未利用」が 56.3%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 18.8%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が 12.5%となっています。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が 40.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 30.0%、「未利用」が 20.0%となっています。「申請済み」では「訪問系を含む組み合わせ」が 60.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系のみ」が 20.0%となっています。

q

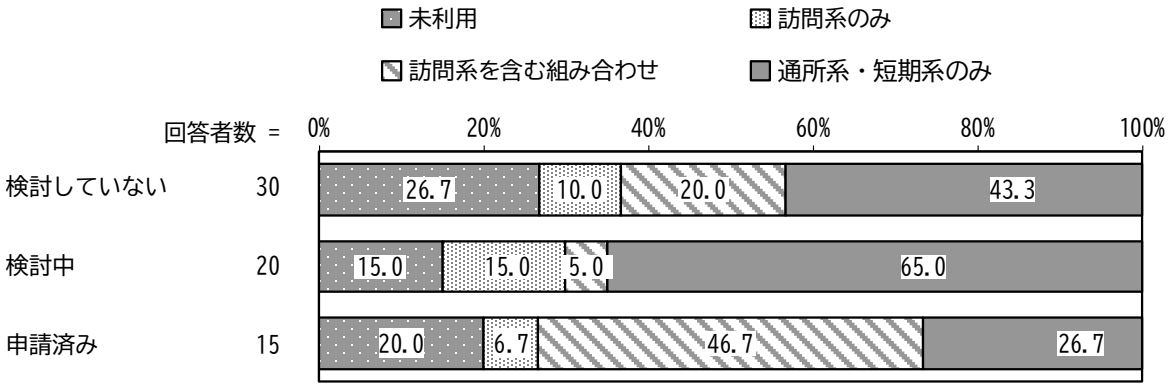
図表 1-14　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護４以上）




【施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）別】

施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）別にみると、「検討していない」では「通所系・短期系のみ」が 43.3%と最も割合が高く、次いで「未利用」が 26.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が 20.0%となっています。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が 65.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系のみ」が 15.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が 5.0%となっています。「申請済み」では「訪問系を含む組み合わせ」が 46.7%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 26.7%、「未利用」が 20.0%となっています。

図表 1-15　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）

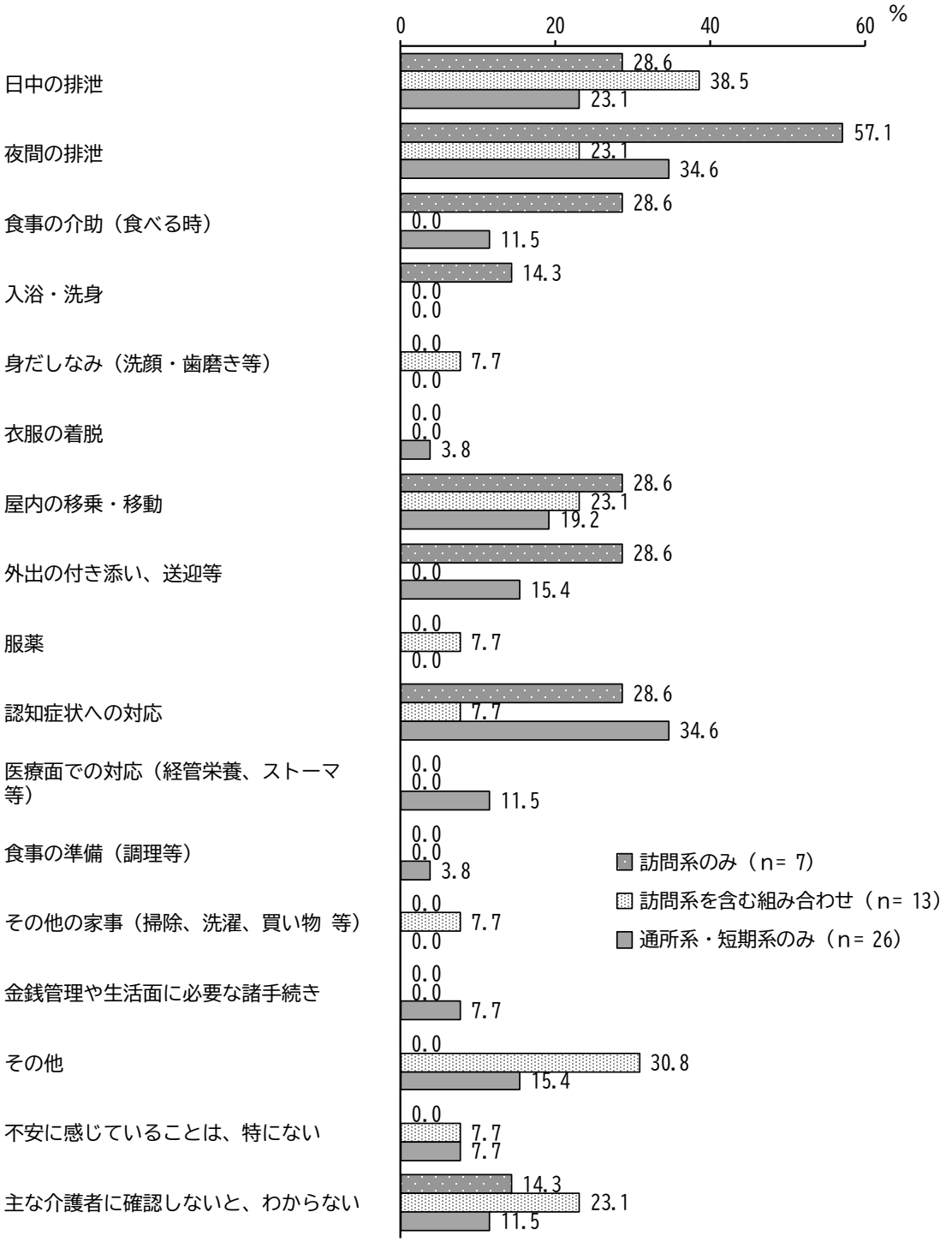


## （５）「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

【介護者が不安を感じる介護（要介護３以上）別】

介護者が不安を感じる介護（要介護３以上）別にみると、「訪問系のみ」では「夜間の排泄」が57.1%と最も割合が高くなっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「日中の排泄」が 38.5%と最も割合が高くなっています。「通所系・短期系のみ」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が 34.6%と最も割合が高くなっています。

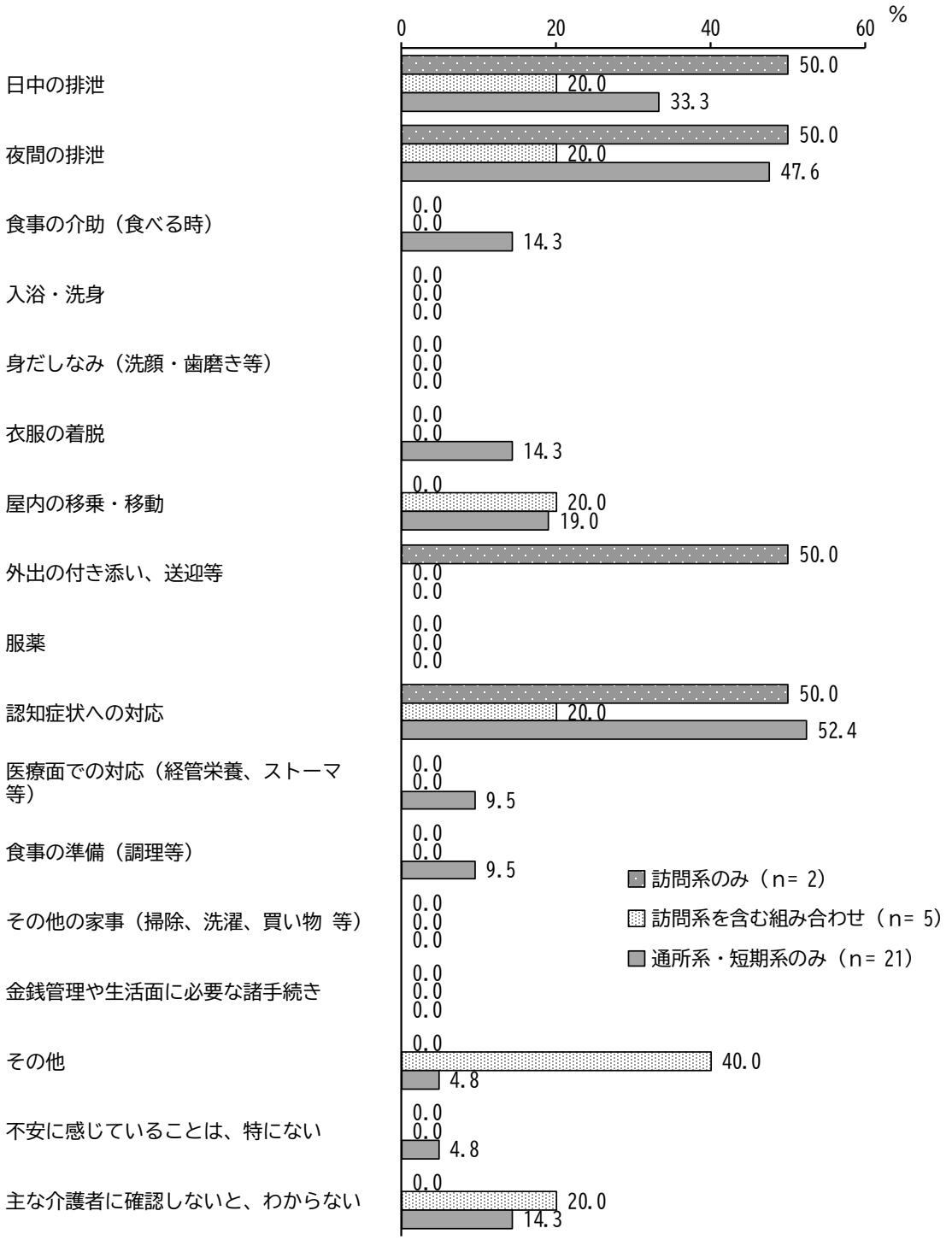
図表 1-16　サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護３以上）



【介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）別】

介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）別にみると、「訪問系のみ」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」が 50.0%と最も割合が高くなっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「その他」が 40.0%と最も割合が高くなっています。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が 52.4%と最も割合が高くなっています。

図表 1-17　サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）



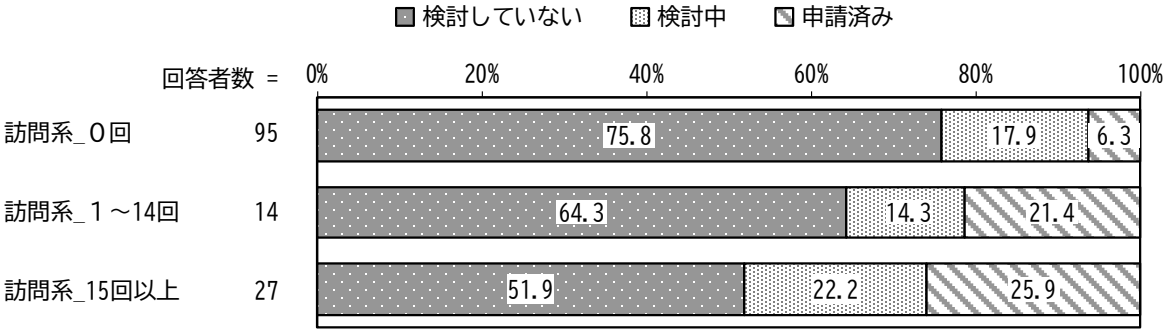
## （6）「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

**施設等検討の状況（訪問系、要介護３以上）**

【サービス利用回数別】

サービス利用回数別にみると、「訪問系_0 回」では「検討していない」が 75.8%と最も割合が高くなっています。「訪問系_1～14 回」では「検討していない」が 64.3%と最も割合が高くなっています。「訪問系_15 回以上」では「検討していない」が 51.9%と最も割合が高くなっています。

図表 1-18　サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護３以上）

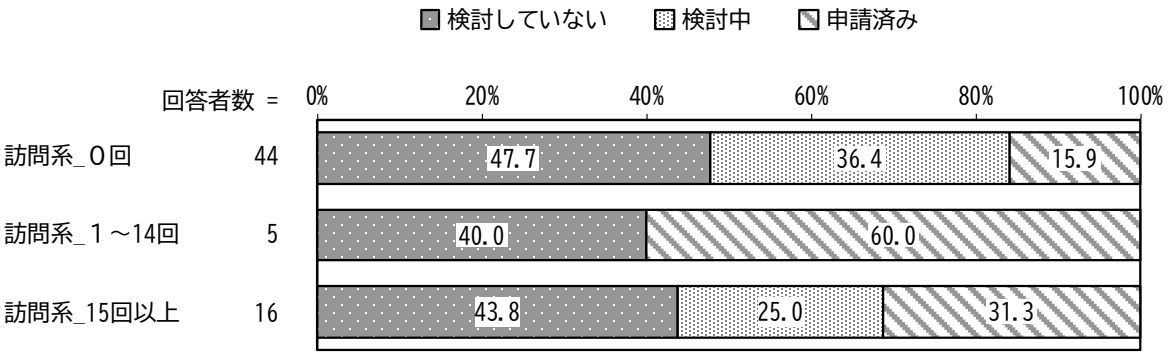



**施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）**

【サービス利用回数別】

サービス利用回数別にみると、「訪問系_0 回」では「検討していない」が 47.7%と最も割合が高くなっています。「訪問系_1～14 回」では「申請済み」が 60.0%と最も割合が高くなっています。「訪問系_15 回以上」では「検討していない」が 43.8%と最も割合が高くなっています。

図表 1-19　サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）

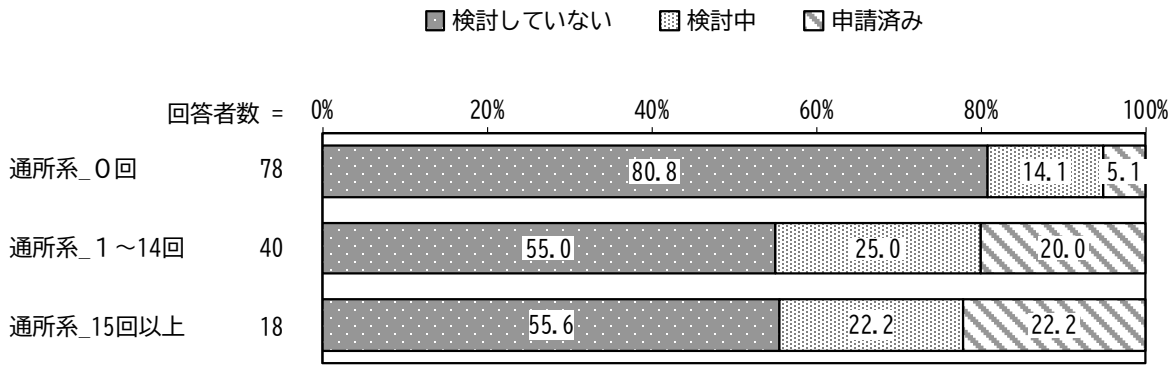


**施設等検討の状況（通所系、要介護３以上）**

【サービス利用回数別】

サービス利用回数別にみると、「通所系_0 回」では「検討していない」が 80.8%と最も割合が高くなっています。「通所系_1～14 回」では「検討していない」が 55.0%と最も割合が高くなっています。「通所系_15 回以上」では「検討していない」が 55.6%と最も割合が高くなっています。

図表 1-20　サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護３以上）

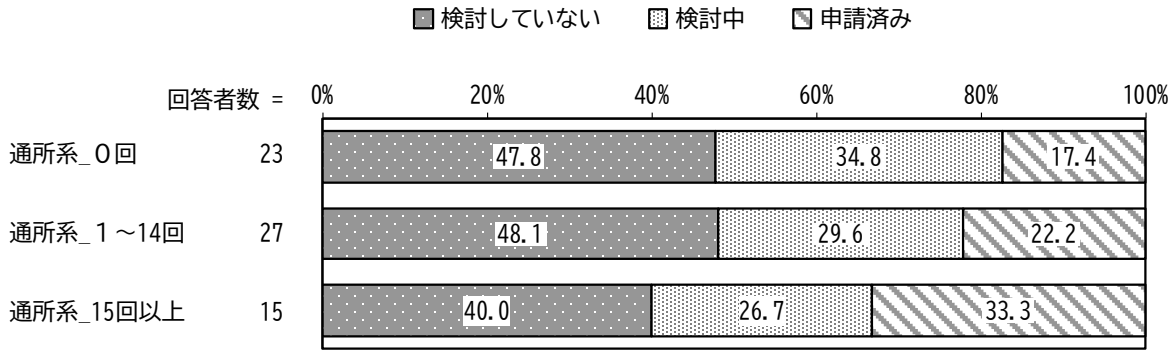



**施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）**

【サービス利用回数別】

サービス利用回数別にみると、「通所系_0 回」では「検討していない」が 47.8%と最も割合が高くなっています。「通所系_1～14 回」では「検討していない」が 48.1%と最も割合が高くなっています。「通所系_15 回以上」では「検討していない」が 40.0%と最も割合が高くなっています。

図表 1-21　サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）

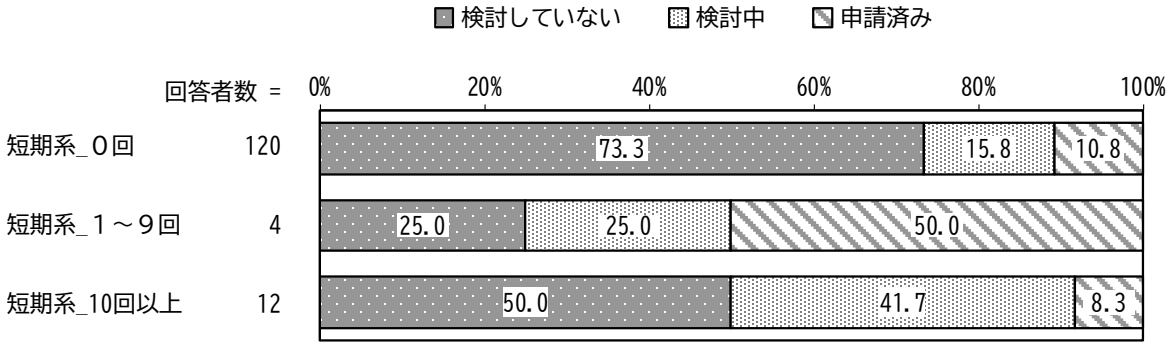


**施設等検討の状況（短期系、要介護３以上）**

【サービス利用回数別】

サービス利用回数別にみると、「短期系_0 回」では「検討していない」が 73.3%と最も割合が高くなっています。「短期系_1～9 回」では「申請済み」が 50.0%と最も割合が高くなっています。「短期系_10 回以上」では「検討していない」が 50.0%と最も割合が高くなっています。

図表 1-22　サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護３以上）

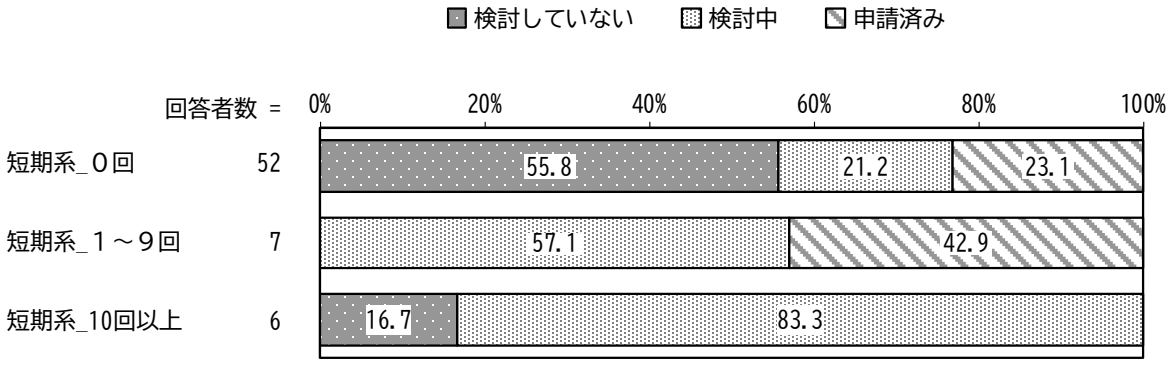



**施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）**

【サービス利用回数別】

サービス利用回数別にみると、「短期系_0 回」では「検討していない」が 55.8%と最も割合が高くなっています。「短期系_1～9 回」では「検討中」が 57.1%と最も割合が高くなっています。「短期系_10 回以上」では「検討中」が 83.3%と最も割合が高くなっています。

図表 1-23　サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）



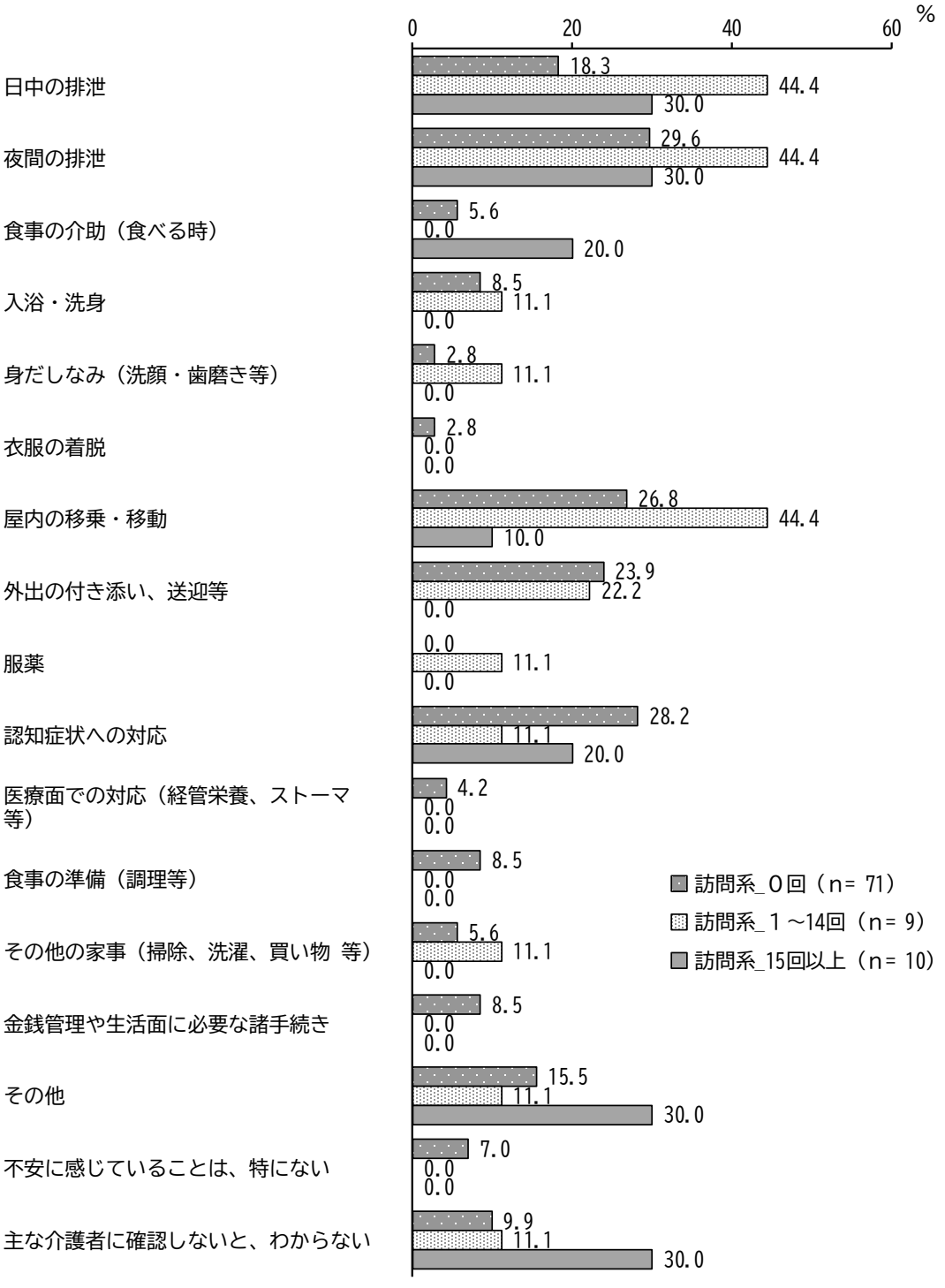
## （7）「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

**介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護３以上）**

【サービス利用回数別】

サービス利用回数別にみると、訪問系_0 回」では「夜間の排泄」が 29.6%と最も割合が高くなっています。「訪問系_1～14 回」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」が 44.4%と最も割合が高くなっています。「訪問系_15 回以上」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「その他」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 30.0%と最も割合が高くなっています。

図表 1-24　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護３以上）

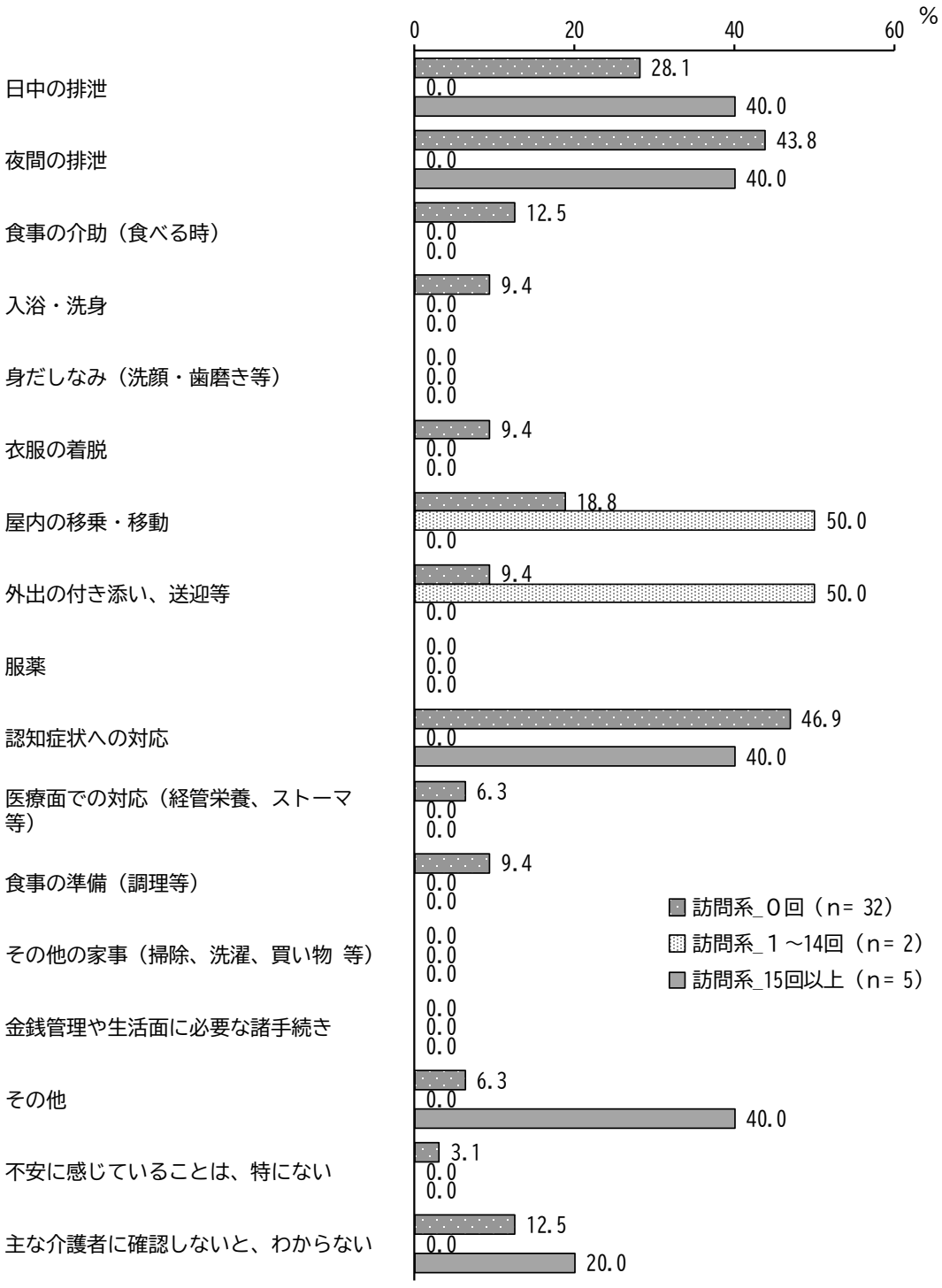


**施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）**

【サービス利用回数別】

サービス利用回数別にみると、「訪問系_0 回」では「認知症状への対応」が 46.9%と最も割合が高くなっています。「訪問系_1～14 回」では「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」が 50.0%と最も割合が高くなっています。「訪問系_15 回以上」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」、「その他」が 40.0%と最も割合が高くなっています。

図表 1-25　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）

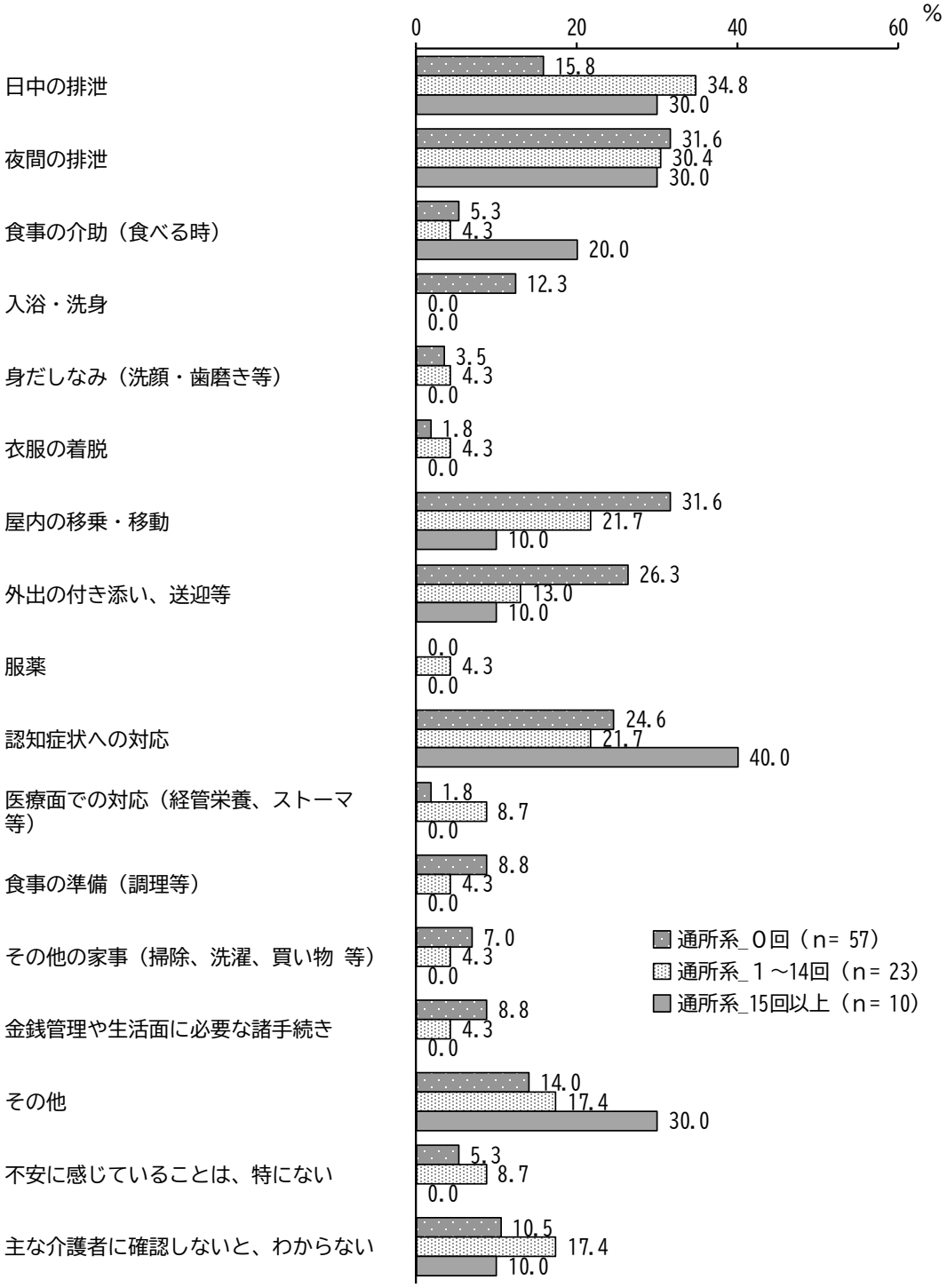


**施設等検討の状況（通所系、要介護３以上）**

【サービス利用回数別】

サービス利用回数別にみると、「通所系_0 回」では「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」が 31.6%と最も割合が高くなっています。「通所系_1～14 回」では「日中の排泄」が 34.8%と最も割合が高くなっています。「通所系_15 回以上」では「認知症状への対応」が 40.0%と最も割合が高くなっています。

図表 1-26　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護３以上）

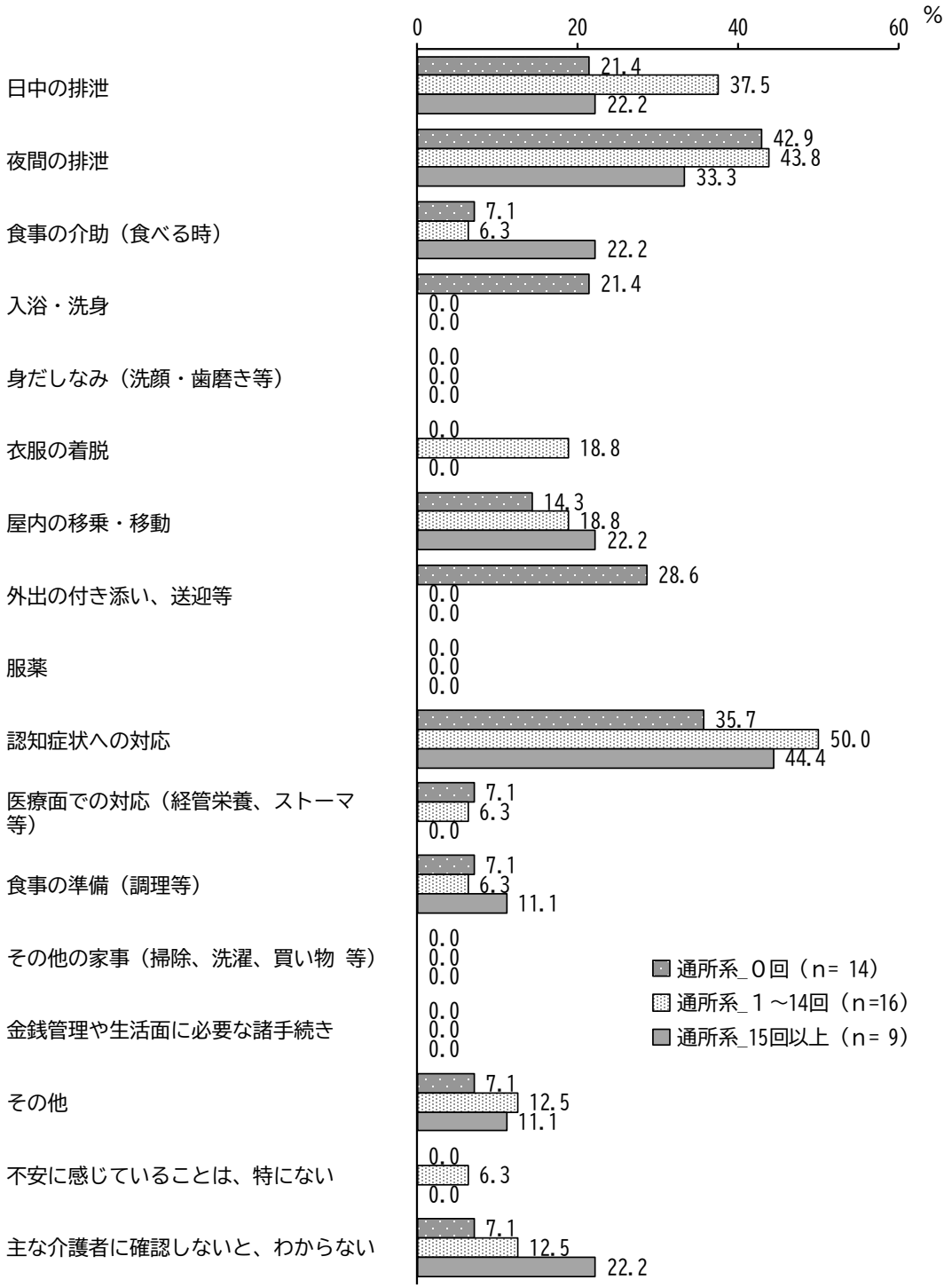


**施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）**

【サービス利用回数別】

サービス利用回数別にみると、「通所系_0 回」では「夜間の排泄」が 42.9%と最も割合が高くなっています。「通所系_1～14 回」では「認知症状への対応」が 50.0%と最も割合が高くなっています。「通所系_15 回以上」では「認知症状への対応」が 44.4%と最も割合が高くなっています。

図表 1-27　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）

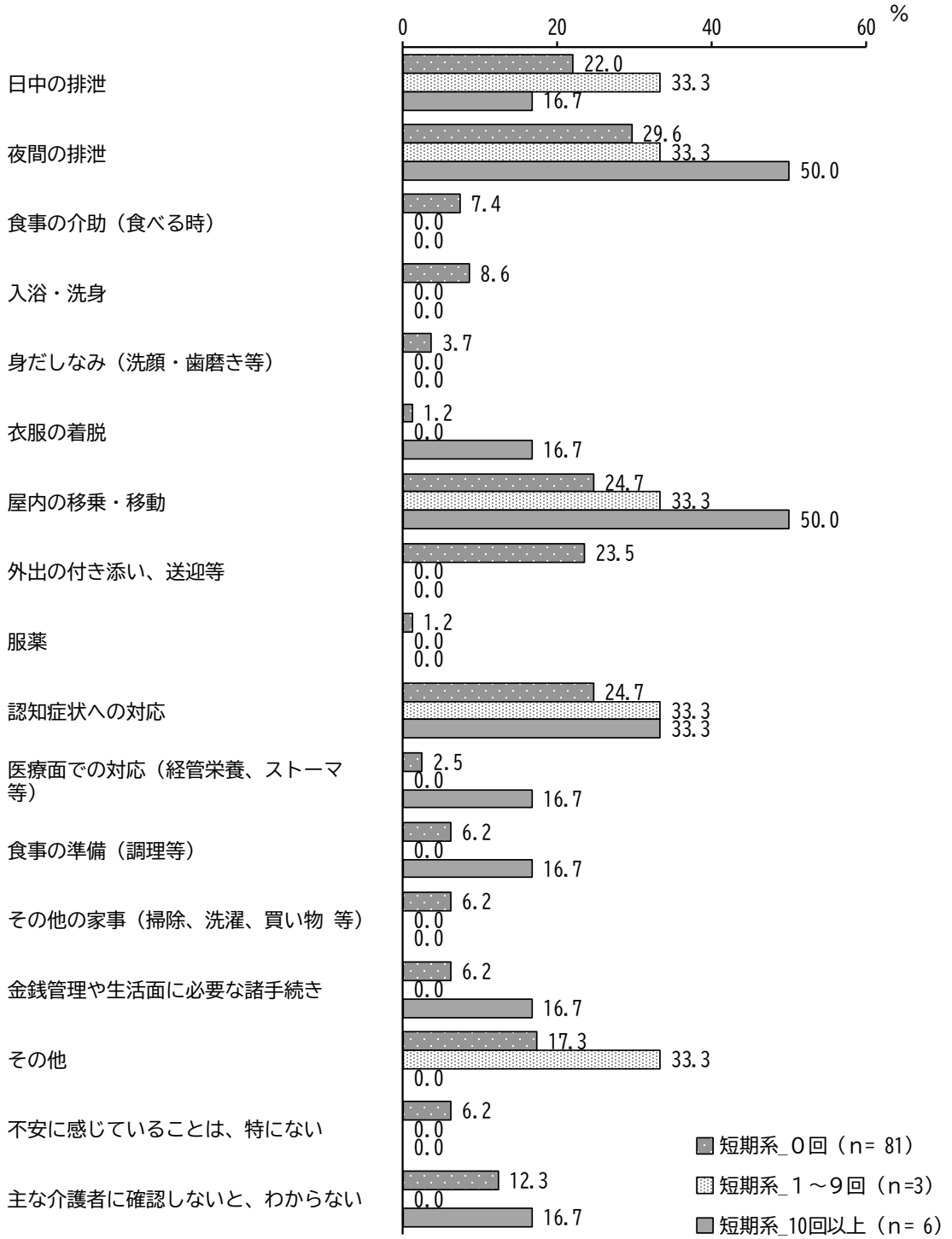


**施設等検討の状況（短期系、要介護３以上）**

【サービス利用回数別】

サービス利用回数別にみると、「短期系_0 回」では「夜間の排泄」が 29.6%と最も割合が高くなっています。「短期系_1～9 回」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」、「その他」が 33.3%と最も割合が高くなっています。「短期系_10 回以上」では「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」が 50.0%と最も割合が高くなっています。

図表 1-28　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護３以上）

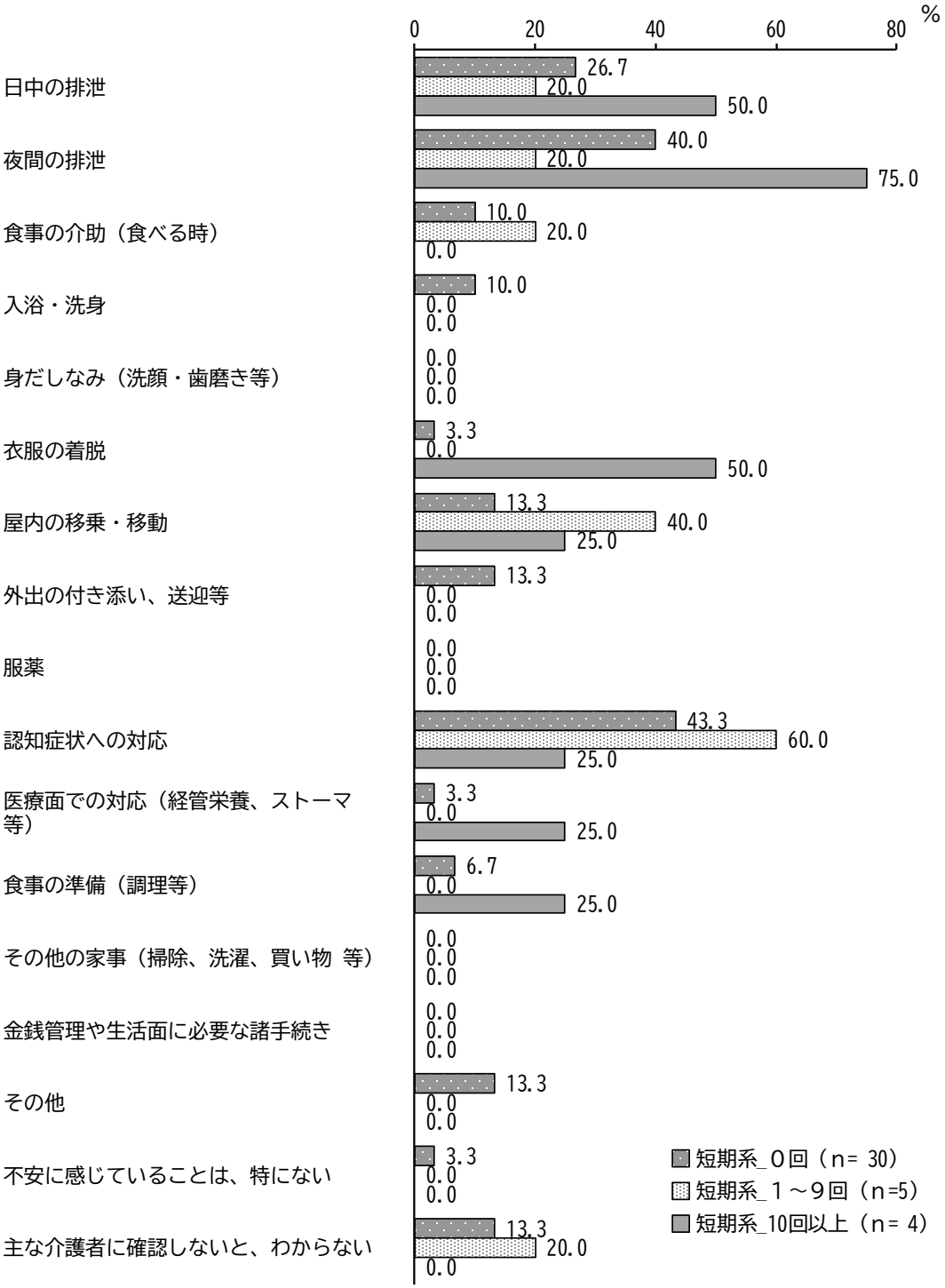


**施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）**

【サービス利用回数別】

サービス利用回数別にみると、「短期系_0 回」では「認知症状への対応」が 43.3%と最も割合が高くなっています。「短期系_1～9 回」では「認知症状への対応」が 60.0%と最も割合が高くなっています。「短期系_10 回以上」では「夜間の排泄」が 75.0%と最も割合が高くなっています。

図表 1-29　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）



# 5　仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

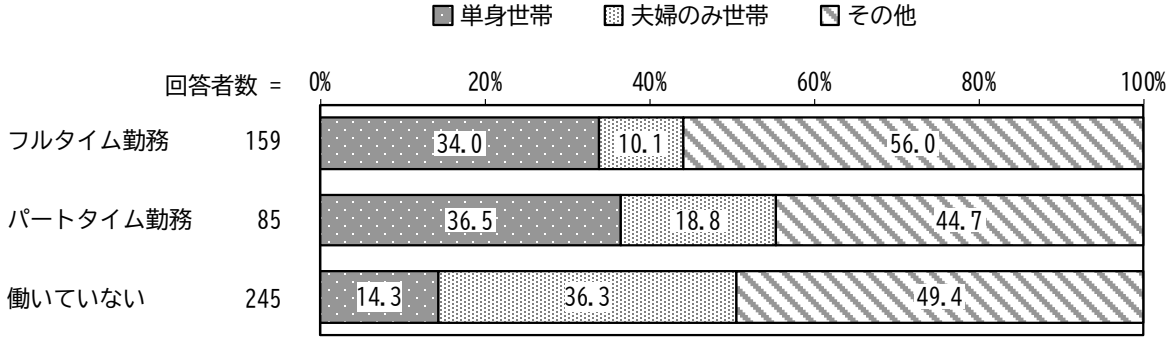
## （1）基本集計

**世帯類型**

【就労状況別】

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「その他」が 56.0%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が 34.0%、「夫婦のみ世帯」が 10.1%となっています。「パートタイム勤務」では「その他」が 44.7%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が 36.5%、「夫婦のみ世帯」が 18.8%となっています。「働いていない」では「その他」が 49.4%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 36.3%、「単身世帯」が 14.3%となっています。

図表 2-1　就労状況別・世帯類型

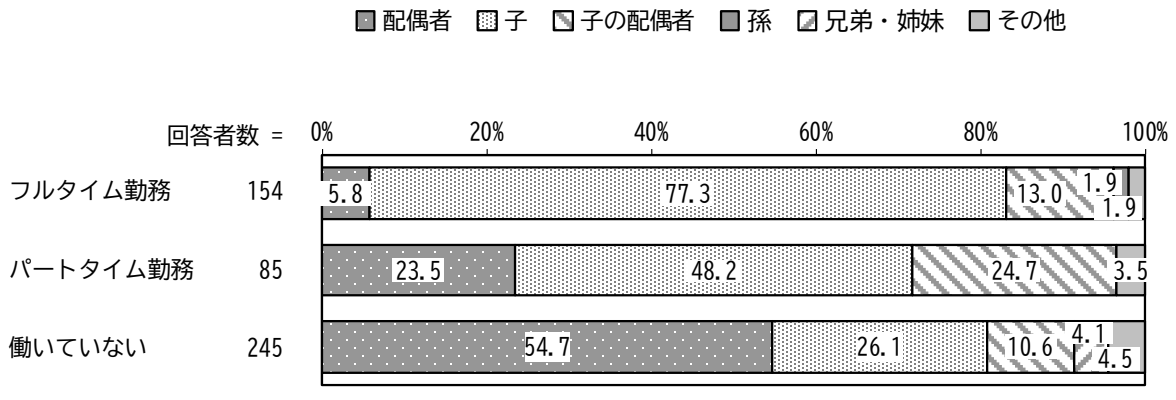



**主な介護者の本人との関係**

【就労状況別】

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が 77.3%と最も割合が高く、次いで「子の配偶者」が 13.0%、「配偶者」が 5.8%となっています。「パートタイム勤務」では「子」が 48.2%と最も割合が高く、次いで「子の配偶者」が 24.7%、「配偶者」が 23.5%となっています。「働いていない」では「配偶者」が 54.7%と最も割合が高く、次いで「子」が 26.1%、「子の配偶者」が 10.6%となっています。

図表 2-2　就労状況別・主な介護者の本人との関係

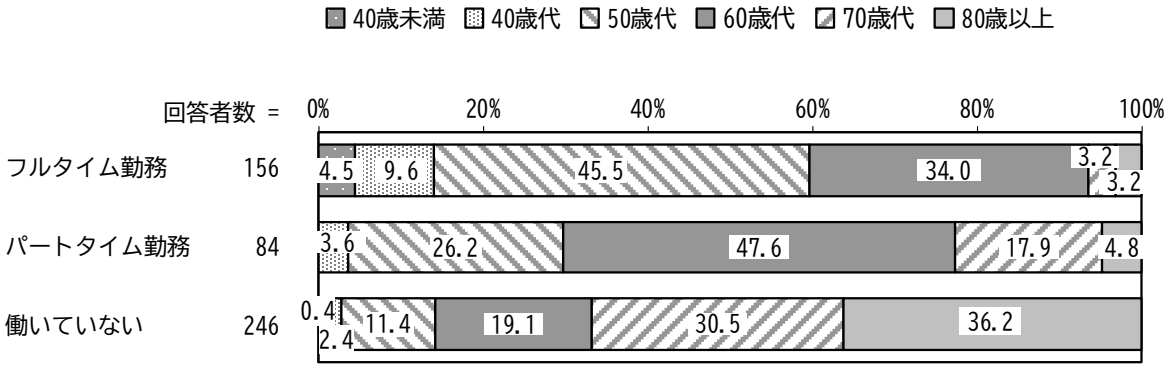


**主な介護者の年齢**

【就労状況別】

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「50 歳代」が 45.5%と最も割合が高く、次いで「60 歳代」が 34.0%、「40 歳代」が 9.6%となっています。「パートタイム勤務」では「60 歳代」が 47.6%と最も割合が高く、次いで「50 歳代」が 26.2%、「70 歳代」が 17.9%となっています。「働いていない」では「80 歳以上」が 36.2%と最も割合が高く、次いで「70 歳代」が 30.5%、「60 歳代」が 19.1%となっています。

図表 2-3　就労状況別・主な介護者の年齢

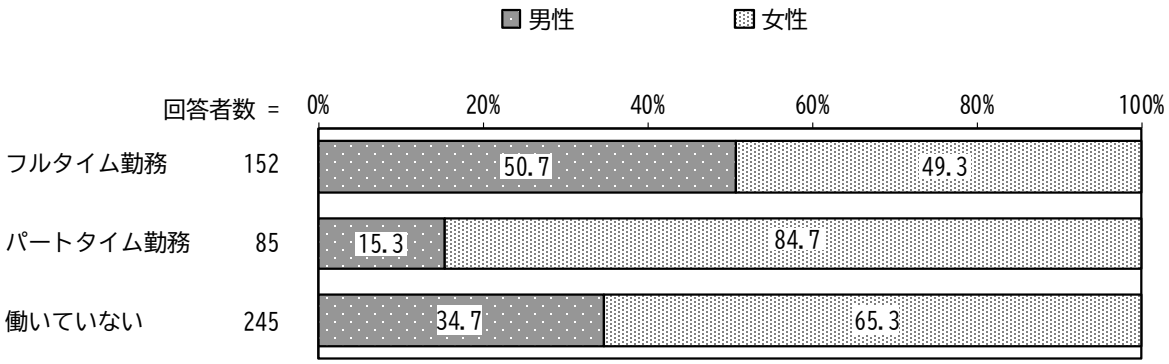



**主な介護者の性別**

【就労状況別】

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「男性」が 50.7%と最も割合が高く、次いで「女性」が 49.3%となっています。「パートタイム勤務」では「女性」が 84.7%と最も割合が高く、次いで「男性」が 15.3%となっています。「働いていない」では「女性」が 65.3%と最も割合が高く、次いで「男性」が 34.7%となっています。

図表 2-4　就労状況別・主な介護者の性別

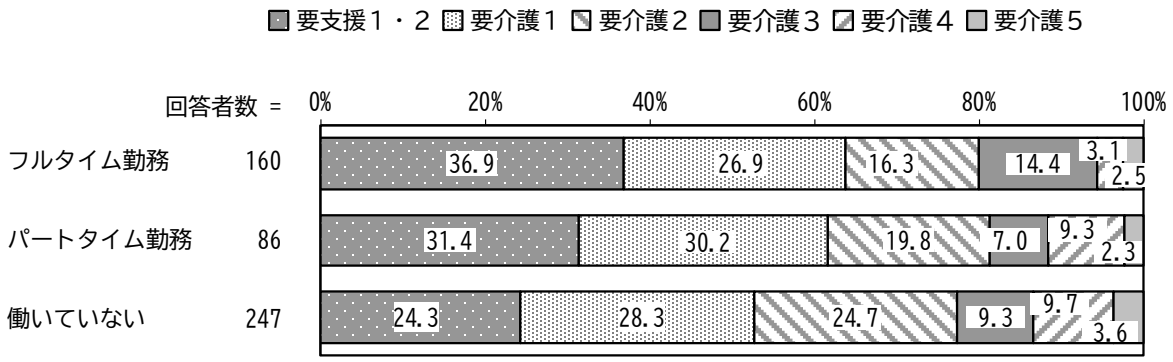


**要介護度**

【就労状況別】

要介護度にみると、「フルタイム勤務」では「要支援１・２」が 36.9%と最も割合が高く、次いで「要介護１」が 26.9%、「要介護２」が 16.3%となっています。「パートタイム勤務」では「要支援１・２」が 31.4%と最も割合が高く、次いで「要介護１」が 30.2%、「要介護２」が 19.8%となっています。「働いていない」では「要介護１」が 28.3%と最も割合が高く、次いで「要介護２」が 24.7%、「要支援１・２」が 24.3%となっています。

図表 2-5　就労状況別・要介護度

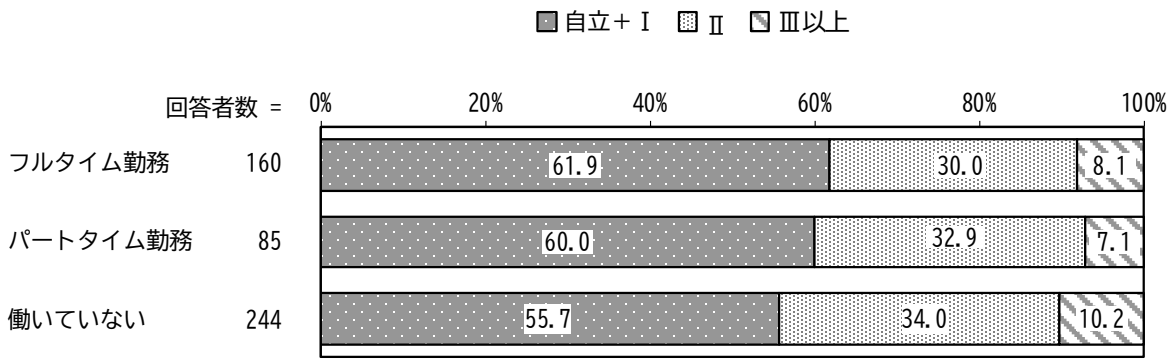



**認知症自立度**

【就労状況別】

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「自立＋Ⅰ」が 61.9%と最も割合が高く、次いで「Ⅱ」が 30.0%、「Ⅲ以上」が 8.1%となっています。「パートタイム勤務」では「自立＋Ⅰ」が 60.0%と最も割合が高く、次いで「Ⅱ」が 32.9%、「Ⅲ以上」が 7.1%となっています。「働いていない」では「自立＋Ⅰ」が 55.7%と最も割合が高く、次いで「Ⅱ」が 34.0%、「Ⅲ以上」が 10.2%となっています。

図表 2-6　就労状況別・認知症自立度



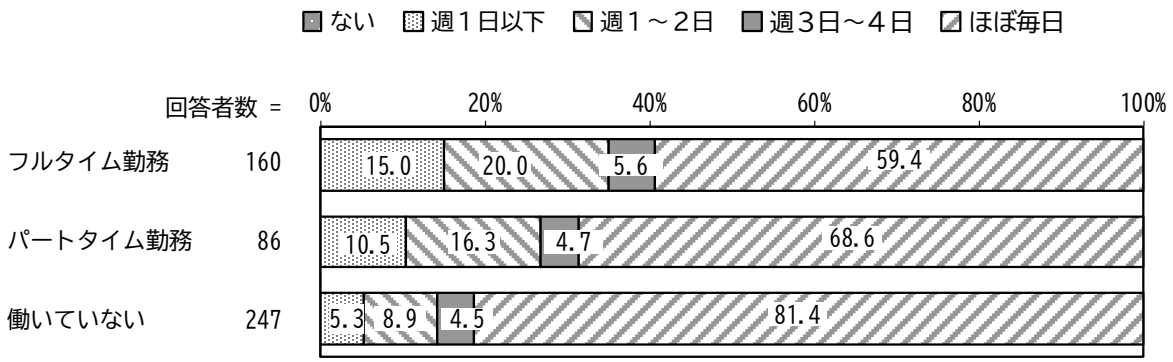
## （２）就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

**家族等による介護の頻度**

【就労状況別】

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 59.4%と最も割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 20.0%、「週 1 日以下」が 15.0%となっています。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 68.6%と最も割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 16.3%、「週 1 日以下」が 10.5%となっています。「働いていない」では「ほぼ毎日」が 81.4%と最も割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 8.9%、「週 1 日以下」が 5.3%となっています。

図表 2-7　就労状況別・家族等による介護の頻度

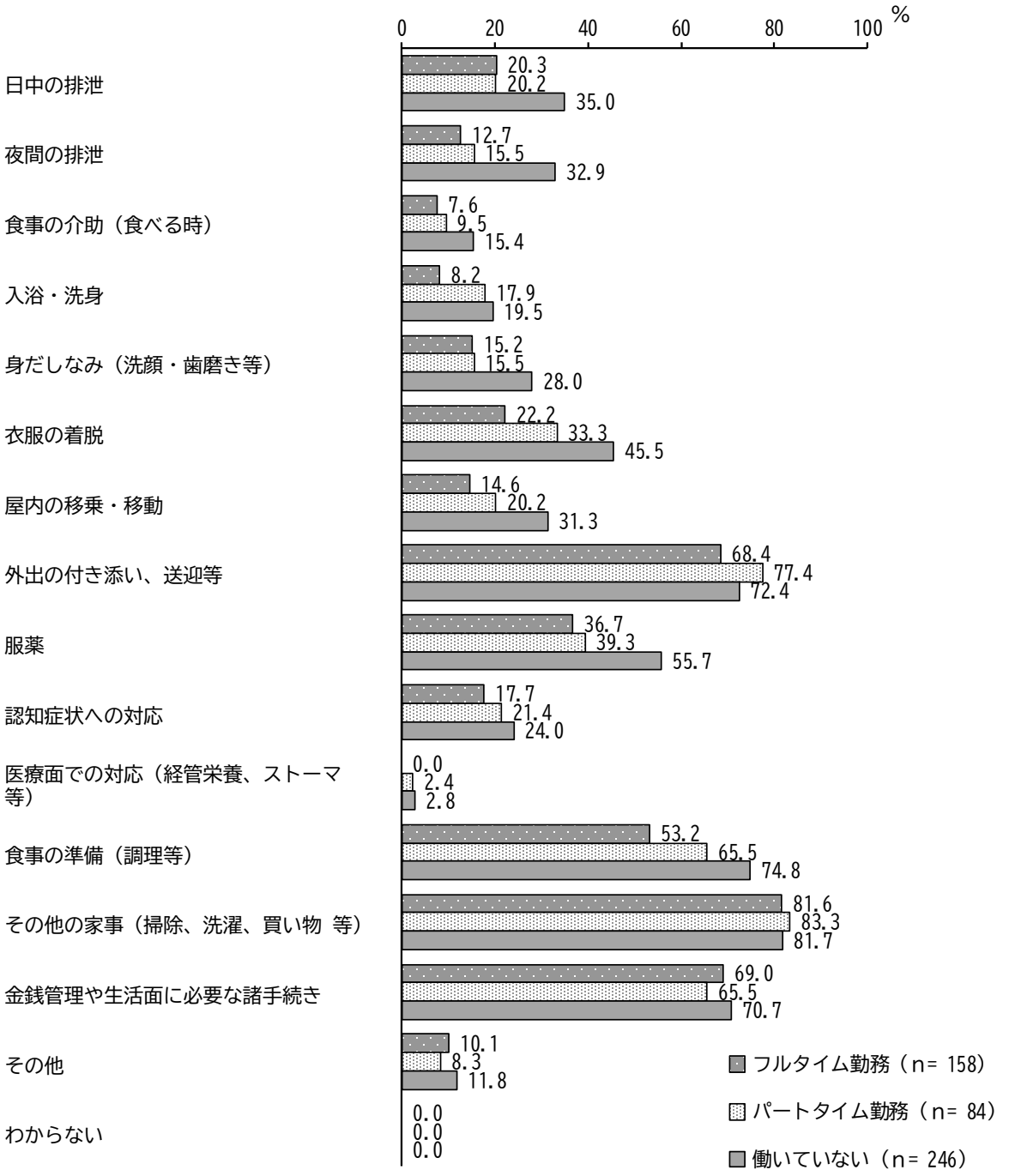


**主な介護者が行っている介護**

【就労状況別】

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」が81.6%と最も割合が高くなっています。「パートタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」が83.3%と最も割合が高くなっています。「働いていない」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」が81.7%と最も割合が高くなっています。

図表 2-8　就労状況別・主な介護者が行っている介護

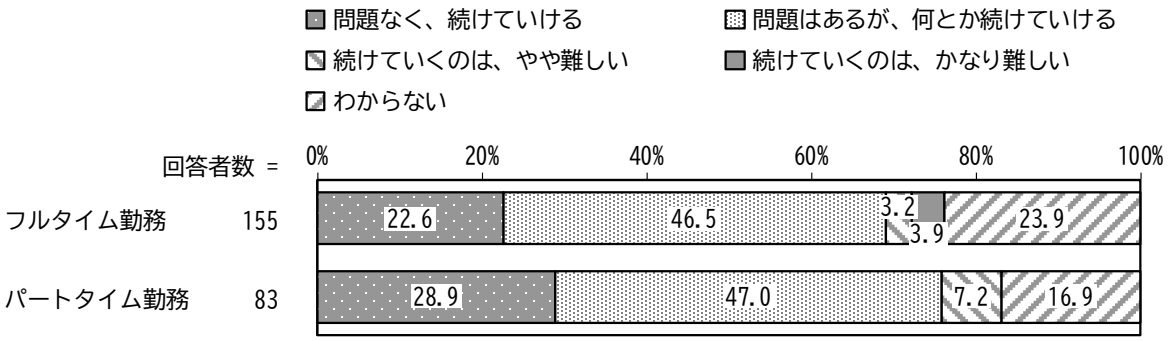


**就労継続見込み**

【就労状況別】

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 46.5%と最も割合が高く、次いで「わからない」が 23.9%、「問題なく、続けていける」が 22.6%となっています。「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 47.0%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 28.9%、「わからない」が 16.9%となっています。

図表 2-9　就労状況別・就労継続見込み

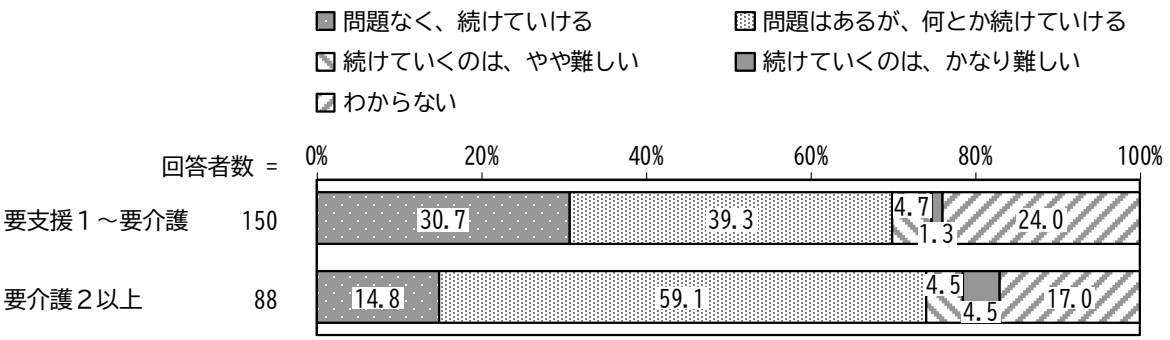



**就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）**

【要介護度別】

就労状況別にみると、「要支援１～要介護１」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 39.3%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 30.7%、「わからない」が 24.0%となっています。「要介護２以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 59.1%と最も割合が高く、次いで「わからない」が 17.0%、「問題なく、続けていける」が 14.8%となっています。

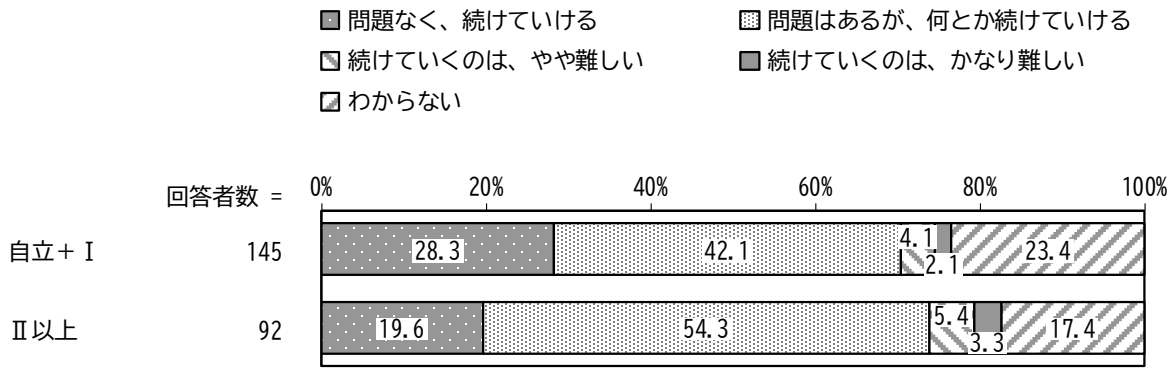
図表 2-10　要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 42.1%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 28.3%、「わからない」が 23.4%となっています。「Ⅱ以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 54.3%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 19.6%、「わからない」が 17.4%となっています。

図表 2-11　認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



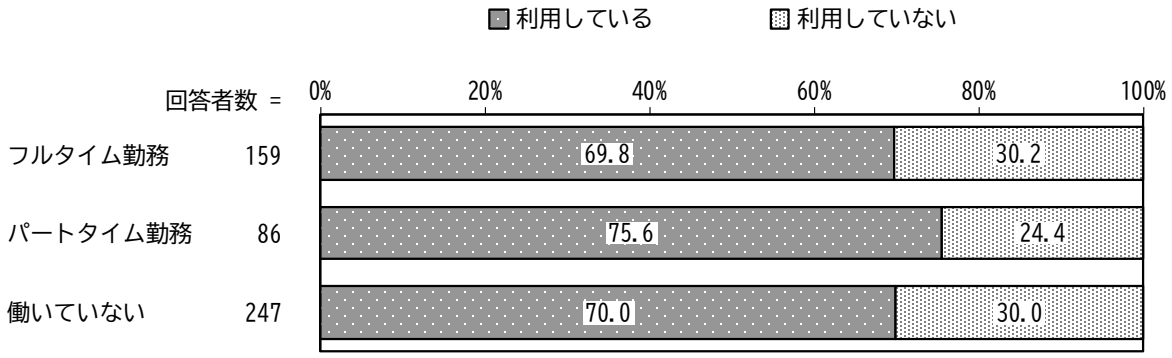
## （3）「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

**介護保険サービス利用の有無**

【就労状況別】

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「利用している」が 69.8%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が 30.2%となっています。「パートタイム勤務」では「利用している」が 75.6%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が 24.4%となっています。「働いていない」では「利用している」が 70.0%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が 30.0%となっています。

図表 2-12　就労状況別・介護保険サービス利用の有無

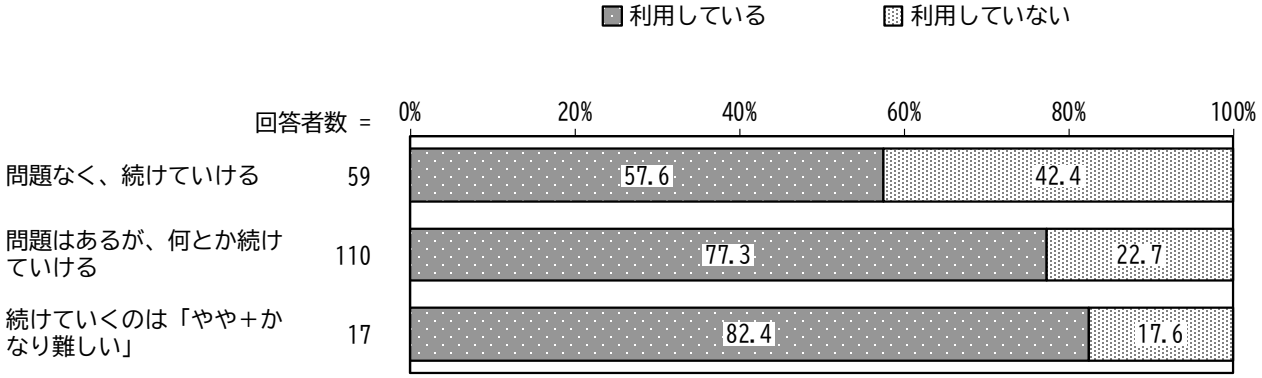



**介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）**

【就労継続見込み別】

就労継続見込み別にみると、「問題なく、続けていける」では「利用している」が 57.6%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が 42.4%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が 77.3%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が 22.7%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「利用している」が 82.4%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が 17.6%となっています。

図表 2-13　就労継続見込み別・介護保険サービス利用の有無
（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

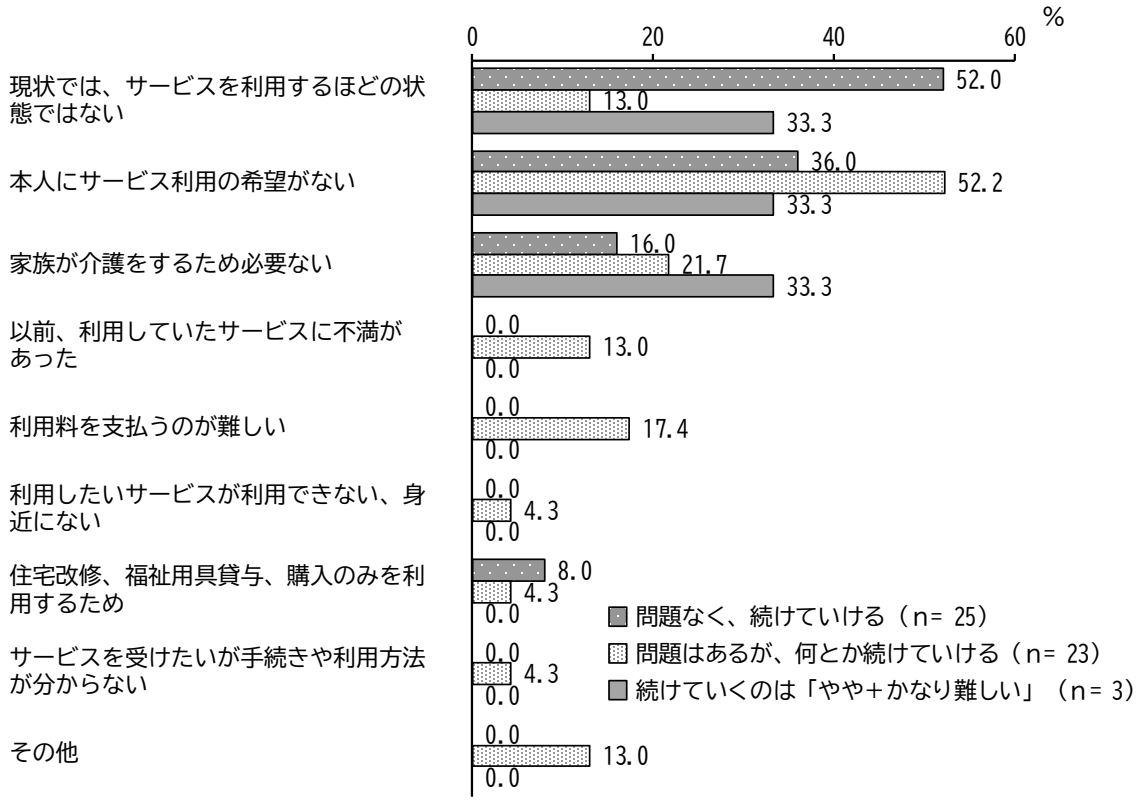


**サービス未利用の理由（フルタイム勤務＋パート勤務）**

【就労継続見込み別】

就労継続見込み別にみると、「問題なく、続けていける」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 52.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 36.0%、「家族が介護をするため必要ない」が 16.0%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「本人にサービス利用の希望がない」が 52.2%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 21.7%、「利用料を支払うのが難しい」が 17.4%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が 33.3%と最も割合が高くなっています。

図表 2-14　就労継続見込み別・サービス未利用の理由（フルタイム勤務＋パート勤務）

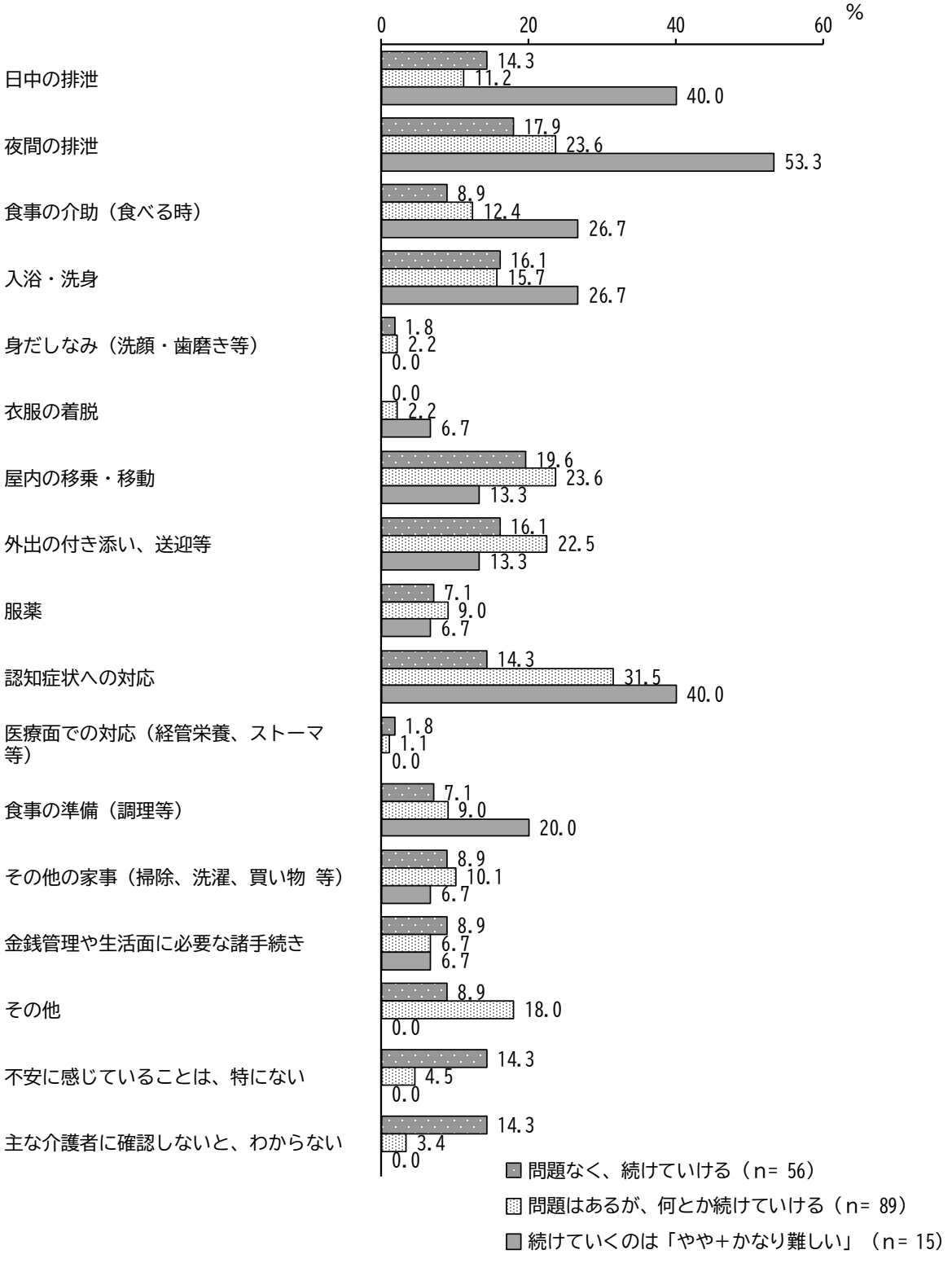


**介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）**

【就労継続見込み別】

就労継続見込み別にみると、「問題なく、続けていける」では「屋内の移乗・移動」が 19.6%と最も割合が高くなっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「認知症状への対応」が 31.5%と最も割合が高くなっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「夜間の排泄」が 53.3%と最も割合が高くなっています。

図表 2-15　就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



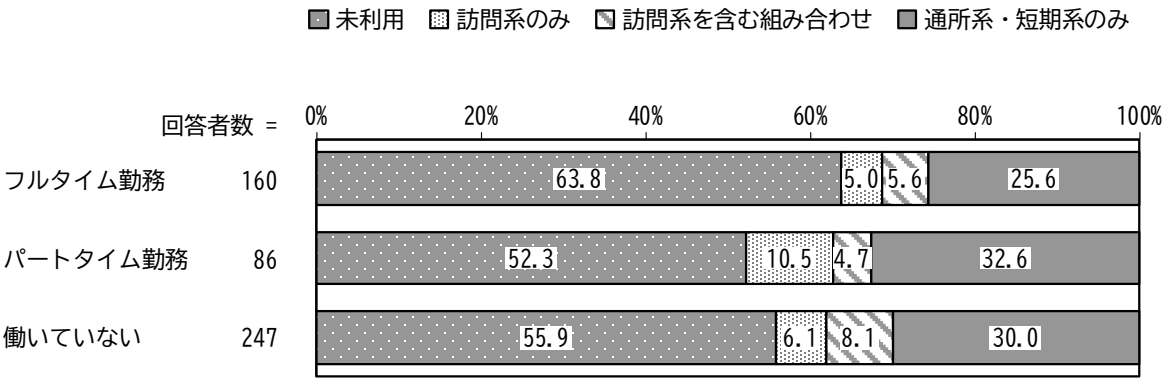
## （4）「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

**サービス利用の組み合わせ**

【就労状況別】

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「未利用」が 63.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 25.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が 5.6%となっています。「パートタイム勤務」では「未利用」が 52.3%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 32.6%、「訪問系のみ」が 10.5%となっています。「働いていない」では「未利用」が 55.9%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 30.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が 8.1%となっています。

図表 2-16　就労状況別・サービス利用の組み合わせ

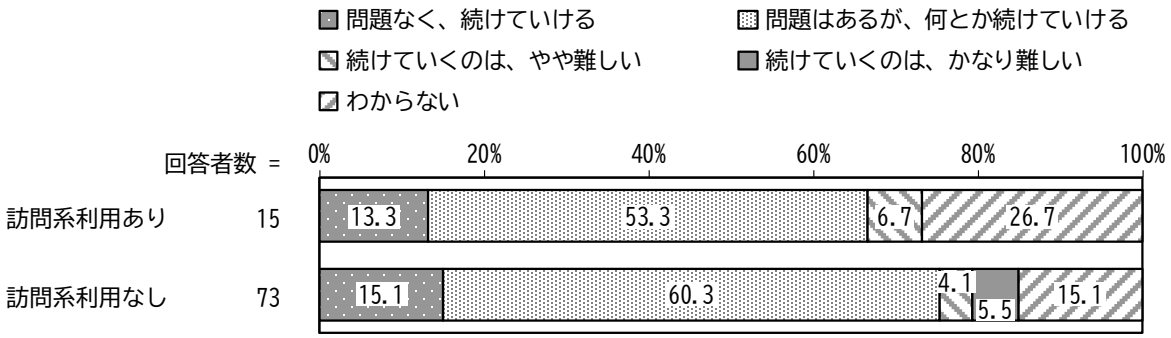


**就労継続見込み（要介護２以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）**

【サービス利用の組み合わせ別】

サービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 53.3%と最も割合が高く、次いで「わからない」が 26.7%、「問題なく、続けていける」が 13.3%となっています。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 60.3%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」、「わからない」が 15.1%、「続けていくのは、かなり難しい」が 5.5%となっています。

図表 2-17　サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
（要介護２以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

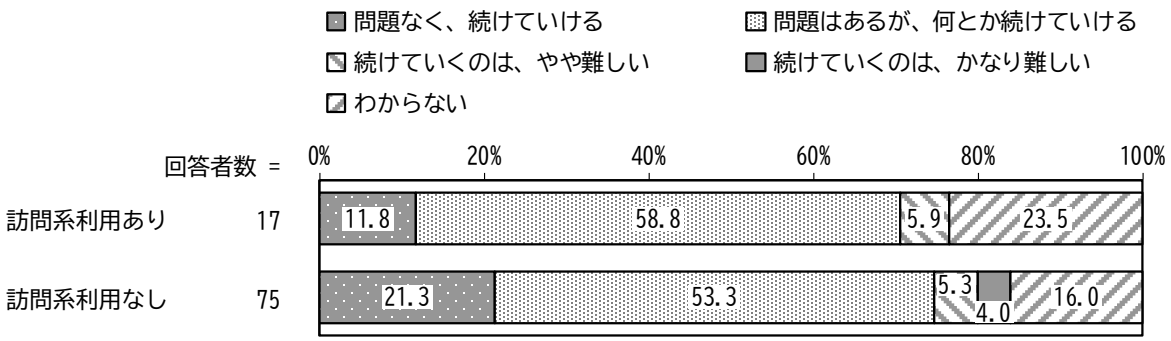



**就労継続見込み（要介護２以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）**

【サービス利用の組み合わせ別】

サービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 58.8%と最も割合が高く、次いで「わからない」が 23.5%、「問題なく、続けていける」が 11.8%となっています。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 53.3%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 21.3%、「わからない」が 16.0%となっています。

図表 2-18　サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

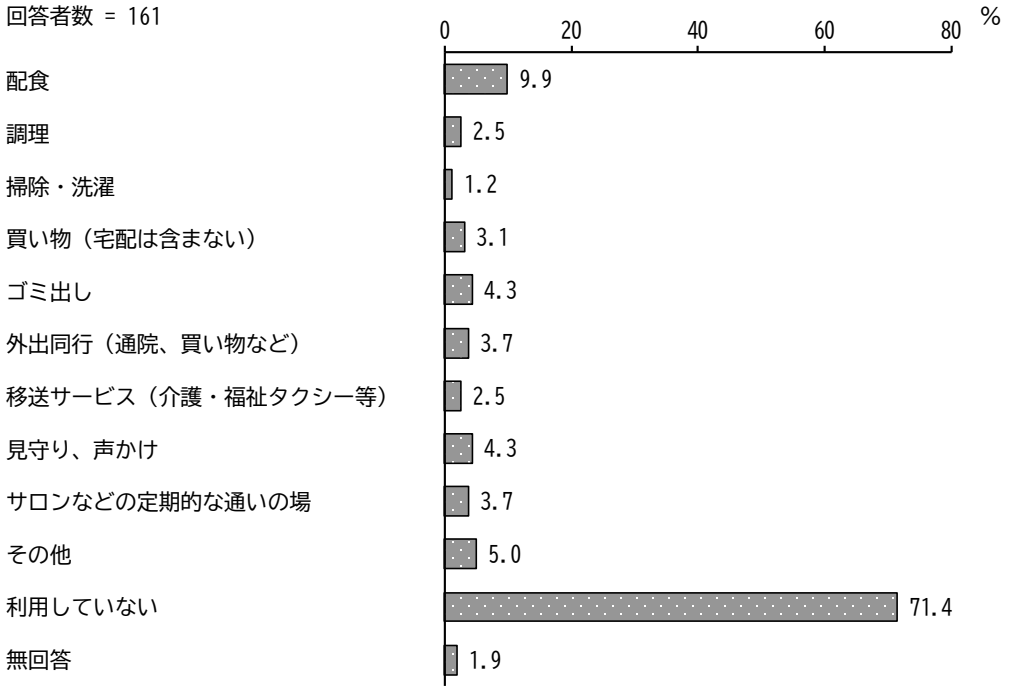


## （５）就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

**利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）**

「利用していない」の割合が最も高く 71.4%となっています。次いで、「配食（9.9%）」、「その他（5.0%）」となっています。

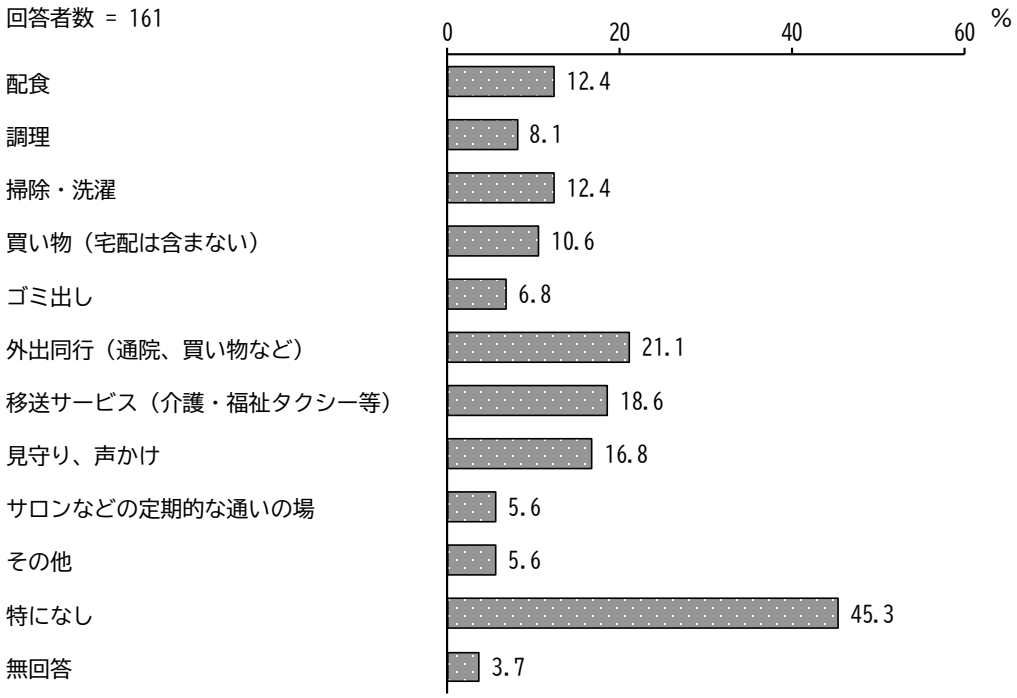
図表 2-19_1　利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）




**在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）**

「特になし」の割合が最も高く 45.3%となっています。次いで、「外出同行（通院、買い物など）（21.1%）」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）（18.6%）」となっています。

図表 2-19_2　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）

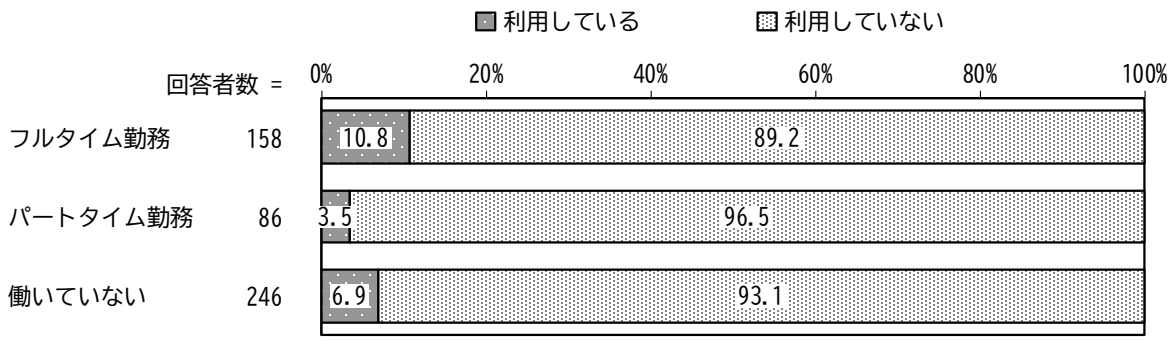


**訪問診療の利用の有無**

【就労状況別】

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「利用していない」が 89.2%と最も割合が高く、次いで「利用している」が 10.8%となっています。「パートタイム勤務」では「利用していない」が 96.5%と最も割合が高く、次いで「利用している」が 3.5%となっています。「働いていない」では「利用していない」が 93.1%と最も割合が高く、次いで「利用している」が 6.9%となっています。

図表 2-20　就労状況別・訪問診療の利用の有無

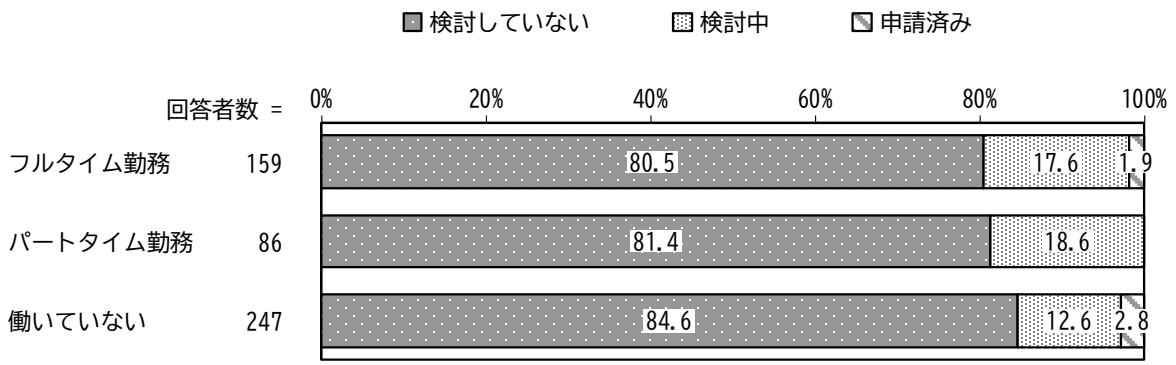



**施設等検討の状況**

【就労状況別】

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が 80.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 17.6%、「申請済み」が 1.9%となっています。「パートタイム勤務」では「検討していない」が 81.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 18.6%となっています。「働いていない」では「検討していない」が 84.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 12.6%、「申請済み」が 2.8%となっています。

図表 2-21　就労状況別・施設等検討の状況

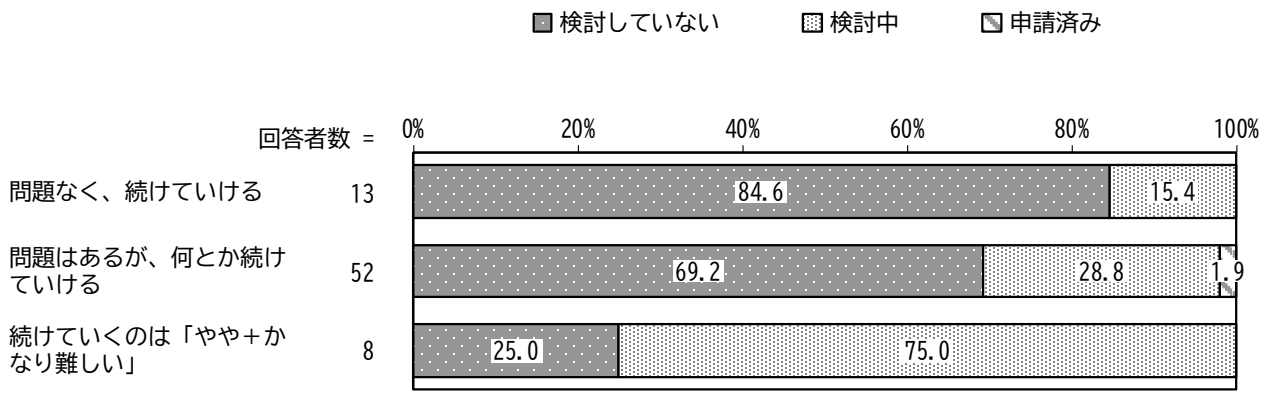


**施設等検討の状況（要介護２以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）**

【就労継続見込み別】

就労継続見込み別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が 84.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 15.4%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が 69.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 28.8%、「申請済み」が 1.9%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「検討中」が 75.0%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が 25.0%となっています。

図表 2-22　就労継続見込み別・施設等検討の状況
（要介護２以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



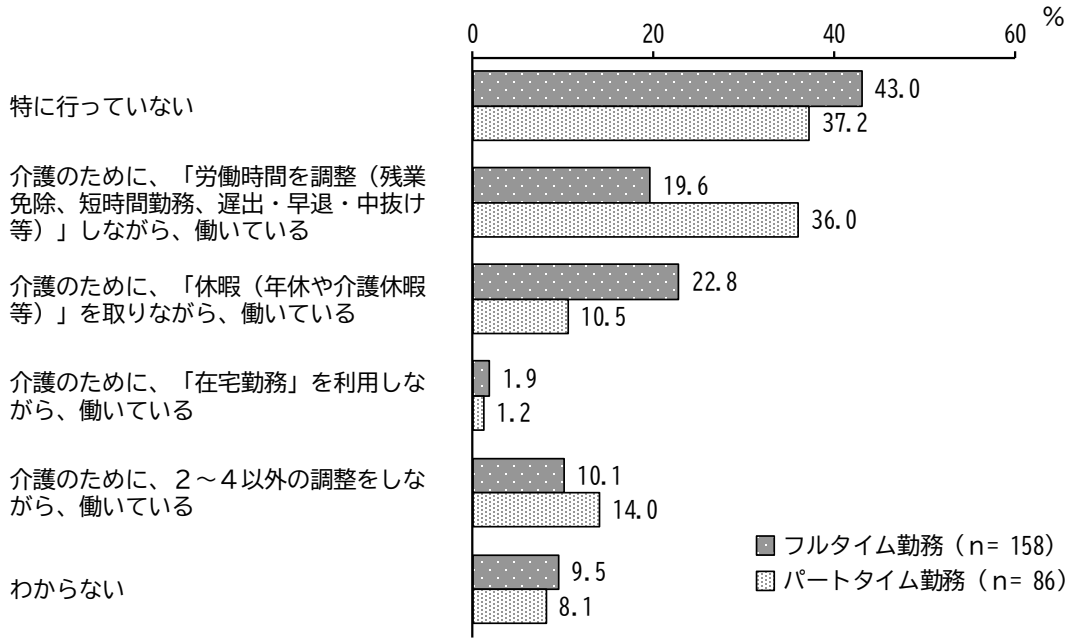
## （６）就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

**介護のための働き方の調整**

【就労状況別】

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が 43.0%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 22.8%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 19.6%となっています。「パートタイム勤務」では「特に行っていない」が 37.2%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 36.0%、「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」が 14.0%となっています。

図表 2-23　就労状況別・介護のための働き方の調整

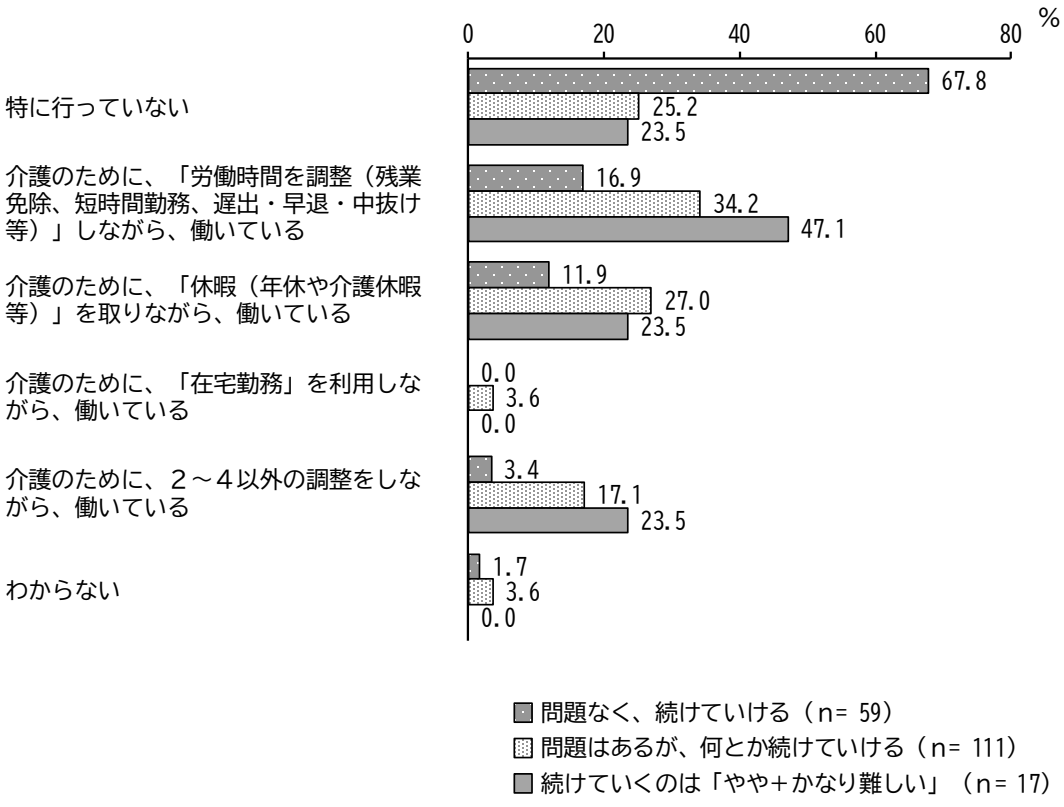


**介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）**

【就労継続見込み別】

就労継続見込み別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が 67.8%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 16.9%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 11.9%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 34.2%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 27.0%、「特に行っていない」が 25.2%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 47.1%と最も割合が高くなっています。

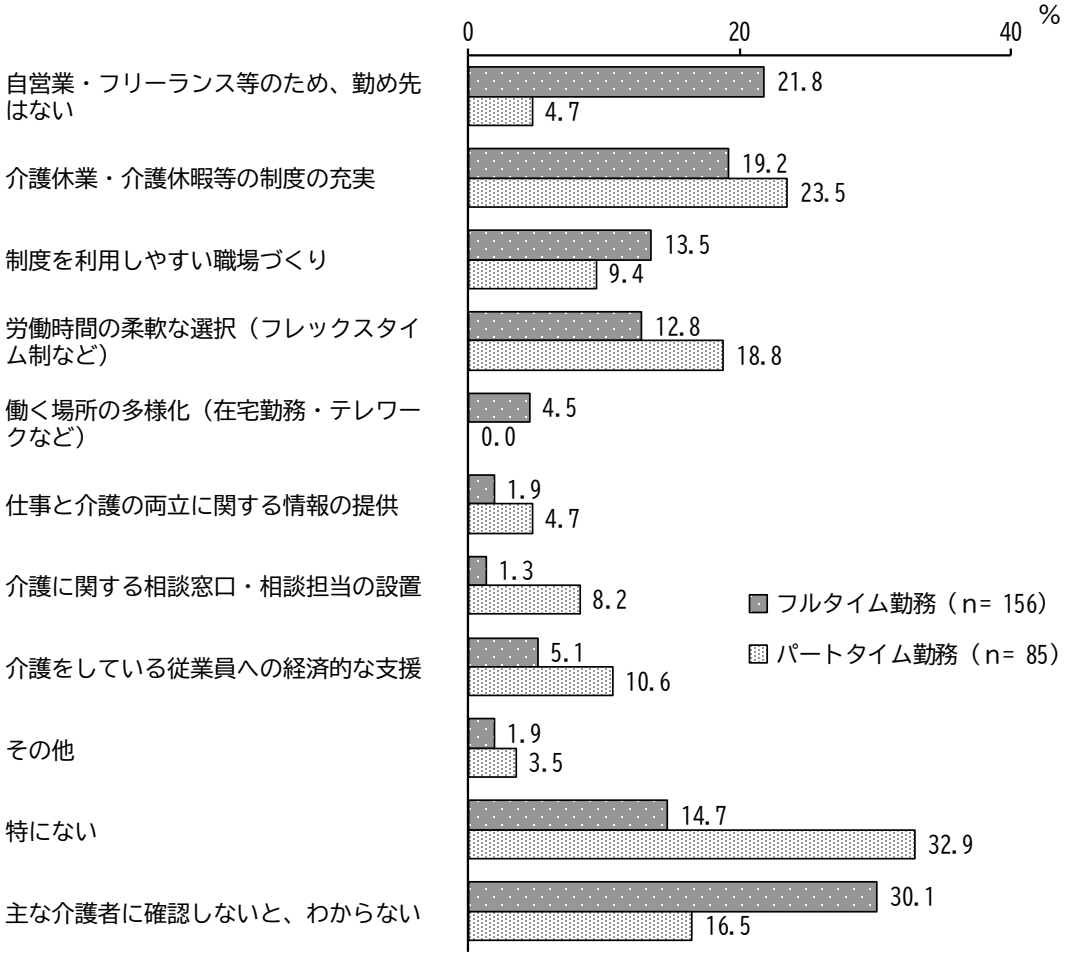
図表 2-24　就労継続見込み別・介護のための働き方の調整
（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



**効果的な勤め先からの支援**

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「主な介護者に確認しないと、わからない」が30.1%と最も割合が高く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が21.8%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が19.2%となっています。「パートタイム勤務」では「特にない」が32.9%と最も割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が23.5%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が18.8%となっています。

図表 2-25　就労状況別・効果的な勤め先からの支援

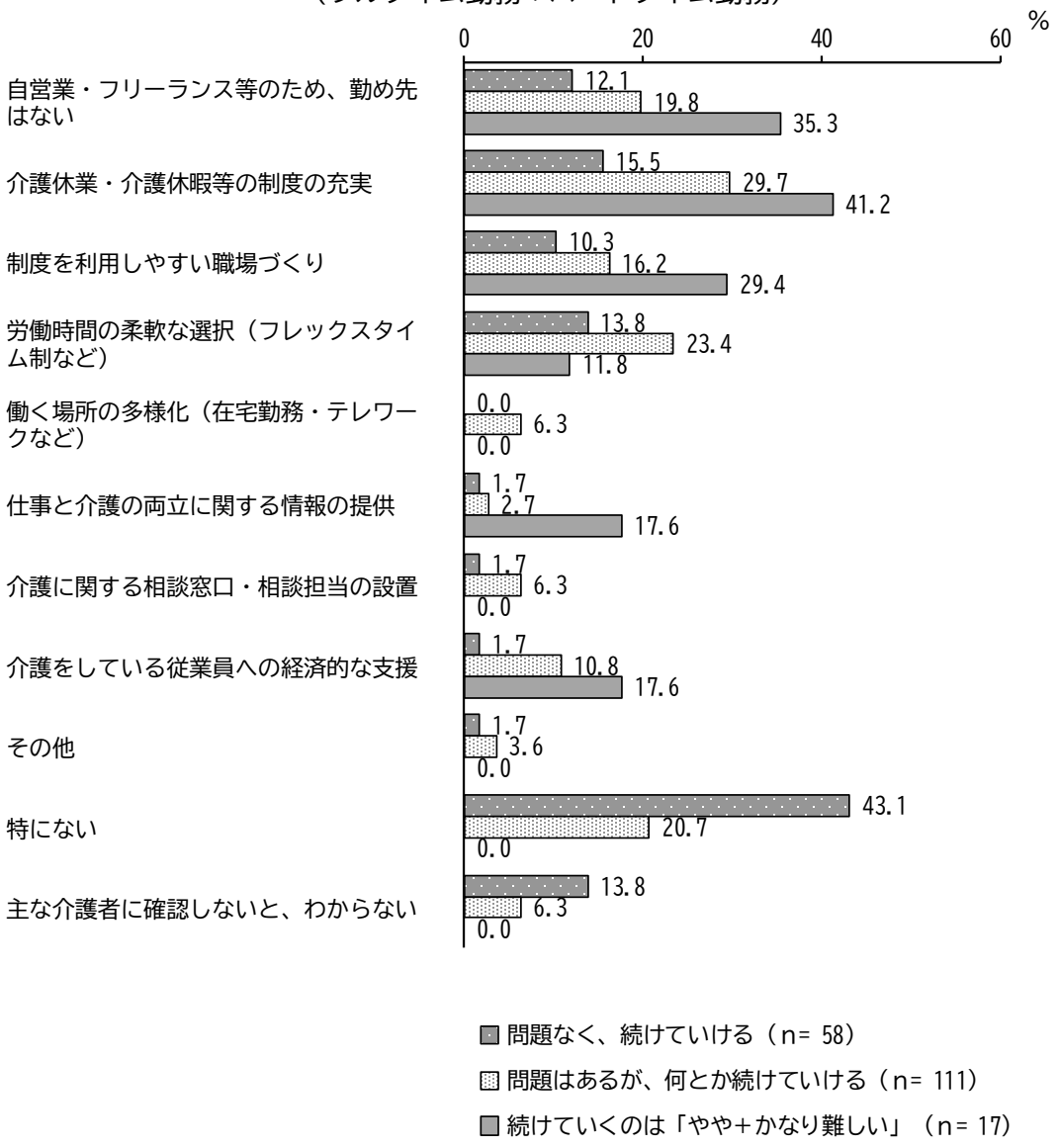


**効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）**

【就労継続見込み別】

就労継続見込み別にみると、「問題なく、続けていける」では「特にない」が 43.1%と最も割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 15.5%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 13.8%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 29.7%と最も割合が高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 23.4%、「特にない」が 20.7%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 41.2%と最も割合が高く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が 35.3%、「制度を利用しやすい職場づくり」が 29.4%となっています。

図表 2-26　就労継続見込み別・効果的な勤め先からの支援
（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



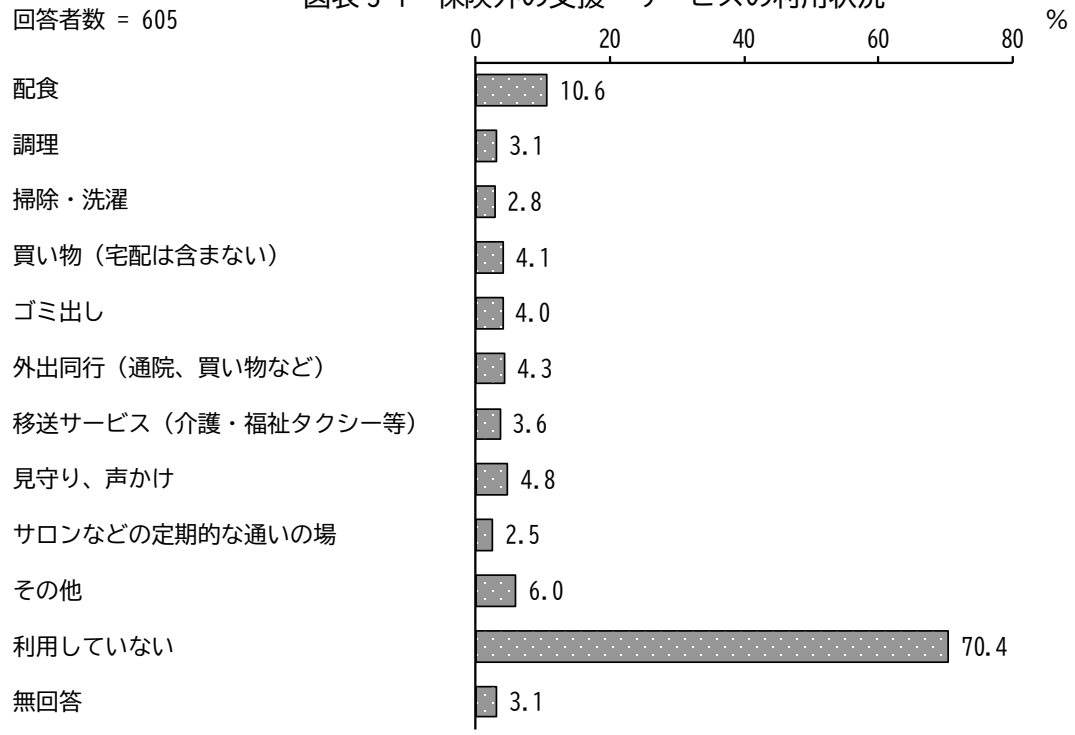
# 6　仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

## （1）基礎集計

**保険外の支援・サービスの利用状況**

「利用していない」の割合が最も高く 70.4%となっています。次いで、「配食（10.6%）」、「その他（6.0%）」となっています。

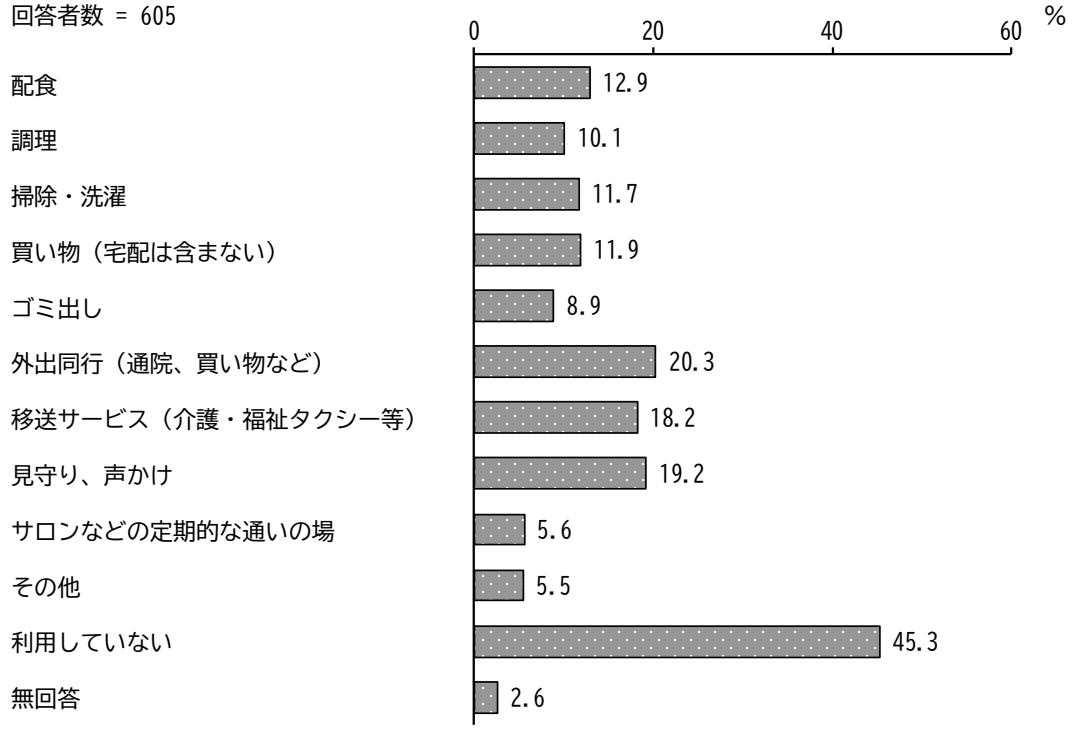
図表 3-1　保険外の支援・サービスの利用状況




**在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス**

「特になし」の割合が最も高く 45.3%となっています。次いで、「外出同行（通院、買い物など）（20.3%）」、「見守り、声かけ（19.2%）」となっています。

図表 3-2　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



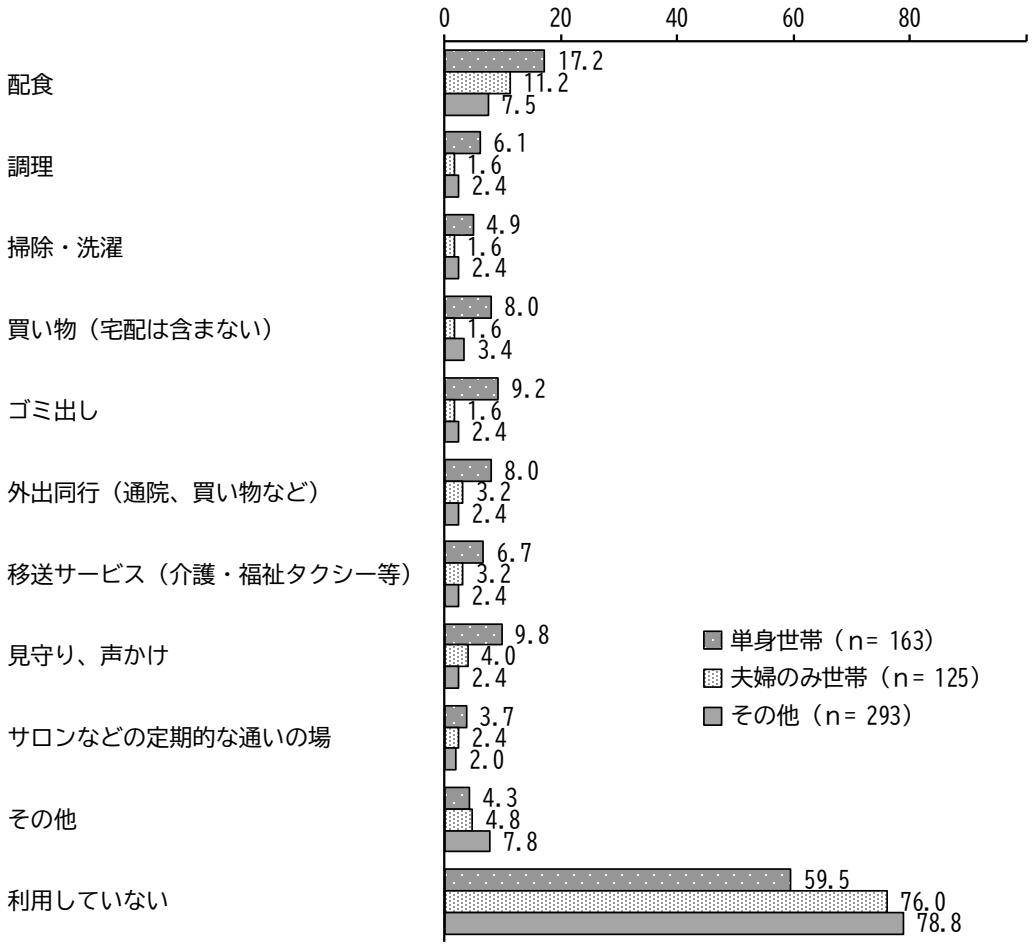
## （2）世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

**保険外の支援・サービスの利用状況**

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が 59.5%と最も割合が高く、次いで「配食」が 17.2%、「見守り、声かけ」が 9.8%となっています。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が 76.0%と最も割合が高く、次いで「配食」が 11.2%、「その他」が 4.8%となっています。「その他」では「利用していない」が 78.8%と最も割合が高く、次いで「その他」が 7.8%、「配食」が 7.5%となっています。

図表 3-3　世帯類型別・保険外の支援・サービスの利用状況

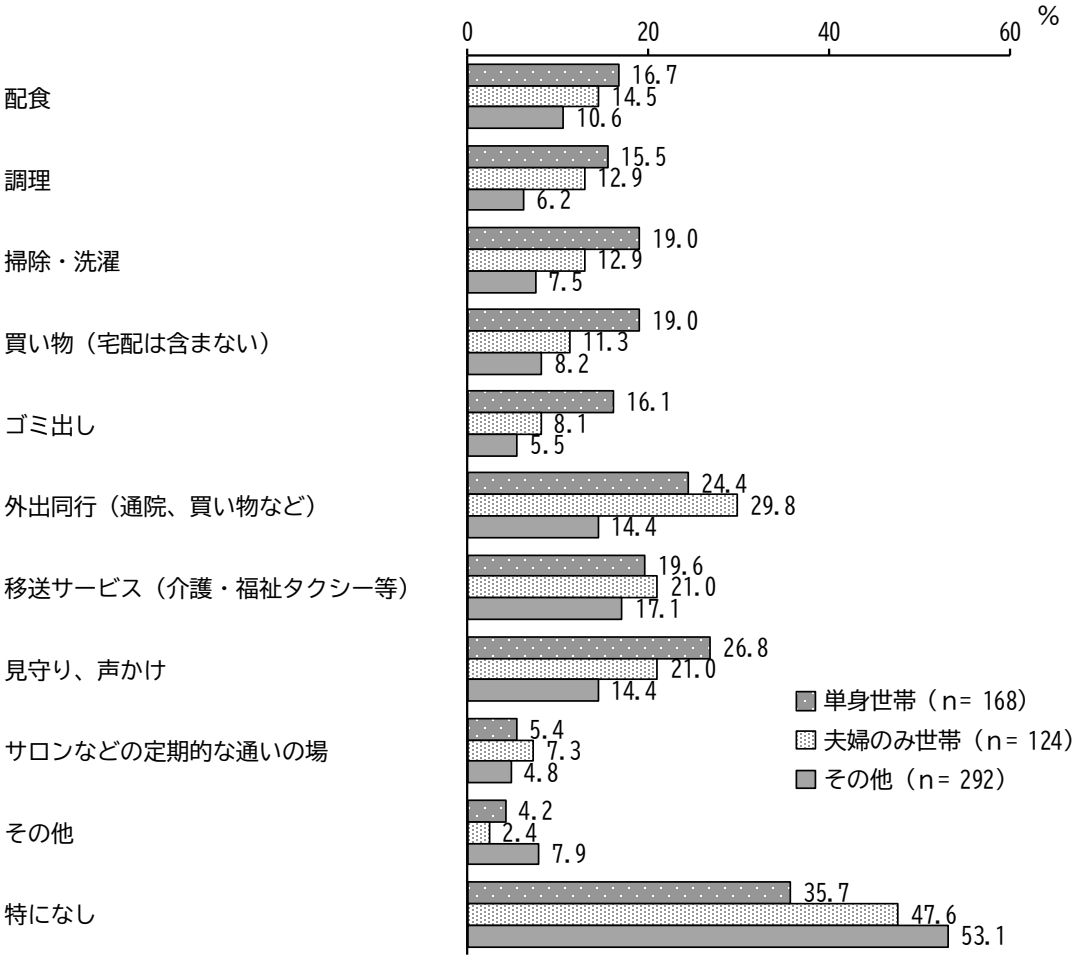


**在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス**

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、「単身世帯」では「特になし」が 35.7%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が 26.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が 24.4%となっています。「夫婦のみ世帯」では「特になし」が 47.6%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 29.8%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「見守り、声かけ」が 21.0%となっています。「その他」では「特になし」が 53.1%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 17.1%、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が 14.4%となっています。

図表 3-4　世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



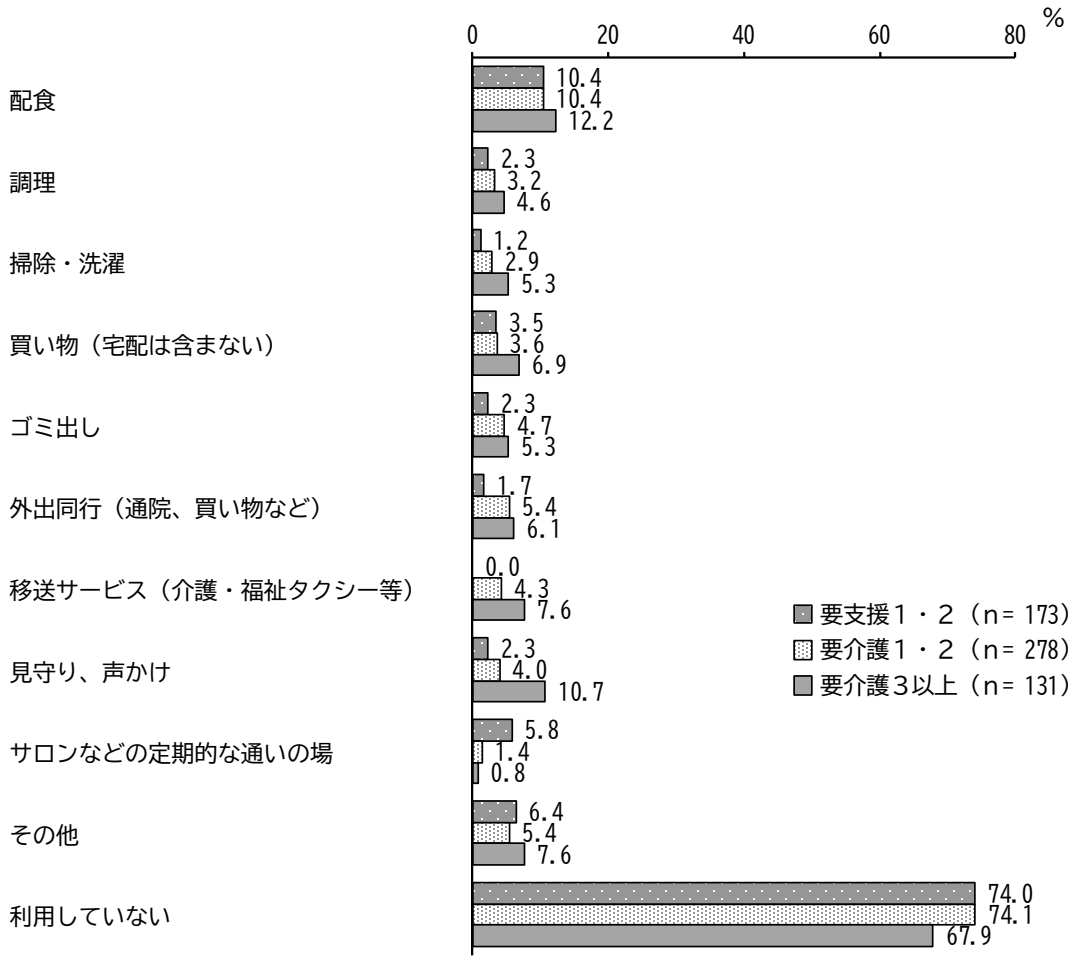
## （3）「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

**保険外の支援・サービスの利用状況**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が 74.0%と最も割合が高く、次いで「配食」が 10.4%、「その他」が 6.4%となっています。「要介護１・２」では「利用していない」が 74.1%と最も割合が高く、次いで「配食」が 10.4%、「外出同行（通院、買い物など）」、「その他」が 5.4%となっています。「要介護３以上」では「利用していない」が 67.9%と最も割合が高く、次いで「配食」が 12.2%、「見守り、声かけ」が 10.7%となっています。

図表 3-5　要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況

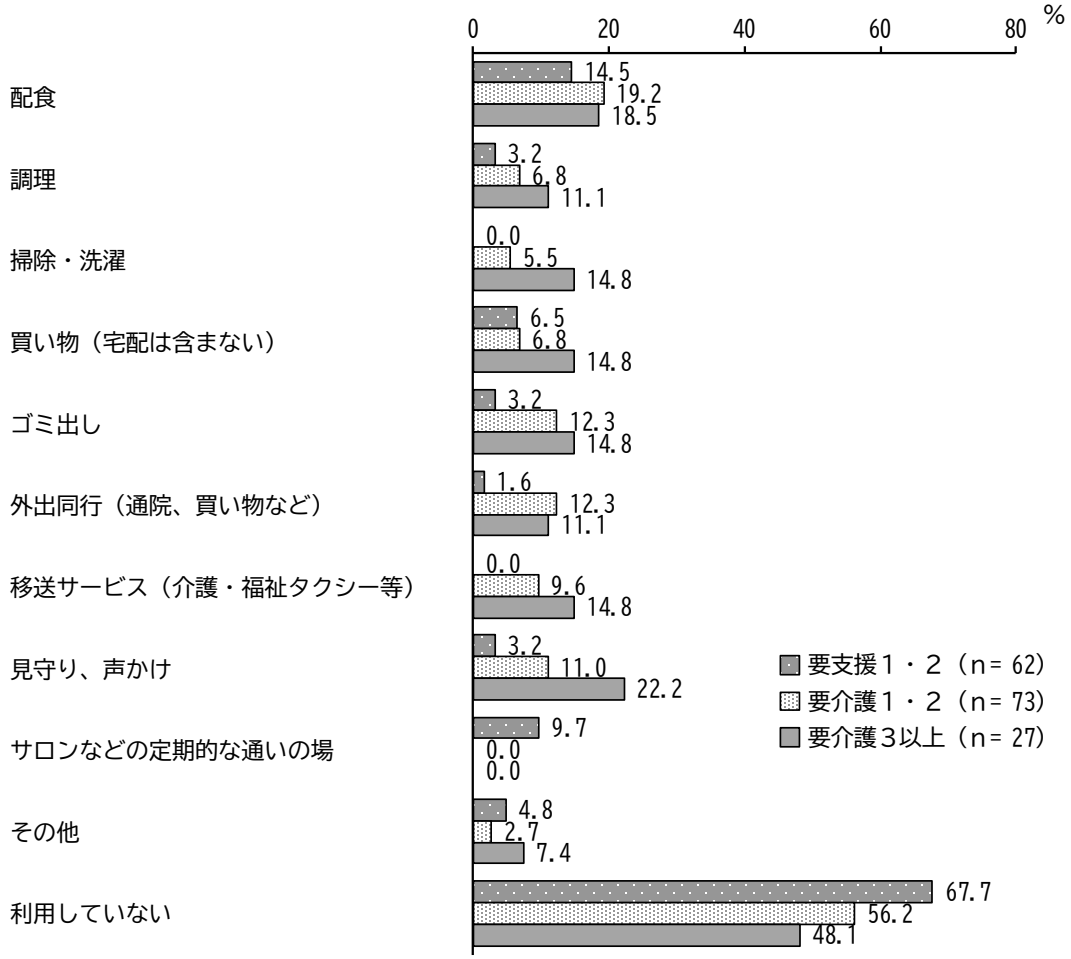


**保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が 67.7%と最も割合が高く、次いで「配食」が 14.5%、「サロンなどの定期的な通いの場」が 9.7%となっています。「要介護１・２」では「利用していない」が 56.2%と最も割合が高く、次いで「配食」が 19.2%、「ゴミ出し」、「外出同行（通院、買い物など）」が 12.3%となっています。「要介護３以上」では「利用していない」が 48.1%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が 22.2%、「配食」が 18.5%となっています。

図表 3-6　要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）

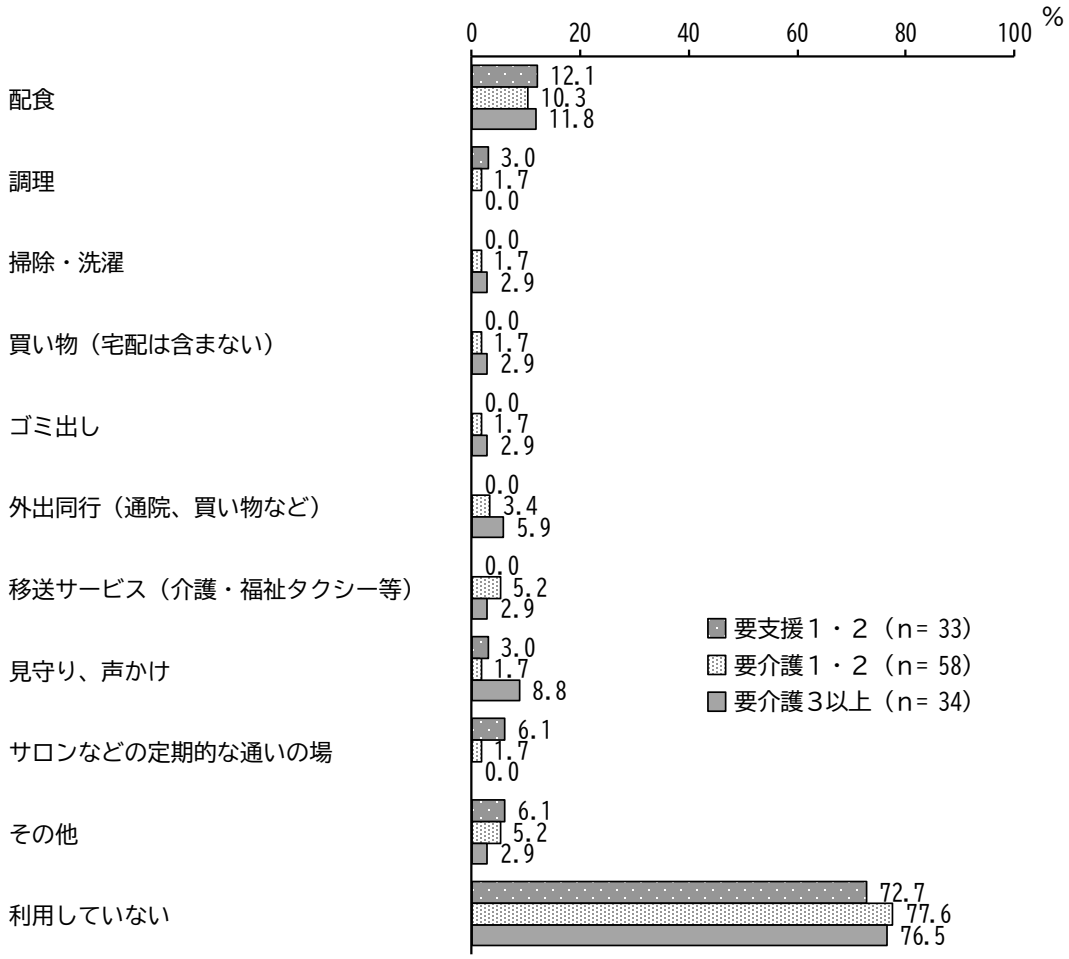


**保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が 72.7%と最も割合が高く、次いで「配食」が 12.1%、「サロンなどの定期的な通いの場」、「その他」が 6.1%となっています。「要介護１・２」では「利用していない」が 77.6%と最も割合が高く、次いで「配食」が 10.3%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「その他」が 5.2%となっています。「要介護３以上」では「利用していない」が 76.5%と最も割合が高く、次いで「配食」が 11.8%、「見守り、声かけ」が 8.8%となっています。

図表 3-7　要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）

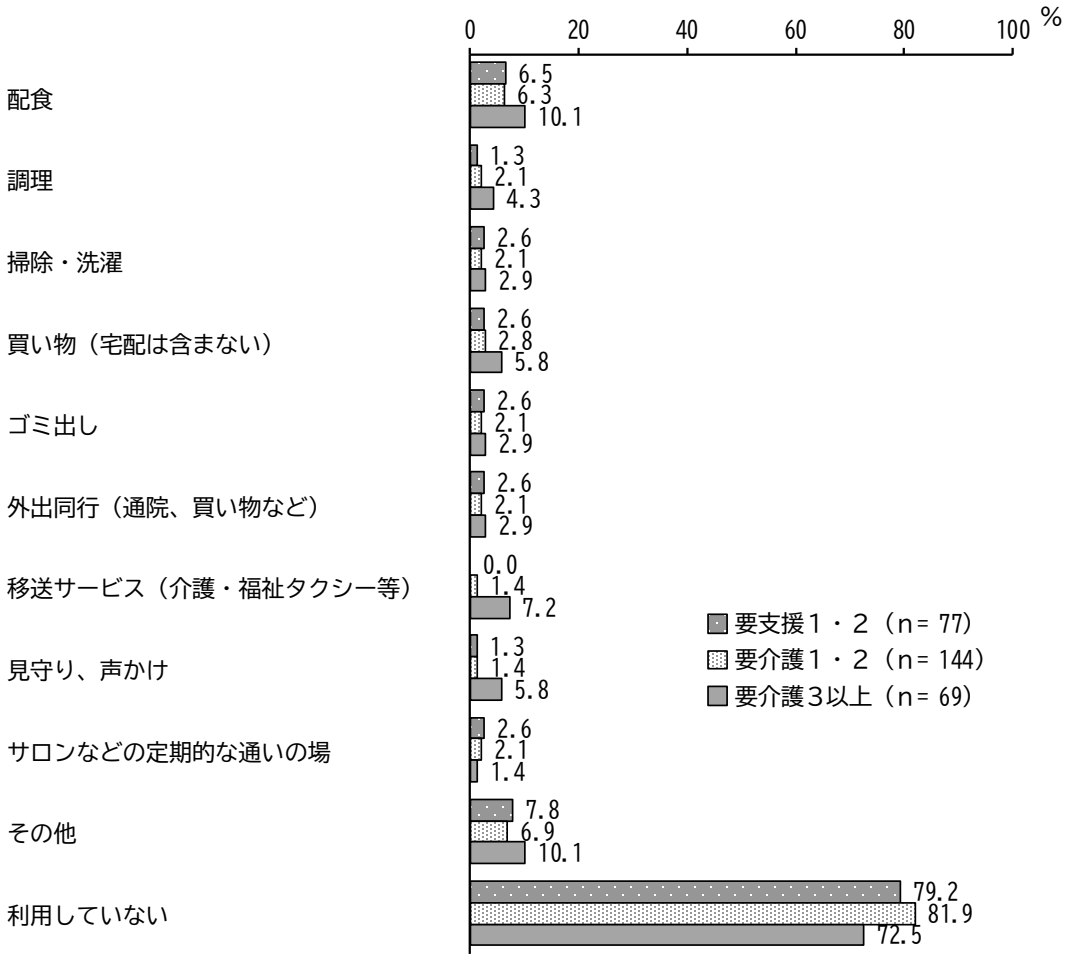


**保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が 79.2%と最も割合が高く、次いで「その他」が 7.8%、「配食」が 6.5%となっています。「要介護１・２」では「利用していない」が 81.9%と最も割合が高く、次いで「その他」が 6.9%、「配食」が 6.3%となっています。「要介護３以上」では「利用していない」が 72.5%と最も割合が高く、次いで「配食」、「その他」が 10.1%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 7.2%となっています。

図表 3-8　要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）



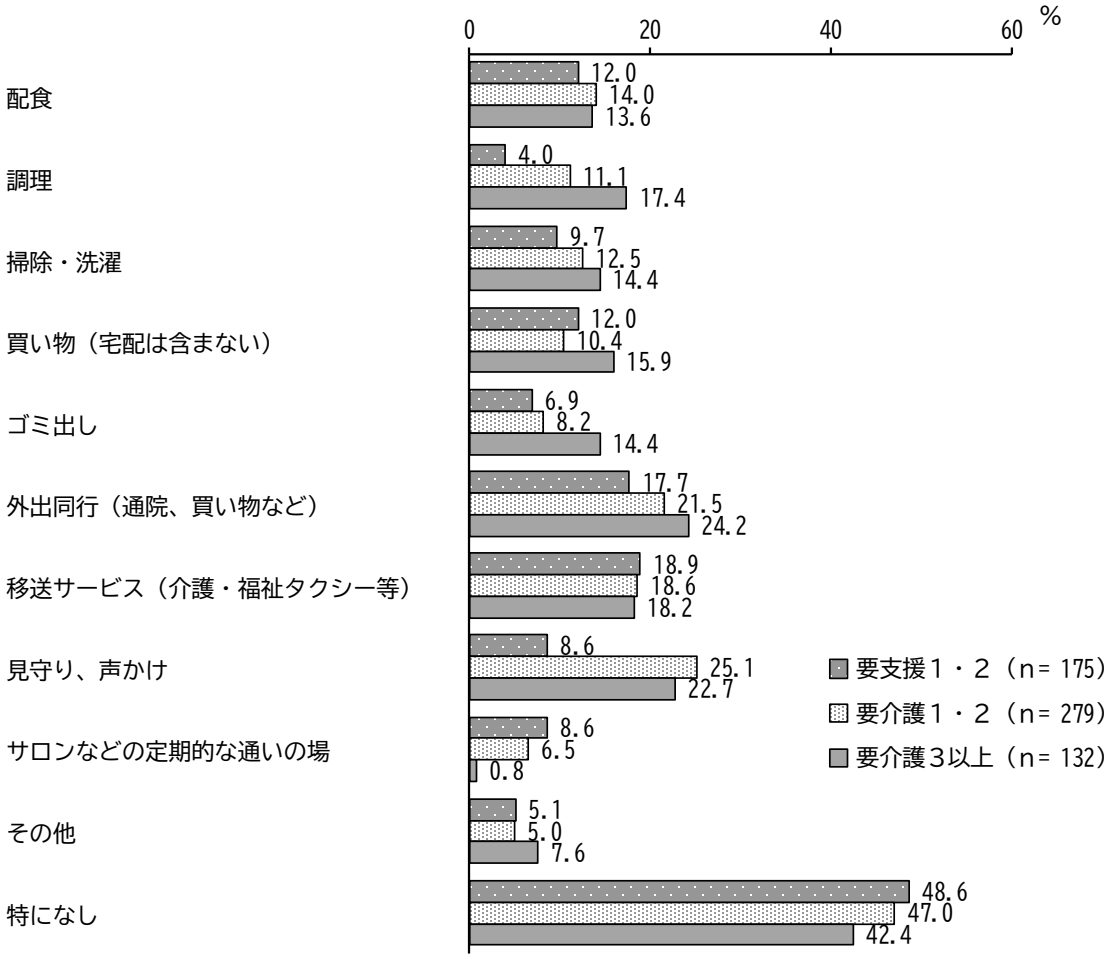
## （４）「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

**在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「特になし」が 48.6%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 18.9%、「外出同行（通院、買い物など）」が 17.7%となっています。「要介護１・２」では「特になし」が 47.0%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が 25.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が 21.5%となっています。「要介護３以上」では「特になし」が 42.4%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 24.2%、「見守り、声かけ」が 22.7%となっています。

図表 3-9　要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

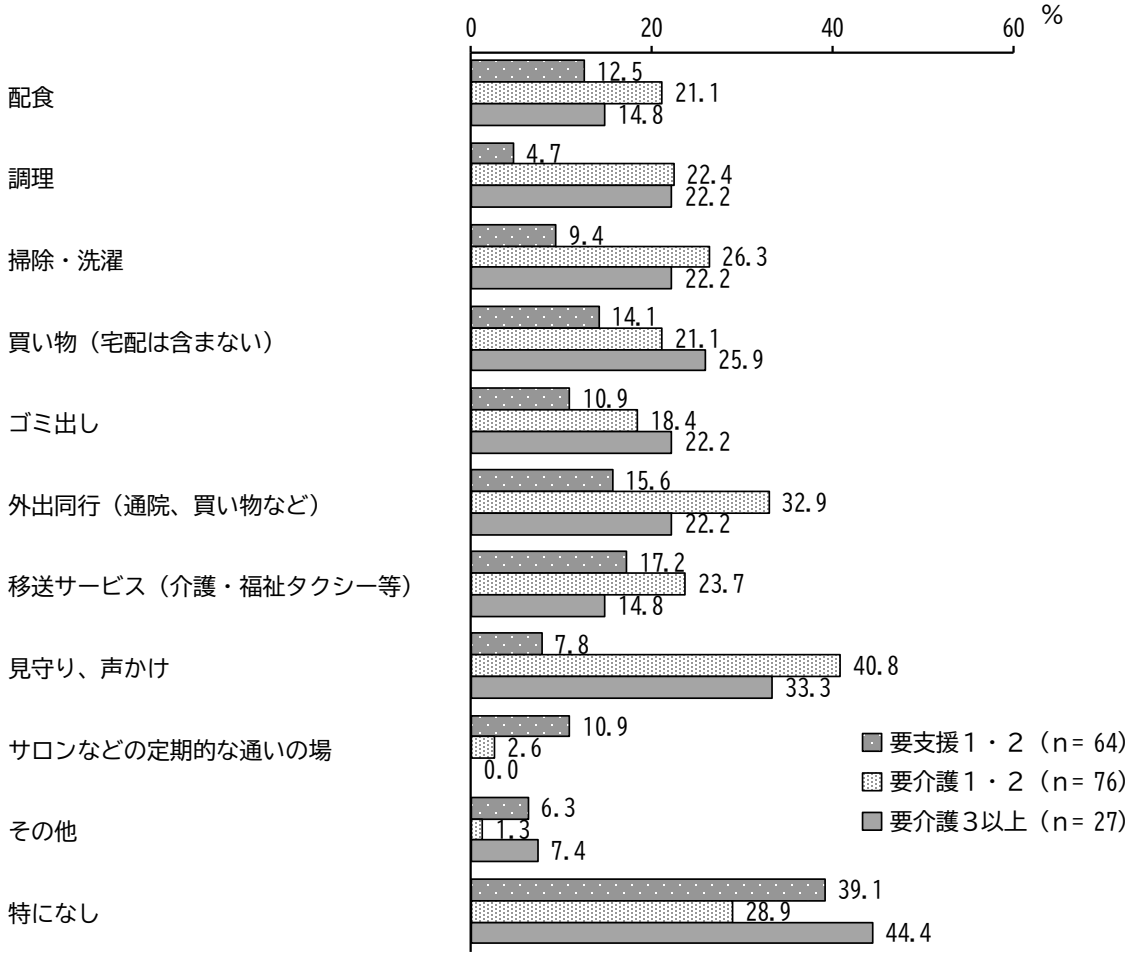


**在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「特になし」が 39.1%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 17.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が 15.6%となっています。「要介護１・２」では「見守り、声かけ」が 40.8%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 32.9%、「特になし」が 28.9%となっています。「要介護３以上」では「特になし」が 44.4%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が 33.3%、「買い物（宅配は含まない）」が 25.9%となっています。

図表 3-10　要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）

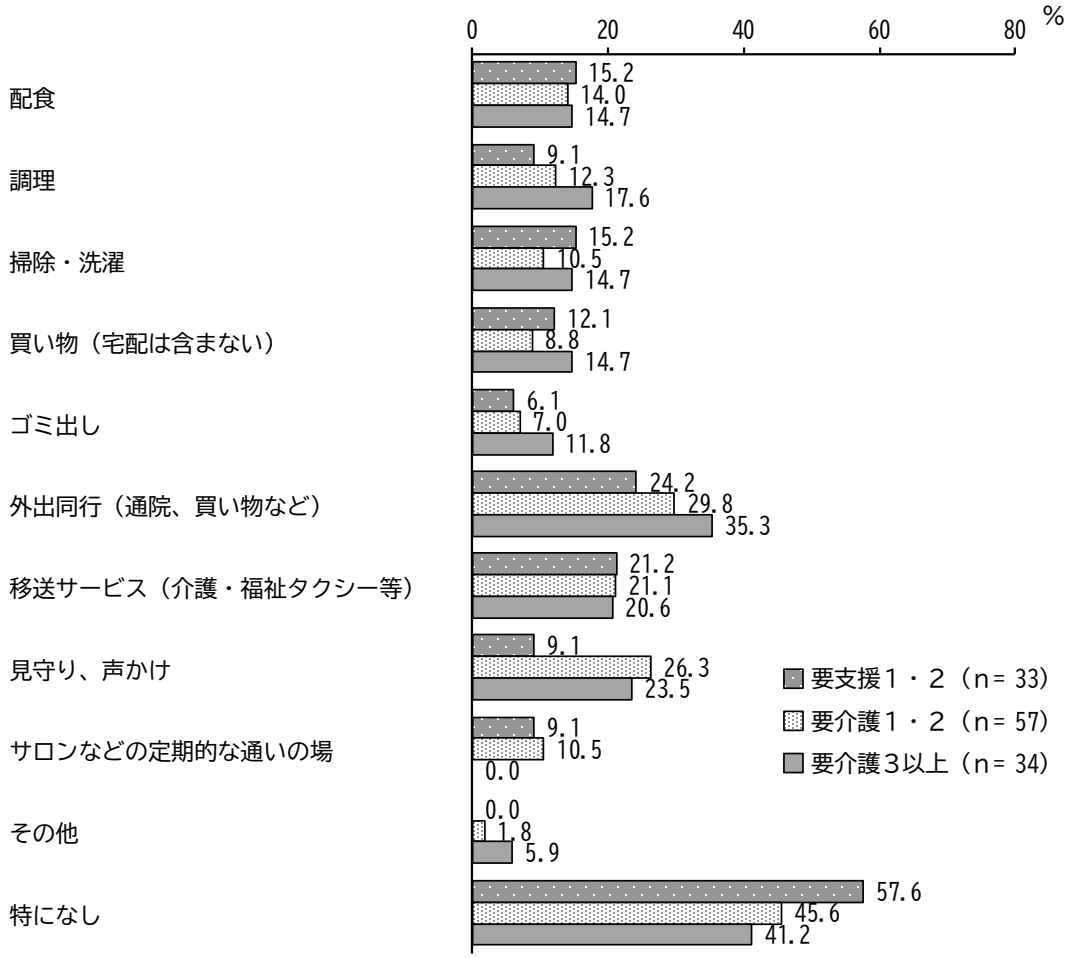


**在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「特になし」が 57.6%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 24.2%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 21.2%となっています。「要介護１・２」では「特になし」が 45.6%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 29.8%、「見守り、声かけ」が 26.3%となっています。「要介護３以上」では「特になし」が 41.2%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 35.3%、「見守り、声かけ」が 23.5%となっています。

図表 3-11　要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）

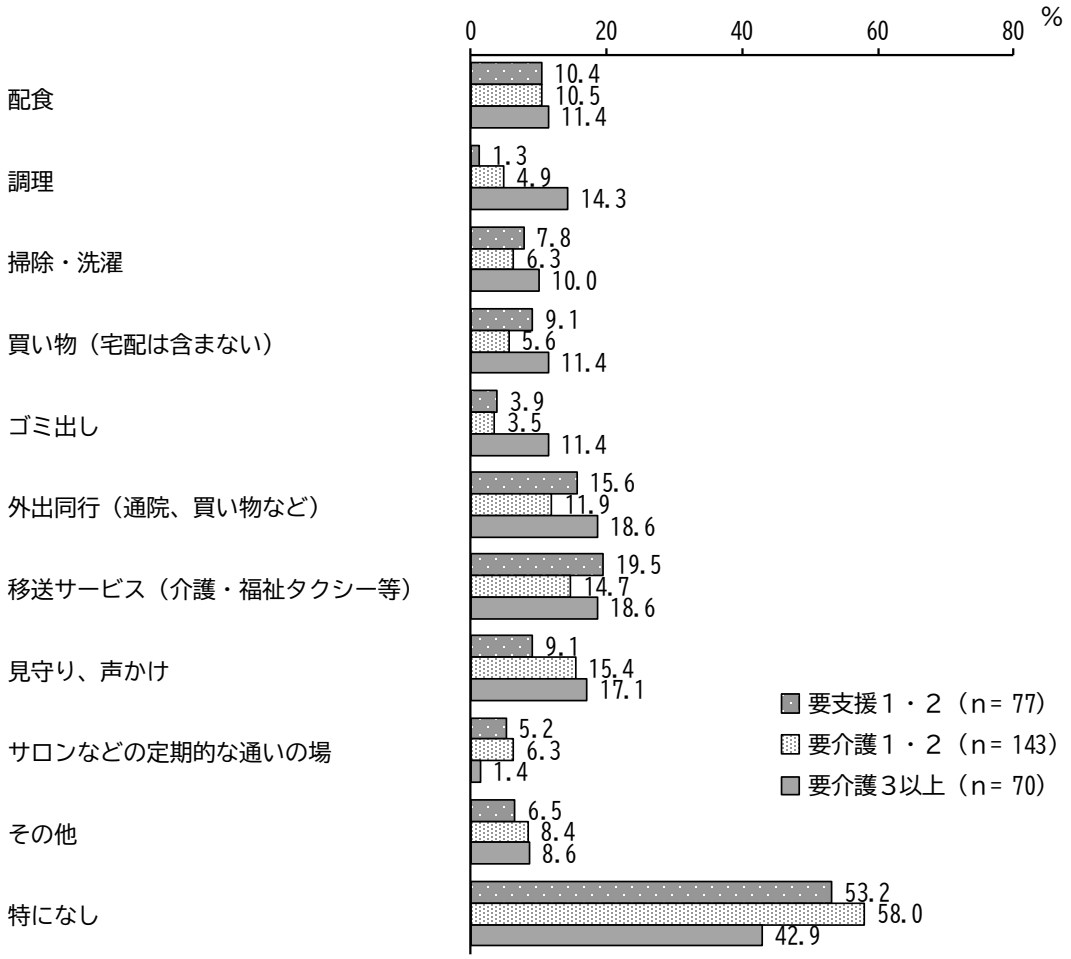


**在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「特になし」が 53.2%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 19.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が 15.6%となっています。「要介護１・２」では「特になし」が 58.0%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が 15.4%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 14.7%となっています。「要介護３以上」では「特になし」が 42.9%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 18.6%、「見守り、声かけ」が 17.1%となっています。

図表 3-12　要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



# 7　将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

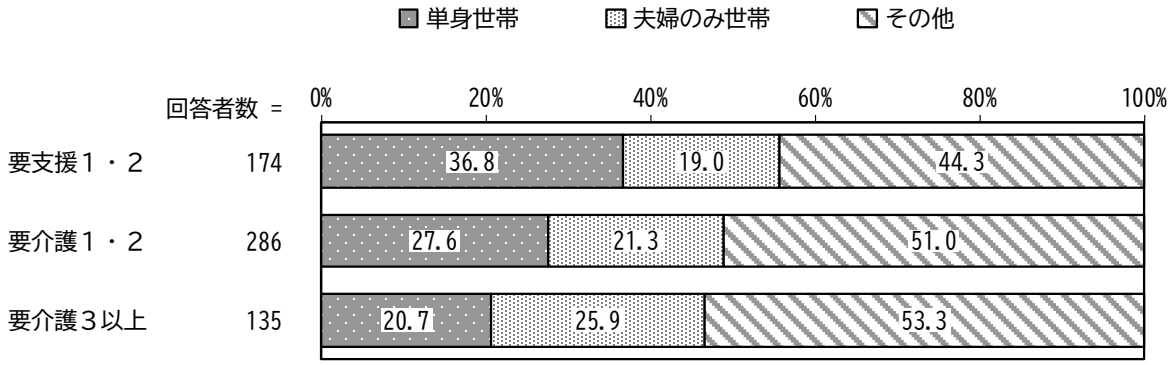
## （1）基礎集計

**世帯類型**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「その他」が 44.3%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が 36.8%、「夫婦のみ世帯」が 19.0%となっています。「要介護１・２」では「その他」が 51.0%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が 27.6%、「夫婦のみ世帯」が 21.3%となっています。「要介護３以上」では「その他」が 53.3%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 25.9%、「単身世帯」が 20.7%となっています。

図表 4-1　要介護度別・世帯類型

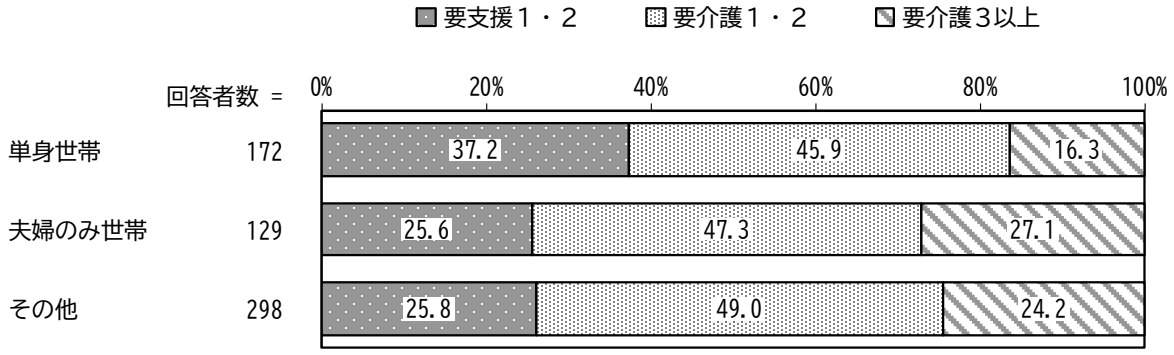



**要介護度**

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、「単身世帯」では「要介護１・２」が 45.9%と最も割合が高く、次いで「要支援１・２」が 37.2%、「要介護３以上」が 16.3%となっています。「夫婦のみ世帯」では「要介護１・２」が 47.3%と最も割合が高く、次いで「要介護３以上」が 27.1%、「要支援１・２」が 25.6%となっています。「その他」では「要介護１・２」が 49.0%と最も割合が高く、次いで「要支援１・２」が 25.8%、「要介護３以上」が 24.2%となっています。

図表 4-2　世帯類型別・要介護度



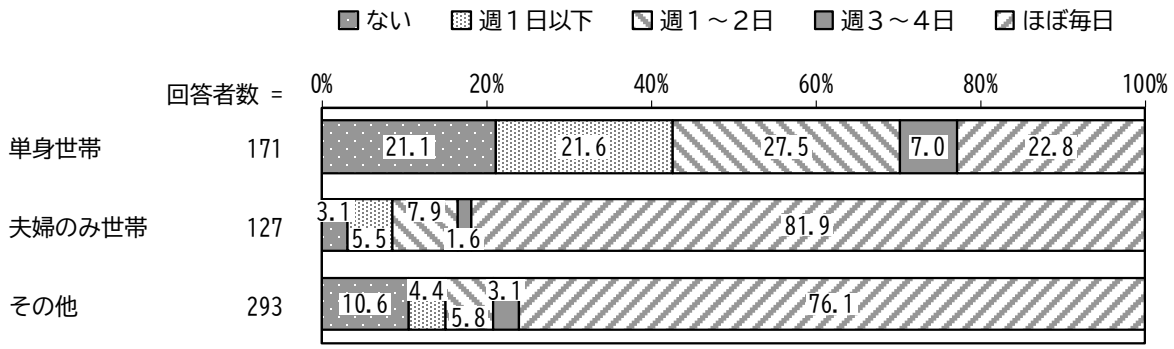
## （２）「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

**家族等による介護の頻度**

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、「単身世帯」では「週 1～2 日」が 27.5%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が 22.8%、「週 1 日以下」が 21.6%となっています。「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」が 81.9%と最も割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 7.9%、「週 1 日以下」が 5.5%となっています。「その他」では「ほぼ毎日」が 76.1%と最も割合が高く、次いで「ない」が 10.6%、「週 1～2 日」が 5.8%となっています。

図表 4-3　世帯類型別・家族等による介護の頻度

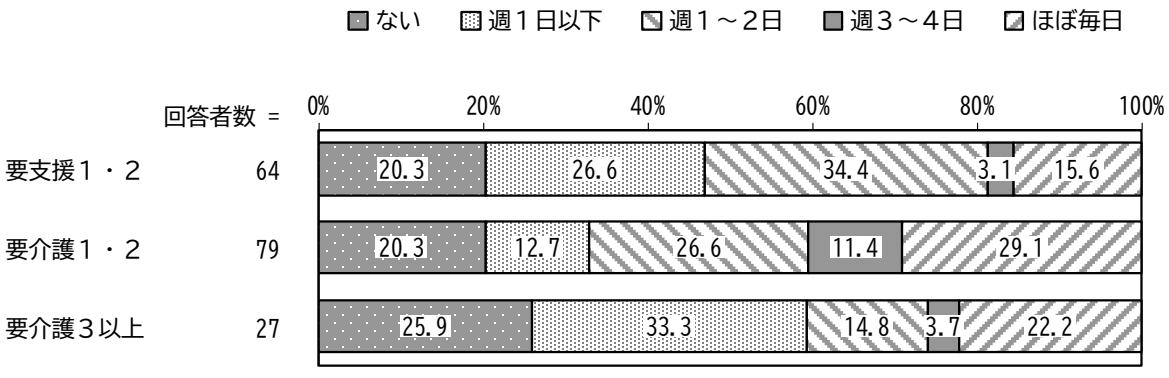



**家族等による介護の頻度（単身世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「週 1～2 日」が 34.4%と最も割合が高く、次いで「週 1 日以下」が 26.6%、「ない」が 20.3%となっています。「要介護１・２」では「ほぼ毎日」が 29.1%と最も割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 26.6%、「ない」が 20.3%となっています。「要介護３以上」では「週 1 日以下」が 33.3%と最も割合が高く、次いで「ない」が 25.9%、「ほぼ毎日」が 22.2%となっています。

図表 4-4　要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）

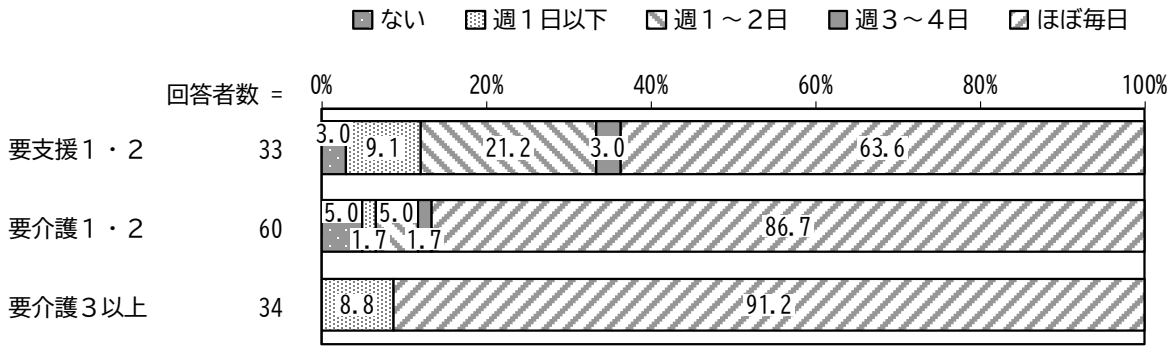


**家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「ほぼ毎日」が 63.6%と最も割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 21.2%、「週 1 日以下」が 9.1%となっています。「要介護１・２」では「ほぼ毎日」が 86.7%と最も割合が高く、次いで「ない」、「週 1～2 日」が 5.0%、「週 1 日以下」、「週 3～4 日」が 1.7%となっています。「要介護３以上」では「ほぼ毎日」が 91.2%と最も割合が高く、次いで「週 1 日以下」が 8.8%、「ない」、「週 1～2 日」、「週 3～4 日」が 0.0%となっています。

図表 4-5　要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）

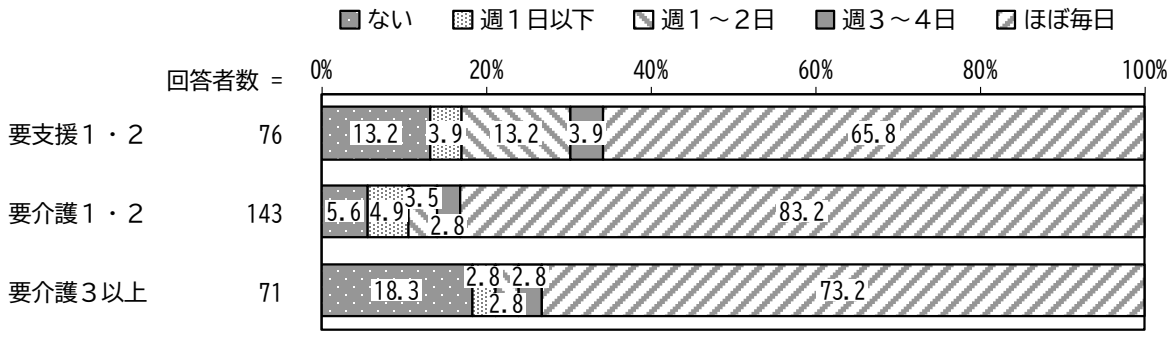



**家族等による介護の頻度（その他世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「ほぼ毎日」が 65.8%と最も割合が高く、次いで「ない」、「週 1～2 日」が 13.2%、「週 1 日以下」、「週 3～4 日」が 3.9%となっています。「要介護１・２」では「ほぼ毎日」が 83.2%と最も割合が高く、次いで「ない」が 5.6%、「週 1 日以下」が 4.9%となっています。「要介護３以上」では「ほぼ毎日」が 73.2%と最も割合が高く、次いで「ない」が 18.3%、「週 1 日以下」、「週 1～2 日」、「週 3～4 日」が 2.8%となっています。

図表 4-6　要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）



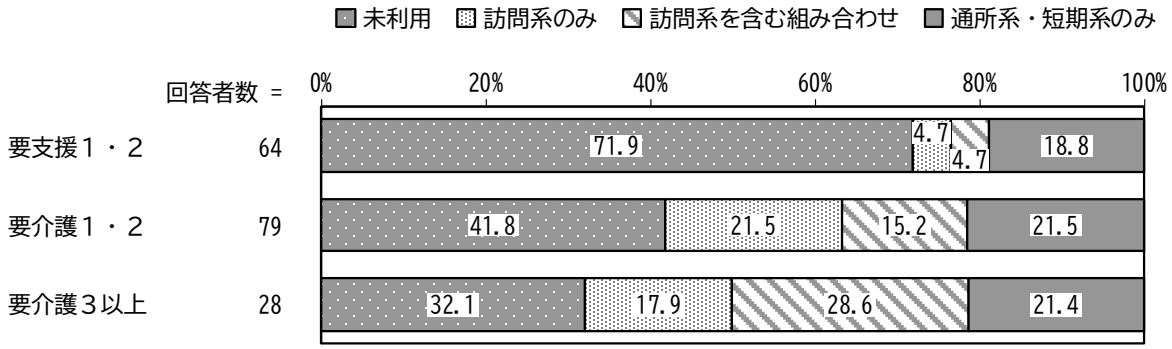
## （3）「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

**サービス利用の組み合わせ（単身世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が 71.9%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 18.8%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が 4.7%となっています。「要介護１・２」では「未利用」が 41.8%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が 21.5%、「訪問系を含む組み合わせ」が 15.2%となっています。「要介護３以上」では「未利用」が 32.1%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 28.6%、「通所系・短期系のみ」が 21.4%となっています。

図表 4-7　要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）

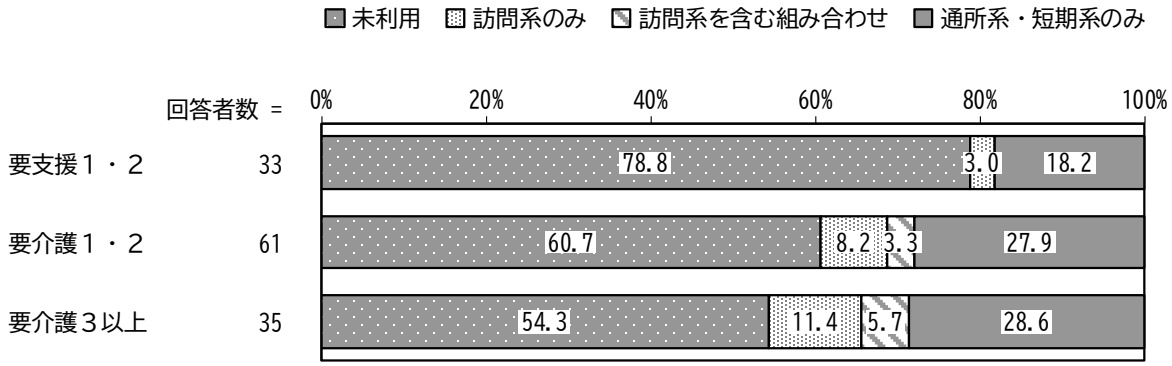



**サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が 78.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 18.2%、「訪問系のみ」が 3.0%となっています。「要介護１・２」では「未利用」が 60.7%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 27.9%、「訪問系のみ」が 8.2%となっています。「要介護３以上」では「未利用」が 54.3%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 28.6%、「訪問系のみ」が 11.4%となっています。

図表 4-8　要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）

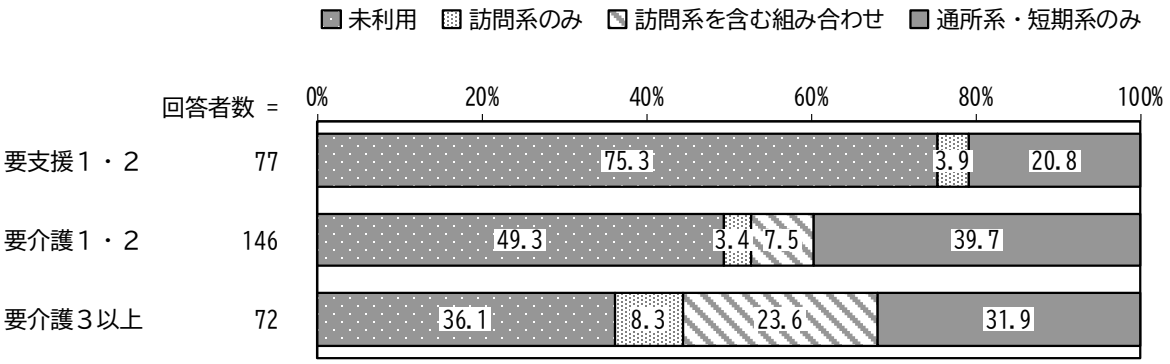


**サービス利用の組み合わせ（その他世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が 75.3%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 20.8%、「訪問系のみ」が 3.9%となっています。「要介護１・２」では「未利用」が 49.3%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 39.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が 7.5%となっています。「要介護３以上」では「未利用」が 36.1%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 31.9%、「訪問系を含む組み合わせ」が 23.6%となっています。

図表 4-9　要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）

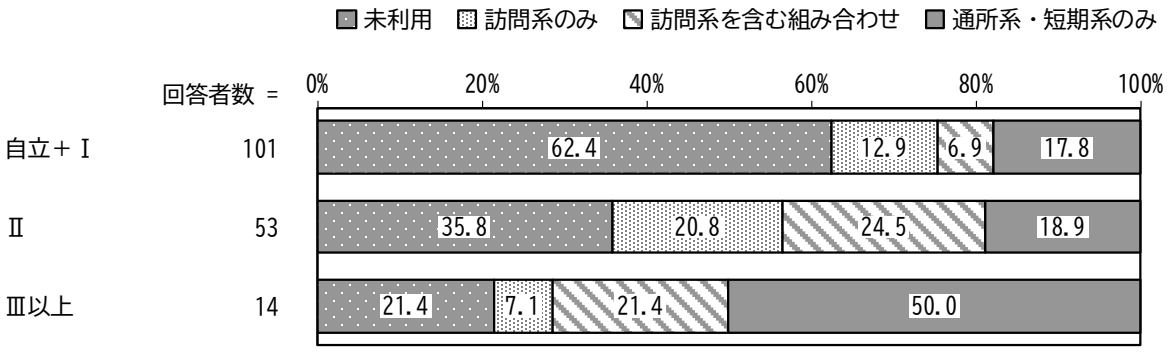



**サービス利用の組み合わせ（単身世帯）**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が 62.4%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 17.8%、「訪問系のみ」が 12.9%となっています。「Ⅱ」では「未利用」が 35.8%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 24.5%、「訪問系のみ」が 20.8%となっています。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が 50.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が 21.4%、「訪問系のみ」が 7.1%となっています。

図表 4-10　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）

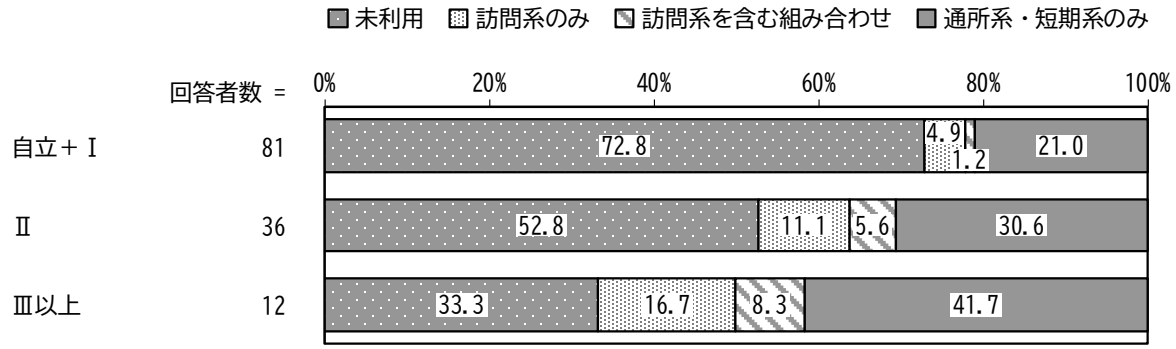


**サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が 72.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 21.0%、「訪問系のみ」が 4.9%となっています。「Ⅱ」では「未利用」が 52.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 30.6%、「訪問系のみ」が 11.1%となっています。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が 41.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が 33.3%、「訪問系のみ」が 16.7%となっています。

図表 4-11　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）

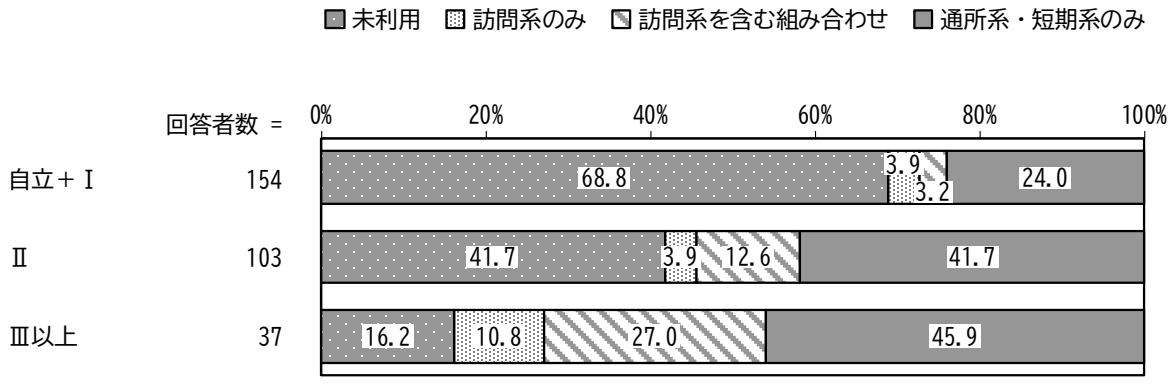



**サービス利用の組み合わせ（その他世帯）**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が 68.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 24.0%、「訪問系のみ」が 3.9%となっています。「Ⅱ」では「未利用」、「通所系・短期系のみ」が 41.7%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 12.6%、「訪問系のみ」が 3.9%となっています。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が 45.9%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 27.0%、「未利用」が 16.2%となっています。

図表 4-12　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



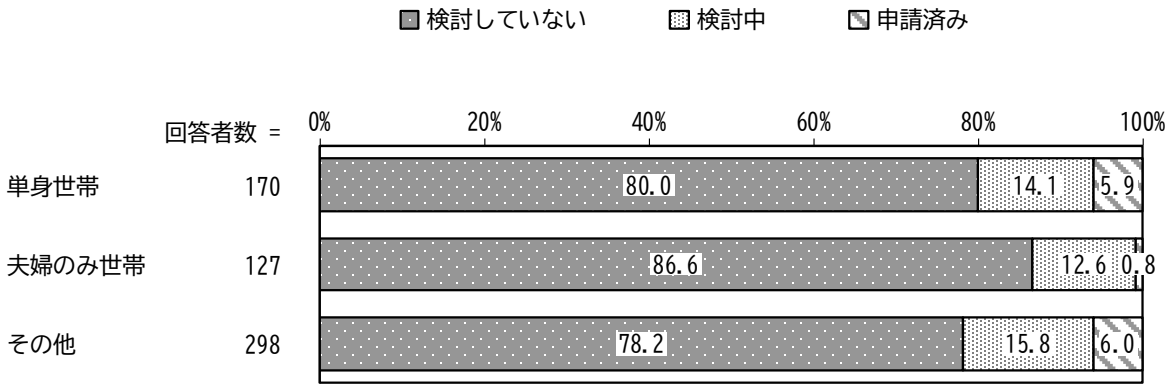
## （４）「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

**施設等検討の状況（全要介護度）**

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が 80.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 14.1%、「申請済み」が 5.9%となっています。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が 86.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 12.6%、「申請済み」が 0.8%となっています。「その他」では「検討していない」が 78.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 15.8%、「申請済み」が 6.0%となっています。

図表 4-13　世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）

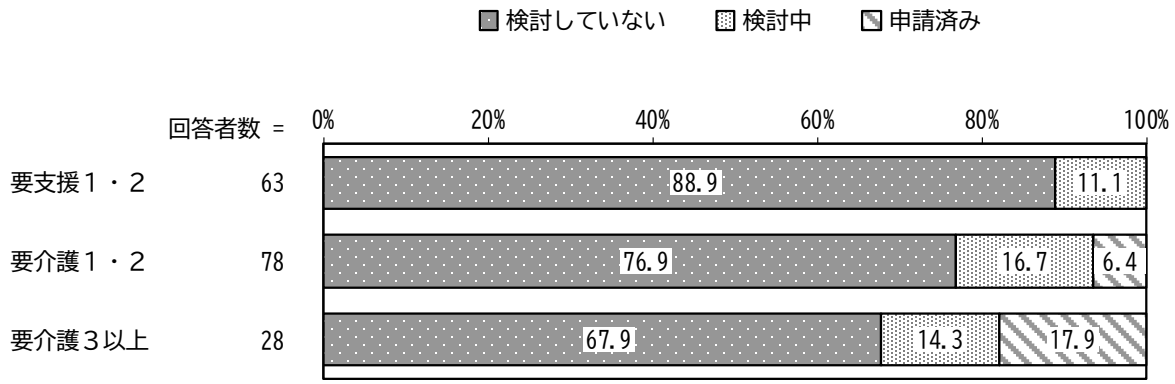


**施設等検討の状況（単身世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 88.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 11.1%、「申請済み」が 0.0%となっています。「要介護１・２」では「検討していない」が 76.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 16.7%、「申請済み」が 6.4%となっています。「要介護３以上」では「検討していない」が 67.9%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が 17.9%、「検討中」が 14.3%となっています。

図表 4-14　要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）

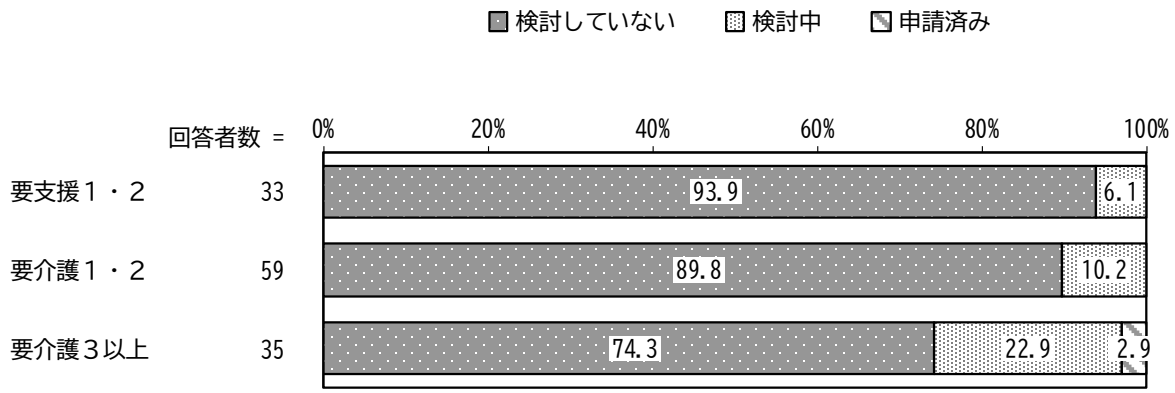



**施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 93.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 6.1%、「申請済み」が 0.0%となっています。「要介護１・２」では「検討していない」が 89.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 10.2%、「申請済み」が 0.0%となっています。「要介護３以上」では「検討していない」が 74.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 22.9%、「申請済み」が 2.9%となっています。

図表 4-15　要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）

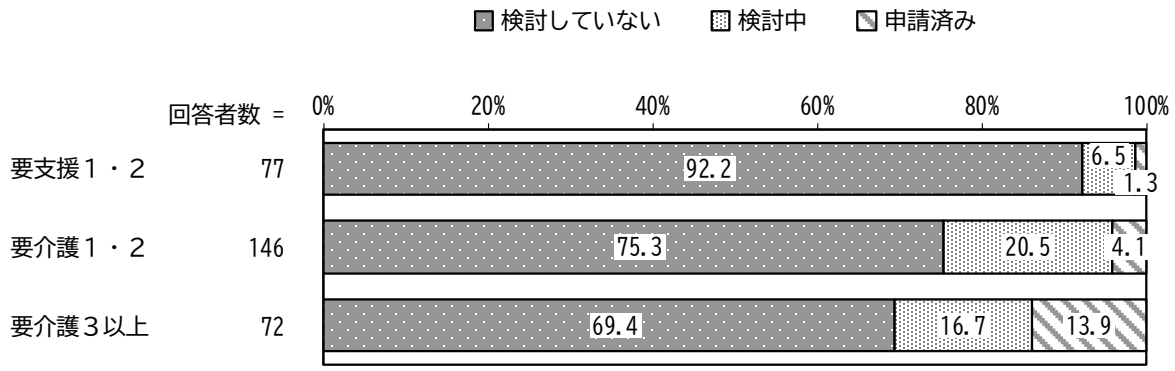


**施設等検討の状況（その他世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 92.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 6.5%、「申請済み」が 1.3%となっています。「要介護１・２」では「検討していない」が 75.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 20.5%、「申請済み」が 4.1%となっています。「要介護３以上」では「検討していない」が 69.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 16.7%、「申請済み」が 13.9%となっています。

図表 4-16　要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）

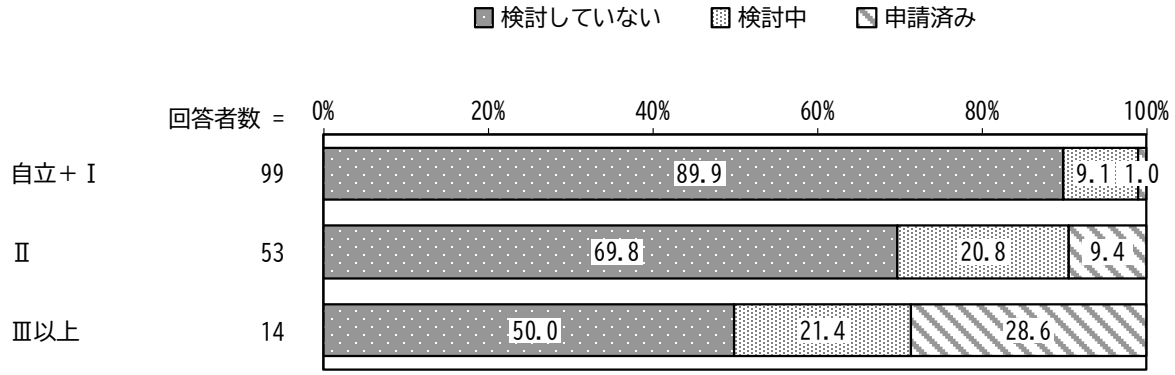



**施設等検討の状況（単身世帯）**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が 89.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 9.1%、「申請済み」が 1.0%となっています。「Ⅱ」では「検討していない」が 69.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 20.8%、「申請済み」が 9.4%となっています。「Ⅲ以上」では「検討していない」が 50.0%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が 28.6%、「検討中」が 21.4%となっています。

図表 4-17　認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）

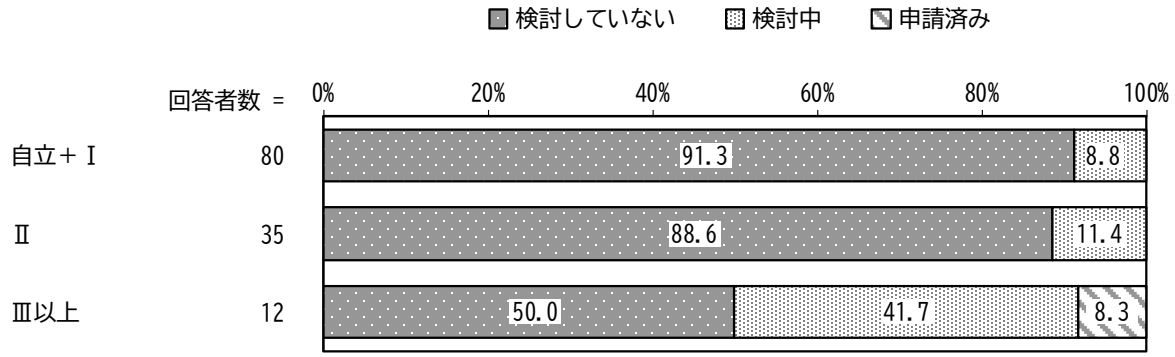


**施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が 91.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 8.8%、「申請済み」が 0.0%となっています。「Ⅱ」では「検討していない」が 88.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 11.4%、「申請済み」が 0.0%となっています。「Ⅲ以上」では「検討していない」が 50.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 41.7%、「申請済み」が 8.3%となっています。

図表 4-18　認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）

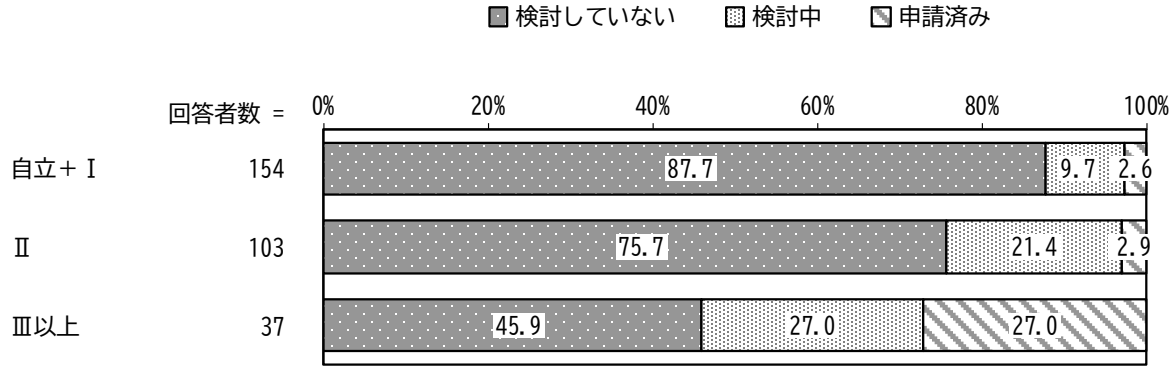



**施設等検討の状況（その他の世帯）**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が 87.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 9.7%、「申請済み」が 2.6%となっています。「Ⅱ」では「検討していない」が 75.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 21.4%、「申請済み」が 2.9%となっています。「Ⅲ以上」では「検討していない」が 45.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 27.0%となっています。

図表 4-19　認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）



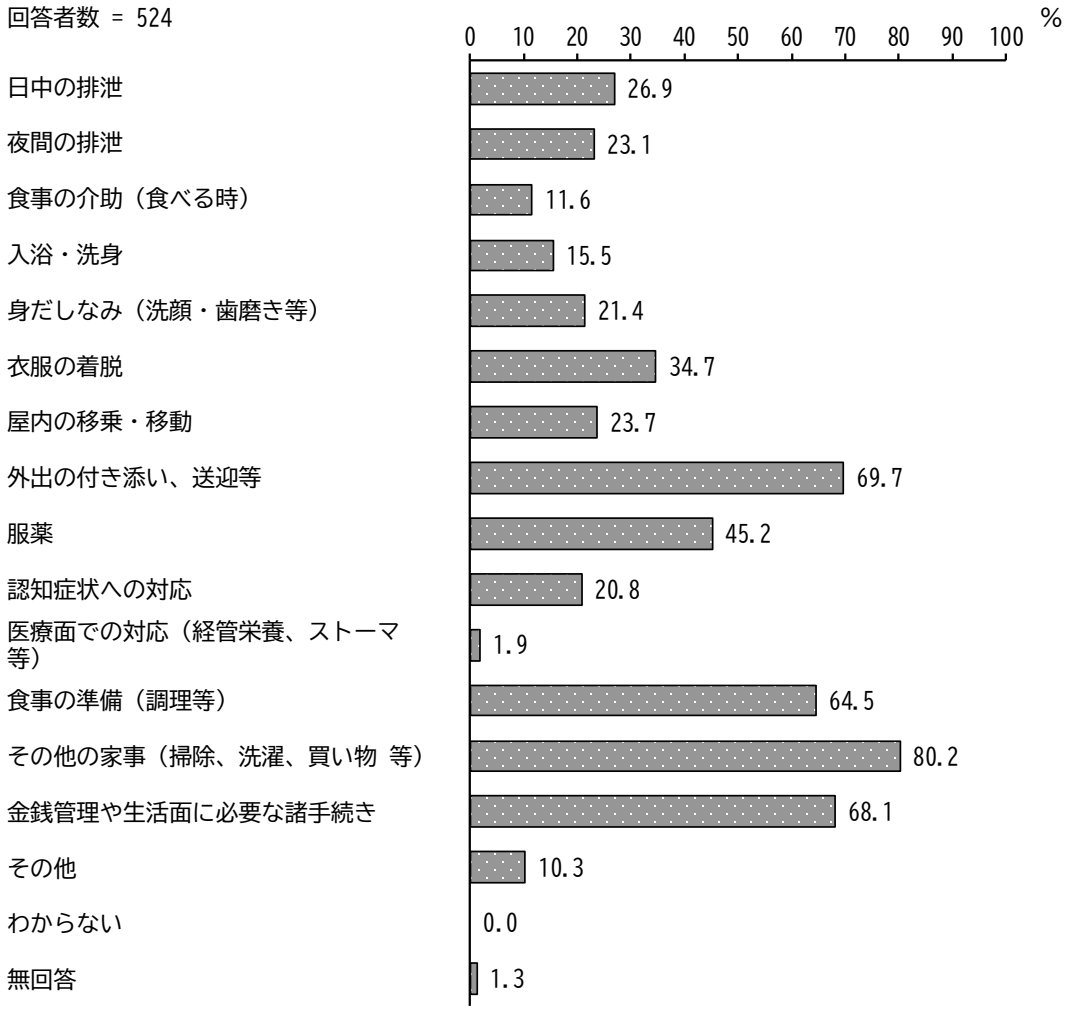
# 8　医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

## （1）基礎集計

**主な介護者が行っている介護**

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 80.2%となっています。次いで、「外出の付き添い、送迎等（69.7%）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（68.1%）」となっています。

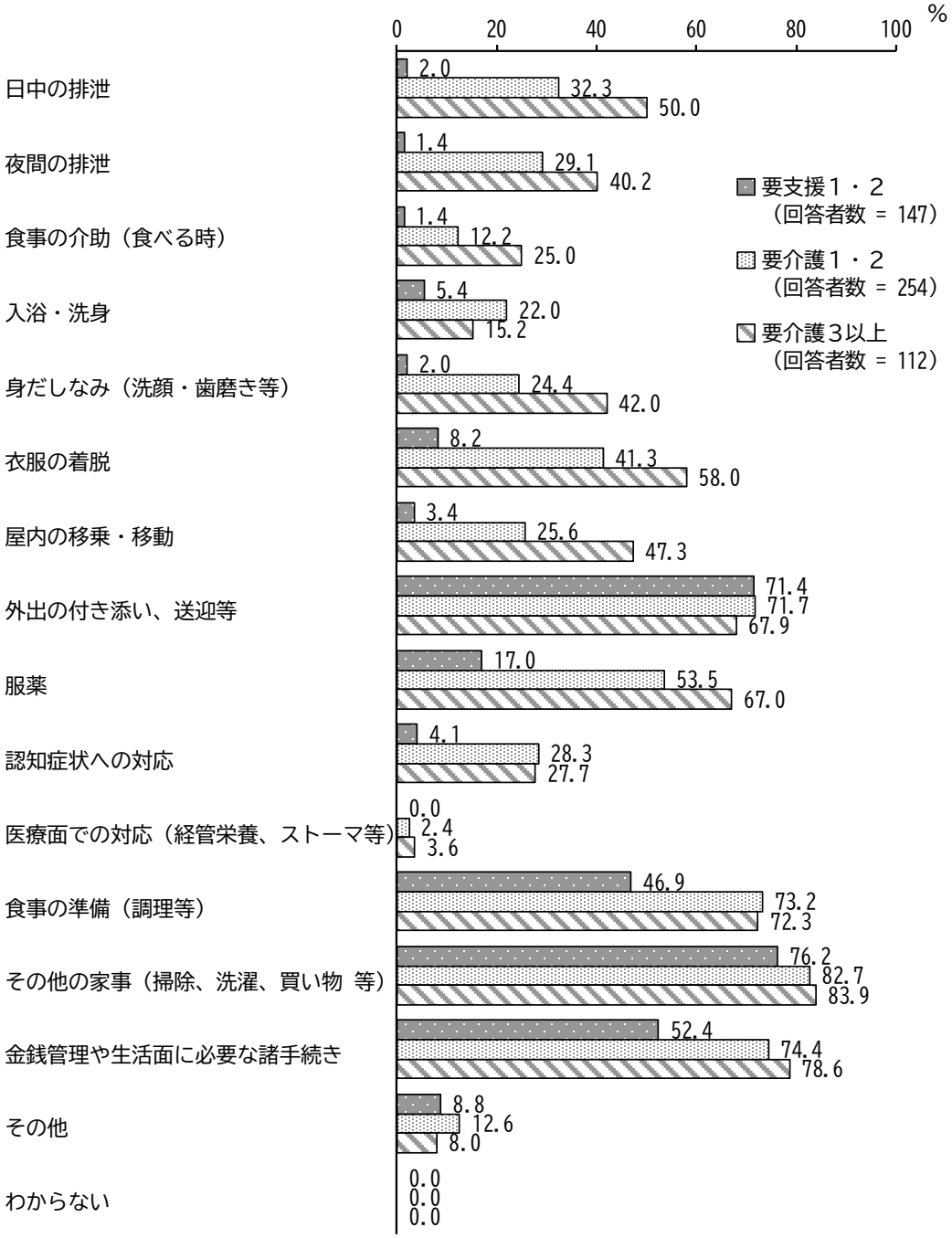
図表 5-1　主な介護者が行っている介護



【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 76.2%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 71.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 52.4%となっています。「要介護１・２」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 82.7%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 74.4%、「食事の準備（調理等）」が 73.2%となっています。「要介護３以上」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 83.9%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 78.6%、「食事の準備（調理等）」が 72.3%となっています。

図表 5-2　要介護度別・主な介護者が行っている介護

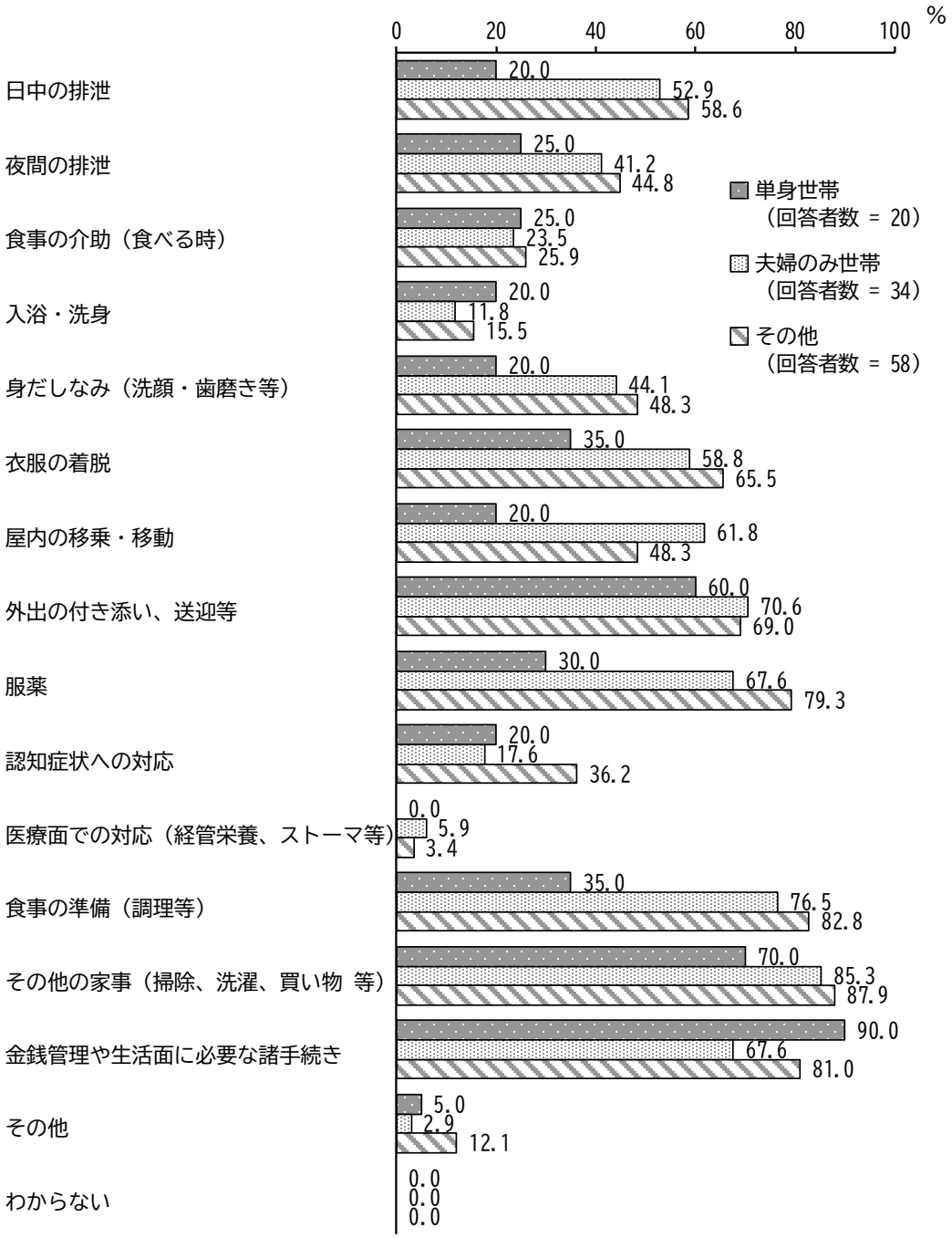


**主な介護者が行っている介護（要介護３以上）**

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、「単身世帯」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 90.0%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」が 70.0%、「外出の付き添い、送迎等」が 60.0%となっています。「夫婦のみ世帯」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」が 85.3%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等)」が 76.5%、「外出の付き添い、送迎等」が 70.6%となっています。「その他」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」が 87.9%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等)」が 82.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 81.0%となっています。

図表 5-3　世帯類型別・主な介護者が行っている介護（要介護３以上）

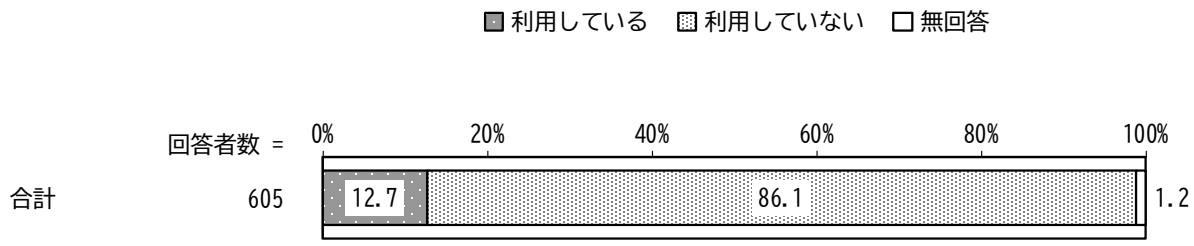


## （２）訪問診療の利用割合

**訪問診療の利用の有無**

「利用していない」の割合が 86.1%、「利用している」の割合が 12.7%となっています。

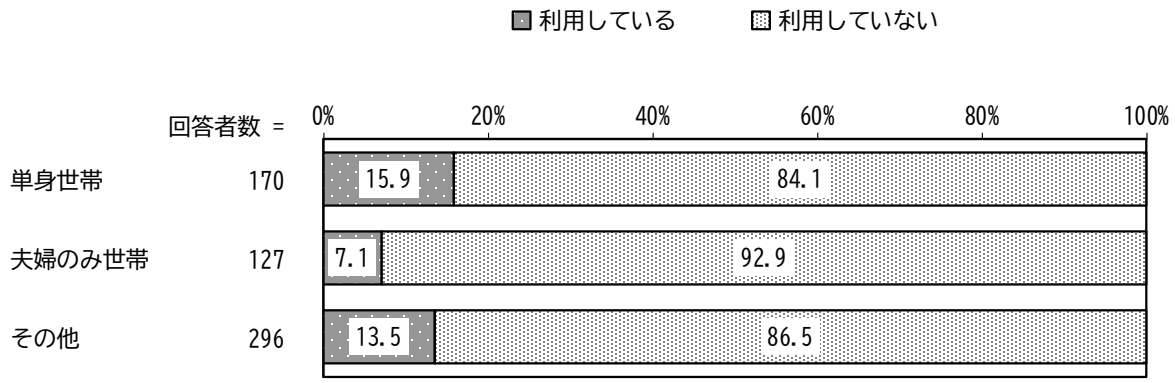
図表 5-4　訪問診療の利用の有無




【世帯類型別】

世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が 84.1%と割合が高く、「利用している」が 15.9%となっています。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が 92.9%と割合が高く、「利用している」が 7.1%となっています。「その他」では「利用していない」が 86.5%と割合が高く、「利用している」が 13.5%となっています。

図表 5-5　世帯類型別・訪問診療の利用割合

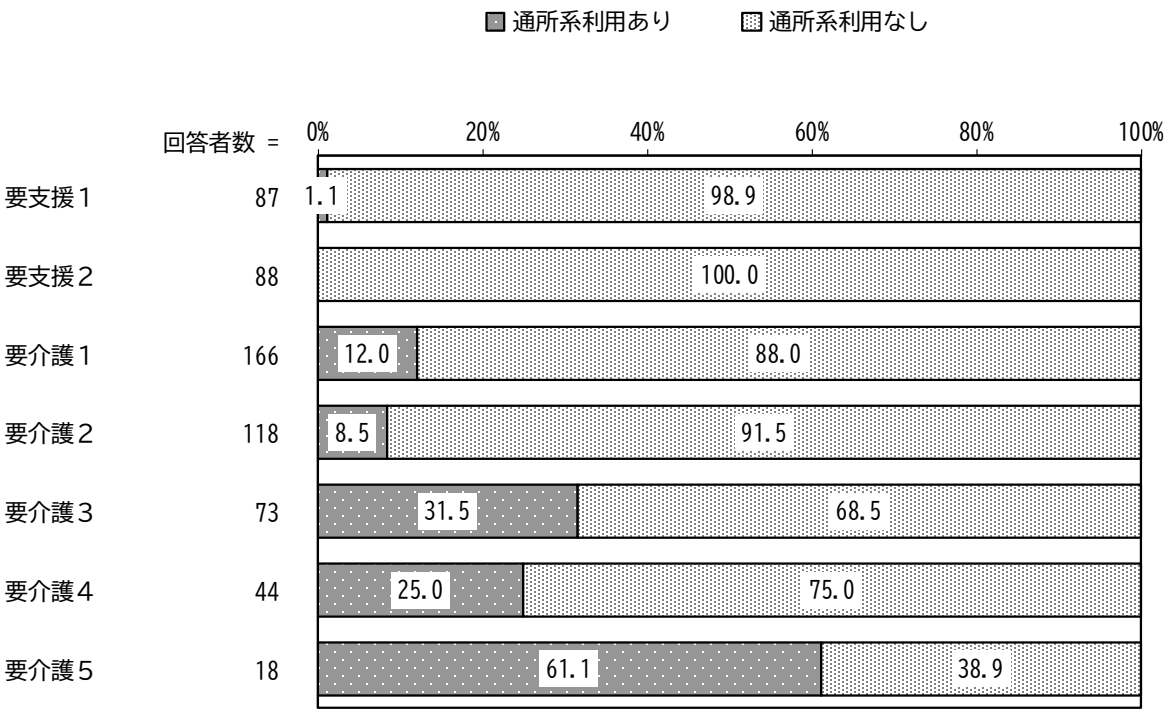


**訪問診療の利用割合**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１」では「利用していない」が 98.9%と割合が高く、「利用している」が 1.1%となっています。「要支援２」では「利用していない」が 100.0%と割合が高く、「利用している」が 0.0%となっています。「要介護１」では「利用していない」が 88.0%と割合が高く、「利用している」が 12.0%となっています。「要介護２」では「利用していない」が 91.5%と割合が高く、「利用している」が 8.5%となっています。「要介護３」では「利用していない」が 68.5%と割合が高く、「利用している」が 31.5%となっています。「要介護４」では「利用していない」が 75.0%と割合が高く、「利用している」が 25.0%となっています。「要介護５」では「利用している」が 61.1%と割合が高く、「利用していない」が 38.9%となっています。

図表 5-6　要介護度別・訪問診療の利用割合



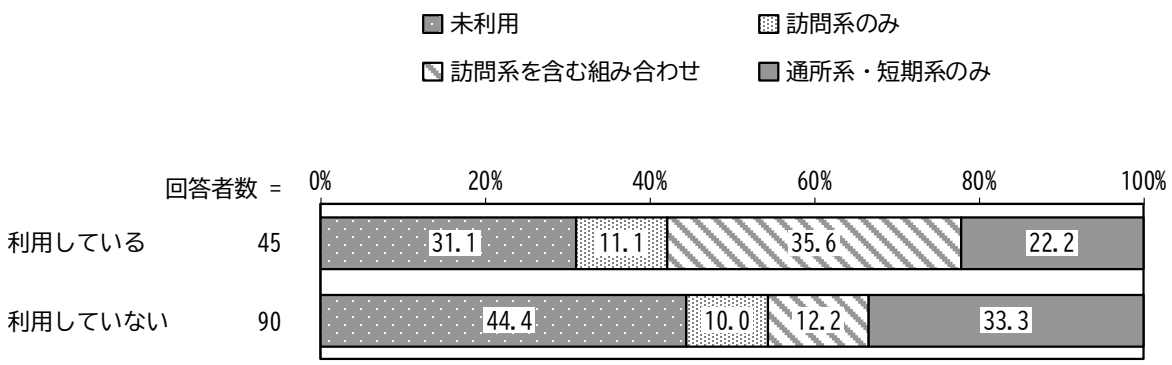
## （３）訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

**サービス利用の組み合わせ（要介護３以上）**

【訪問診療の利用の有無別】

訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系を含む組み合わせ」が 35.6%と割合が高く、「未利用」が 31.1%、「通所系・短期系のみ」が 22.2%となっています。「利用していない」では「未利用」が 44.4%と割合が高く、「通所系・短期系のみ」が 33.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が 12.2%となっています。

図表 5-7　訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護３以上）



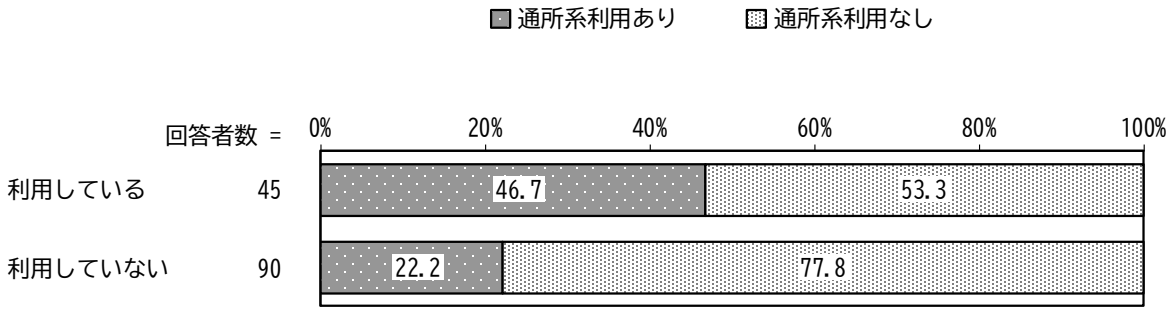
## （４）訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

**サービスの利用の有無（訪問系、要介護３以上）**

【訪問診療の利用の有無別】

訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系利用なし」が 53.3%と割合が高く、「訪問系利用あり」が 46.7%となっています。「利用していない」では「訪問系利用なし」が 77.8%と割合が高く、「訪問系利用あり」が 22.2%となっています。

図表 5-8　訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護３以上）

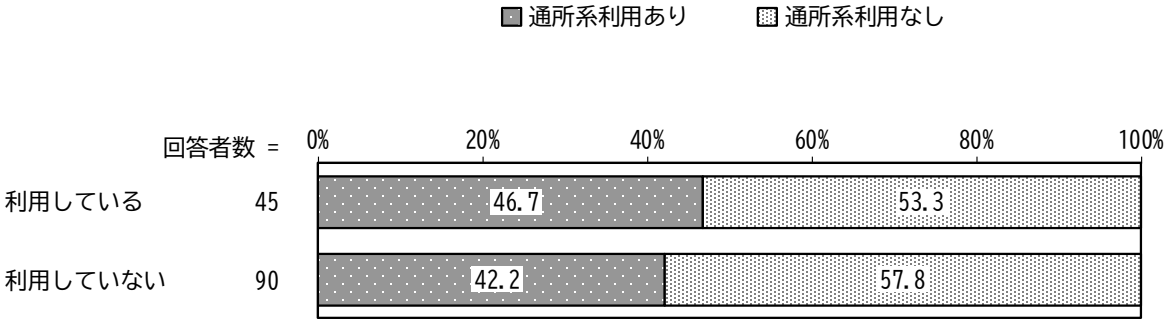


**サービスの利用の有無（通所系、要介護３以上）**

【訪問診療の利用の有無別】

訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「通所系利用なし」が 53.3%と割合が高く、「通所系利用あり」が 46.7%となっています。「利用していない」では「通所系利用なし」が 57.8%と割合が高く、「通所系利用あり」が 42.2%となっています。

図表 5-9　訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護３以上）

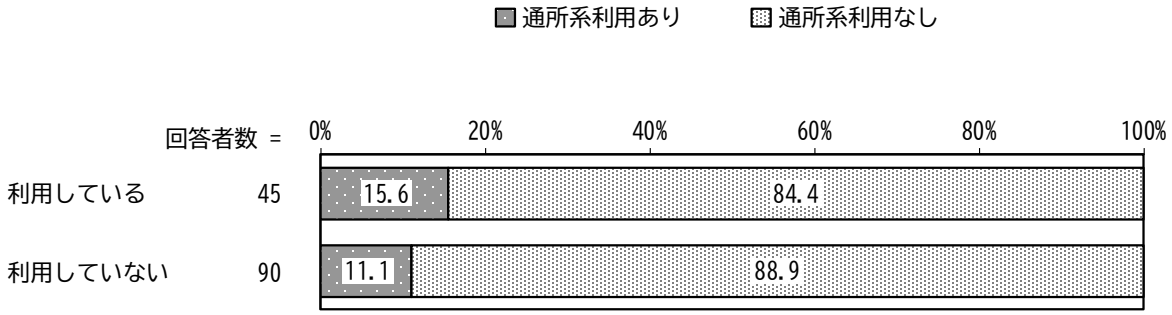



**サービス利用の有無（短期系、要介護３以上）**

【訪問診療の利用の有無別】

訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「短期系利用なし」が 84.4%と割合が高く、「短期系利用あり」が 15.6%となっています。「利用していない」では「短期系利用なし」が 88.9%と割合が高く、「短期系利用あり」が 11.1%となっています。

図表 5-10　訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護３以上）



# ９　サービス未利用の理由など

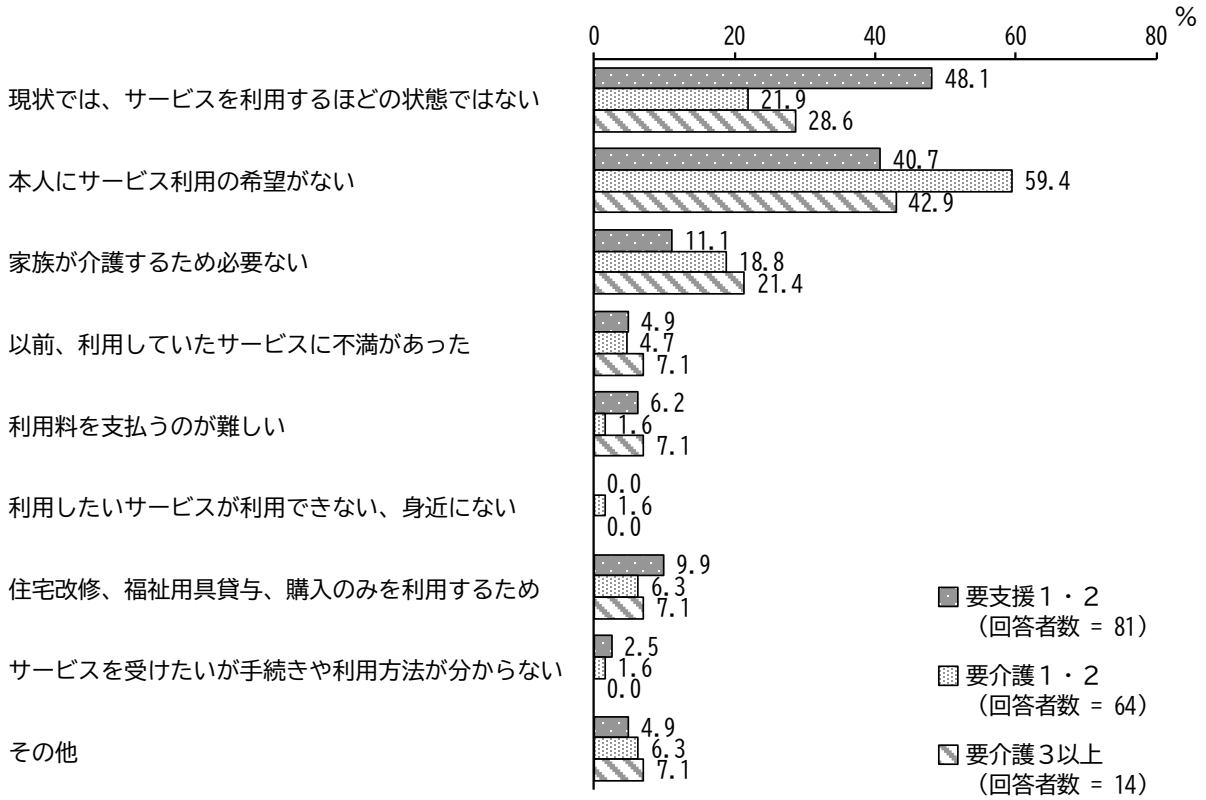
## （１）要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

**サービス未利用の理由**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 48.1%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 40.7%、「家族が介護をするため必要ない」が 11.1%となっています。「要介護１・２」では「本人にサービス利用の希望がない」が 59.4%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 21.9%、「家族が介護をするため必要ない」が 18.8%となっています。「要介護３以上」では「本人にサービス利用の希望がない」が 42.9%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 28.6%、「家族が介護をするため必要ない」が 21.4%となっています。

図表 6-1　要介護度別のサービス未利用の理由

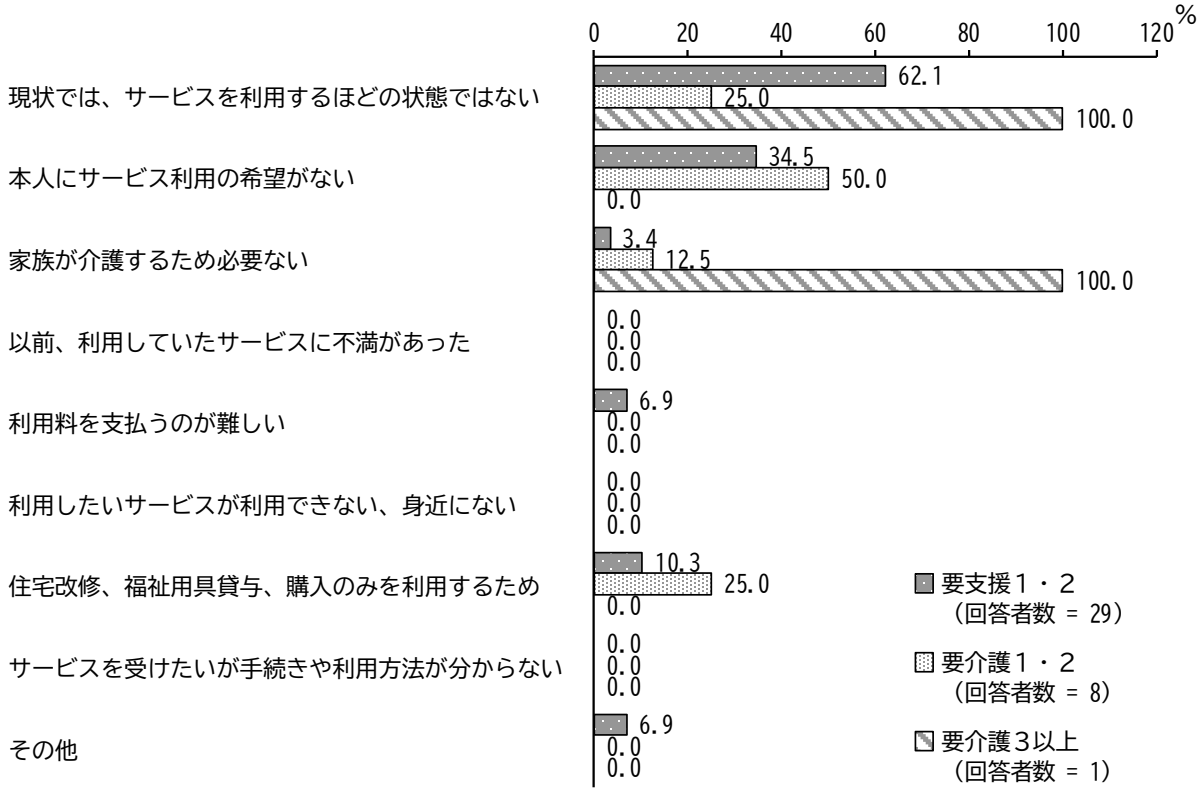


**サービス未利用の理由（単身世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 62.1%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 34.5%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 10.3%となっています。「要介護１・２」では「本人にサービス利用の希望がない」が 50.0%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 25.0%、「家族が介護をするため必要ない」が 12.5%となっています。「要介護３以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が 100.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が 0.0%となっています。

図表 6-2　要介護度別のサービス未利用の理由（単身世帯）

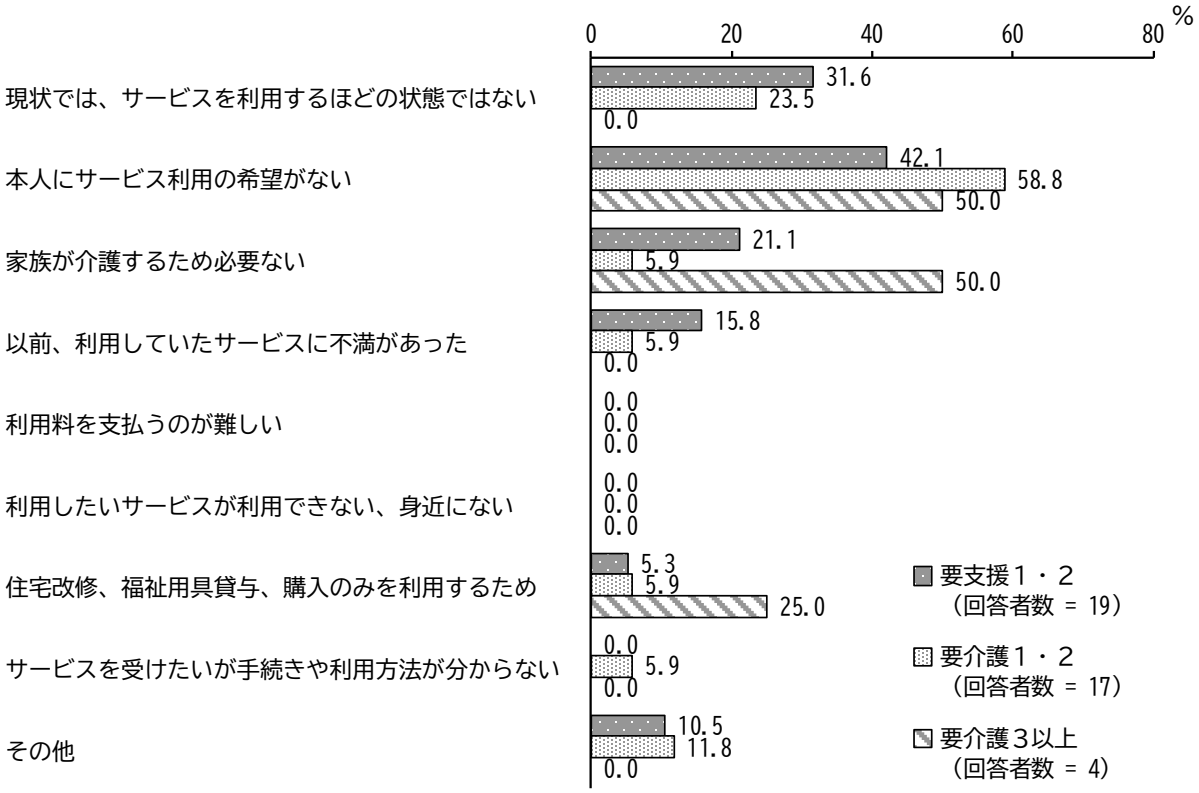


**サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「本人にサービス利用の希望がない」が 42.1%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 31.6%、「家族が介護をするため必要ない」が 21.1%となっています。「要介護１・２」では「本人にサービス利用の希望がない」が 58.8%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 23.5%、「その他」が 11.8%となっています。「要介護３以上」では「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が 50.0%と最も割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 25.0%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が 0.0%となっています。

図表 6-3　要介護度別のサービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）

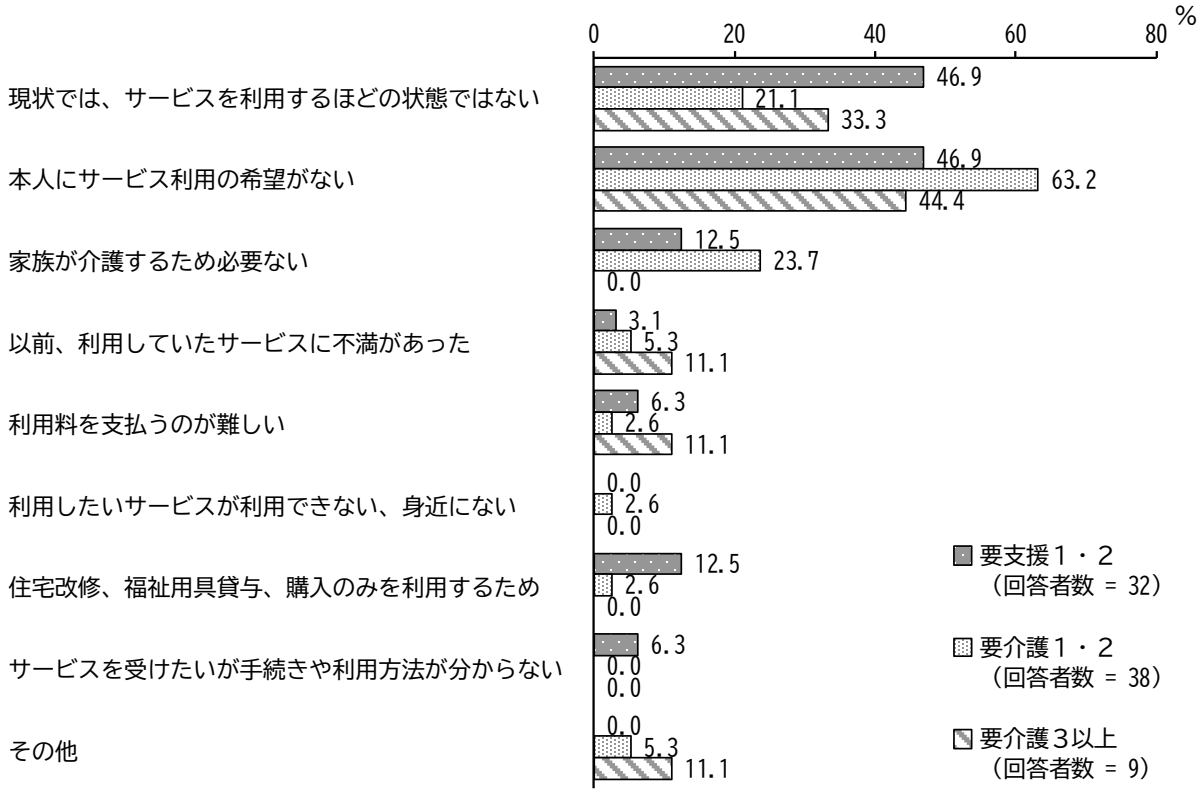


**サービス未利用の理由（その他世帯）**

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が 46.9%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 12.5%、「利用料を支払うのが難しい」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 6.3%となっています。「要介護１・２」では「本人にサービス利用の希望がない」が 63.2%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 23.7%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 21.1%となっています。「要介護３以上」では「本人にサービス利用の希望がない」が 44.4%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 33.3%、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「その他」が 11.1%となっています。

図表 6-4　要介護度別のサービス未利用の理由（その他世帯）



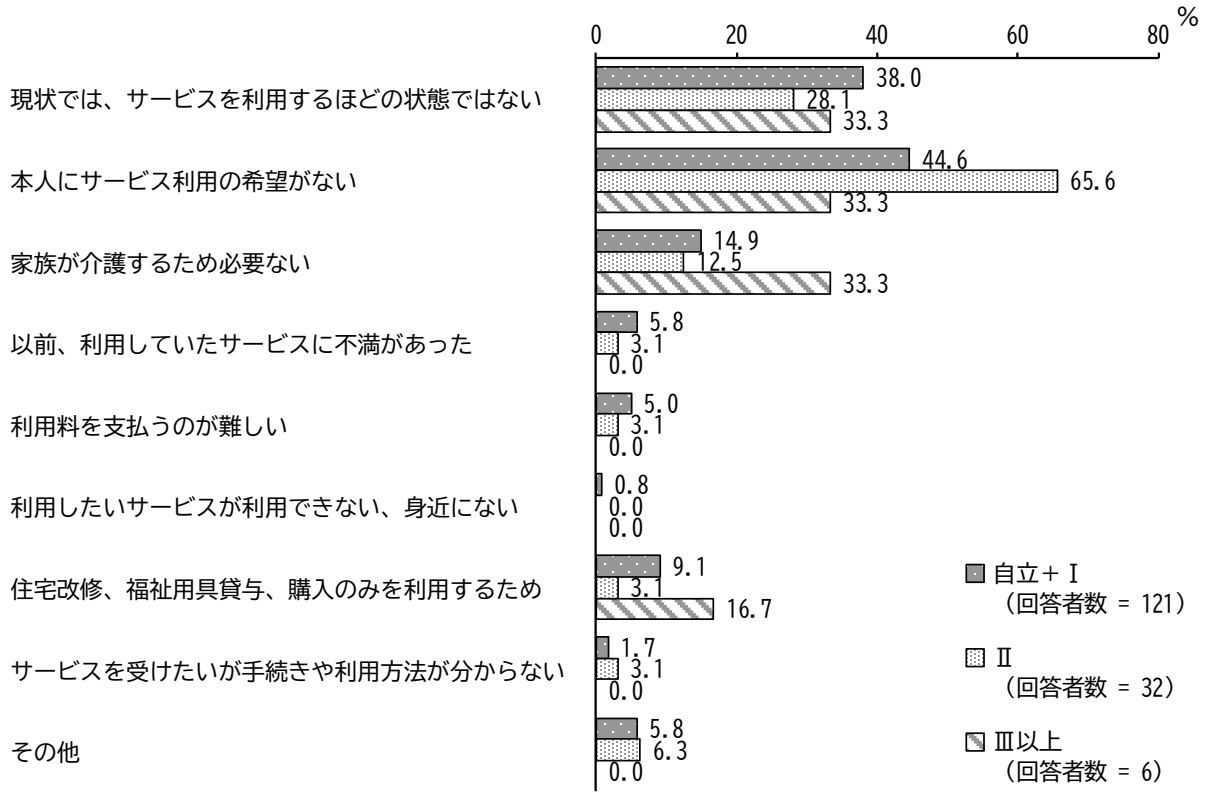
## （２）認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

**サービス未利用の理由**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「本人にサービス利用の希望がない」が 44.6%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 38.0%、「家族が介護をするため必要ない」が 14.9%となっています。「Ⅱ」では「本人にサービス利用の希望がない」が 65.6%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 28.1%、「家族が介護をするため必要ない」が 12.5%となっています。「Ⅲ以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が 33.3%と最も割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 16.7%、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が 0.0%となっています。

図表 6-5　認知症自立度別のサービス未利用の理由

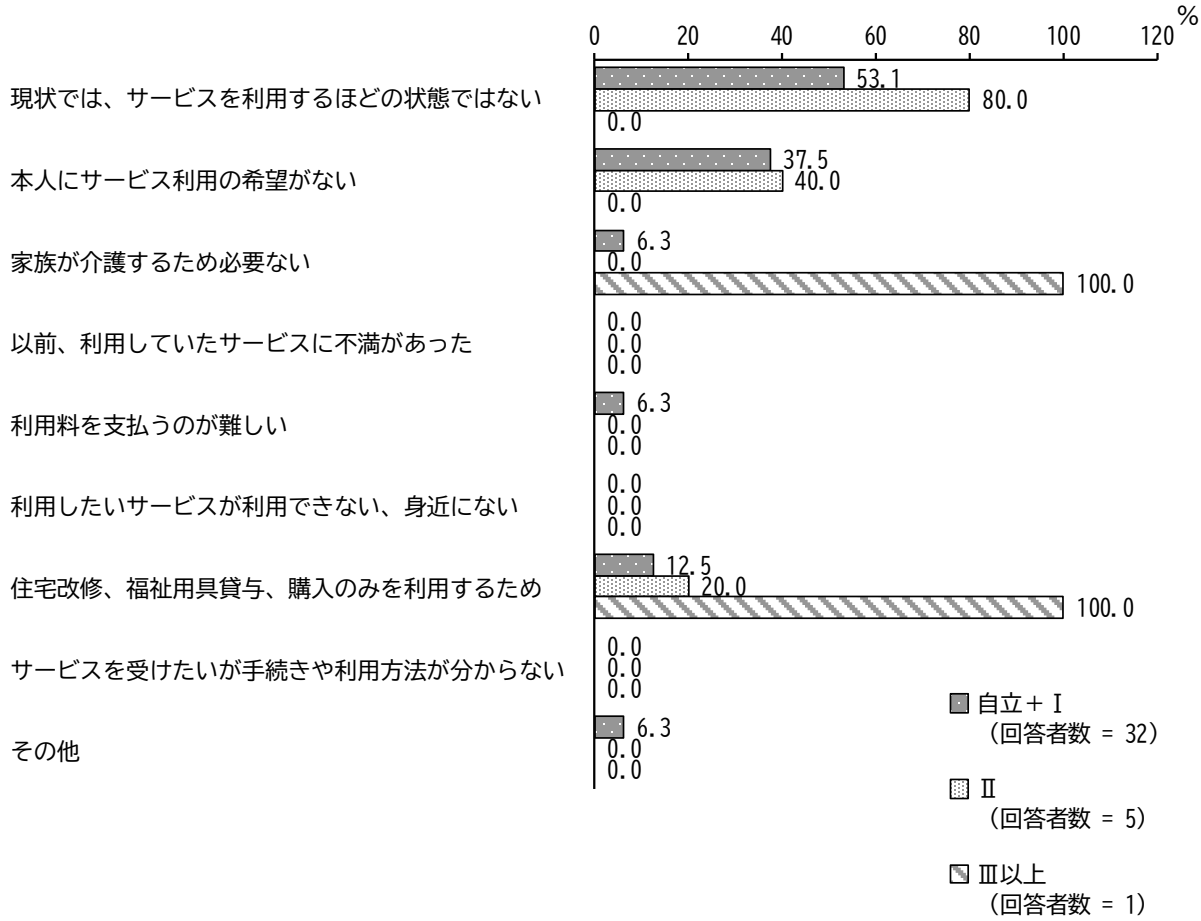


**サービス未利用の理由（単身世帯）**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 53.1%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 37.5%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 12.5%となっています。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 80.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 40.0%、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が 0.0%となっています。「Ⅲ以上」では「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 100.0%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が 0.0%となっています。

図表 6-6　認知症自立度別のサービス未利用の理由（単身世帯）

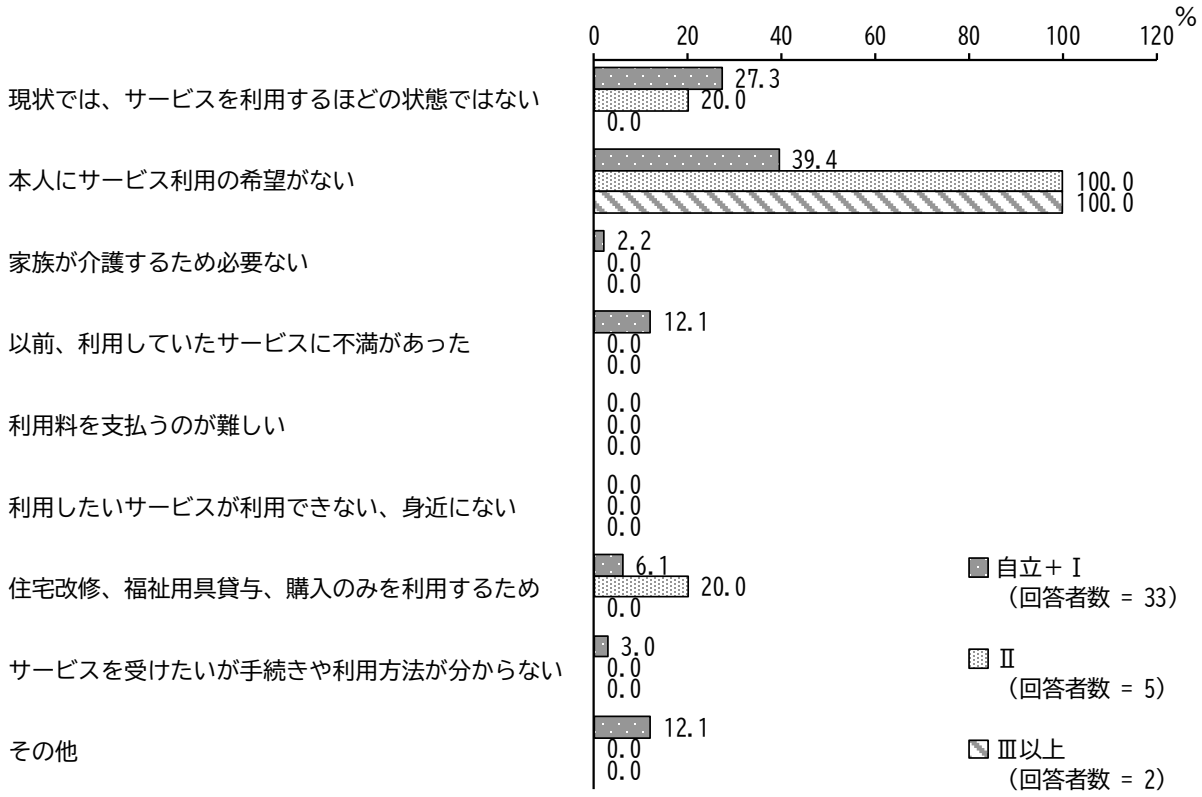


**サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「本人にサービス利用の希望がない」が 39.4%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 27.3%、「家族が介護をするため必要ない」が 21.2%となっています。「Ⅱ」では「本人にサービス利用の希望がない」が 100.0%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 20.0%、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が 0.0%となっています。「Ⅲ以上」では「本人にサービス利用の希望がない」が 100.0%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が 0.0%となっています。

図表６-７　認知症自立度別のサービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）

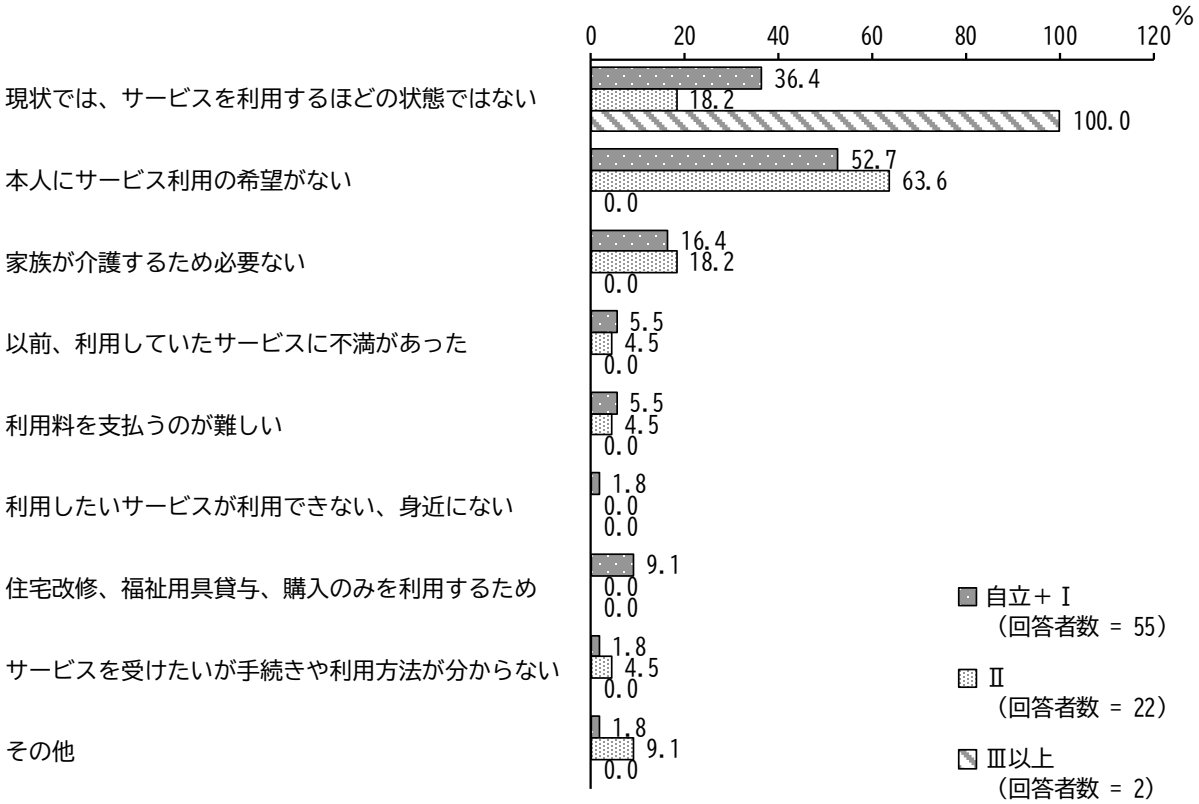


**サービス未利用の理由（その他世帯）**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「本人にサービス利用の希望がない」が 52.7%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 36.4%、「家族が介護をするため必要ない」が 16.4%となっています。「Ⅱ」では「本人にサービス利用の希望がない」が 63.6%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が 18.2%、「その他」が 9.1%となっています。「Ⅲ以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 100.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が 0.0%となっています。

図表 6-8　認知症自立度別のサービス未利用の理由（その他世帯）



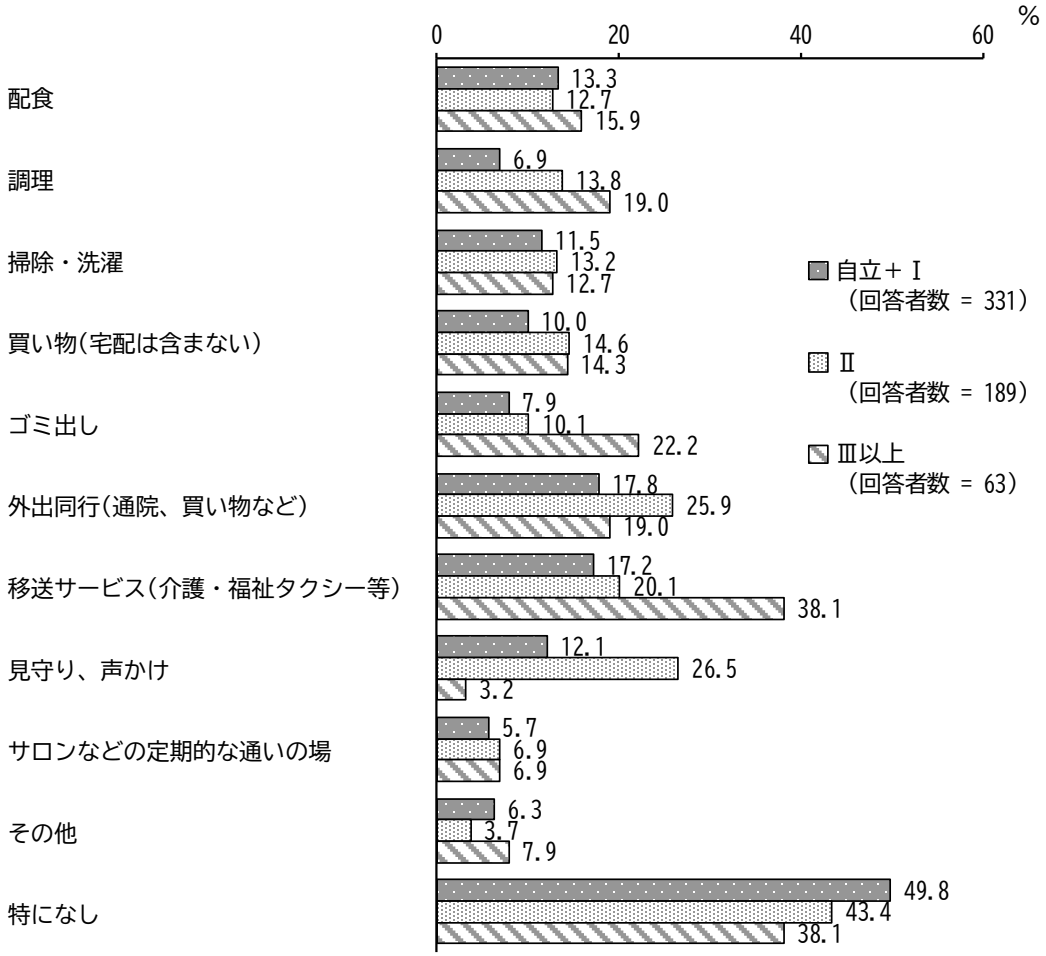
## （３）認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス

**在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が 49.8%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 17.8%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 17.2%となっています。「Ⅱ」では「特になし」が 43.4%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が 26.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が 25.9%となっています。「Ⅲ以上」では「見守り、声かけ」、「特になし」が 38.1%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 22.2%、「調理」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 19.0%となっています。

図表 6-9　認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

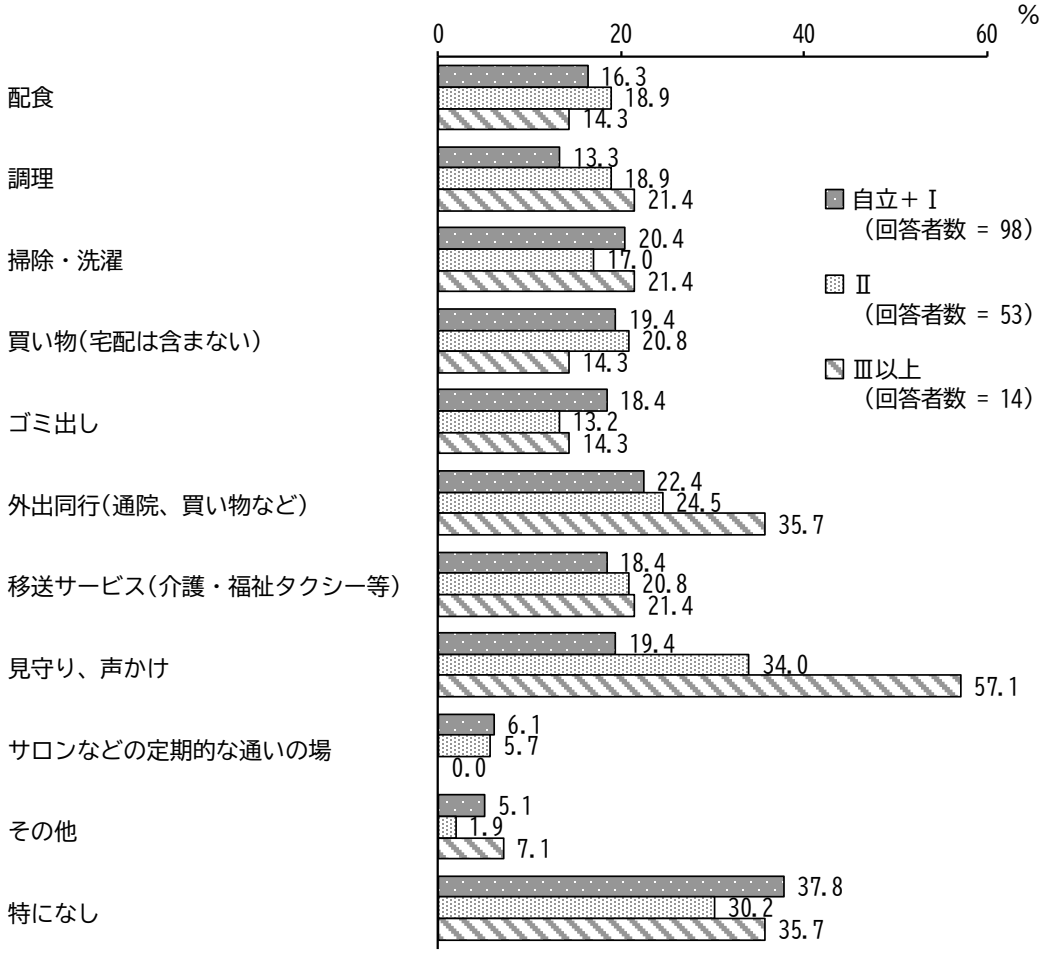


**在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が 37.8%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 22.4%、「掃除・洗濯」が 20.4%となっています。「Ⅱ」では「見守り、声かけ」が 34.0%と最も割合が高く、次いで「特になし」が 30.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が 24.5%となっています。「Ⅲ以上」では「見守り、声かけ」が 57.1%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」、「特になし」が 35.7%、「調理」、「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 21.4%となっています。

図表 6-10　認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）

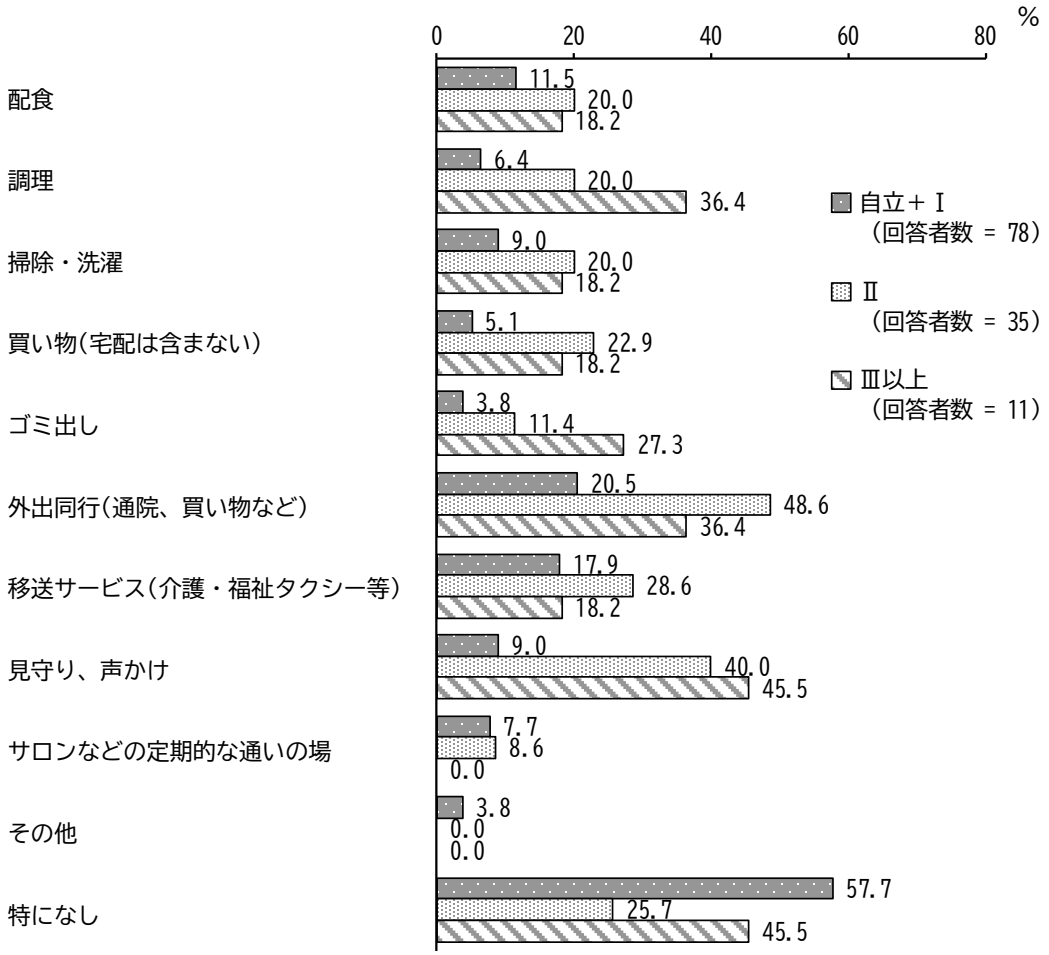


**在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が 57.7%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 20.5%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 17.9%となっています。「Ⅱ」では「外出同行（通院、買い物など）」が 48.6%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が 40.0%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 28.6%となっています。「Ⅲ以上」では「見守り、声かけ」、「特になし」が 45.5%と最も割合が高く、次いで「調理」、「外出同行（通院、買い物など）」が 36.4%、「ゴミ出し」が 27.3%となっています。

図表 6-11　認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）

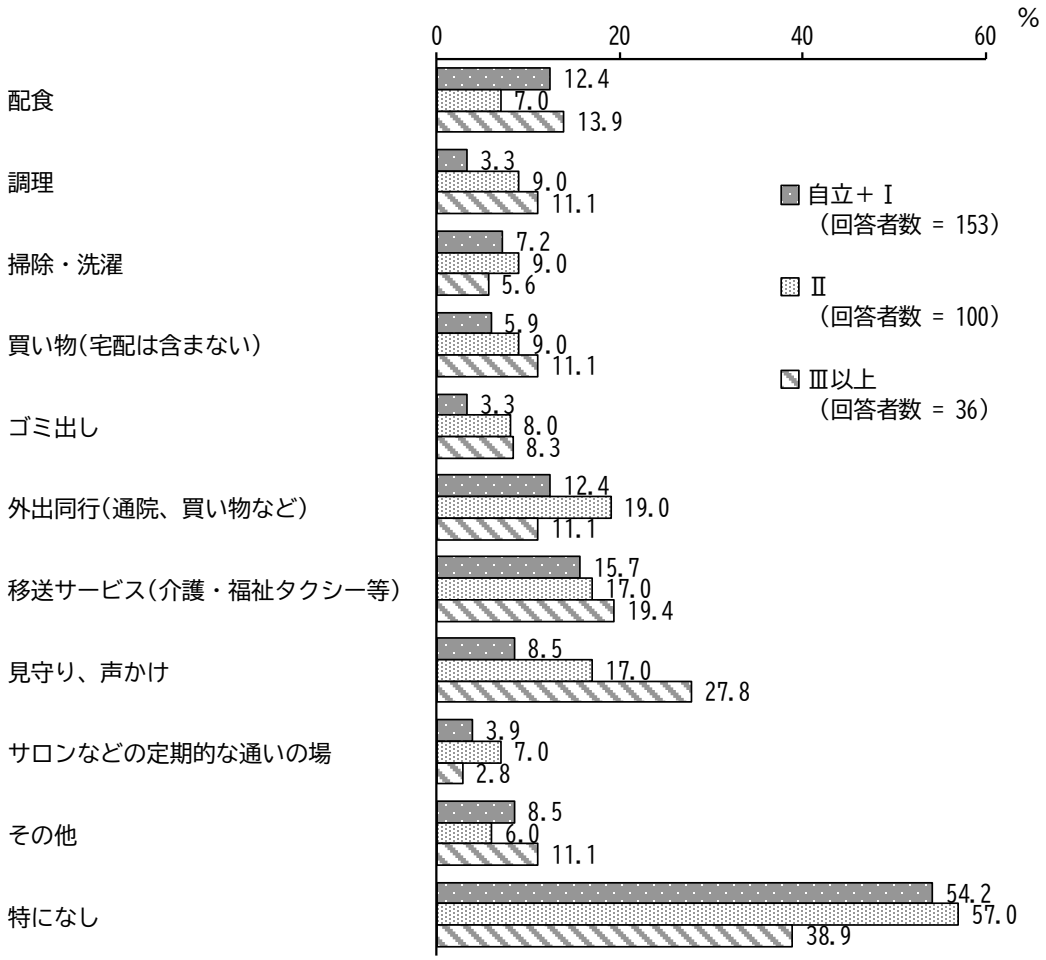


**在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）**

【認知症自立度別】

認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が 54.2%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 15.7%、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」が 12.4%となっています。「Ⅱ」では「特になし」が 57.0%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 19.0%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「見守り、声かけ」が 17.0%となっています。「Ⅲ以上」では「特になし」が 38.9%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が 27.8%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 19.4%となっています。

図表 6-12　認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



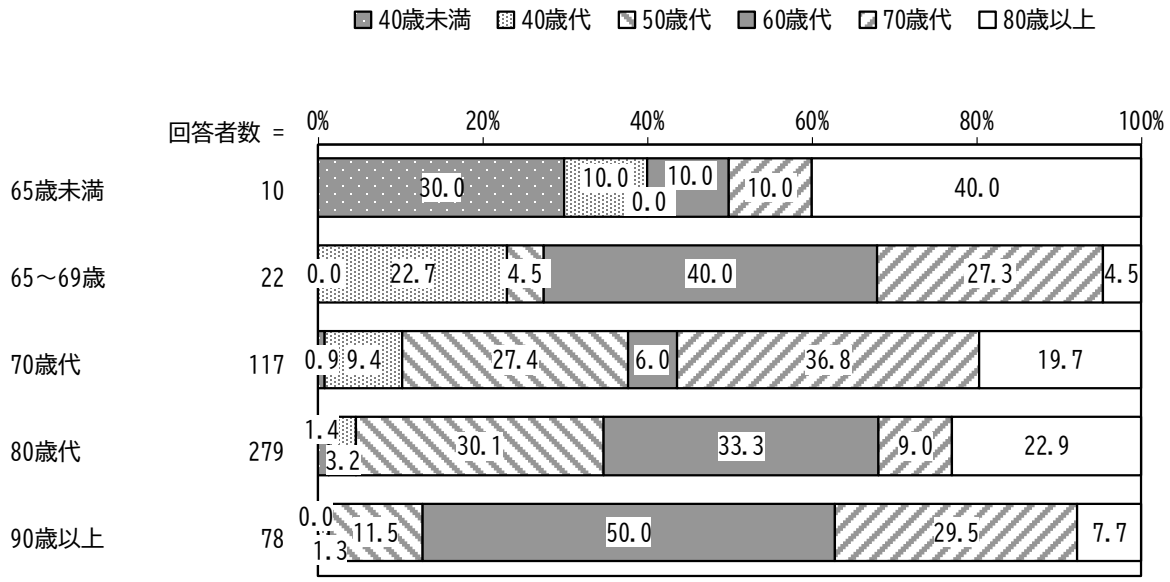
## （４）本人の年齢別・主な介護者の年齢

**主な介護者の年齢**

【本人の年齢別】

本人の年齢別にみると、「65 歳未満」では「80 歳以上」が 40.0%と最も割合が高く、次いで「40 歳未満」が 30.0%、「50 歳代」、「60 歳代」、「70 歳代」が 10.0%となっています。「65～69 歳」では「60 歳代」が 40.9%と最も割合が高く、次いで「70 歳代」が 27.3%、「40 歳代」が 22.7%となっています。「70 歳代」では「70 歳代」が 36.8%と最も割合が高く、次いで「50 歳代」が 27.4%、「80 歳以上」が 19.7%となっています。「80 歳代」では「60 歳代」が 33.3%と最も割合が高く、次いで「50 歳代」が 30.1%、「80 歳以上」が 22.9%となっています。「90 歳以上」では「60 歳代」が 50.0%と最も割合が高く、次いで「70 歳代」が 29.5%、「50 歳代」が 11.5%となっています。

図表 6-13　本人の年齢別・主な介護者の年齢

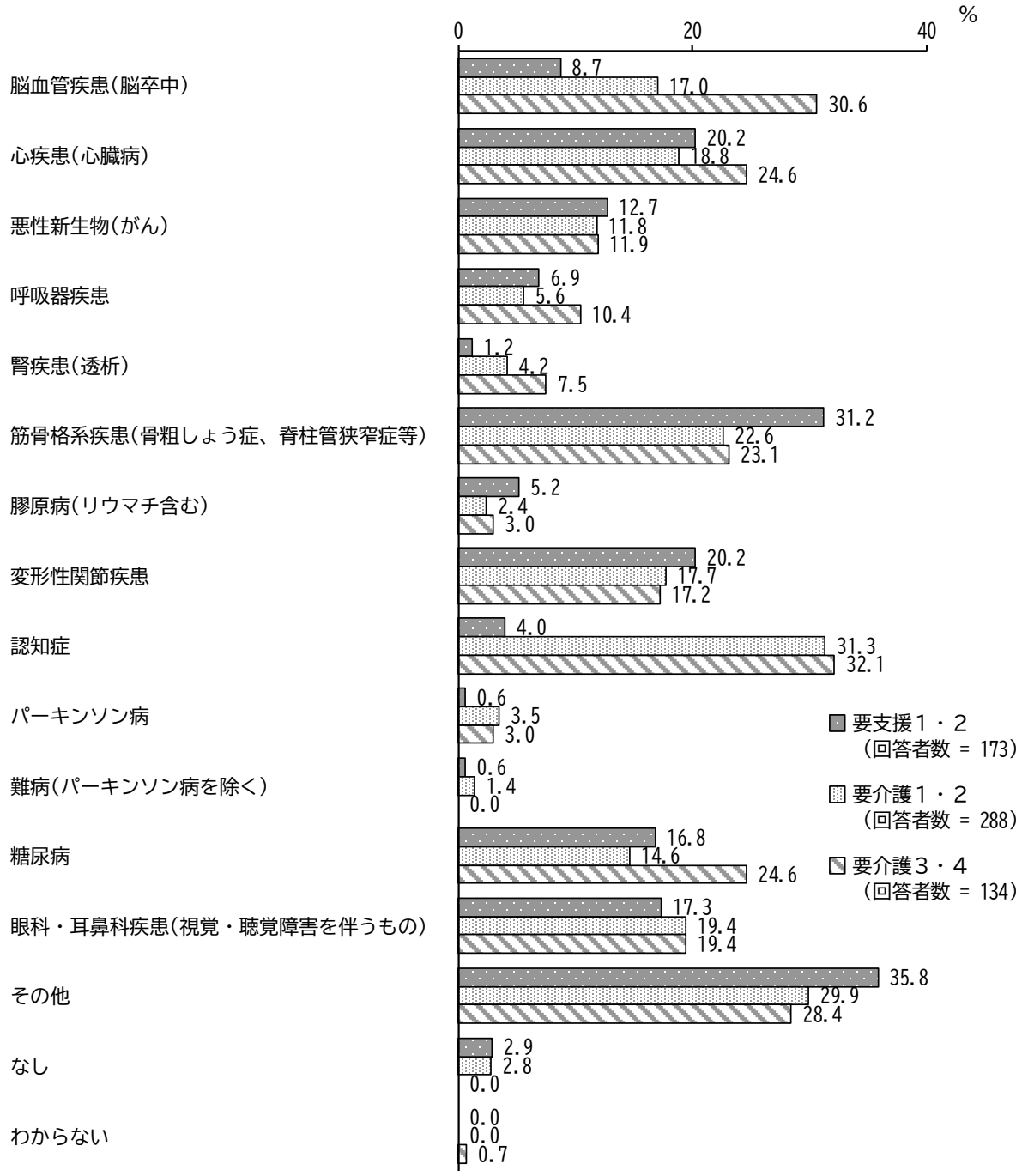


## （５）要介護度別の抱えている傷病

【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援１・２」では「その他」が 35.8%と最も割合が高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 31.2%、「心疾患（心臓病）」、「変形性関節疾患」が 20.2%となっています。「要介護１・２」では「認知症」が 31.3%と最も割合が高く、次いで「その他」が 29.9%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 22.6%となっています。「要介護３以上」では「認知症」が 32.1%と最も割合が高く、次いで「脳血管疾患（脳卒中）」が 30.6%、「その他」が 28.4%となっています。

図表 6-14　要介護度別・抱えている傷病

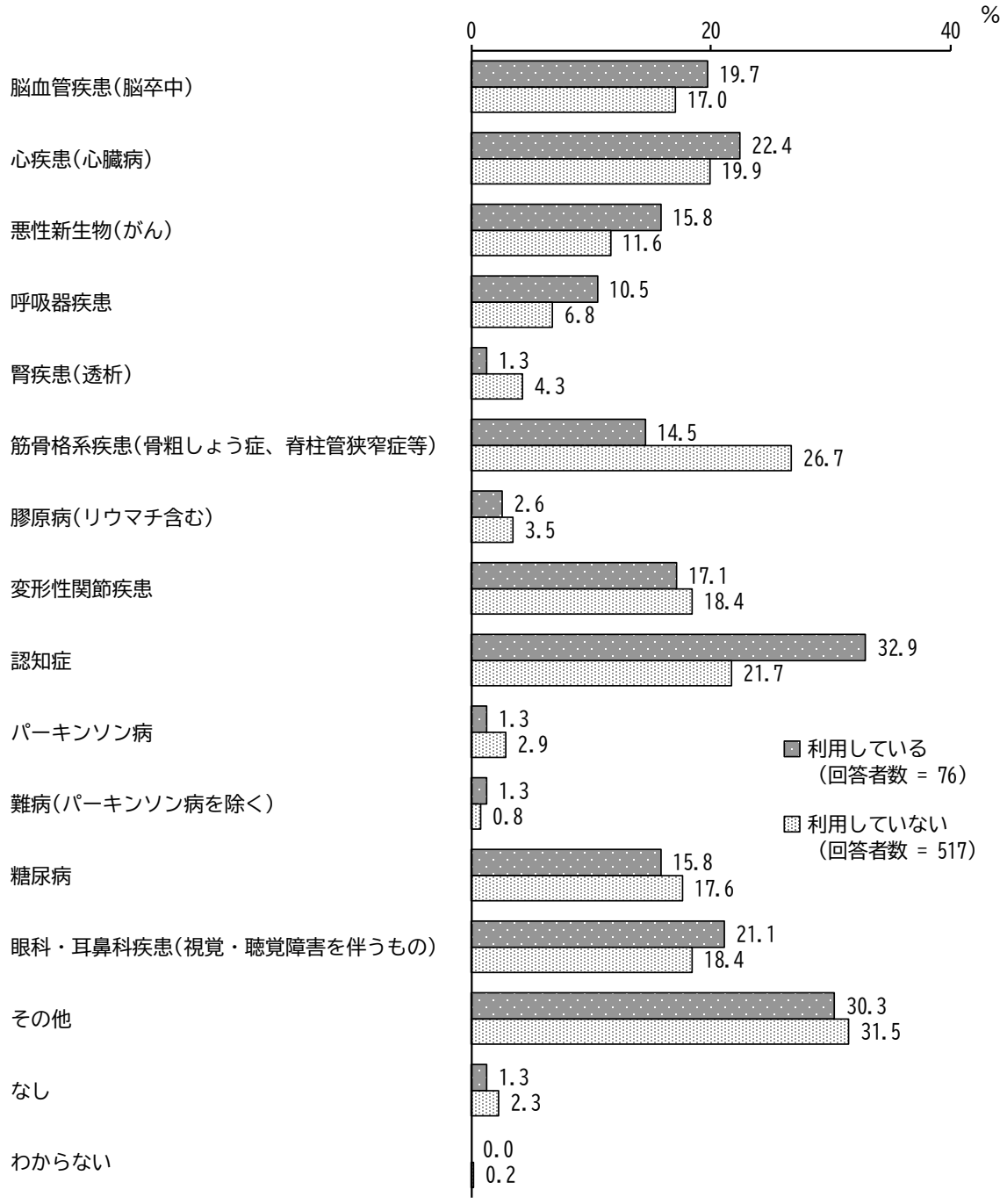


## （６）訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

【訪問診療の利用の有無別】

訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「認知症」が 32.9%と最も割合が高く、次いで「その他」が 30.3%、「心疾患（心臓病）」が 22.4%となっています。「利用していない」では「その他」が 31.5%と最も割合が高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 26.7%、「認知症」が 21.7%となっています。

図表 6-15　訪問診療の利用の有無別・抱えている傷病

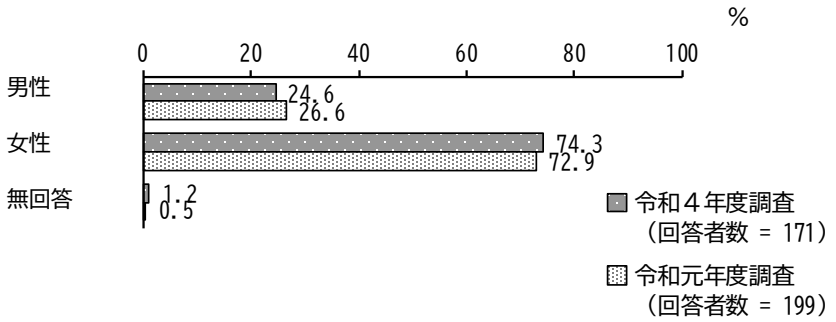


# 3　介護支援専門員アンケート調査

## （1）回答者属性

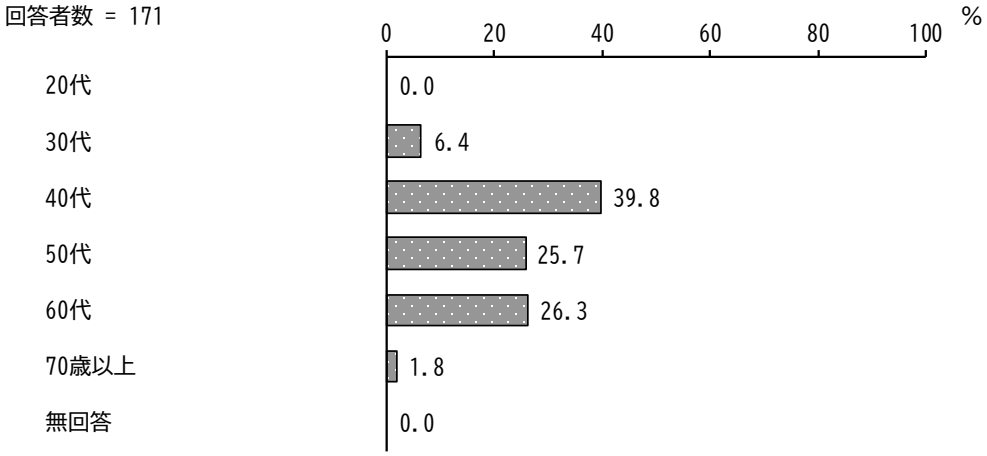
### 問1　あなたの性別をお聞きします（1つを選択）

「男性」の割合が 24.6%、「女性」の割合が 74.3%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



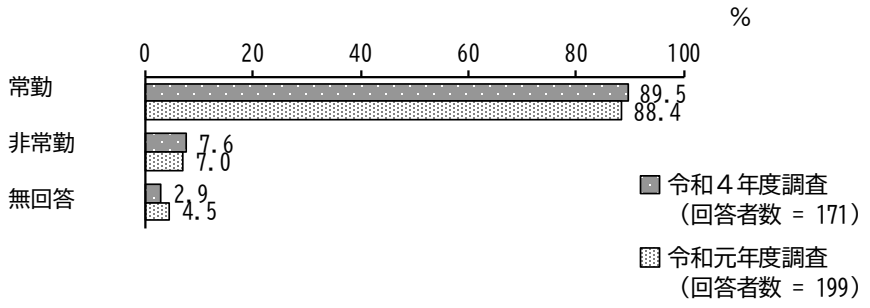

### 問2　あなたの年齢をお聞きします。令和５年２月末日現在の年齢をお答えください（1つを選択）

「40 代」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「60 代」の割合が 26.3%、「50 代」の割合が 25.7%となっています。




### 問3　あなたの勤務形態をお答えください（1つを選択）

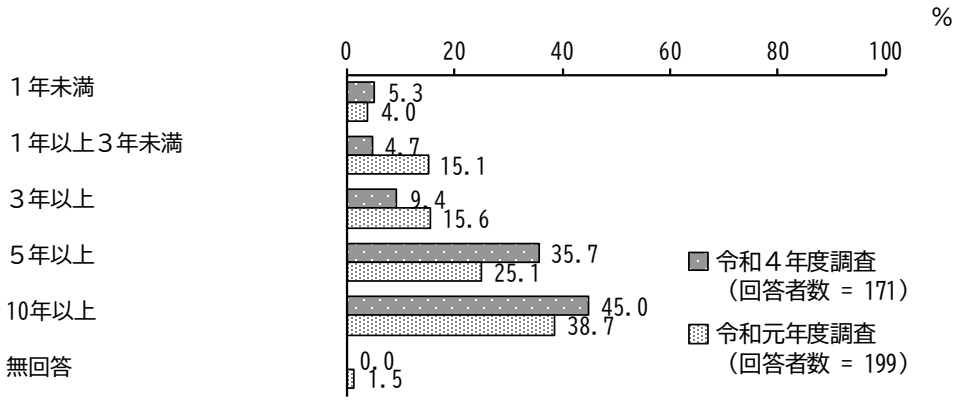
「常勤」の割合が 89.5%、「非常勤」の割合が 7.6%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問４　あなたは、令和５年２月末日現在、介護支援専門員（ケアマネジャー業務）（以下「ケアマネジャー」）に従事してどのくらいの経験年数がありますか。転職などをしている場合は、前職なども含めた合計期間で答えてください（１つを選択）

「10 年以上」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「５年以上」の割合が 35.7%となっています。

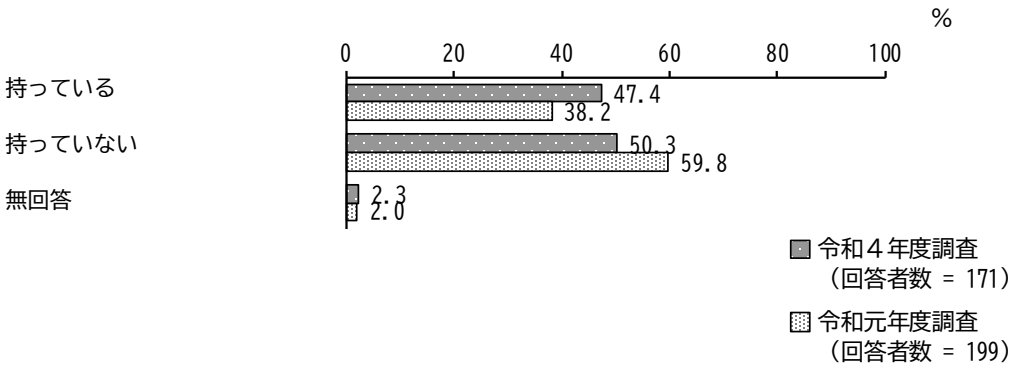
令和元年度調査と比較すると、「５年以上」「10 年以上」の割合が増加しています。一方、「１年以上３年未満」「３年以上」の割合が減少しています。




問５　あなたは、主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）の資格をお持ちですか（１つを選択）

「持っている」の割合が 47.4%、「持っていない」の割合が 50.3%となっています。

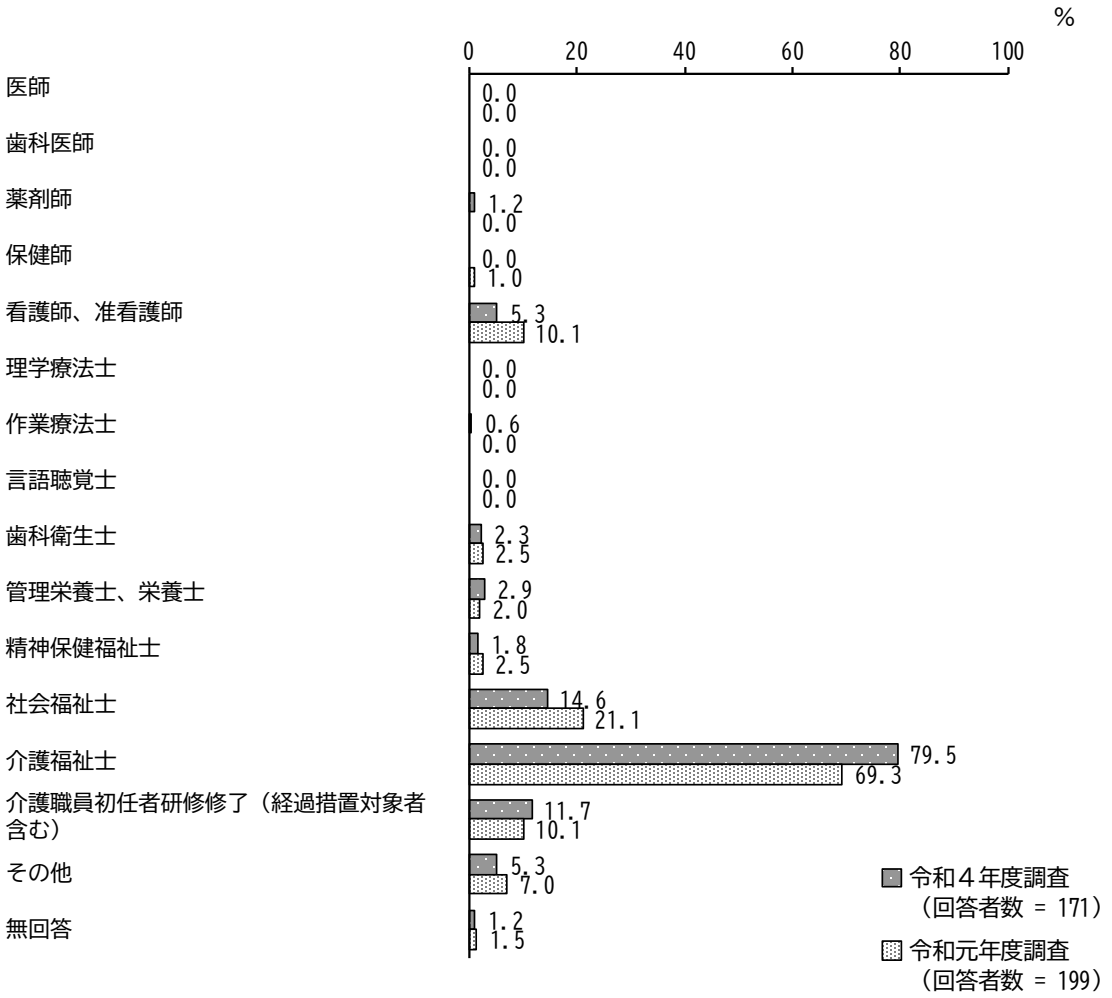
令和元年度調査と比較すると、「持っている」の割合が増加しています。一方、「持っていない」の割合が減少しています。



問６　あなたは、ケアマネジャー以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか（複数選択可）

「介護福祉士」の割合が 79.5%と最も高く、次いで「社会福祉士」の割合が 14.6%、「介護職員初任者研修修了（経過措置対象者含む）」の割合が 11.7%となっています。

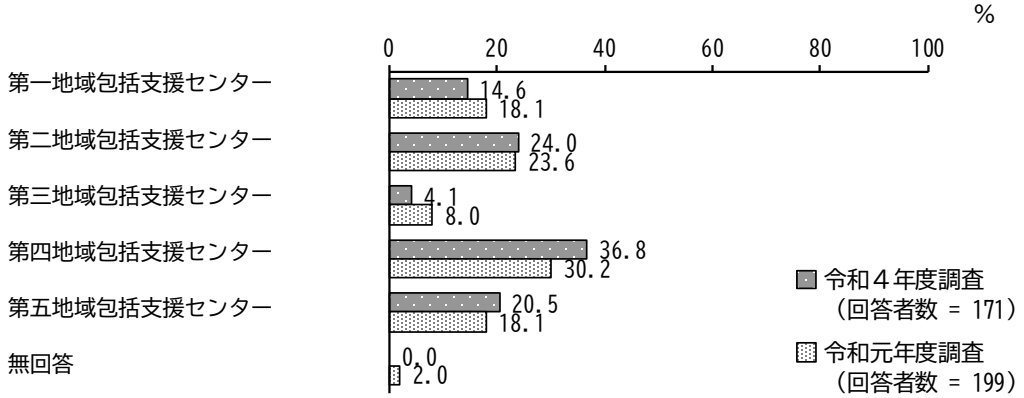
令和元年度調査と比較すると、「介護福祉士」の割合が増加しています。一方、「社会福祉士」の割合が減少しています。



問７　あなたが所属している事業所の所在地はどちらの管轄ですか（１つを選択）

「第四地域包括支援センター」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「第二地域包括支援センター」の割合が 24.0%、「第五地域包括支援センター」の割合が 20.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「第四地域包括支援センター」の割合が増加しています。

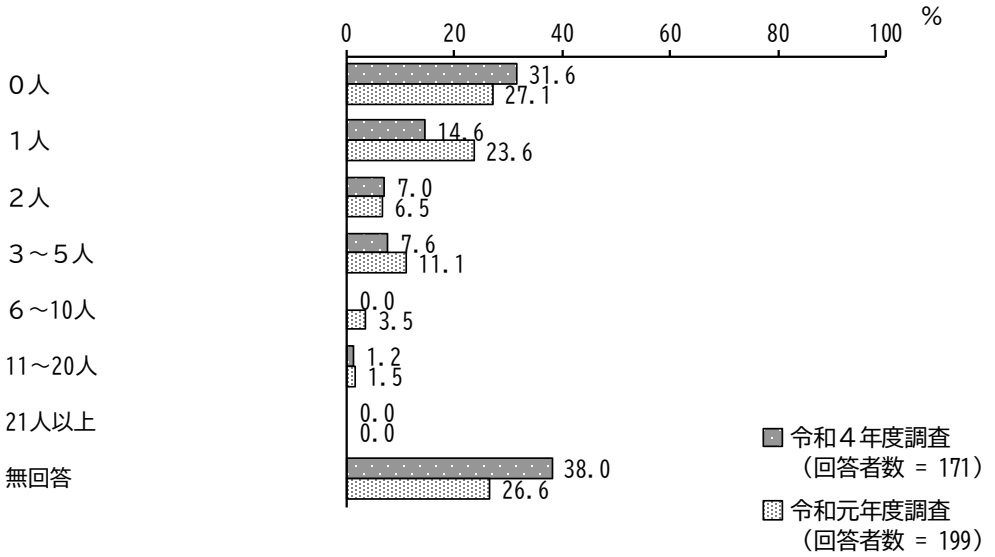



問８　令和５年２月末現在で、あなたが担当している利用者数（給付管理実施人数）は何人ですか。要介護度別の人数を記入してください

**事業対象者**

「０人」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「１人」の割合が 14.6%となっています。

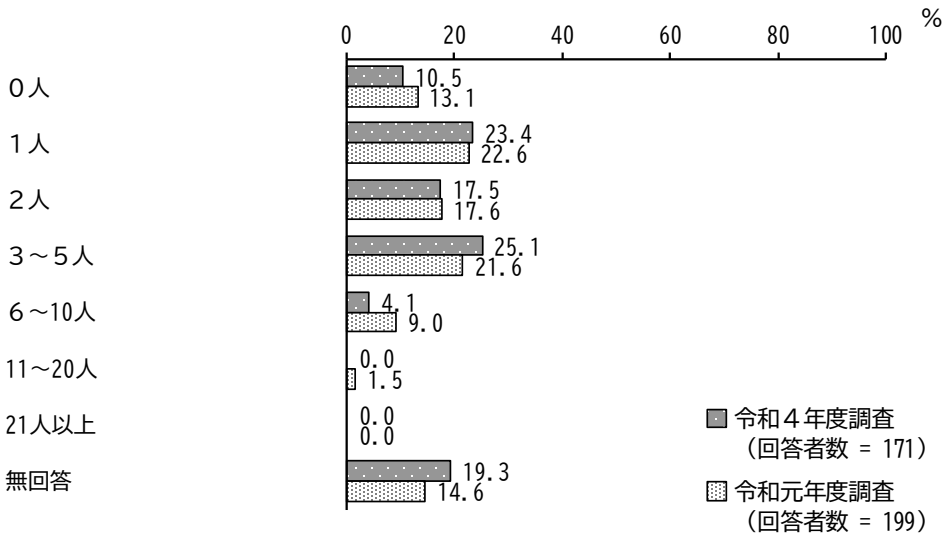
令和元年度調査と比較すると、「１人」の割合が減少しています。



**要支援１**

「３～５人」の割合が 25.1%と最も高く、次いで、「1 人」の割合が 23.4%、「０人」の割合が 10.5%となっています。

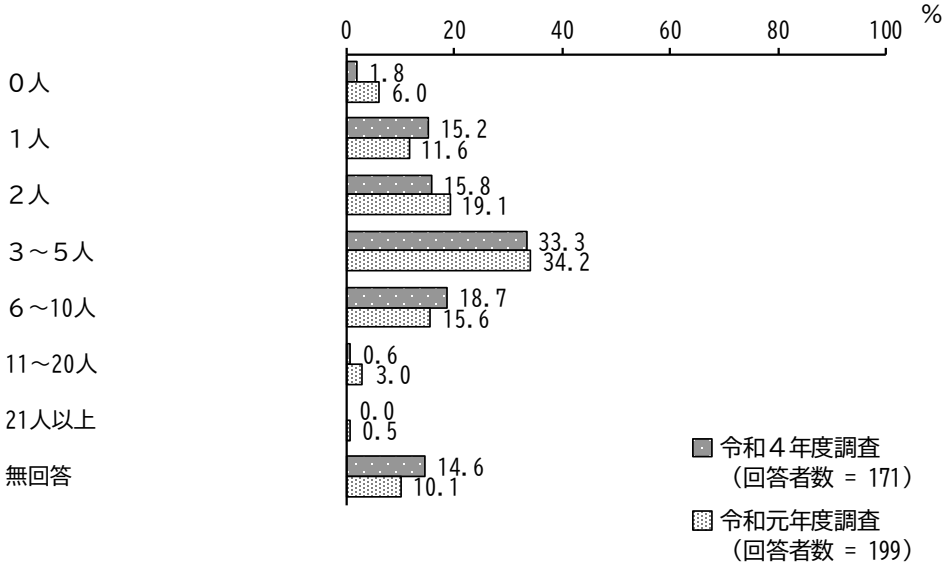
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。




**要支援２**

「３～５人」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「６～10 人」の割合が 18.7%となっています。

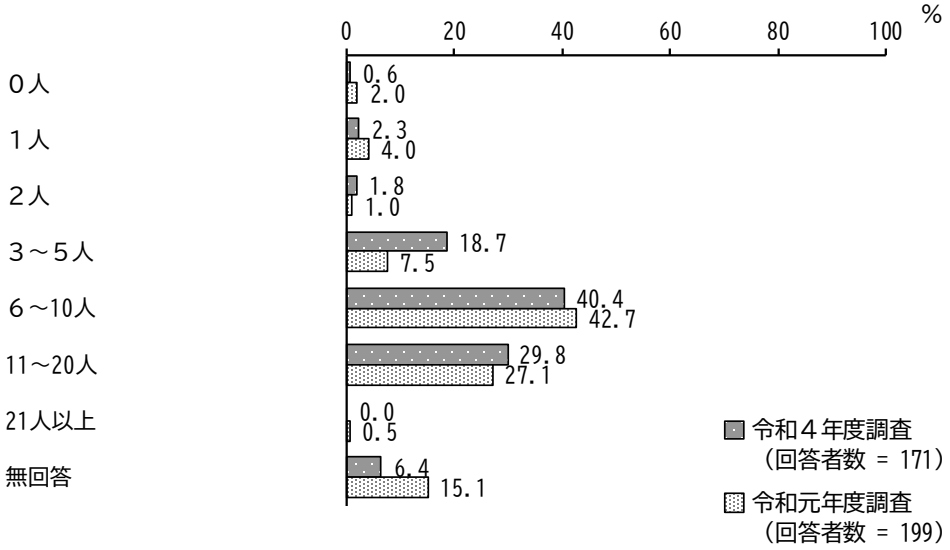
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**要介護１**

「６～10 人」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「11～20 人」の割合が 29.8%、「３～５人」の割合が 18.7%となっています。

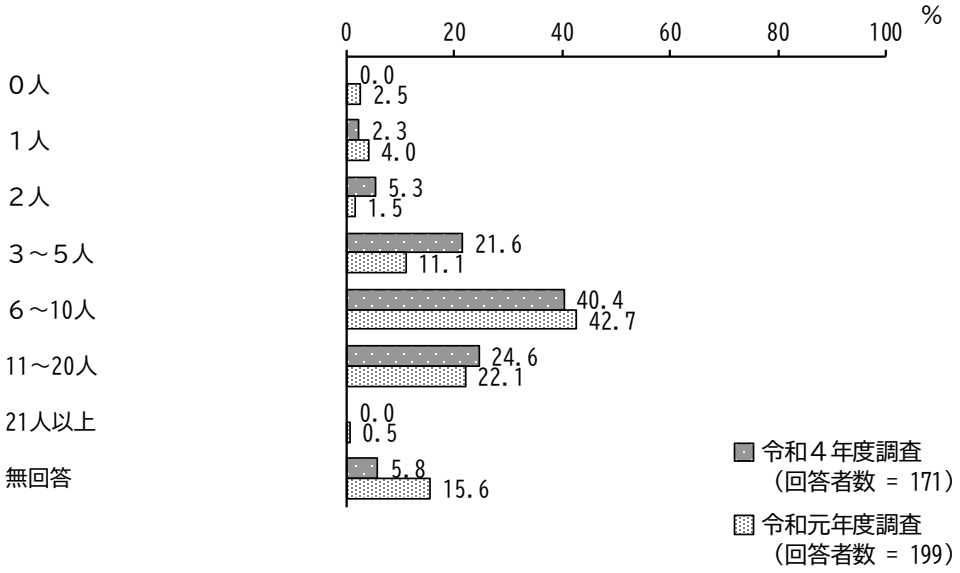
令和元年度調査と比較すると、「３～５人」の割合が増加しています。




**要介護２**

「６～10 人」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「11～20 人」の割合が 24.6%、「３～５人」の割合が 21.6%となっています。

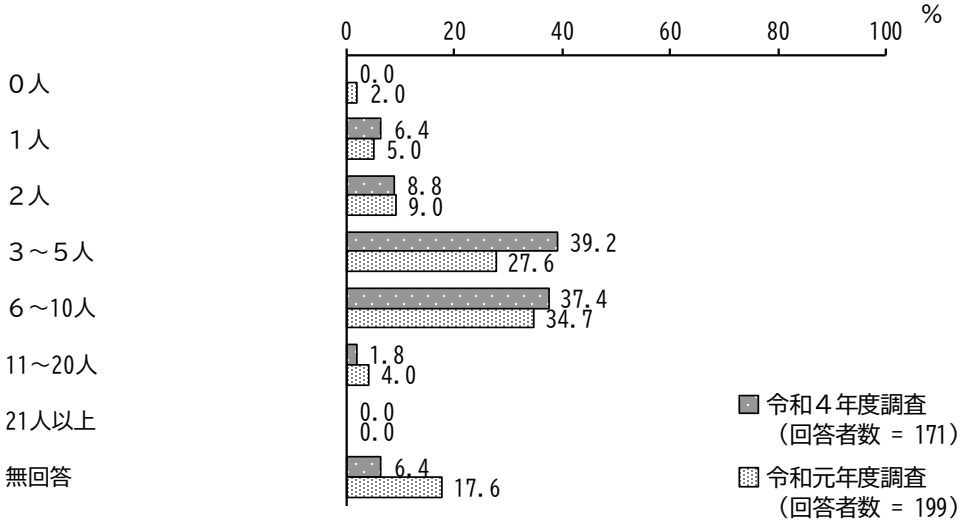
令和元年度調査と比較すると、「３～５人」の割合が増加しています。



**要介護３**

「３～５人」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「６～10 人」の割合が 37.4%となっています。

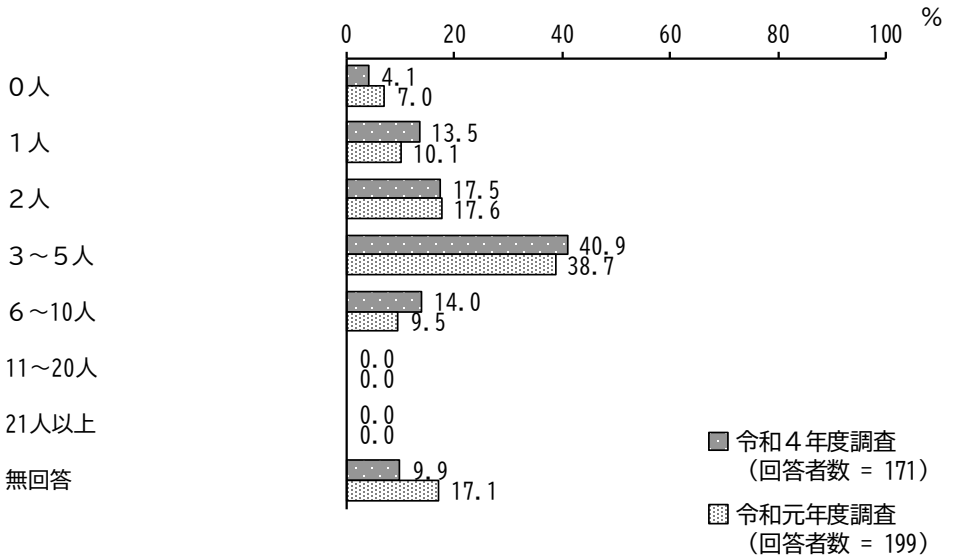
令和元年度調査と比較すると、「３～５人」の割合が増加しています。




**要介護４**

「３～５人」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「２人」の割合が 17.5%となっています。

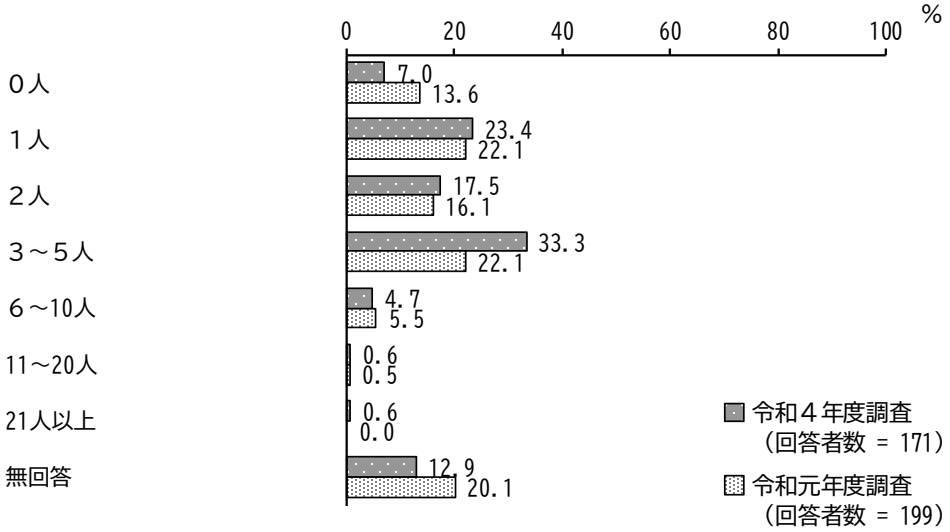
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**要介護５**

「３～５人」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「１人」の割合が 23.4%となっています。

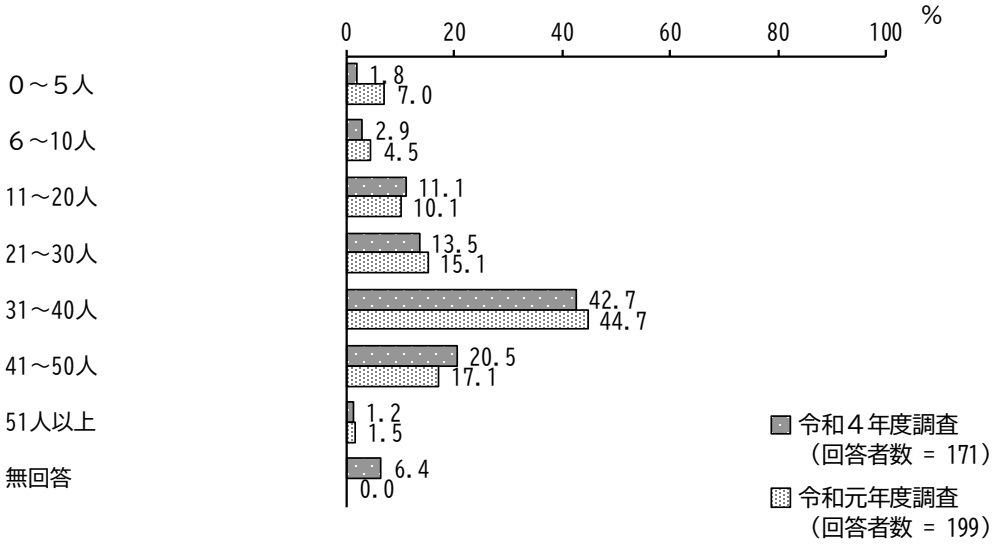
令和元年度調査と比較すると、「３～５人」の割合が増加しています。一方、「０人」の割合が減少しています。




**合計**

「31～40 人」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「41～50 人」の割合が 20.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「０～５人」の割合が減少しています。



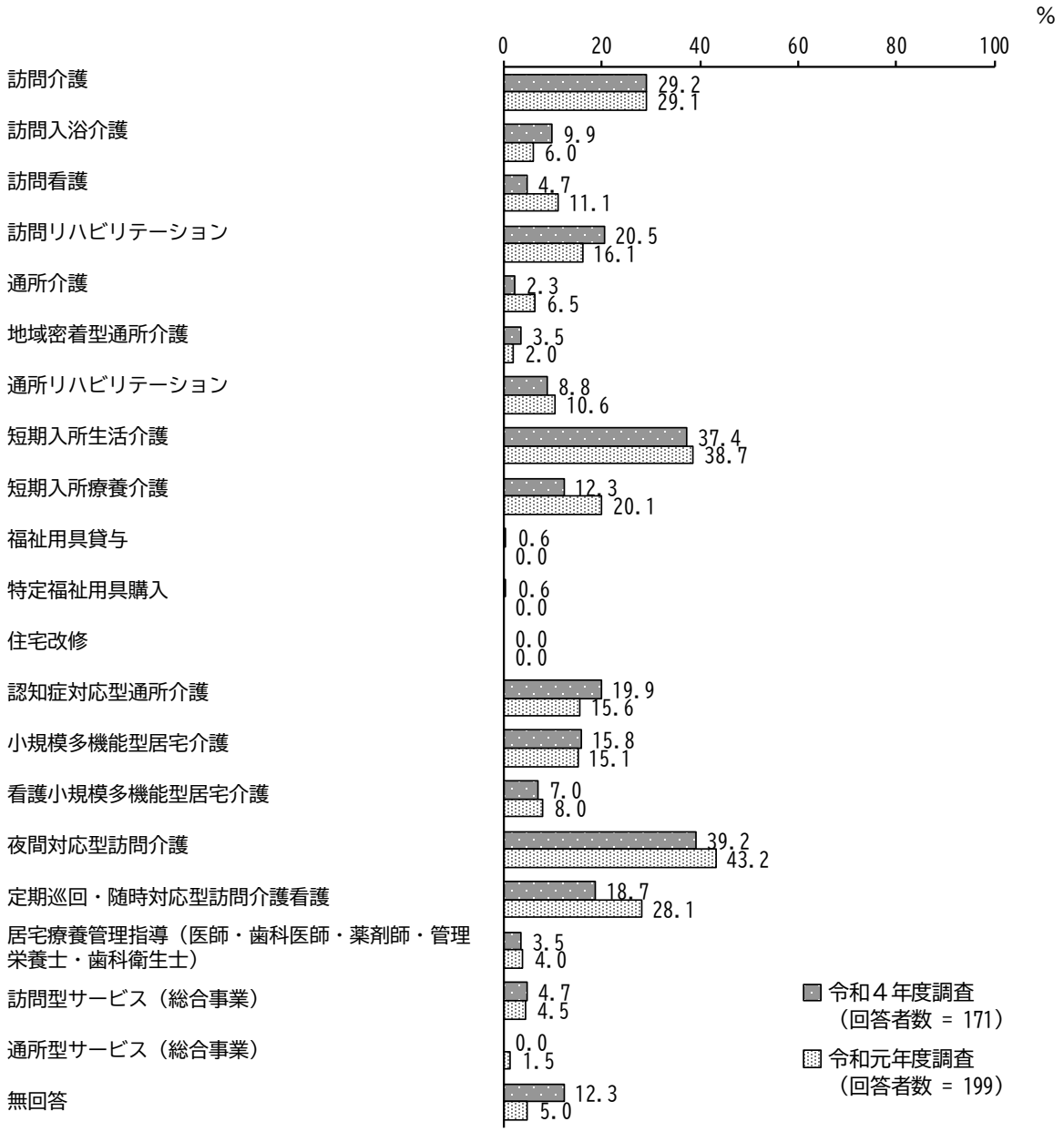
## （2）サービスの状況について

問9　ケアプランを作成する中で、量的に不足していると感じるサービス、また、ケアプランに組み入れにくいサービスはありますか
下記の居宅サービス等から３つずつ選んで番号を記入してください

### （1）量的に不足していると感じるサービス

「夜間対応型訪問介護」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「短期入所生活介護」の割合が 37.4%、「訪問介護」の割合が 29.2%となっています。

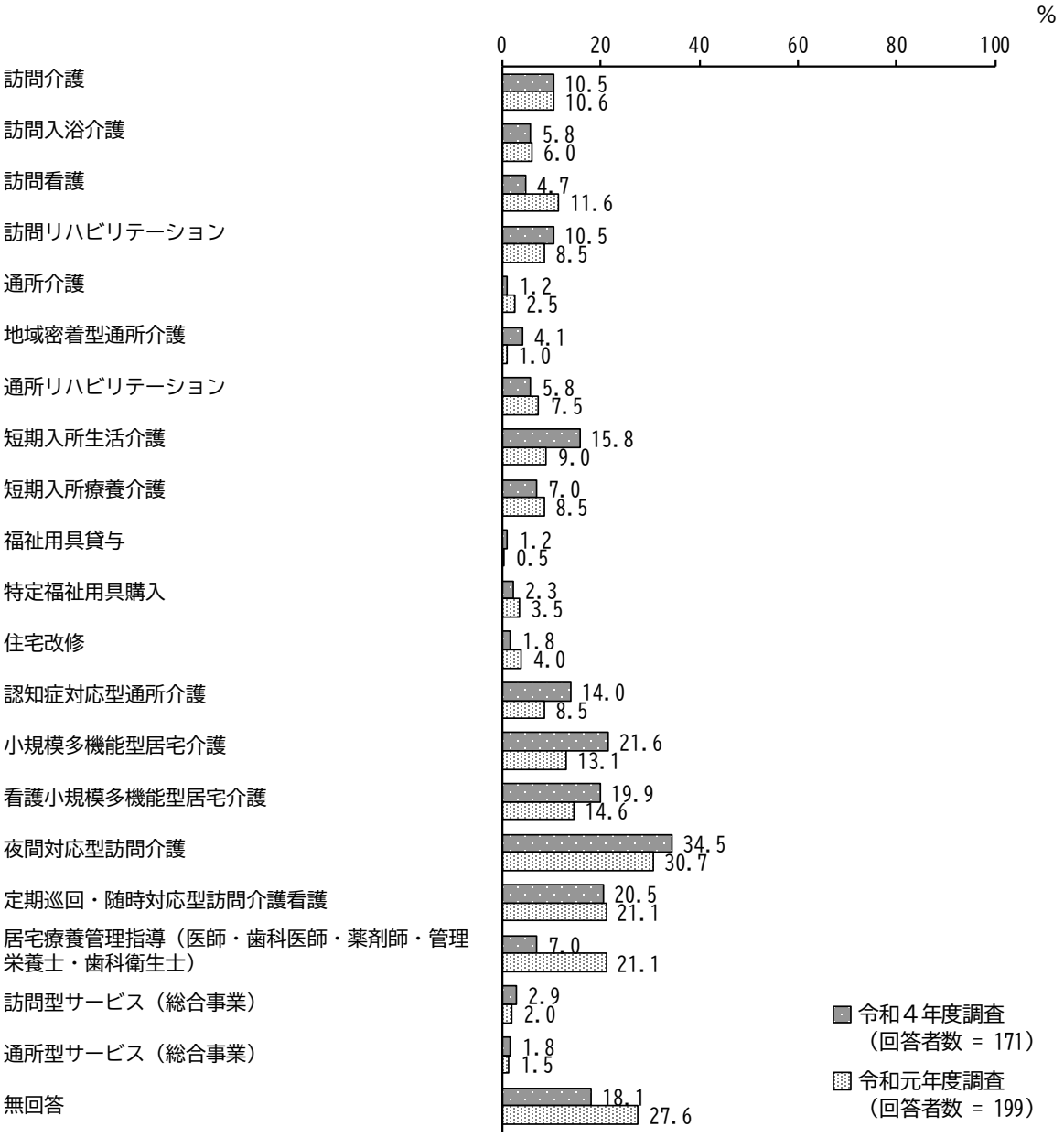
令和元年度調査と比較すると、「認知症対応型通所介護」の割合が増加しています。一方、「通所介護」「短期入所療養介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の割合が減少しています。



### （2）ケアプランに組み入れにくいサービス

「夜間対応型訪問介護」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「小規模多機能型居宅介護」の割合が 21.6%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の割合が 20.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「短期入所生活介護」「認知症対応型通所介護」「小規模多機能型居宅介護」「看護小規模多機能型居宅介護」の割合が増加しています。一方、「訪問看護」「居宅療養管理指導（医師・歯科医師・薬剤師・管理栄養士・歯科衛生士）」の割合が減少しています。

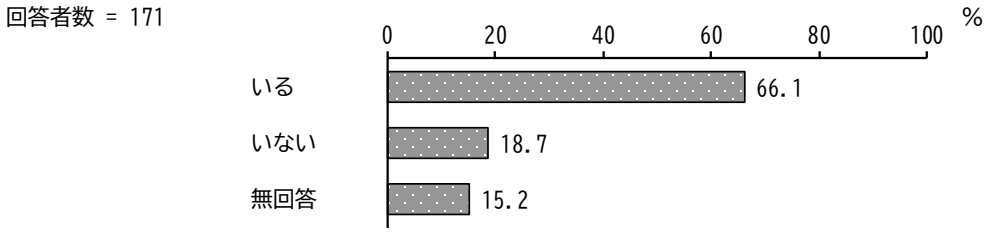


**（3）ケアプランに組み入れにくい理由**

- 意見書が必要。事業所が少ない
- ショート用としてベッドがない
- 金額
- 必要性と対応地域が限られる
- 量不足

問 10　現在、あなたが担当している利用者のケアプランにおいて、インフォーマルサービスを位置づけている方はいますか（１つを選択）

「いる」の割合が 66.1%、「いない」の割合が 18.7%となっています。



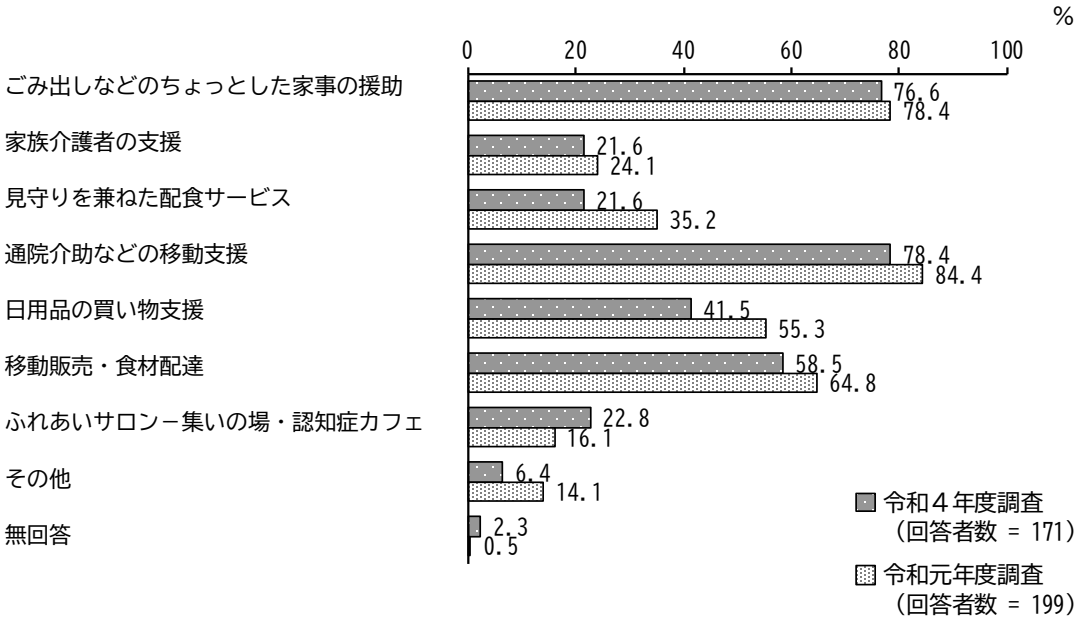

「１．いる」と回答した方で、どのようなインフォーマルサービスを利用されていますか（複数回答可）

- 自主トレ、散歩、できる範囲での家事、公民館活動への参加、家族と出かける買い物
- 配食サービス、紙オムツ給付、緊急通報装置、おかえり SOS、認知症高齢者賠償保険、体操教室、宅老会
- 近隣住民の日常生活支援、移動販売
- 配食、地域の集まり、松阪市支援事業（高齢者サービス）、日常生活自立支援事業、生活支援センター、有償サービス（家事支援）
- 近隣住民、民生委員

問 11　インフォーマルサービスも含めた支援策についておたずねします。在宅生活を支えるために、これから充実が必要と感じる生活支援は次のどれですか（複数選択可）

「通院介助などの移動支援」の割合が 78.4%と最も高く、次いで「ごみ出しなどのちょっとした家事の援助」の割合が 76.6%、「移動販売・食材配達」の割合が 58.5%となっています。

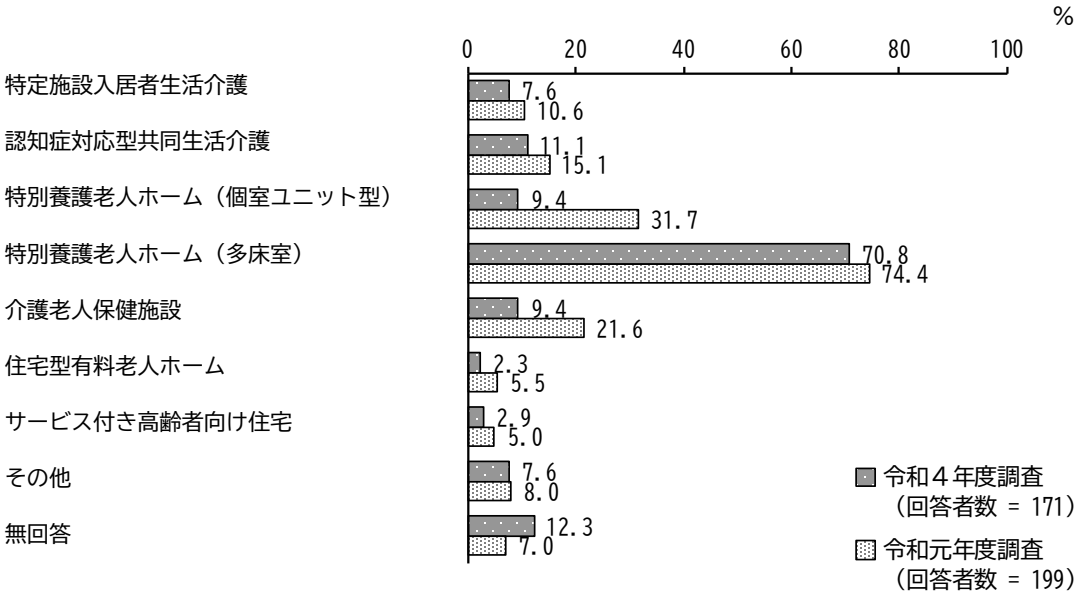
令和元年度調査と比較すると、「ふれあいサロン－集いの場・認知症カフェ」の割合が増加しています。一方、「見守りを兼ねた配食サービス」「通院介助などの移動支援」「日用品の買い物支援」「移動販売・食材配達」の割合が減少しています。



問 12　施設サービス等で、量的に不足していると感じるサービスは何ですか（介護保険外のサービスも含む）（複数選択可）

「特別養護老人ホーム（多床室）」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「認知症対応型共同生活介護」の割合が 11.1%となっています。

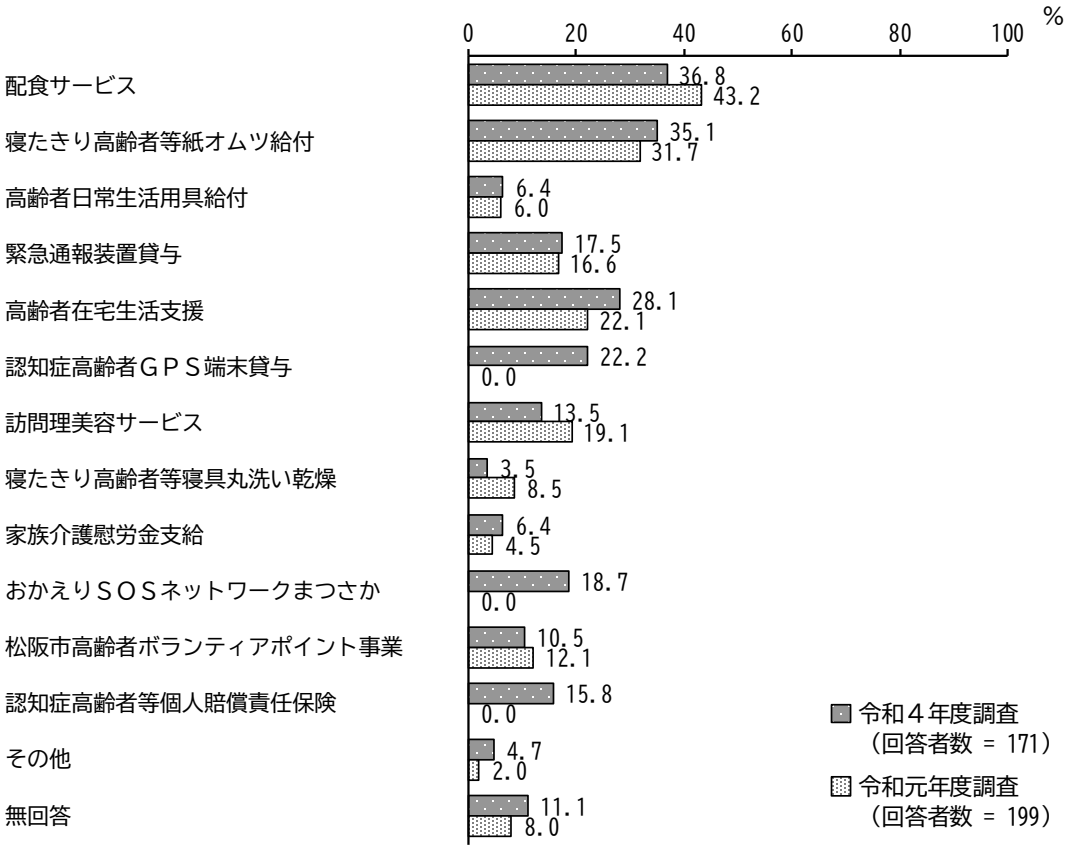
令和元年度調査と比較すると、「特別養護老人ホーム（個室ユニット型）」「介護老人保健施設」の割合が減少しています。



問 13　現在、松阪市では以下のような高齢者福祉サービスを実施していますが、今後一層の充実が必要と思うサービスは次のどれですか（複数選択可）

「配食サービス」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「寝たきり高齢者等紙オムツ給付」の割合が 35.1%、「高齢者在宅生活支援」の割合が 28.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「高齢者在宅生活支援」「家族介護慰労金支給」の割合が増加しています。一方、「配食サービス」「訪問理美容サービス」の割合が減少しています。

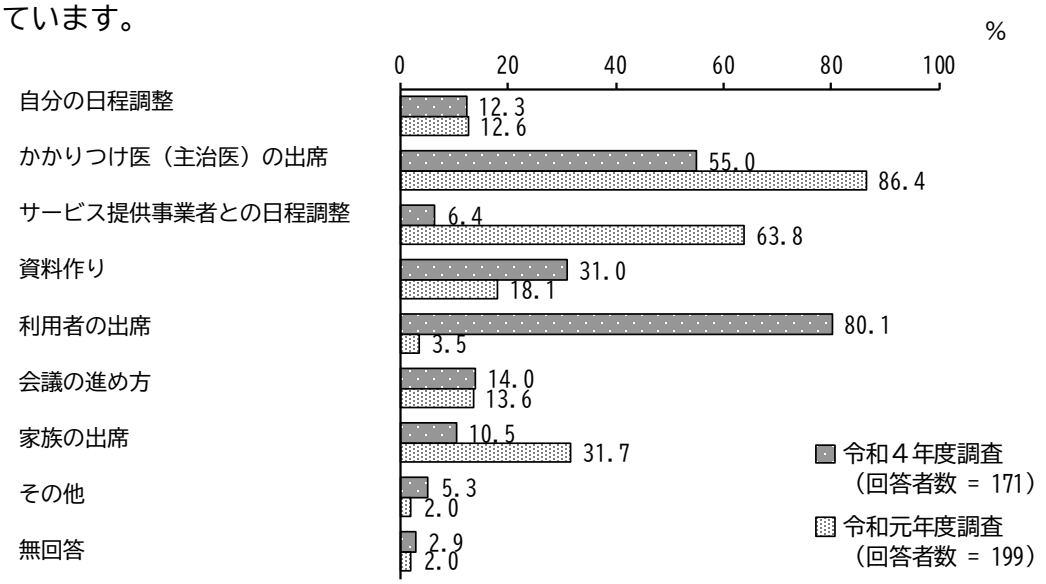


## （3）サービス担当者会議について

問 14　サービス担当者会議の開催にあたって、困難と感じることは何ですか（複数選択可）

「利用者の出席」の割合が 80.1%と最も高く、次いで「かかりつけ医（主治医）の出席」の割合が 55.0%、「資料作り」の割合が 31.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「資料作り」「利用者の出席」の割合が増加しています。一方、「かかりつけ医（主治医）の出席」「サービス提供事業者との日程調整」「家族の出席」の割合が減少しています。




問 15　かかりつけ医（主治医）、利用者や家族などがサービス担当者会議に参加しない場合、その理由は何だとお考えですか。※該当項目のみ太枠の数字に〇をつけてください（複数選択可）

『日にち、曜日時間などがあわない』で「かかりつけ医（主治医）」の割合が高くなっています。また、『サービス担当者会議の意義や役割を理解してくれない』で「家族」の割合が高くなっています。

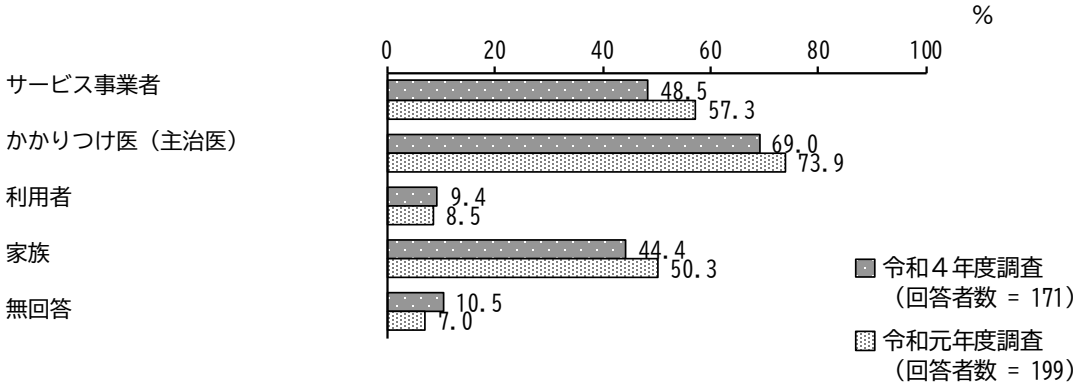
単位：%

| | 全体 | サービス事業者 | かかりつけ医（主治医） | 利用者 | 家族 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 日にち、曜日時間などがあわない | 171 | 48.5 | **69.0** | 9.4 | 44.4 | 10.5 |
| 連絡がつかない | 171 | 1.2 | 9.9 | 0.6 | **12.9** | 80.1 |
| サービス担当者会議の意義や役割を理解してくれない | 171 | 1.2 | 12.9 | 7.0 | **20.5** | 67.8 |
| 自分との信頼関係が確立されていない | 171 | 1.8 | **19.3** | 1.8 | 4.7 | 77.8 |
| 自分が出席を呼びかけていない | 171 | － | **50.9** | － | 1.2 | 49.1 |
| その他 | 171 | 2.3 | **4.7** | 2.9 | 2.9 | 90.6 |

**1．日にち、曜日時間などがあわない**

【経年比較】

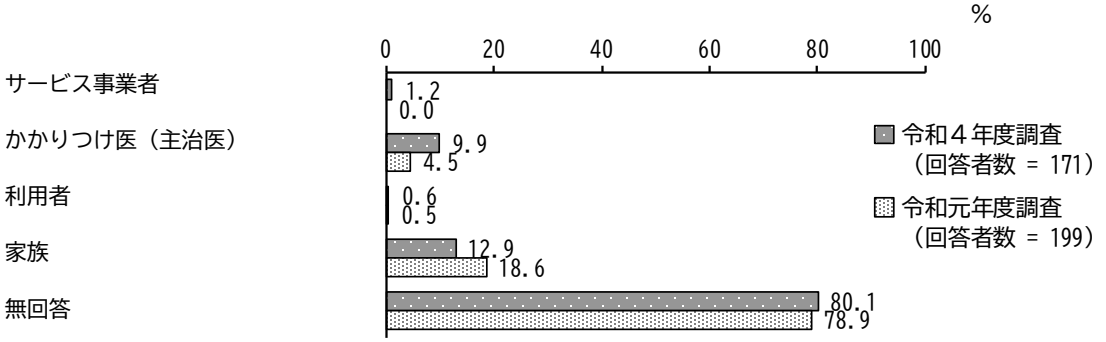
令和元年度調査と比較すると、「サービス事業者」「家族」の割合が減少しています。




**2．連絡がつかない**

【経年比較】

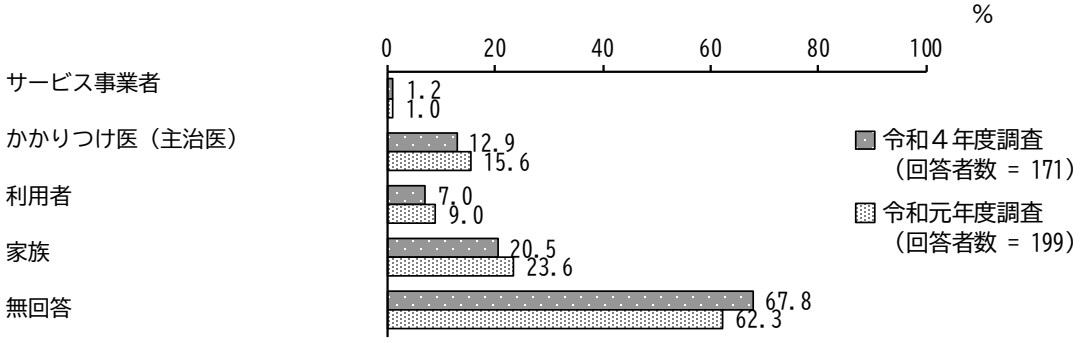
令和元年度調査と比較すると、「かかりつけ医（主治医）」の割合が増加しています。一方、「家族」の割合が減少しています。




**3．サービス担当者会議の意義や役割を理解してくれない**

【経年比較】

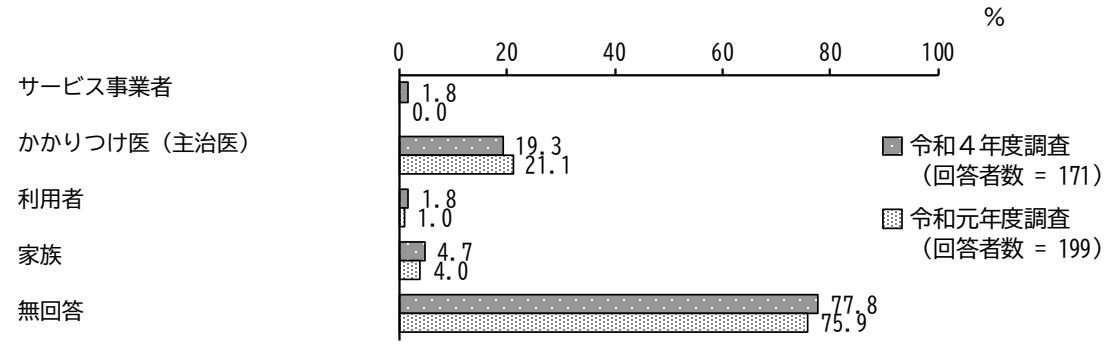
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 4．自分との信頼関係が確立されていない

【経年比較】

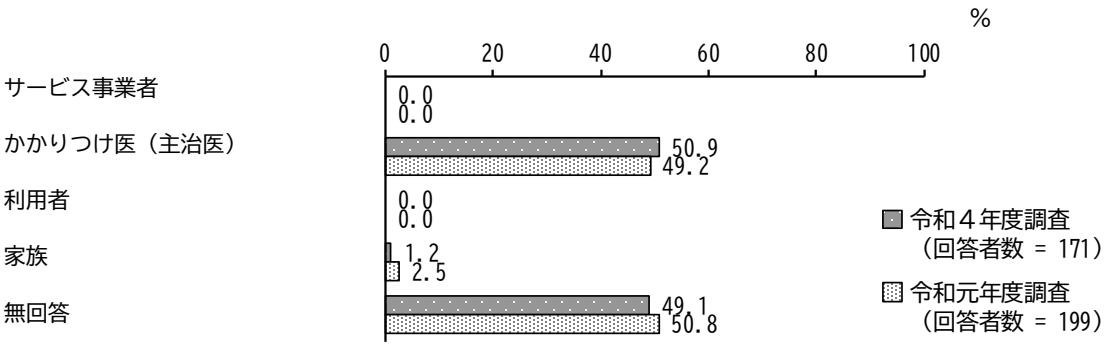
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。




### 5．自分が出席を呼びかけていない

【経年比較】

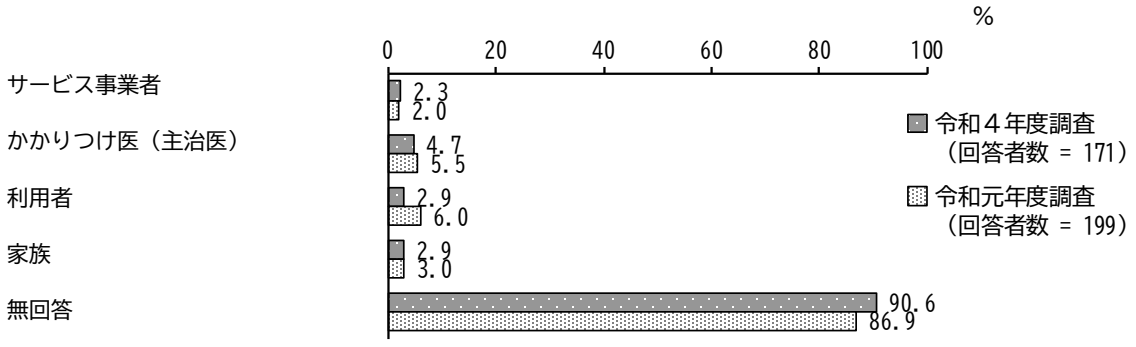
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。




### 6．その他

【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

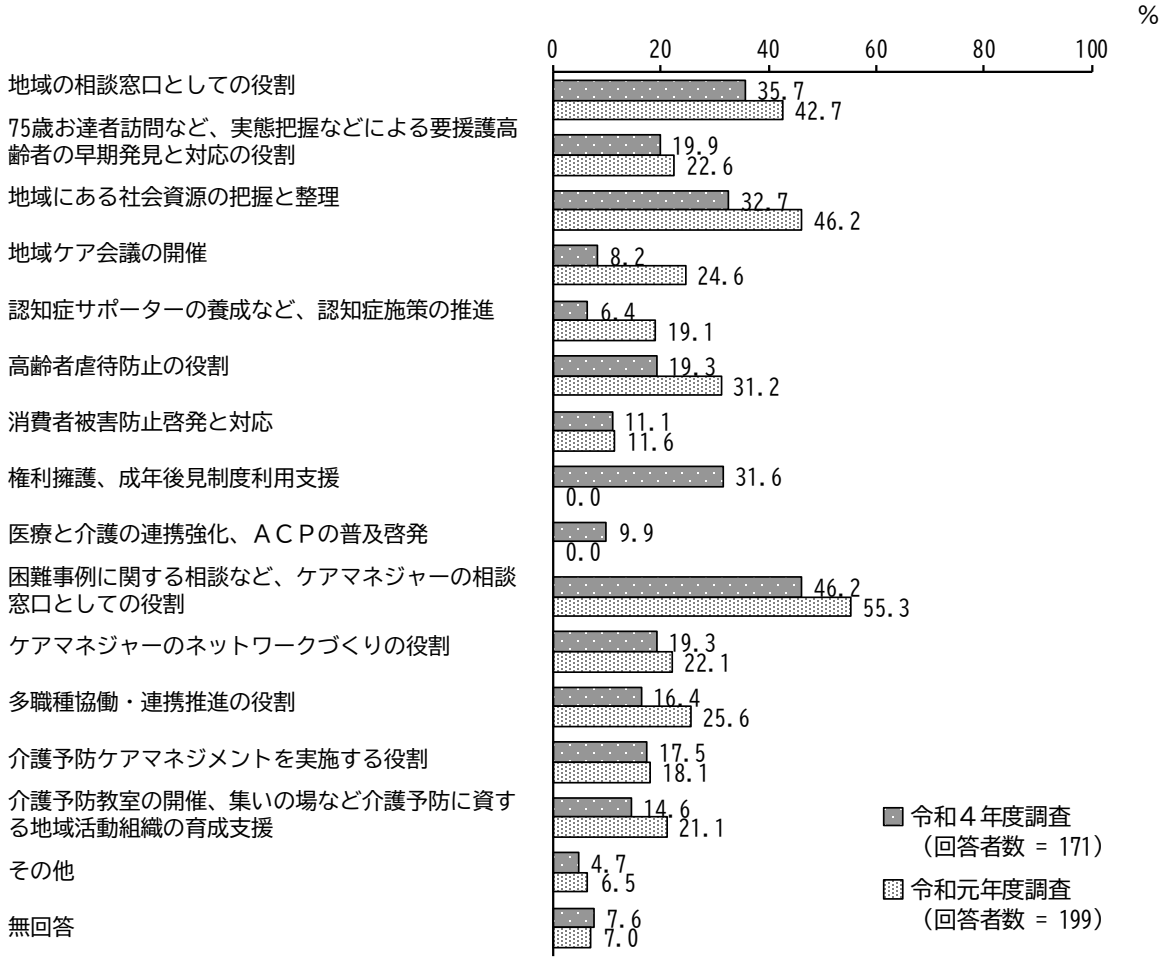


## （4）地域包括支援センターの役割について

問 16　市内の地域包括支援センターにおいて、機能強化が必要と思われる役割は何ですか（複数選択可）

「困難事例に関する相談など、ケアマネジャーの相談窓口としての役割」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「地域の相談窓口としての役割」の割合が 35.7%、「地域にある社会資源の把握と整理」の割合が 32.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「地域の相談窓口としての役割」「地域にある社会資源の把握と整理」「地域ケア会議の開催」「認知症サポーターの養成など、認知症施策の推進」「高齢者虐待防止の役割」「困難事例に関する相談など、ケアマネジャーの相談窓口としての役割」「多職種協働・連携推進の役割」「介護予防教室の開催、集いの場など介護予防に資する地域活動組織の育成支援」の割合が減少しています。

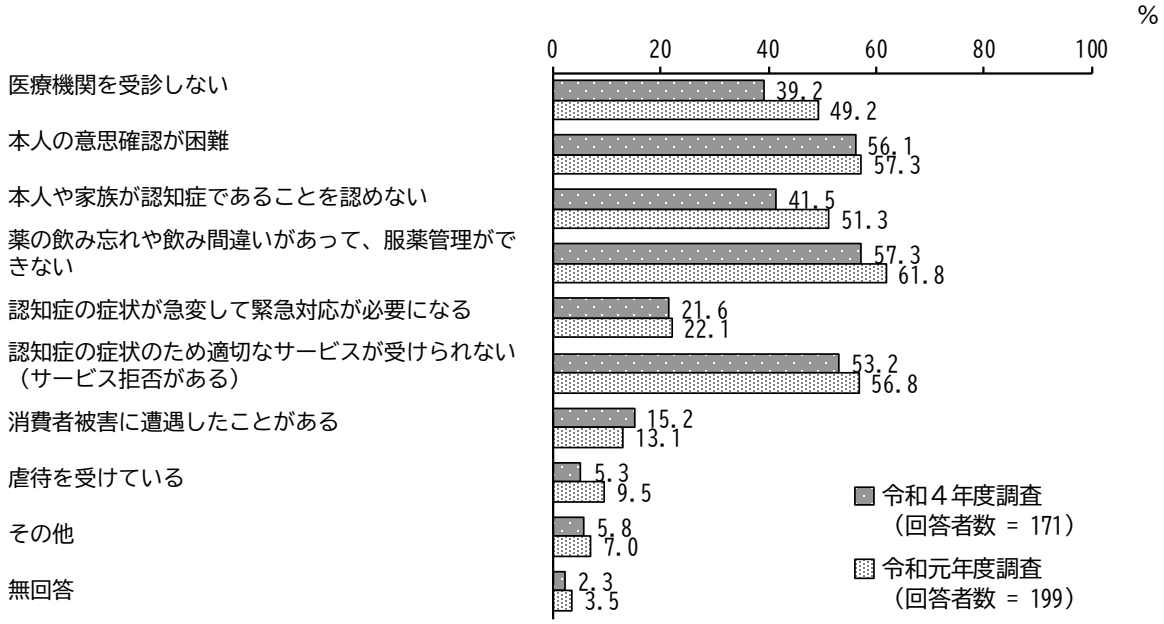


## （５）認知症の方の支援について

問 17　あなたが担当する認知症の方の状況で、実際にあるのは次のどれですか（複数選択可）

「薬の飲み忘れや飲み間違いがあって、服薬管理ができない」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「本人の意思確認が困難」の割合が 56.1%、「認知症の症状のため適切なサービスが受けられない（サービス拒否がある)」の割合が 53.2%となっています。

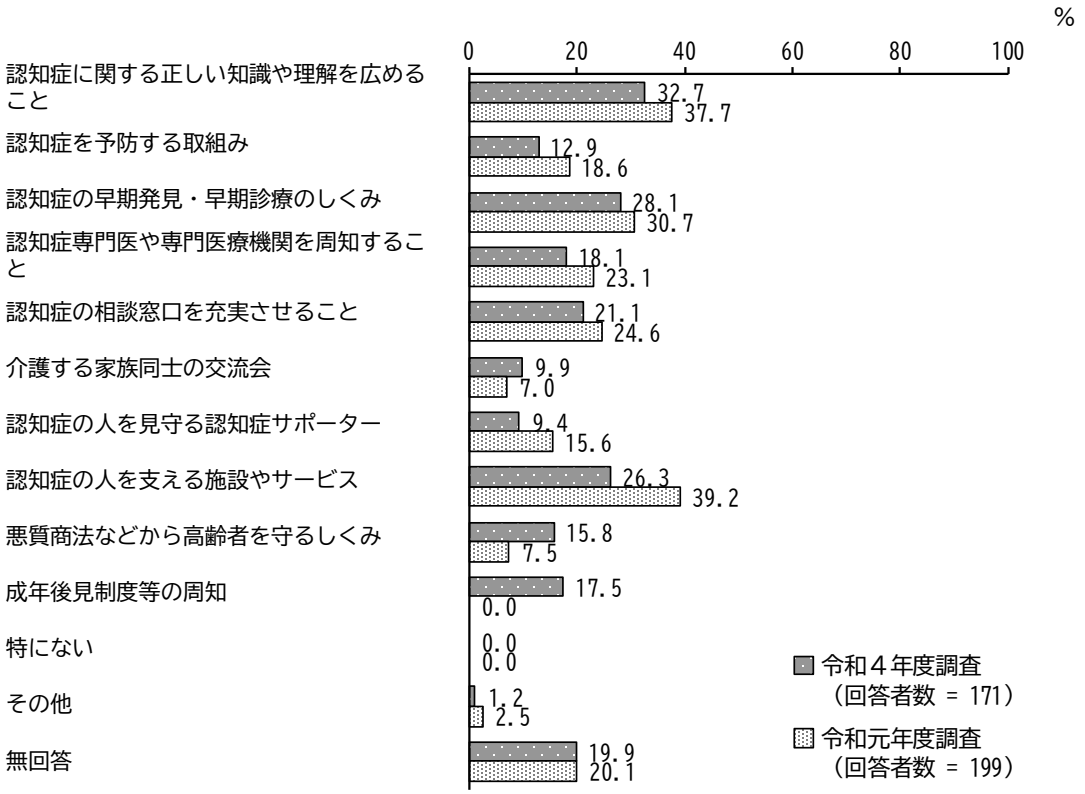
令和元年度調査と比較すると、「医療機関を受診しない」「本人や家族が認知症であることを認めない」の割合が減少しています。



問 18　これから、認知症の人の支援にあたり必要になると思うのは、次のどれですか（３つ以内）

「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「認知症の早期発見・早期診療のしくみ」の割合が 28.1%、「認知症の人を支える施設やサービス」の割合が 26.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「悪質商法などから高齢者を守るしくみ」の割合が増加しています。一方、「認知症を予防する取組み」「認知症の人を見守る認知症サポーター」「認知症の人を支える施設やサービス」の割合が減少しています。

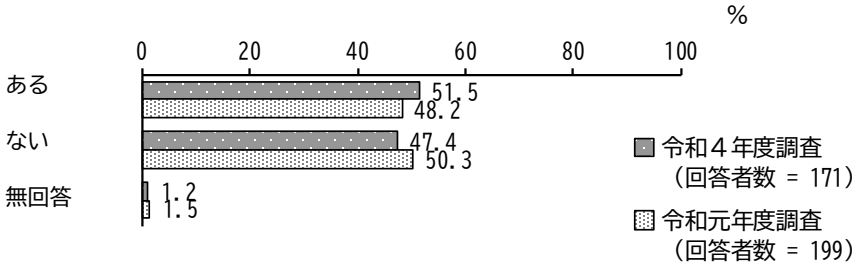


## （６）高齢者虐待について

### 問 19　家庭内における高齢者虐待（疑いを含む）の事例を経験（担当）したことがありますか（１つを選択）

「ある」の割合が 51.5%、「ない」の割合が 47.4%となっています。

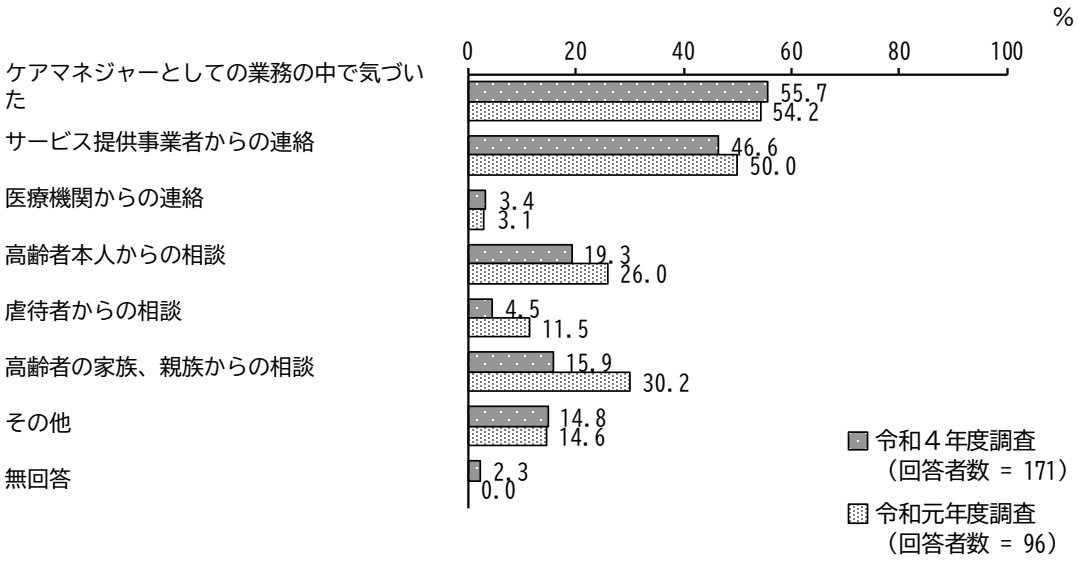
令和元年度調査と比較すると、「ある」と「ない」の割合が逆転しています。




### 問 20　高齢者虐待（疑いを含む）の事実を知った経緯は何ですか（複数選択可）

「ケアマネジャーとしての業務の中で気づいた」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「サービス提供事業者からの連絡」の割合が 46.6%、「高齢者本人からの相談」の割合が 19.3%となっています。

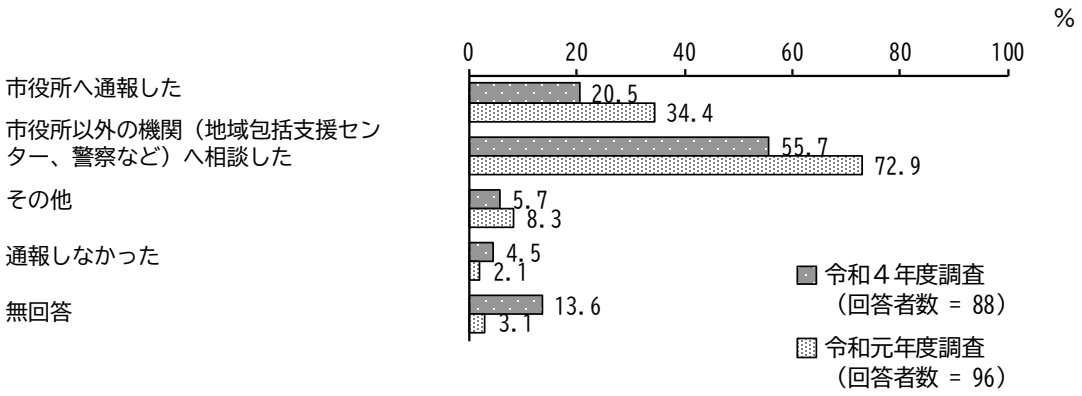
令和元年度調査と比較すると、「高齢者本人からの相談」「虐待者からの相談」「高齢者の家族、親族からの相談」の割合が減少しています。



## 問 21　高齢者に対する虐待を発見したときは市町村へ通報する義務がありますが、市町村への通報を行いましたか（１つを選択）

「市役所以外の機関（地域包括支援センター、警察など）へ相談した」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「市役所へ通報した」の割合が 20.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「市役所へ通報した」「市役所以外の機関（地域包括支援センター、警察など）へ相談した」の割合が減少しています。



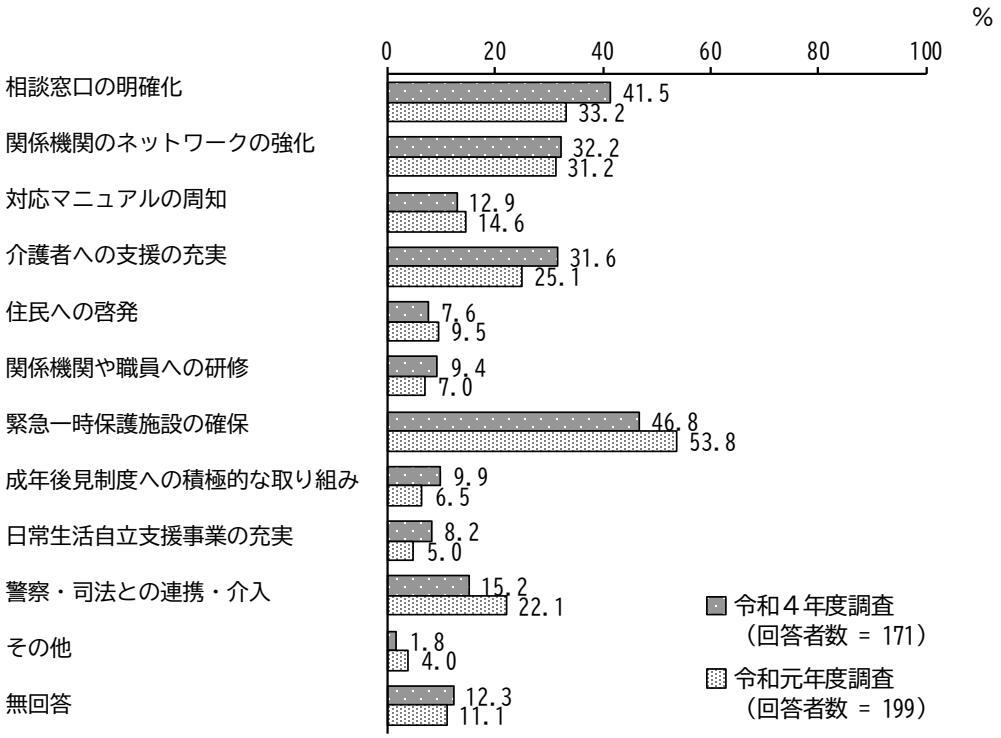

## 問 22　その時にどのように解決をはかりましたか

- 金銭的虐待であったため、権利擁護利用となった
- 同行訪問し面談。サービスの導入
- 包括職員が全軒訪問と告げて定期的に状況を観察確認してもらった
- 市の職員と本人に確認を行った。認知症がある方で長男の話も聞いた。
- さらに虐待の可能性があるので見守ることにした。現在はショート利用中

問 23　高齢者虐待への対応として必要な制度や仕組みはどのようなものだと思いますか（３つ以内）

「緊急一時保護施設の確保」の割合が 46.8%と最も高く、次いで「相談窓口の明確化」の割合が 41.5%、「関係機関のネットワークの強化」の割合が 32.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「相談窓口の明確化」「介護者への支援の充実」の割合が増加しています。一方、「緊急一時保護施設の確保」「警察・司法との連携・介入」の割合が減少しています。

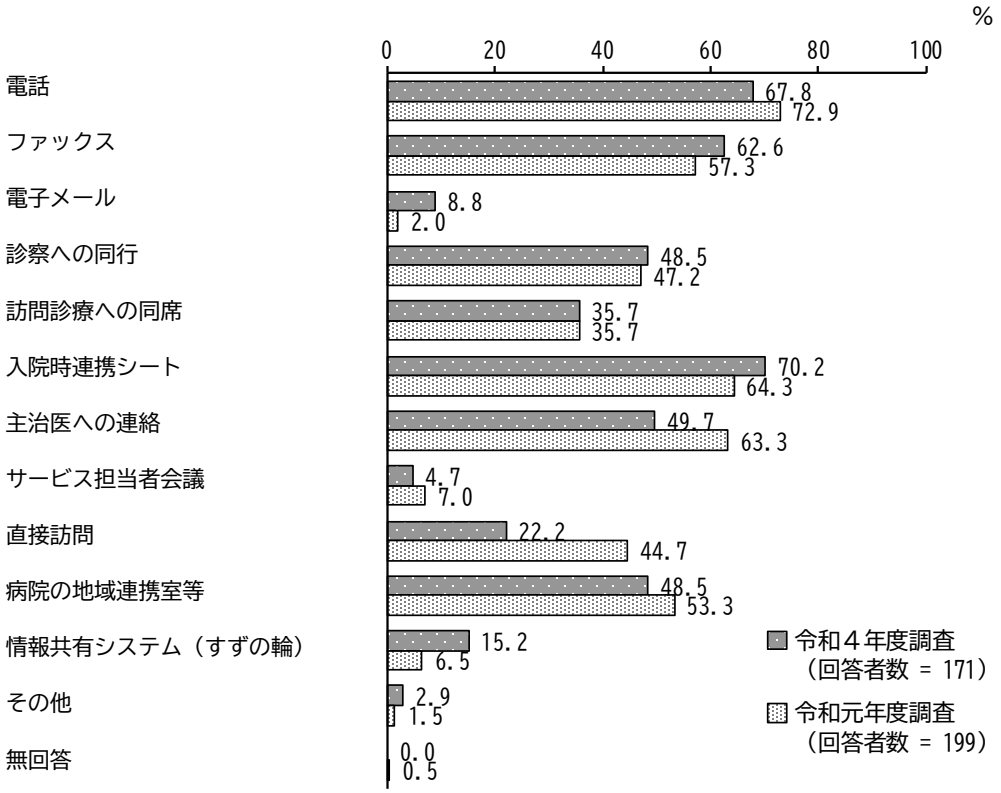


## （7）医療と介護の連携について

問 24　あなたは、通常、医療機関やかかりつけ医とどのような方法で情報を交換していますか（複数選択可）

「入院時連携シート」の割合が 70.2%と最も高く、次いで「電話」の割合が 67.8%、「ファックス」の割合が 62.6%となっています。

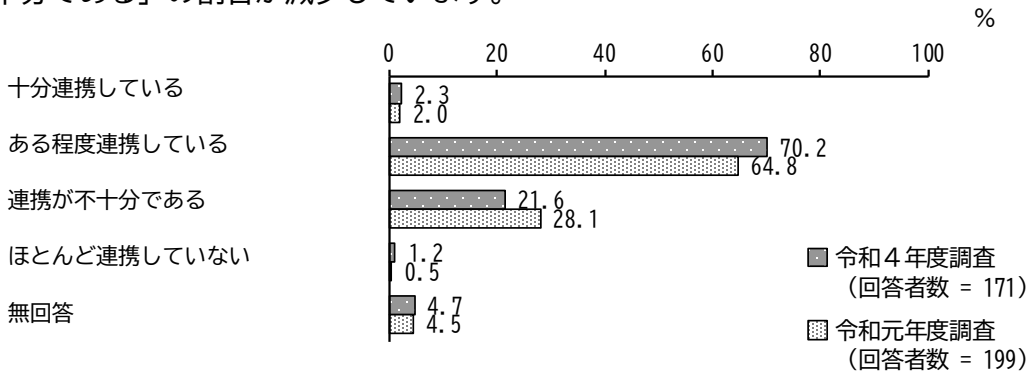
令和元年度調査と比較すると、「ファックス」「電子メール」「入院時連携シート」「情報共有システム（すずの輪）」の割合が増加しています。一方、「電話」「主治医への連絡」「直接訪問」の割合が減少しています。




問 25　在宅療養者への支援において、医療・介護は連携していると思いますか（１つを選択）

「ある程度連携している」の割合が 70.2%と最も高く、次いで「連携が不十分である」の割合が 21.6%となっています。

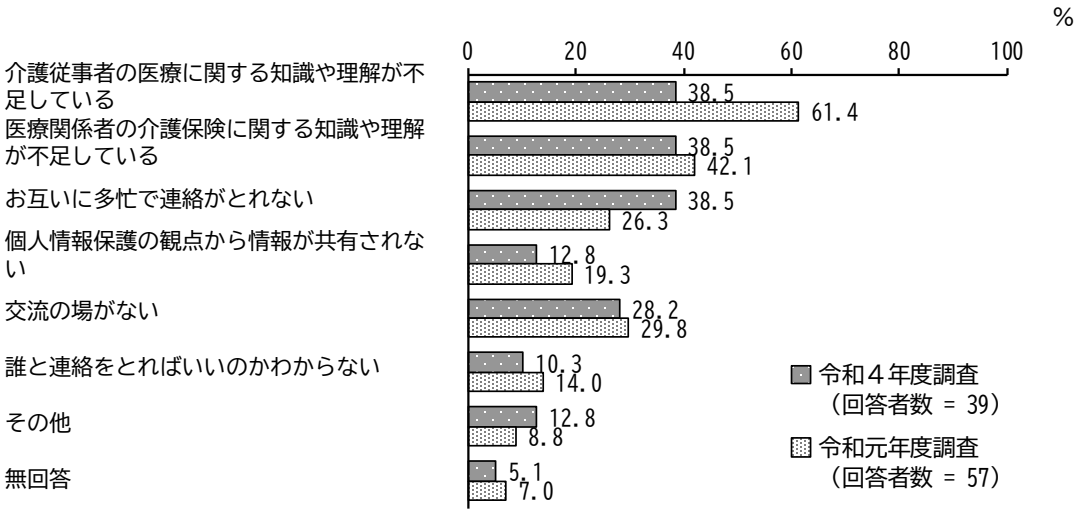
令和元年度調査と比較すると、「ある程度連携している」の割合が増加しています。一方、「連携が不十分である」の割合が減少しています。



## 問 26　あなたがそのように考える理由は次のどれですか（３つ以内）

「介護従事者の医療に関する知識や理解が不足している」、「医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している」、「お互いに多忙で連絡がとれない」の割合が 38.5%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、「お互いに多忙で連絡がとれない」の割合が増加しています。一方、「介護従事者の医療に関する知識や理解が不足している」「個人情報保護の観点から情報が共有されない」の割合が減少しています。




## 問 27　あなたが関わるサービス利用者の情報について、次の関係機関、職種への連携状況をお答えください※１～６それぞれに回答してください

『病院の地域連携室（医療ソーシャルワーカー）』で「ある程度とっている」の割合が高くなっています。また、『歯科医師』で「ほとんどとっていない」の割合が高くなっています。

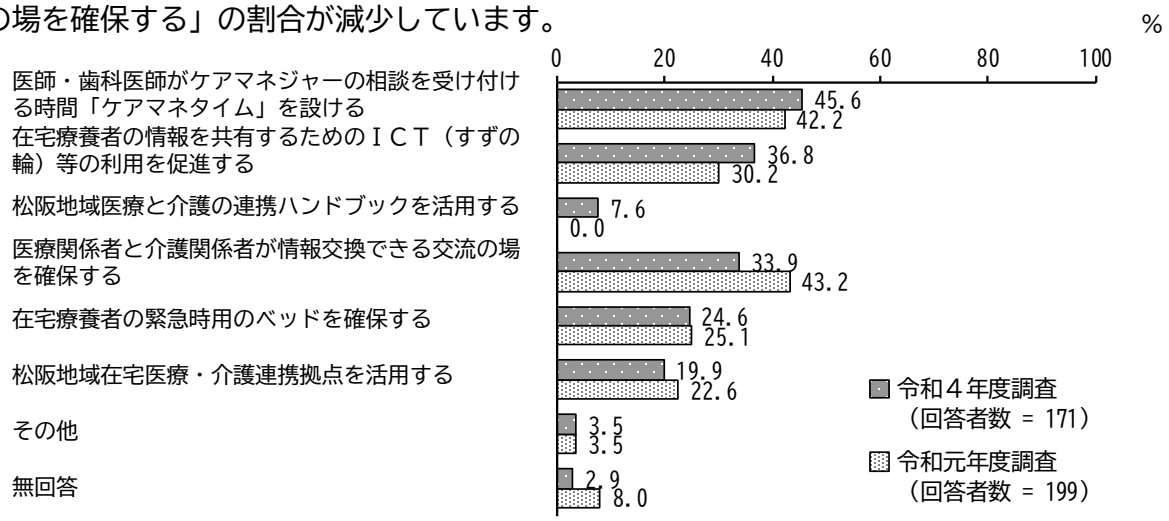
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | よくとっている | ある程度とっている | あまりとっていない | ほとんどとっていない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| サービス利用者の医師 | 171 | 7.0 | 54.4 | 30.4 | 7.0 | 1.2 |
| 歯科医師 | 171 | － | 11.7 | 33.9 | 48.0 | 6.4 |
| 薬剤師 | 171 | 1.8 | 28.1 | 39.2 | 26.3 | 4.7 |
| 病院の地域連携室（医療ソーシャルワーカー） | 171 | 31.0 | 56.1 | 5.8 | 3.5 | 3.5 |
| 地域包括支援センター | 171 | 19.9 | 52.0 | 17.5 | 8.2 | 2.3 |
| 地域住民等（民生委員、自治会等） | 171 | 0.6 | 17.5 | 40.9 | 38.0 | 2.9 |

## 問 28　あなたは、医療・介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか（３つ以内）

「医師・歯科医師がケアマネジャーの相談を受け付ける時間「ケアマネタイム」を設ける」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「在宅療養者の情報を共有するためのＩＣＴ（すずの輪）等の利用を促進する」の割合が 36.8%、「医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する」の割合が 33.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「在宅療養者の情報を共有するためのＩＣＴ（すずの輪）等の利用を促進する」の割合が増加しています。一方、「医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する」の割合が減少しています。




## 問 29　あなたは、医療との連携でどのようなことに苦労していますか

- 受診の内容を本人から聞くだけなので、しっかり確認できない
- Dr に面談をするために順番待ち（診察の合間や夕方の時間指定）があるがケアマネの都合に配慮していただけない。１時間待ちは当たり前。
- Dr によっては対応が違う
- 必要な時は必ず連絡をとるようにしている。連携で苦労しているとは感じない。先生方も FAX で返信してくださる。
- 主治医が総合病院だと直接医師に面談することが困難であり書面のやり取りになってしまう。

## 問 30　あなたは、医療関係機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室など）にどのようなことを期待しますか

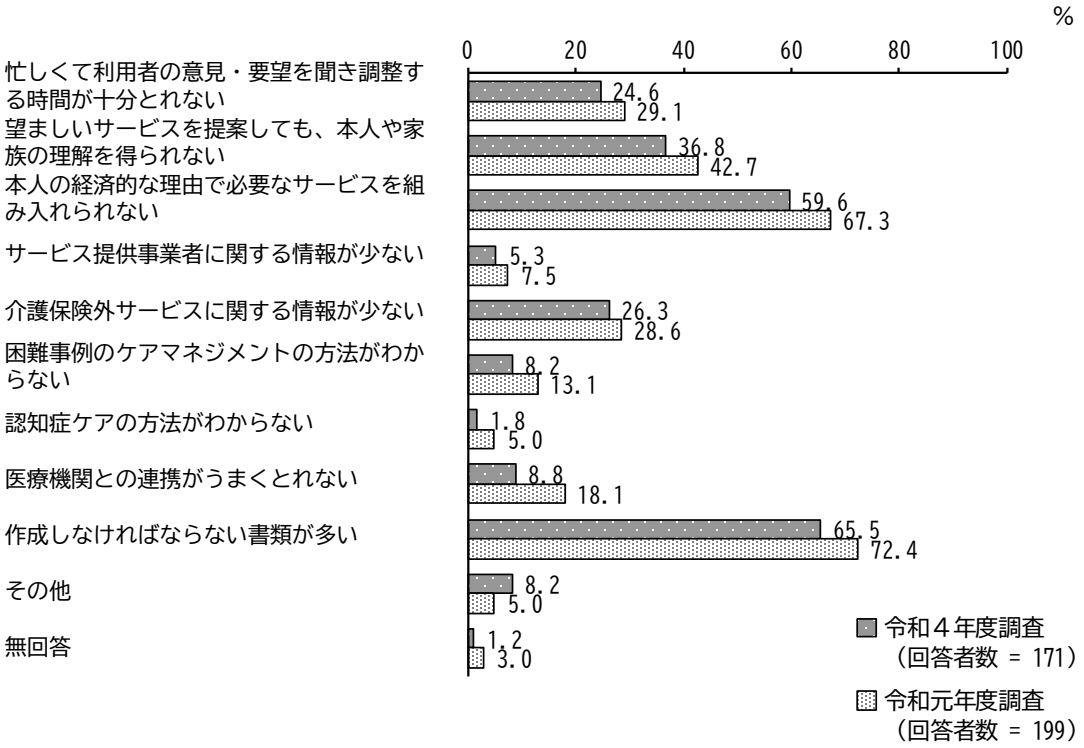
- 利用者様の状態が維持向上する
- 下請けとならないように気を付けたい
- 情報共有という目的でもっと気軽に FAX などで報告したりもらったりできるといい。こちらが報告を FAX しても返事がなかったり、返信ほしくてもない場合があるので、お互いがやり取りする意識をもっていたら連携につながるのではないかと思います。
- 在宅で生活する事を前提に連携できれば良い。医療機関とケアマネ、サービス事業者が本人がどのように生活していきたいかに着目して相談協力する体制がとれると思います。それぞれの立場からのみの見方では着地点がみえないので。
- 情報共有がしっかりできる仕組み作り

## （8）ケアマネジャー業務全般について

### 問 31　あなたは現在、ケアマネジメントをする上でどんなことに問題や難しさを感じますか（複数選択可）

「作成しなければならない書類が多い」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「本人の経済的な理由で必要なサービスを組み入れられない」の割合が 59.6%、「望ましいサービスを提案しても、本人や家族の理解を得られない」の割合が 36.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「望ましいサービスを提案しても、本人や家族の理解を得られない」「本人の経済的な理由で必要なサービスを組み入れられない」「医療機関との連携がうまくとれない」「作成しなければならない書類が多い」の割合が減少しています。

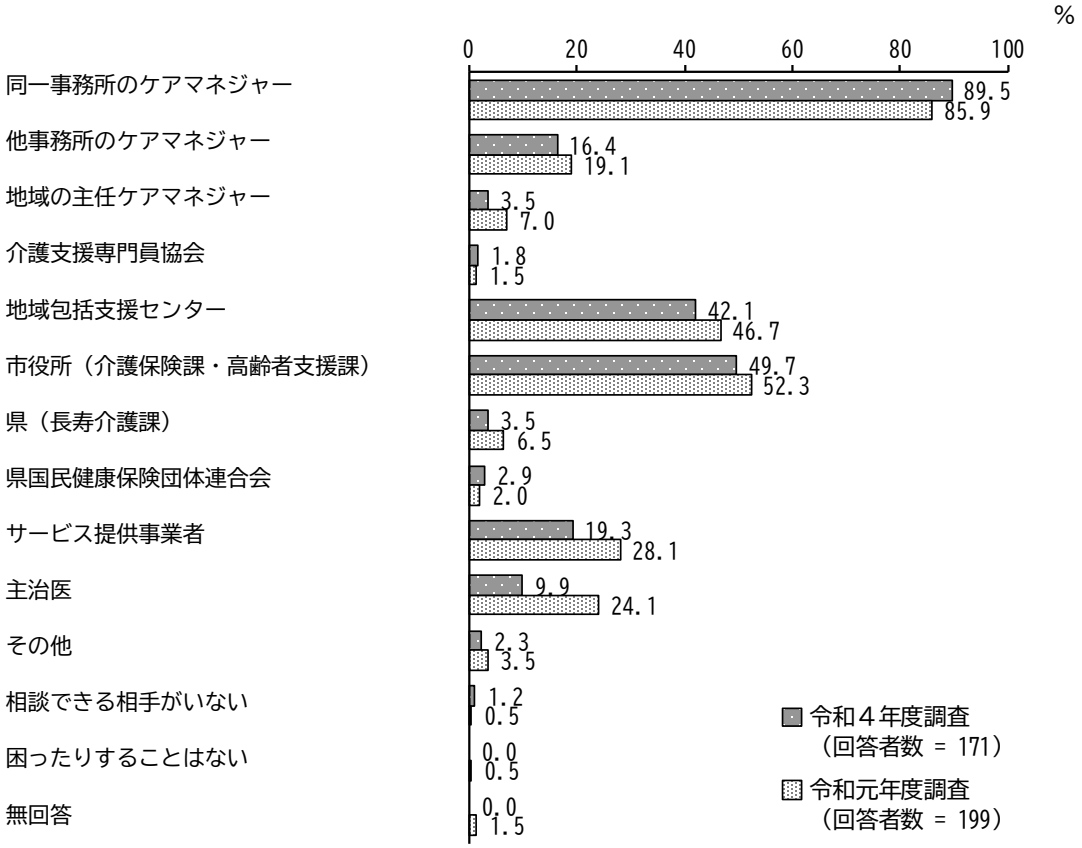



### 問 32　あなたが感じた困難なケースに対し、どのように解決を図りましたか

- 同じ事務所のケアマネに相談する
- 上司、包括等に相談
- 今ある窓口との連携→あまり解決しない
- 包括支援センターに相談。事業所内で相談
- 身寄りがない高齢者の支援は困難なケースになってからしか関わる事ができない。家族、親戚等を探し出すのはケアマネだけでは限界があるため、行政や社協等も含め包括支援センターと共有しそれぞれのできる支援を行い、後見申立を行った（本人認知症でした）。

問 33　ケアプランを作成するうえで分からないことや困ったことがあったとき、誰に相談しますか（複数選択可）

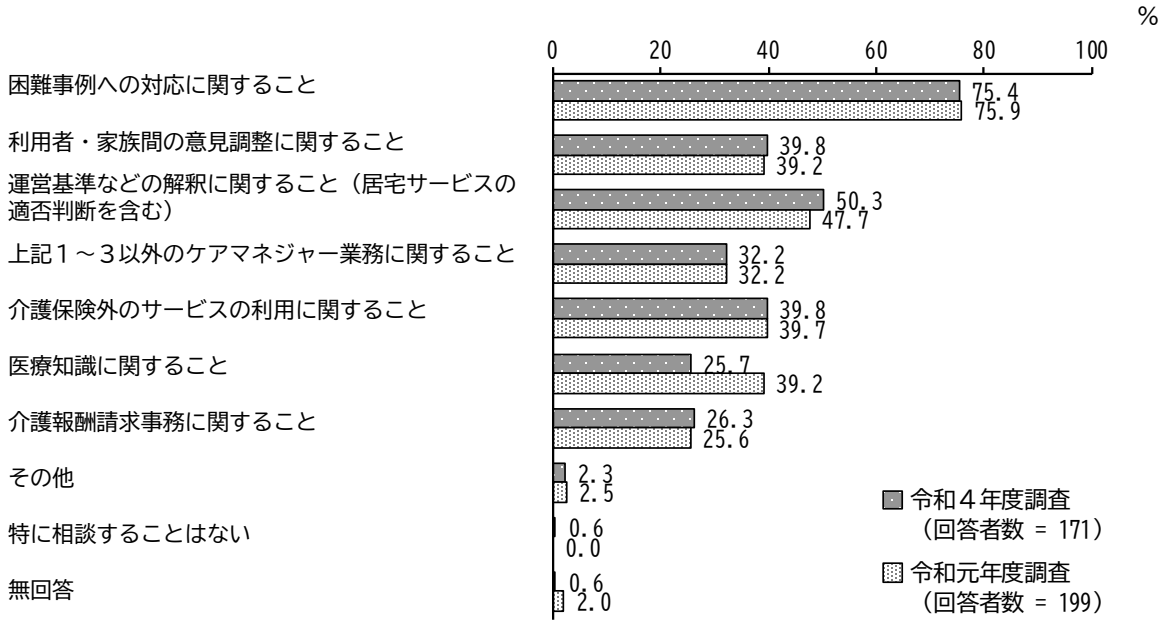
「同一事務所のケアマネジャー」の割合が 89.5%と最も高く、次いで「市役所（介護保険課・高齢者支援課）」の割合が 49.7%、「地域包括支援センター」の割合が 42.1%となっています。
令和元年度調査と比較すると、「サービス提供事業者」「主治医」の割合が減少しています。



## 問 34　どのようなことを相談していますか（複数選択可）

「困難事例への対応に関すること」の割合が 75.4%と最も高く、次いで「運営基準などの解釈に関すること（居宅サービスの適否判断を含む）」の割合が 50.3%、「利用者・家族間の意見調整に関すること」、「介護保険外のサービスの利用に関すること」の割合が 39.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「医療知識に関すること」の割合が減少しています。

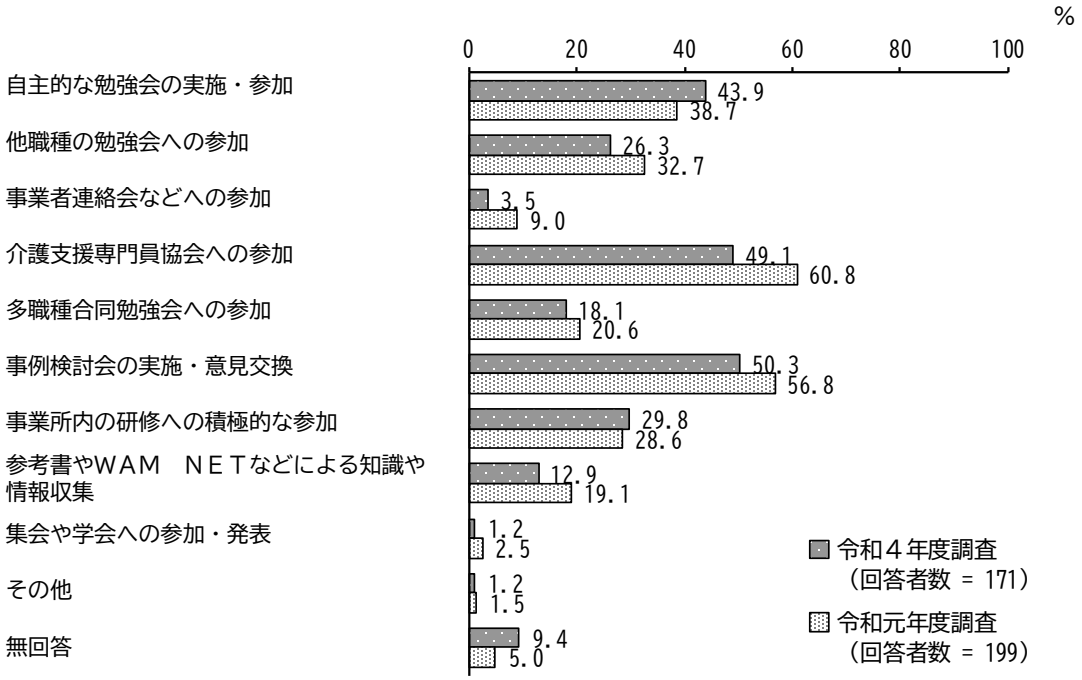


問 35　ご自身のケアマネジャー業務のレベルアップのために行っている、また今後行いたい取り組みは次のどれですか（３つ以内）

**①行っているもの**

「事例検討会の実施・意見交換」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「介護支援専門員協会への参加」の割合が 49.1%、「自主的な勉強会の実施・参加」の割合が 43.9%となっています。

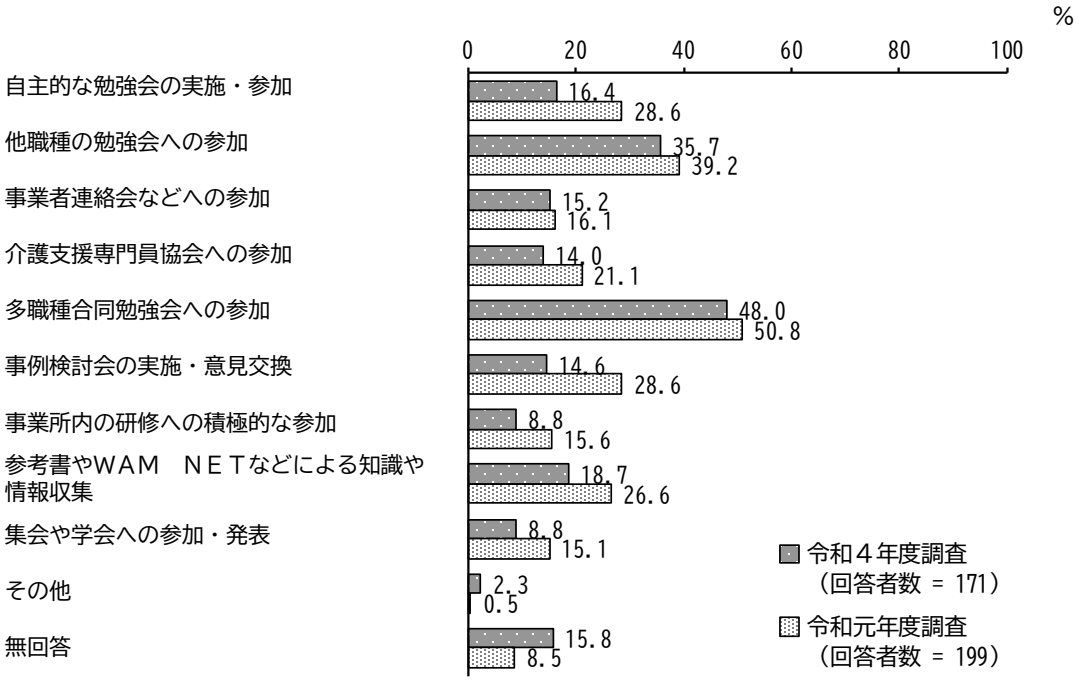
令和元年度調査と比較すると、「自主的な勉強会の実施・参加」の割合が増加しています。一方、「他職種の勉強会への参加」「事業者連絡会などへの参加」「介護支援専門員協会への参加」「事例検討会の実施・意見交換」「参考書やＷＡＭ　ＮＥＴなどによる知識や情報収集」の割合が減少しています。



**②今後行いたいもの**

「多職種合同勉強会への参加」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「他職種の勉強会への参加」の割合が 35.7%、「参考書やＷＡＭ　ＮＥＴなどによる知識や情報収集」の割合が 18.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「自主的な勉強会の実施・参加」「介護支援専門員協会への参加」「事例検討会の実施・意見交換」「事業所内の研修への積極的な参加」「参考書やＷＡＭ　ＮＥＴなどによる知識や情報収集」「集会や学会への参加・発表」の割合が減少しています。



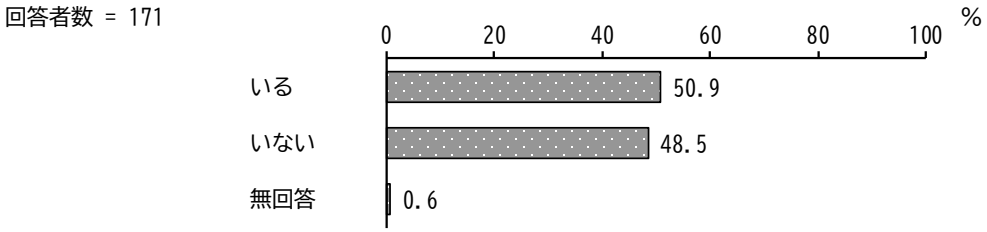

## 問 36　あなたがケアマネジャーになって良かったと感じたことは何ですか

- コミュニケーションがとれ、いろいろな話をしてくれること。
- 利用者様が元気に生活していただくお役に立てる
- 自分に合っている仕事だと思います
- サービス調整など支援をさせてもらって、結果「ありがとう」とか「助かりました」と言われると、結果に対して私も良かったなーとは思います。改めて「なって良かった」と考えると答えは難しく、考えます。
- 家族に信用され看取りができたこと

## （9）重層的支援について

問 37　現在、あなたが担当している利用者の世帯で、ひきこもり状態の方、8050 世帯、ダブルケア、ヤングケアラー、ごみ屋敷世帯（予備群含む）と思われる方はみえますか（１つを選択）

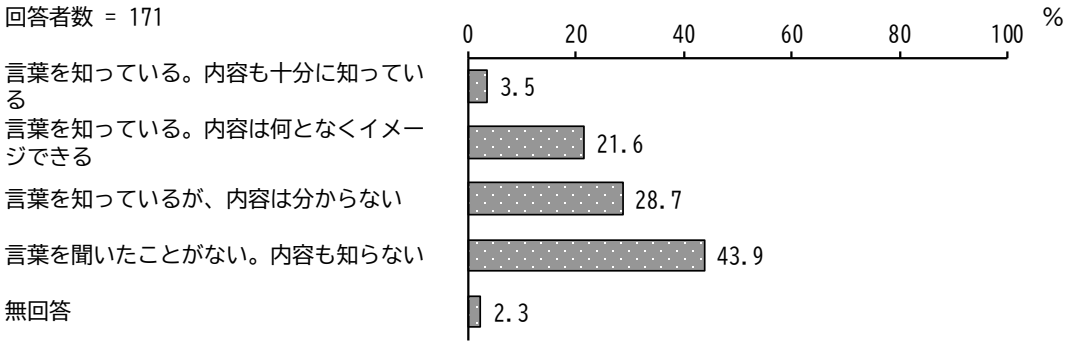
「いる」の割合が 50.9%、「いない」の割合が 48.5%となっています。




問 38　地域共生社会の実現に向けて県内各市町でも様々な事業を推進されています　重層的支援体制整備事業、福祉まるごと相談室、社会的処方のことをご存知ですか

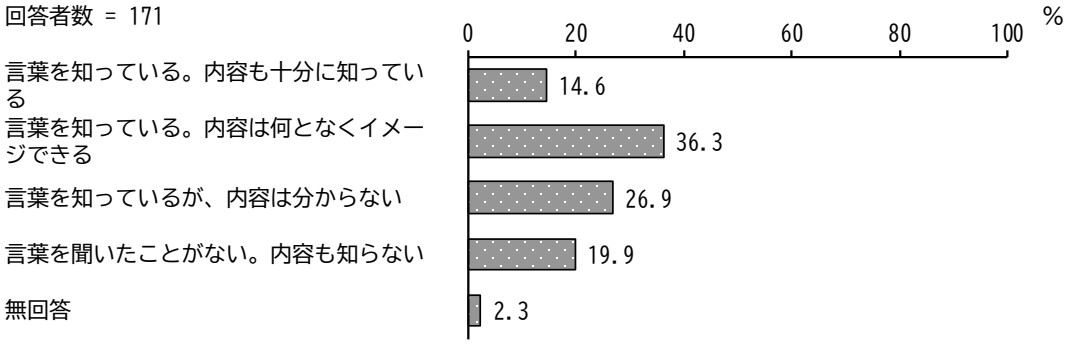
**重層的支援体制整備事業**

「言葉を聞いたことがない。内容も知らない」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「言葉を知っているが、内容は分からない」の割合が 28.7%、「言葉を知っている。内容は何となくイメージできる」の割合が 21.6%となっています。



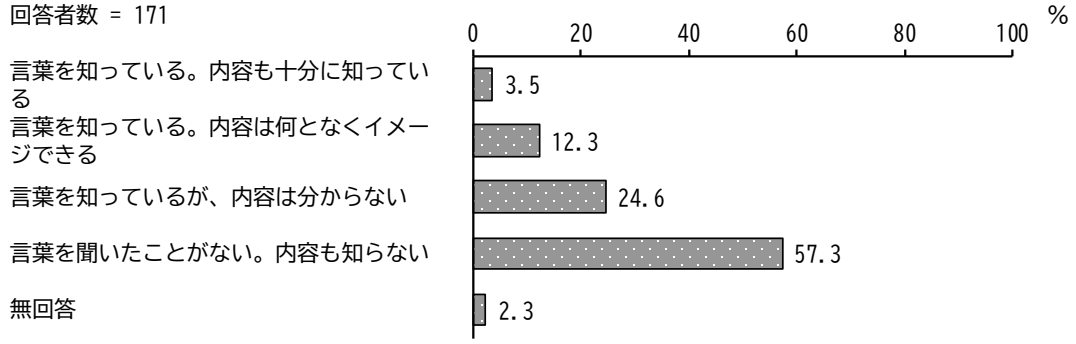

**福祉まるごと相談室**

「言葉を知っている。内容は何となくイメージできる」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「言葉を知っているが、内容は分からない」の割合が 26.9%、「言葉を聞いたことがない。内容も知らない」の割合が 19.9%となっています。



**社会的処方**

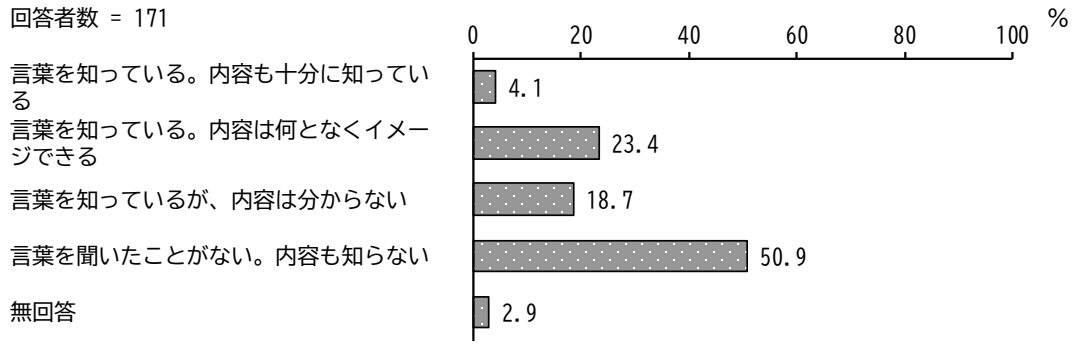
「言葉を聞いたことがない。内容も知らない」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「言葉を知っているが、内容は分からない」の割合が 24.6%、「言葉を知っている。内容は何となくイメージできる」の割合が 12.3%となっています。




※社会的処方：薬を処方することで、患者さんの問題を解決するのではなく、『地域とのつながり』を処方することで、問題を解決するというもの

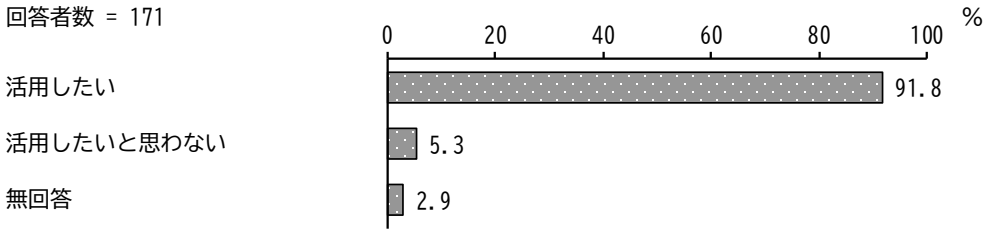
問 39　制度の狭間、複合的な課題により、単独の支援機関では対応が難しいときに相談支援包括化推進員が関係機関間の役割分担や連携・調整を図る「多機関協働事業」をご存じですか（１つを選択）

「言葉を聞いたことがない。内容も知らない」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「言葉を知っている。内容は何となくイメージできる」の割合が 23.4%、「言葉を知っているが、内容は分からない」の割合が 18.7%となっています。




問 40　その「多機関協働事業」については、状況に応じて活用をしたいと思われますか思われない場合はその理由を教えてください（１つを選択）

「活用したい」の割合が 91.8%、「活用したいと思わない」の割合が 5.3%となっています。



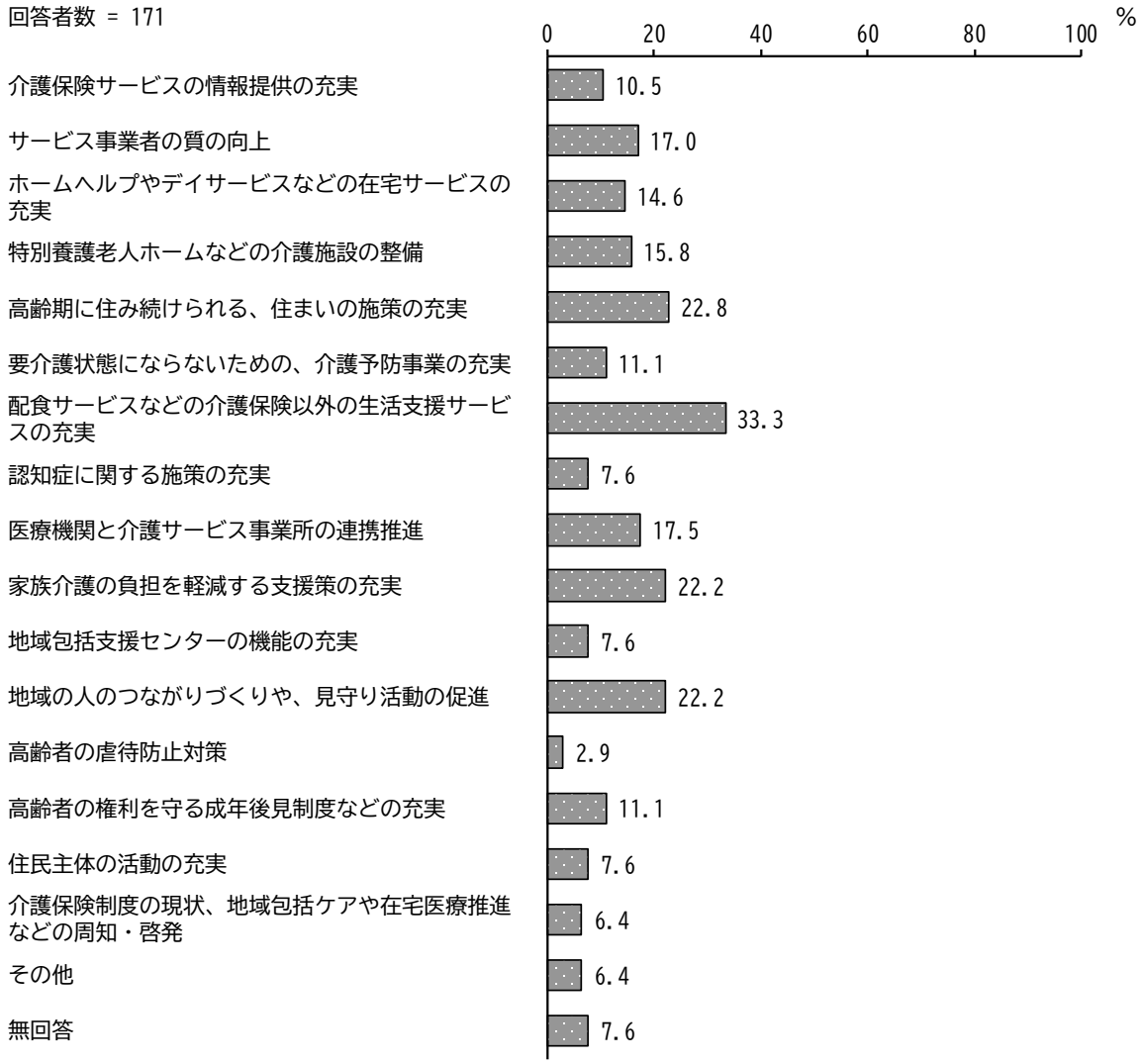
「2．活用したいと思わない」と回答された方は、その理由を教えてください

- 会社側がそれを利用するために理解を示すとは思われない
- 現在の所そういった支援で困っている事はないが、今後対応できないケース等があった場合、協力をお願いしたい。
- 分からないから
- 業務が複雑と思われ、簡素化したシステムであれば活用していけるかも？時間がかかりそうである。
- 具体的な分かりやすい事例で示してほしい
- 担当者が誰かにより活用したいあるいは利用したいと思わないといったことを考えてしまう。かえって複雑にされる恐れがある場合も考えられ手放しで活用したいと思わない。
- 内容をわかっておらずどんな時にどこに相談すれば活用できるのかもわからないから

## （10）松阪市への意向について

問 41　介護保険制度を運営する上で、松阪市が力を入れるべきことは何だと思いますか（３つ以内）

「配食サービスなどの介護保険以外の生活支援サービスの充実」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「高齢期に住み続けられる、住まいの施策の充実」の割合が 22.8%、「家族介護の負担を軽減する支援策の充実」、「地域の人のつながりづくりや、見守り活動の促進」の割合が 22.2%となっています。



## 問 42　その他、介護保険制度や介護保険制度改正に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください

- アンケートに回答することで自分のしたいことなどが整理できたと思います。このようなアンケートが気づきに繋がってよかったと思います。
- 通院手段の充実、運転免許証を返納した方へのサービスや支援がもっとあるといい。
- 介護保険を利用しなくてもいいように、市で健康づくりや記知症の予防についての政策をすすめていく。
- これからも、迷えるケアマネを、助けて下さい。
- 介護保険の事務作業などを含めた、効率化を図っていただきたいです。念の為や前からこうだったではなく、お互いが、効率良くなる方法を積極的に取り組んでほしいです。またこのアンケートも手入力なのであれば、フォームなど使用し、再入力不要にするなど効率を考えて頂ければと…。紙しか無理という人もいますがね。
- 軽度者レンタルについて、確認書を提出して OK をもらっているのに、国保連からの照会が何度もくる。そのたびに確認届や算定理由の書類を提出しなければならず手間。
- 一般の市民の方々が、どういう状態になったときに介護保険制度を利用できるか知らない人が多い。中学生は学校で公民の授業で学ぶそうだが。今の大人は学ぶ機会がなく、困ってから慌てて調べるケースが多い。老年期から死に至るまでの準備(ハード面、ソフト面とも)を市民１人１人ができるよう、それらについて予め考え向き合う機会(エンディングノートなども含め)ができるといいなと思う。
- ケアマネとしての仕事は直接、ご本人ご家族にお会いして意向を確認しケアプランを立て、各事業所と連携し、サービスが機能しているか確認することだと思います。記録や書類作成に追われ受診への同行や多事業所との連携、サービスの調整に時間が足らないと思います。良りよいサービスが提供できる様、書類の簡素化を望みます。
- 本人負担が多い方は利用を控えようとすること。介護認定の区変時の結果がでるのがおそい。医師意見がおそい。保留になると事業者に収入をまってもらわないといけない。
- 相談事別の窓口、こんな時はここに電話する等、分かりやすくまとめてもらったものを、ケアマネ１人づつに配布してもらいたいです。どんなに、すばらしい相談機関を作ってもらっても、たどりつけずに１人でかかえこんでしまう人が多くいます(ケアマネ)。法改制があるのは仕方ありませんが、地域にまるなげ感があります。私達がサービスを利用してもらうのを提案する時に、正確な事が言えず活用されないサービスが多い。各自治体で、もっと周知をしていくべきだと思っています。
- 介護職員は、虐待をしたと言う疑いだけで、仕事を失う不安定な仕事です。上長のトラブルで、一方的に虐待疑いをかけられ、退職に至ったスタッフを何人もみてきてます。疑いをかけられた方も守るシステムが必要だと思います。
- 特養入所が要介護３以上の為、要介護２で在宅介護が難しく、金銭的に有料老人ホームなどに入れないはざまの人の居場所がない。
- 国の政策のため仕方ないと思いますが、介設職員については、処過改善加算、特定処遇加算、ベースアップ加算などにより、賃金の見直しが行なわれているが、居宅のケアマネに対しては何もないのが現状。資格をとるまでも、とってからも大変な資格の１つだと思うのでもっと評価されても良いと思います。
- このアンケートは、ネットで打ちこみの形にかえれないのでしょうか。
- 保護課の窓口対応おそい。他の CM も同じ思い。改善して下さい。障害の申請で代理の場合印かんを貸りるように言われたが。
- 民間は、年中無休体制であるが公的機関は、土日・祝・年末年始休み。平日だけ問題が起こっている訳ではないので民間に頼りすぎる。もっと、公的機関も情極的な支援を考えてほしい。

・　何でもケアマネージャーに話をして動いてもらうと言う考え方は控えてほしい。できないこと、管轄外のこともある。だからといってしないしていないわけではないが各サービス事業所からもそのような考え方を持っているように思う。また自立支援を基本とする制度だと思うがそうではないと感じることがある。

# 4　居所変更実態調査

## （1）地域内の居所移動の実態

過去１年間の施設等の新規の入居・入所及び退去・退所の流れをサービス種類別にみると、介護老人保健施設で新規入所者が 281 人、退去者が 255 人と最も多くなっており、住宅型有料ホームで死亡が 111 人と最も多くなっています。

### 過去1年間の住宅型有料老人ホームの入居及び退居の流れ

**新規入居**

235人

【住宅型有料】
21施設
620室

**退居**

190人

死亡
111人(58.4%)

居所変更
79人(41.6%)

| 入居前 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 103人<br>43.8% | 9人<br>3.8% | 112人<br>47.7% |
| 住宅型有料 | 5人<br>2.1% | 17人<br>7.2% | 22人<br>9.4% |
| 軽費 | 0人<br>0.0% | 1人<br>0.4% | 1人<br>0.4% |
| サ高住 | 3人<br>1.3% | 0人<br>0.0% | 3人<br>1.3% |
| GH | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特定 | 1人<br>0.4% | 0人<br>0.0% | 1人<br>0.4% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 3人<br>1.3% | 0人<br>0.0% | 3人<br>1.3% |
| 療養型・介護医療院 | 0人<br>0.0% | 5人<br>2.1% | 5人<br>2.1% |
| 特養 | 1人<br>0.4% | 0人<br>0.0% | 1人<br>0.4% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| その他 | 74人<br>31.5% | 0人<br>0.0% | 74人<br>31.5% |
| 把握していない | | | 13人<br>5.5% |
| 合計 | 190人<br>80.9% | 32人<br>13.6% | 235人<br>100.0% |

| 変更後 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 14人<br>17.7% | 6人<br>7.6% | 20人<br>25.3% |
| 住宅型有料 | 9人<br>11.4% | 4人<br>5.1% | 13人<br>16.5% |
| 軽費 | 1人<br>1.3% | 0人<br>0.0% | 1人<br>1.3% |
| サ高住 | 2人<br>2.5% | 0人<br>0.0% | 2人<br>2.5% |
| GH | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特定 | 0人<br>0.0% | 1人<br>1.3% | 1人<br>1.3% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 3人<br>3.8% | 0人<br>0.0% | 3人<br>3.8% |
| 療養型・介護医療院 | 2人<br>2.5% | 0人<br>0.0% | 2人<br>2.5% |
| その他の医療機関 | 15人<br>19.0% | 0人<br>0.0% | 15人<br>19.0% |
| 特養 | 14人<br>17.7% | 0人<br>0.0% | 14人<br>17.7% |
| 地密特養 | 2人<br>2.5% | 1人<br>1.3% | 3人<br>3.8% |
| その他 | 2人<br>2.5% | 3人<br>3.8% | 5人<br>6.3% |
| 把握していない | | | 0人<br>0.0% |
| 合計 | 64人<br>81.0% | 15人<br>19.0% | 79人<br>100.0% |

### 過去1年間の軽費老人ホームの入居及び退居の流れ

**新規入居**

32人

【軽費老人ホーム】
5施設
210室

**退居**

40人

死亡
6人(15.0%)

居所変更
34人(85.0%)

| 入居前 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 22人<br>68.8% | 0人<br>0.0% | 22人<br>68.8% |
| 住宅型有料 | 0人<br>0.0% | 5人<br>15.6% | 5人<br>15.6% |
| 軽費 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| サ高住 | 2人<br>6.3% | 0人<br>0.0% | 2人<br>6.3% |
| GH | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 療養型・介護医療院 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| その他 | 3人<br>9.4% | 0人<br>0.0% | 3人<br>9.4% |
| 把握していない | | | 0人<br>0.0% |
| 合計 | 27人<br>84.4% | 5人<br>15.6% | 32人<br>100.0% |

| 変更後 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 4人<br>11.8% | 0人<br>0.0% | 4人<br>11.8% |
| 住宅型有料 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 軽費 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| サ高住 | 3人<br>8.8% | 0人<br>0.0% | 3人<br>8.8% |
| GH | 2人<br>5.9% | 3人<br>8.8% | 5人<br>14.7% |
| 特定 | 1人<br>2.9% | 0人<br>0.0% | 1人<br>2.9% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 11人<br>32.4% | 0人<br>0.0% | 11人<br>32.4% |
| 療養型・介護医療院 | 0人<br>0.0% | 3人<br>8.8% | 3人<br>8.8% |
| その他の医療機関 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特養 | 4人<br>11.8% | 0人<br>0.0% | 4人<br>11.8% |
| 地密特養 | 1人<br>2.9% | 2人<br>5.9% | 3人<br>8.8% |
| その他 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 把握していない | | | 0人<br>0.0% |
| 合計 | 26人<br>76.5% | 8人<br>23.5% | 34人<br>100.0% |

## 過去1年間のサービス付き高齢者向け住宅の入居及び退居の流れ

**新規入居**

**65人**

**【サ高住】**
12施設
284戸

**退居**

**52人**

死亡

**22人(42.3%)**

居所変更 **30人(57.7%)**

| 入居前 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 31人<br>47.7% | 0人<br>0.0% | 31人<br>47.7% |
| 住宅型有料 | 3人<br>4.6% | 6人<br>9.2% | 9人<br>13.8% |
| 軽費 | 0人<br>0.0% | 1人<br>1.5% | 1人<br>1.5% |
| サ高住 | 8人<br>12.3% | 0人<br>0.0% | 8人<br>12.3% |
| GH | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 2人<br>3.1% | 0人<br>0.0% | 2人<br>3.1% |
| 療養型・介護医療院 | 6人<br>9.2% | 1人<br>1.5% | 7人<br>10.8% |
| 特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| その他 | 6人<br>9.2% | 0人<br>0.0% | 6人<br>9.2% |
| 把握していない | | | 1人<br>1.5% |
| 合計 | 56人<br>86.2% | 8人<br>12.3% | 65人<br>100.0% |

| 変更後 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 3人<br>10.0% | 1人<br>3.3% | 4人<br>13.3% |
| 住宅型有料 | 0人<br>0.0% | 2人<br>6.7% | 2人<br>6.7% |
| 軽費 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| サ高住 | 2人<br>6.7% | 0人<br>0.0% | 2人<br>6.7% |
| GH | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 療養型・介護医療院 | 11人<br>36.7% | 0人<br>0.0% | 11人<br>36.7% |
| その他の医療機関 | 2人<br>6.7% | 3人<br>10.0% | 5人<br>16.7% |
| 特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 1人<br>3.3% | 1人<br>3.3% |
| その他 | 5人<br>16.7% | 0人<br>0.0% | 5人<br>16.7% |
| 把握していない | | | 0人<br>0.0% |
| 合計 | 23人<br>76.7% | 7人<br>23.3% | 30人<br>100.0% |

## 過去1年間のグループホームの入所及び退所の流れ

**新規入所**

**60人**

**【ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ】**
14施設
定員198人

**退所**

**63人**

死亡

**17人(27.0%)**

居所変更 **46人(73.0%)**

| 入所前 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 43人<br>71.7% | 0人<br>0.0% | 43人<br>71.7% |
| 住宅型有料 | 0人<br>0.0% | 1人<br>1.7% | 1人<br>1.7% |
| 軽費 | 1人<br>1.7% | 0人<br>0.0% | 1人<br>1.7% |
| サ高住 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| GH | 1人<br>1.7% | 0人<br>0.0% | 1人<br>1.7% |
| 特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 6人<br>10.0% | 0人<br>0.0% | 6人<br>10.0% |
| 療養型・介護医療院 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| その他 | 8人<br>13.3% | 0人<br>0.0% | 8人<br>13.3% |
| 把握していない | | | 0人<br>0.0% |
| 合計 | 59人<br>98.3% | 1人<br>1.7% | 60人<br>100.0% |

| 変更後 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 3人<br>6.5% | 1人<br>2.2% | 4人<br>8.7% |
| 住宅型有料 | 1人<br>2.2% | 0人<br>0.0% | 1人<br>2.2% |
| 軽費 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| サ高住 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| GH | 1人<br>2.2% | 0人<br>0.0% | 1人<br>2.2% |
| 特定 | 1人<br>2.2% | 0人<br>0.0% | 1人<br>2.2% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 4人<br>8.7% | 0人<br>0.0% | 4人<br>8.7% |
| 療養型・介護医療院 | 9人<br>19.6% | 1人<br>2.2% | 10人<br>21.7% |
| その他の医療機関 | 9人<br>19.6% | 2人<br>4.3% | 11人<br>23.9% |
| 特養 | 14人<br>30.4% | 0人<br>0.0% | 14人<br>30.4% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| その他 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 把握していない | | | 0人<br>0.0% |
| 合計 | 42人<br>91.3% | 4人<br>8.7% | 46人<br>100.0% |

# 過去1年間の特定施設の入所及び退所の流れ

## 新規入所

**54人**

【特定施設】
5施設
定員158人

| 入所前 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 34人<br>63.0% | 0人<br>0.0% | 34人<br>63.0% |
| 住宅型有料 | 1人<br>1.9% | 4人<br>7.4% | 5人<br>9.3% |
| 軽費 | 3人<br>5.6% | 0人<br>0.0% | 3人<br>5.6% |
| サ高住 | 2人<br>3.7% | 0人<br>0.0% | 2人<br>3.7% |
| GH | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 療養型・介護医療院 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| その他 | 8人<br>14.8% | 0人<br>0.0% | 8人<br>14.8% |
| 把握していない | | | 2人<br>3.7% |
| 合計 | 48人<br>88.9% | 4人<br>7.4% | 54人<br>100.0% |

## 退所

**30人**

死亡
**22人(73.3%)**

居所変更 → **8人(26.7%)**

| 変更後 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 2人<br>25.0% | 0人<br>0.0% | 2人<br>25.0% |
| 住宅型有料 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 軽費 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| サ高住 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| GH | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特定 | 1人<br>12.5% | 0人<br>0.0% | 1人<br>12.5% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 療養型・介護医療院 | 4人<br>50.0% | 0人<br>0.0% | 4人<br>50.0% |
| その他の医療機関 | 1人<br>12.5% | 0人<br>0.0% | 1人<br>12.5% |
| 特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| その他 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 把握していない | | | 0人<br>0.0% |
| 合計 | 8人<br>100.0% | 0人<br>0.0% | 8人<br>100.0% |

# 過去1年間の介護老人保健施設の入所及び退所の流れ

## 新規入所

**281人**

【老健】
4施設
定員434人

| 入所前 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 117人<br>41.6% | 0人<br>0.0% | 117人<br>41.6% |
| 住宅型有料 | 11人<br>3.9% | 14人<br>5.0% | 25人<br>8.9% |
| 軽費 | 2人<br>0.7% | 1人<br>0.4% | 3人<br>1.1% |
| サ高住 | 1人<br>0.4% | 0人<br>0.0% | 1人<br>0.4% |
| GH | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 2人<br>0.7% | 0人<br>0.0% | 2人<br>0.7% |
| 療養型・介護医療院 | 38人<br>13.5% | 1人<br>0.4% | 39人<br>13.9% |
| 特養 | 0人<br>0.0% | 3人<br>1.1% | 3人<br>1.1% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| その他 | 78人<br>27.8% | 0人<br>0.0% | 78人<br>27.8% |
| 把握していない | | | 13人<br>4.6% |
| 合計 | 249人<br>88.6% | 19人<br>6.8% | 281人<br>100.0% |

## 退所

**255人**

死亡
**55人(21.6%)**

居所変更 → **200人(78.4%)**

| 変更後 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 57人<br>28.5% | 0人<br>0.0% | 57人<br>28.5% |
| 住宅型有料 | 13人<br>6.5% | 7人<br>3.5% | 20人<br>10.0% |
| 軽費 | 1人<br>0.5% | 3人<br>1.5% | 4人<br>2.0% |
| サ高住 | 1人<br>0.5% | 0人<br>0.0% | 1人<br>0.5% |
| GH | 3人<br>1.5% | 1人<br>0.5% | 4人<br>2.0% |
| 特定 | 3人<br>1.5% | 1人<br>0.5% | 4人<br>2.0% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 療養型・介護医療院 | 25人<br>12.5% | 0人<br>0.0% | 25人<br>12.5% |
| その他の医療機関 | 45人<br>22.5% | 0人<br>0.0% | 45人<br>22.5% |
| 特養 | 13人<br>6.5% | 3人<br>1.5% | 16人<br>8.0% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 3人<br>1.5% | 3人<br>1.5% |
| その他 | 21人<br>10.5% | 0人<br>0.0% | 21人<br>10.5% |
| 把握していない | | | 0人<br>0.0% |
| 合計 | 182人<br>91.0% | 18人<br>9.0% | 200人<br>100.0% |

# 過去1年間の特別養護老人ホームの入所及び退所の流れ

## 新規入所

**133人**

【特養】
11施設
定員510人

| 入所前 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 75人<br>56.4% | 0人<br>0.0% | 75人<br>56.4% |
| 住宅型有料 | 4人<br>3.0% | 5人<br>3.8% | 9人<br>6.8% |
| 軽費 | 6人<br>4.5% | 0人<br>0.0% | 6人<br>4.5% |
| サ高住 | 2人<br>1.5% | 0人<br>0.0% | 2人<br>1.5% |
| GH | 5人<br>3.8% | 0人<br>0.0% | 5人<br>3.8% |
| 特定 | 4人<br>3.0% | 0人<br>0.0% | 4人<br>3.0% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 12人<br>9.0% | 0人<br>0.0% | 12人<br>9.0% |
| 療養型・介護医療院 | 1人<br>0.8% | 0人<br>0.0% | 1人<br>0.8% |
| 特養 | 2人<br>1.5% | 0人<br>0.0% | 2人<br>1.5% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| その他 | 17人<br>12.8% | 0人<br>0.0% | 17人<br>12.8% |
| 把握していない | | | 0人<br>0.0% |
| 合計 | 128人<br>96.2% | 5人<br>3.8% | 133人<br>100.0% |

## 退所

**154人**

死亡
**88人(57.1%)**

居所変更 → **66人(42.9%)**

| 変更後 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 4人<br>6.1% | 0人<br>0.0% | 4人<br>6.1% |
| 住宅型有料 | 1人<br>1.5% | 0人<br>0.0% | 1人<br>1.5% |
| 軽費 | 0人<br>0.0% | 1人<br>1.5% | 1人<br>1.5% |
| サ高住 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| GH | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 1人<br>1.5% | 0人<br>0.0% | 1人<br>1.5% |
| 療養型・介護医療院 | 9人<br>13.6% | 0人<br>0.0% | 9人<br>13.6% |
| その他の医療機関 | 26人<br>39.4% | 0人<br>0.0% | 26人<br>39.4% |
| 特養 | 12人<br>18.2% | 11人<br>16.7% | 23人<br>34.8% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| その他 | 1人<br>1.5% | 0人<br>0.0% | 1人<br>1.5% |
| 把握していない | | | 0人<br>0.0% |
| 合計 | 54人<br>81.8% | 12人<br>18.2% | 66人<br>100.0% |

# 過去1年間の地域密着型特別養護老人ホームの入所及び退所の流れ

## 新規入所

**32人**

【地密特養】
5施設
定員144人

| 入所前 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 14人<br>43.8% | 0人<br>0.0% | 14人<br>43.8% |
| 住宅型有料 | 7人<br>21.9% | 1人<br>3.1% | 8人<br>25.0% |
| 軽費 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| サ高住 | 1人<br>3.1% | 0人<br>0.0% | 1人<br>3.1% |
| GH | 2人<br>6.3% | 0人<br>0.0% | 2人<br>6.3% |
| 特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 3人<br>9.4% | 0人<br>0.0% | 3人<br>9.4% |
| 療養型・介護医療院 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| その他 | 4人<br>12.5% | 0人<br>0.0% | 4人<br>12.5% |
| 把握していない | | | 0人<br>0.0% |
| 合計 | 31人<br>96.9% | 1人<br>3.1% | 32人<br>100.0% |

## 退所

**38人**

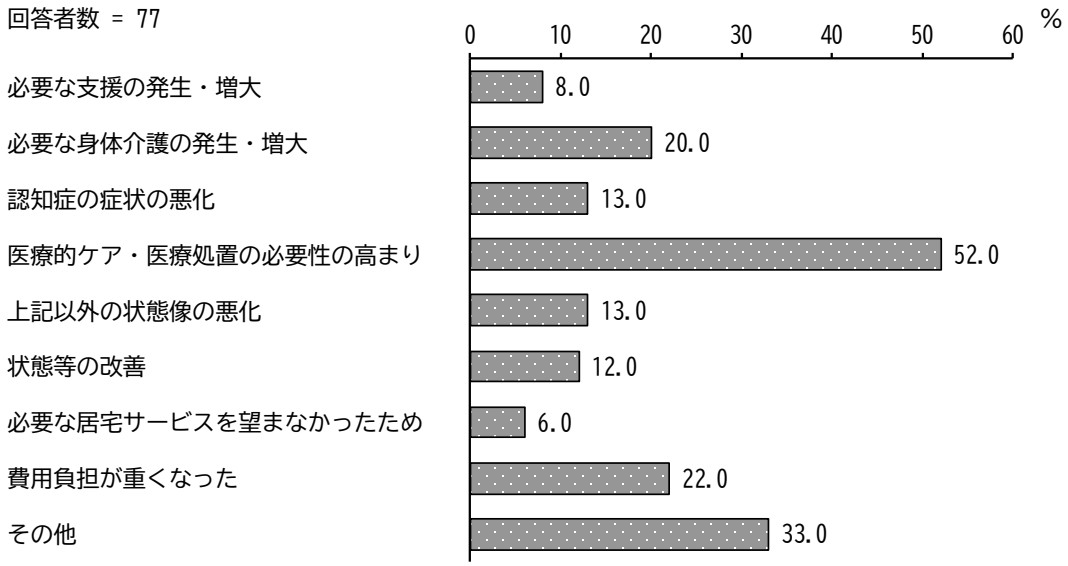
死亡
**33人(86.8%)**

居所変更 → **5人(13.2%)**

| 変更後 | 市区町村内 | 市区町村外 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 自宅 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 住宅型有料 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 軽費 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| サ高住 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| GH | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特定 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 老健 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 療養型・介護医療院 | 4人<br>80.0% | 0人<br>0.0% | 4人<br>80.0% |
| その他の医療機関 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| 地密特養 | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% | 0人<br>0.0% |
| その他 | 1人<br>20.0% | 0人<br>0.0% | 1人<br>20.0% |
| 把握していない | | | 0人<br>0.0% |
| 合計 | 5人<br>100.0% | 0人<br>0.0% | 5人<br>100.0% |

## （2）居所変更した理由

各施設等から居所変更した理由をみると、「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」、「費用負担が重くなった」、「必要な身体介護の発生・増大」などとなっています。

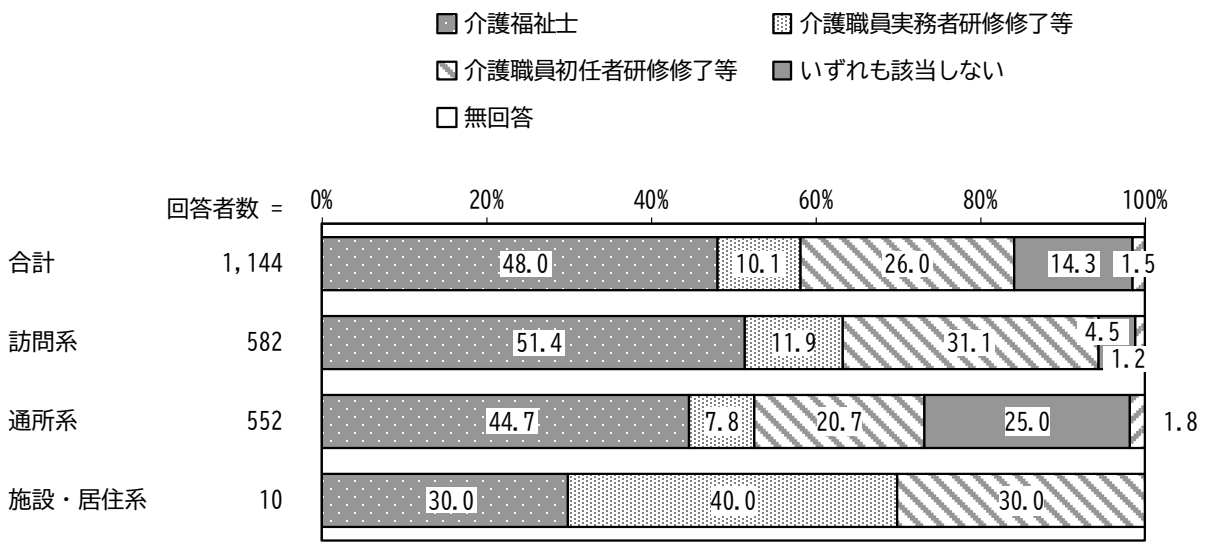


# 5　介護人材実態調査

## （1）サービス系統別の資格保有の状況

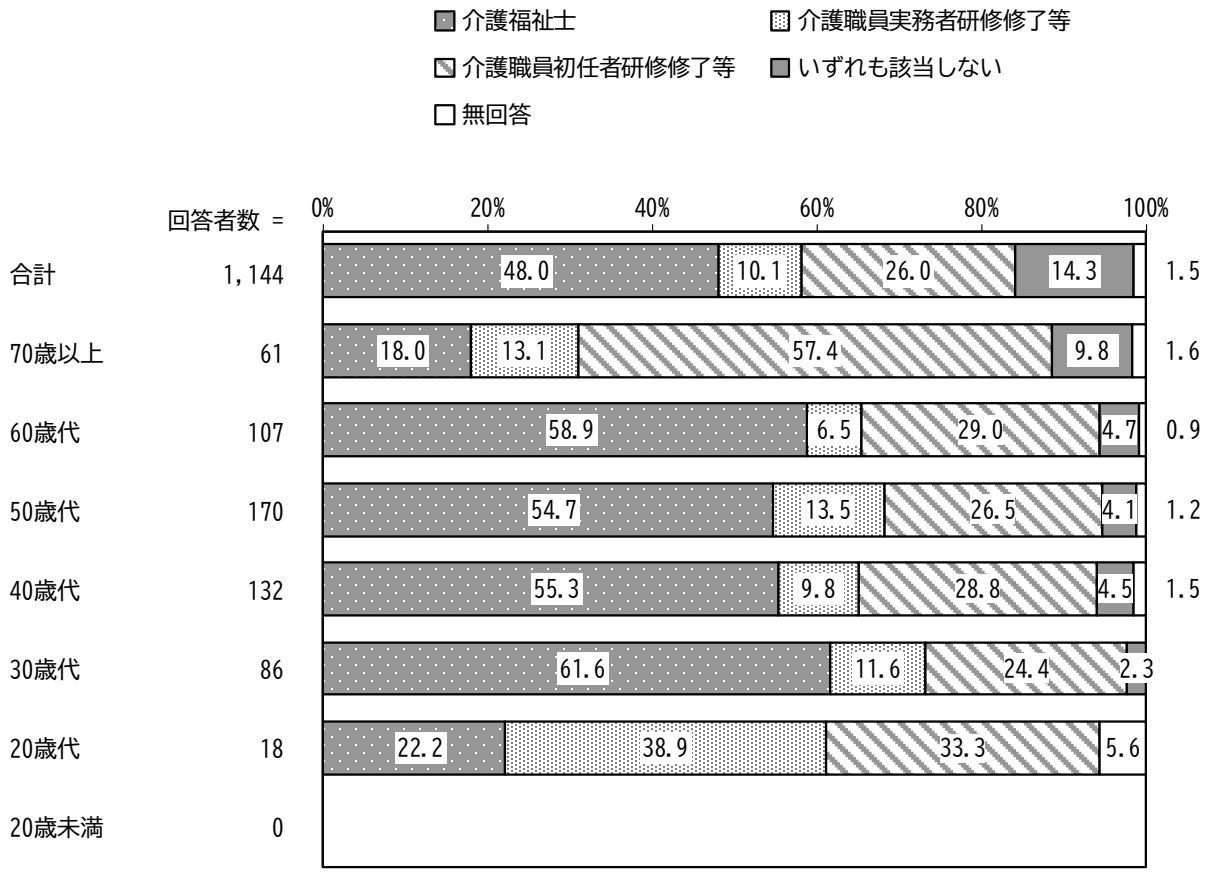
介護職員の資格保有状況についてみると、「介護福祉士」が 48.0%と最も高く、次いで「介護職員初任者研修修了等」が 26.0%、「介護職員実務者研修修了等」が 10.1%となっており、「いずれも該当しない」は 14.3%となっています。

サービス系統別にみると「介護福祉士」の割合は、訪問系では 51.4%、通所系では 44.7%、施設・居住系では 30.0%となっています。



## （２）年齢別の資格保有状況

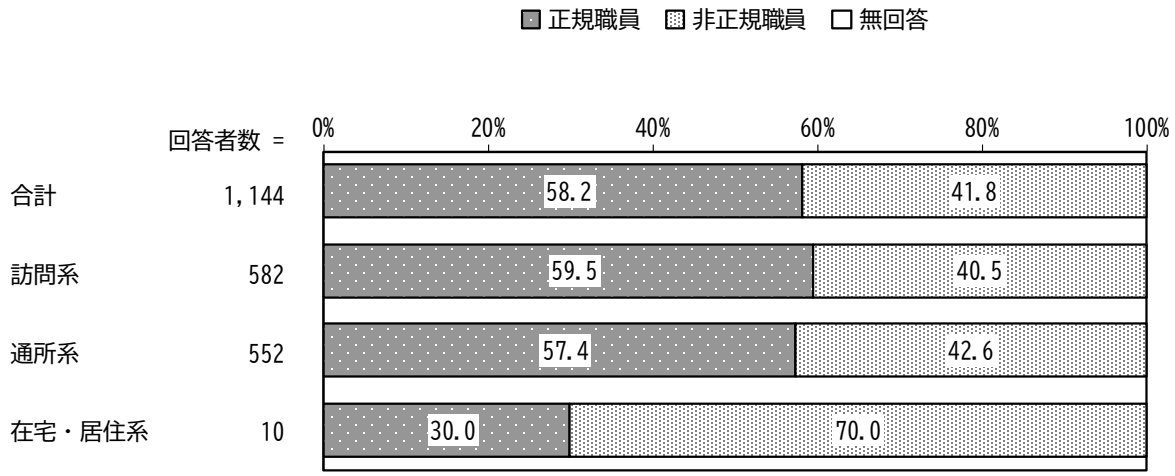
年齢別にみると、20 歳代で「介護職員実務者研修修了等」の割合が 38.9%と高く、70 歳以上で「介護職員初任者研修修了等」の割合が 57.4%と高くなっています。



## （3）サービス系統別の正規職員・非正規職員の割合

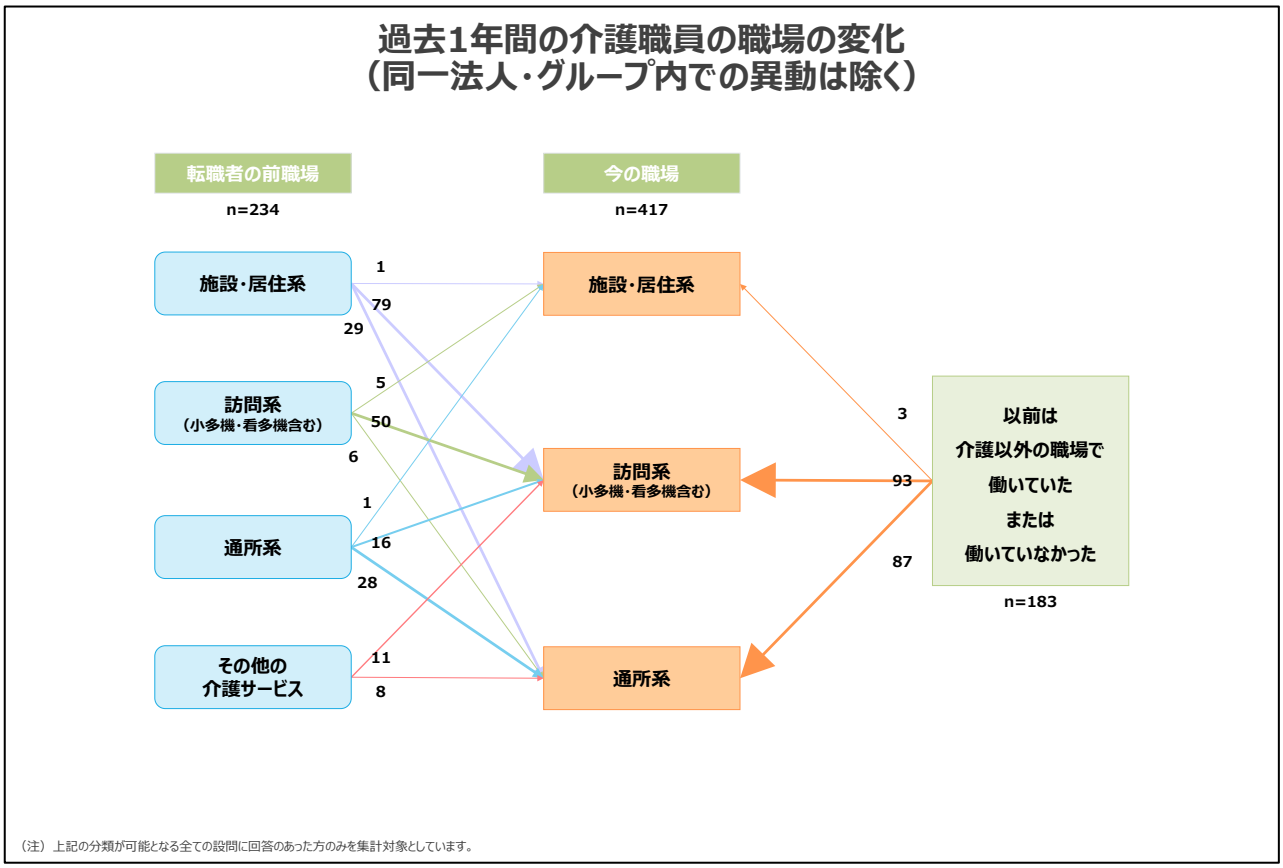
介護職員の雇用形態についてみると、「正規職員」が 58.2%、「非正規職員」が 41.8%となっています。

サービス系統別にみると、「正規職員」の割合は、訪問系で 59.5%と最も高く、次いで通所系で 57.4%、施設・居住系で 30.0%となっています。



## （４）過去１年間の介護職員の職場の変化

過去１年間の介護職員の職場の変化をみると、多いのは、「以前は介護以外の職場で働いていた、または働いていなかった」人が「訪問系」「通所系」の職場に採用される動線、前の職場が「施設・居住系」の人が「訪問系」の職場に採用される動線などです。また、「訪問系」から「訪問系」への動線も多くみられます。

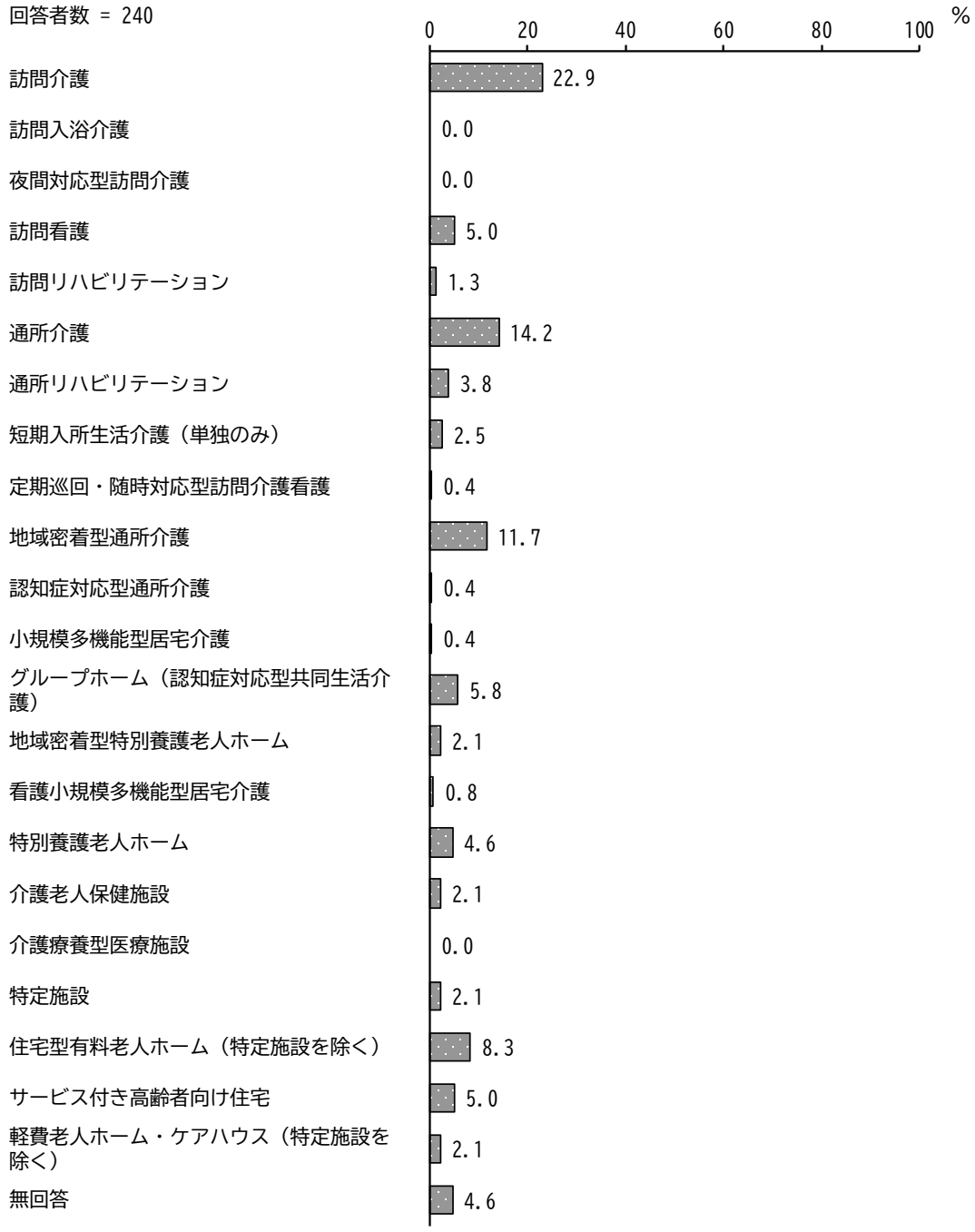



（注）上記の分類が可能となる全ての設問に回答のあった方のみを集計対象としています。

## （5）貴事業所の状況について

問1　該当するサービス種別（介護予防、総合事業を含む）をご回答ください
※本調査票の送付先（郵便の宛名となっている事業所）で行うサービスについて、○をしてください。（1つを選択）

「訪問介護」の割合が22.9%と最も高く、次いで「通所介護」の割合が14.2%、「地域密着型通所介護」の割合が11.7%となっています。



## 問２－１　介護職員の総数を、ご記入ください（数値を記入）

「正規職員」の平均人数が 7.1 人、「非正規職員」の平均人数が 5.1 人となっています。

単位：人

| | | | |
|---|---|---|---|
| 正規職員 | 7.1 | 非正規職員 | 5.1 |

## 問２－２　貴事業所の開設時期について、ご記入ください（数値を記入）

事業所の開設時期は以下のようになっています。

| 年 | 月 | 件数 | 年 | 月 | 件数 | 年 | 月 | 件数 | 年 | 月 | 件数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1972 | 4 | 1 | 2004 | 11 | 2 | 2011 | 11 | 1 | 2017 | 2 | 1 |
| 1986 | 8 | 1 | 2004 | 12 | 1 | 2011 | 12 | 1 | 2017 | 3 | 1 |
| 1989 | 4 | 2 | 2005 | 1 | 1 | 2012 | 2 | 1 | 2017 | 4 | 3 |
| 1992 | 7 | 2 | 2005 | 4 | 1 | 2012 | 3 | 1 | 2017 | 5 | 1 |
| 1993 | 4 | 1 | 2005 | 5 | 2 | 2012 | 4 | 3 | 2017 | 9 | 1 |
| 1993 | 1 | 1 | 2005 | 7 | 1 | 2012 | 5 | 1 | 2017 | 12 | 2 |
| 1994 | 11 | 1 | 2006 | 1 | 2 | 2012 | 6 | 1 | 2018 | 2 | 1 |
| 1995 | 5 | 1 | 2006 | 2 | 1 | 2012 | 9 | 1 | 2018 | 4 | 3 |
| 1995 | 8 | 1 | 2006 | 5 | 2 | 2012 | 10 | 1 | 2018 | 6 | 3 |
| 1996 | 1 | 1 | 2006 | 12 | 1 | 2012 | 11 | 6 | 2018 | 7 | 1 |
| 1996 | 5 | 1 | 2007 | 1 | 1 | 2012 | 12 | 1 | 2018 | 8 | 1 |
| 1997 | 7 | 1 | 2007 | 3 | 2 | 2013 | 5 | 1 | 2019 | 4 | 6 |
| 1998 | 4 | 1 | 2007 | 4 | 2 | 2013 | 7 | 3 | 2019 | 11 | 3 |
| 1998 | 10 | 1 | 2007 | 12 | 3 | 2013 | 9 | 1 | 2020 | 1 | 1 |
| 1999 | 2 | 1 | 2007 | 不明 | 2 | 2014 | 1 | 1 | 2020 | 3 | 1 |
| 1999 | 8 | 1 | 2008 | 2 | 1 | 2014 | 3 | 3 | 2020 | 8 | 1 |
| 1999 | 10 | 1 | 2008 | 4 | 3 | 2014 | 4 | 2 | 2020 | 11 | 1 |
| 2000 | 4 | 4 | 2008 | 7 | 1 | 2014 | 5 | 1 | 2021 | 4 | 4 |
| 2000 | 11 | 1 | 2008 | 10 | 2 | 2014 | 7 | 1 | 2021 | 5 | 2 |
| 2001 | 4 | 5 | 2009 | 1 | 1 | 2014 | 8 | 1 | 2021 | 8 | 4 |
| 2002 | 4 | 2 | 2009 | 3 | 1 | 2014 | 10 | 3 | 2021 | 9 | 2 |
| 2002 | 8 | 1 | 2009 | 4 | 1 | 2014 | 11 | 1 | 2021 | 10 | 3 |
| 2002 | 11 | 1 | 2009 | 5 | 1 | 2014 | 12 | 1 | 2021 | 12 | 2 |
| 2003 | 5 | 1 | 2009 | 7 | 3 | 2015 | 1 | 1 | 2022 | 3 | 2 |
| 2003 | 6 | 2 | 2009 | 8 | 1 | 2015 | 2 | 1 | 2022 | 4 | 3 |
| 2003 | 9 | 1 | 2010 | 4 | 1 | 2015 | 4 | 2 | 2022 | 5 | 3 |
| 2003 | 12 | 1 | 2010 | 5 | 1 | 2015 | 6 | 1 | 2022 | 6 | 3 |
| 2004 | 3 | 1 | 2010 | 12 | 1 | 2015 | 7 | 2 | 2022 | 10 | 3 |
| 2004 | 4 | 5 | 2011 | 4 | 2 | 2015 | 12 | 2 | 2022 | 12 | 1 |
| 2004 | 5 | 1 | 2011 | 6 | 2 | 2016 | 1 | 1 | 2023 | 1 | 1 |
| 2004 | 6 | 1 | 2011 | 7 | 3 | 2016 | 4 | 1 | 2023 | 2 | 1 |
| 2004 | 8 | 3 | 2011 | 9 | 1 | 2016 | 12 | 2 | | | |
| 2004 | 10 | 1 | 2011 | 10 | 1 | 2017 | 1 | 5 | | | |

問２－３　過去１年間（令和４年３月１日～令和５年２月２８日）の介護職員の採用者数と離職者数について正規・非正規の別・年齢別にご記入ください

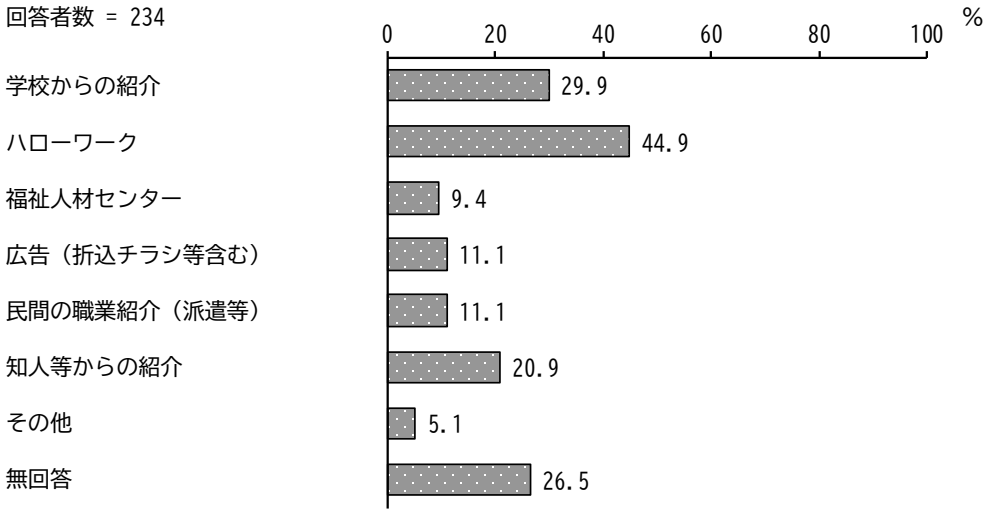
採用者数では 50～59 歳で「正規職員」が 1.5 人（平均人数）、「非正規職員」が 1.2 人（平均人数）と最も多くなっています。一方、離職者数では 30～39 歳で「正規職員」が、60～69 歳で「非正規職員」1.1 人（平均人数）と最も多くなっています。

単位：人

| 年齢（採用、離職当時） | 採用者数 | | 離職者数 | |
|---|---|---|---|---|
| | 正規職員 | 非正規職員 | 正規職員 | 非正規職員 |
| 20 歳未満 | 0.3 | 0.0 | 0.1 | 0.0 |
| 20～29 歳 | 1.3 | 0.7 | 0.9 | 0.3 |
| 30～39 歳 | 1.2 | 1.1 | 1.1 | 0.7 |
| 40～49 歳 | 1.2 | 0.9 | 1.0 | 0.9 |
| 50～59 歳 | 1.5 | 1.2 | 1.0 | 0.8 |
| 60～69 歳 | 1.2 | 1.1 | 0.6 | 1.0 |
| 70～79 歳 | 0.8 | 0.9 | 0.4 | 0.7 |
| 年齢不明 | 0.1 | 0.2 | 0.2 | 0.6 |
| 合計 | 1.7 | 1.1 | 0.8 | 0.9 |

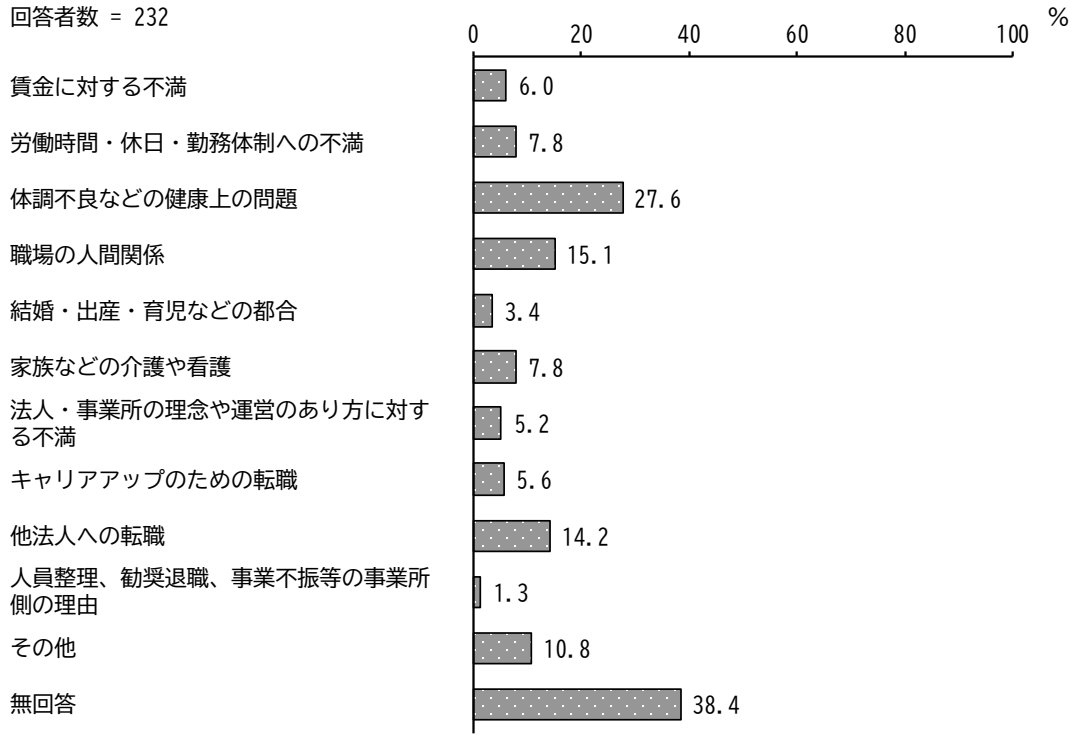
## 問２－４　採用に利用した手段・媒体は何ですか（複数選択可）

「ハローワーク」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「学校からの紹介」の割合が 29.9%、「知人等からの紹介」の割合が 20.9%となっています。



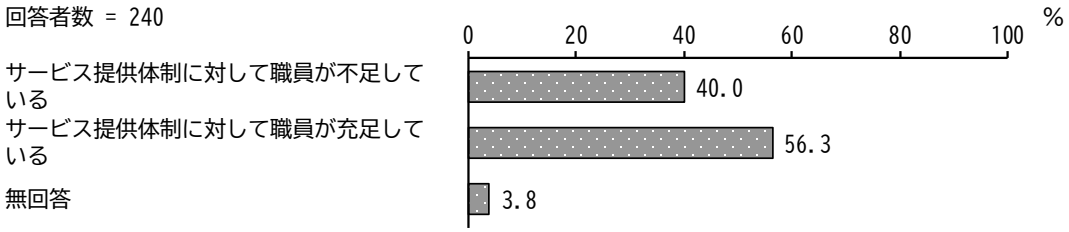

## 問３　主な離職理由は何ですか（３つ以内）

「体調不良などの健康上の問題」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「職場の人間関係」の割合が 15.1%、「他法人への転職」の割合が 14.2%となっています。



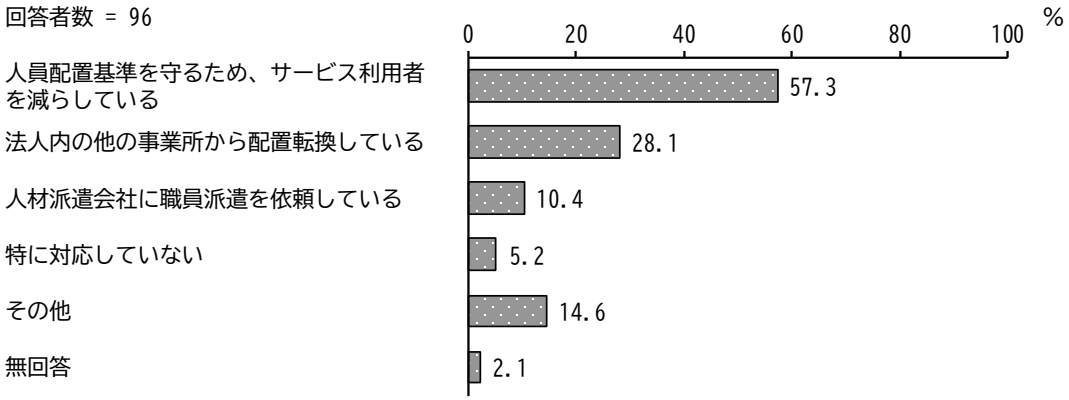
## 問４－１　職員数とサービス提供量とはどのような状況ですか（１つを選択）

「サービス提供体制に対して職員が不足している」の割合が 40.0%、「サービス提供体制に対して職員が充足している」の割合が 56.3%となっています。




## 問４－２　職員数とサービス提供量の均衡を保つため、どのように対応していますか（複数選択可）

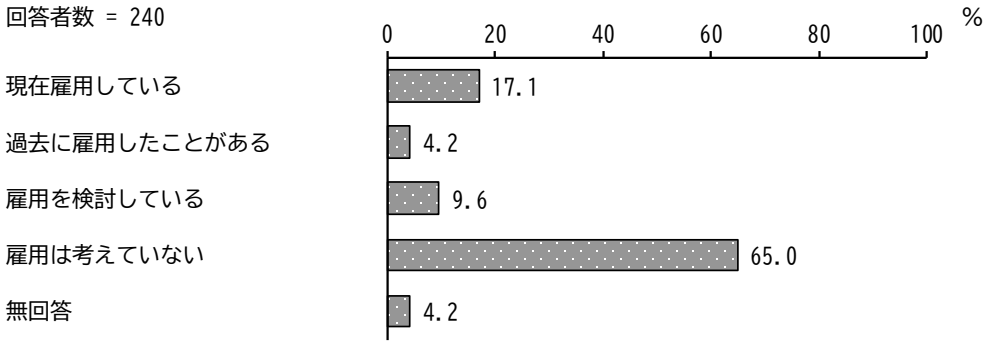
「人員配置基準を守るため、サービス利用者を減らしている」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「法人内の他の事業所から配置転換している」の割合が 28.1%、「人材派遣会社に職員派遣を依頼している」の割合が 10.4%となっています。



## （６）人材確保について

### 問６－１　介護助手を雇用していますか（１つを選択）

「雇用は考えていない」の割合が 65.0%と最も高く、次いで「現在雇用している」の割合が 17.1%となっています。




### 問６－２　サービス提供に対し人員不足を感じる場合、あと何人いれば充足すると思われますか
1～９それぞれに回答してください（常勤換算数ではなく、実人数で記入）

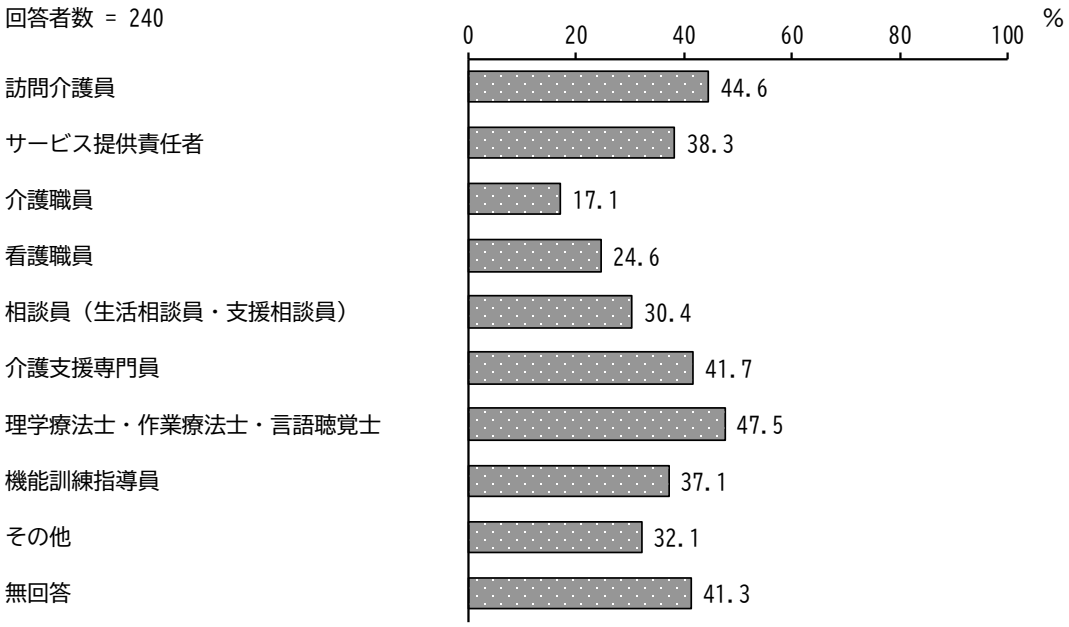
現在の職員数では「介護職員」で 8.7 人（平均人数）と最も多くなっています。一方の不足している職員数でも「介護職員」で 1.1 人（平均人数）と最も多くなっています。

単位：人

| | 現在の職員数 | 不足している職員数 |
|---|---|---|
| １．訪問介護員 | 4.6 | 0.8 |
| ２．サービス提供責任者 | 1.1 | 0.1 |
| ３．介護職員 | 8.7 | 1.1 |
| ４．看護職員 | 2.4 | 0.3 |
| ５．相談員（生活相談員・支援相談員） | 1.1 | 0.2 |
| ６．介護支援専門員 | 0.5 | 0.2 |
| ７．理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 | 0.9 | 0.2 |
| ８．機能訓練指導員 | 1.0 | 0.1 |
| ９．その他 | 0.8 | 0.1 |

**当該職種はいない**

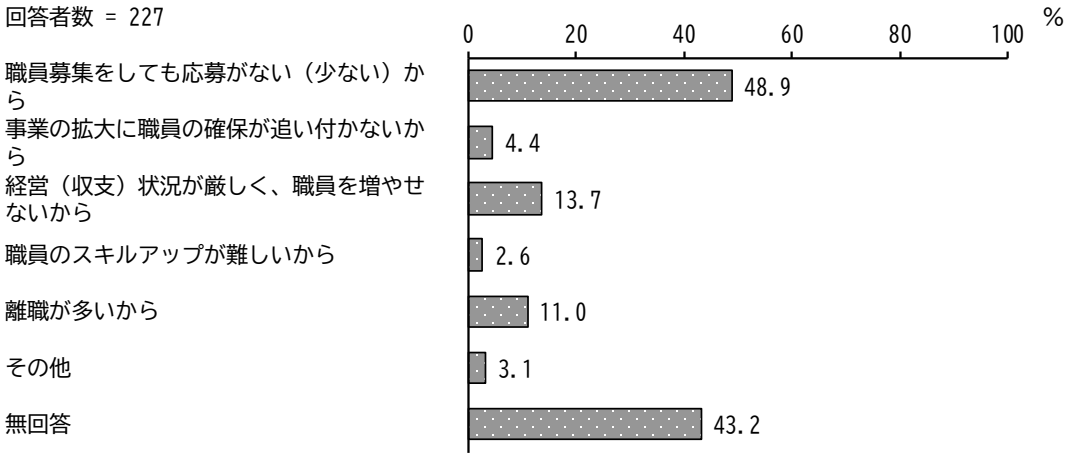
「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「訪問介護員」の割合が 44.6%、「介護支援専門員」の割合が 41.7%となっています。



【問６-２において不足している職員数を記入された事業所にお伺いします】

## 問６－３　その理由は何ですか（複数選択可）

「職員募集をしても応募がない（少ない）から」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「経営（収支）状況が厳しく、職員を増やせないから」の割合が 13.7%、「離職が多いから」の割合が 11.0%となっています。




【職員の不足人数別】

職員の不足人数別にみると、不足人数が多くなるにつれ「職員募集をしても応募がない（少ない）から」の割合が高くなっています。また、４人以上で「離職が多いから」の割合が高くなっています。

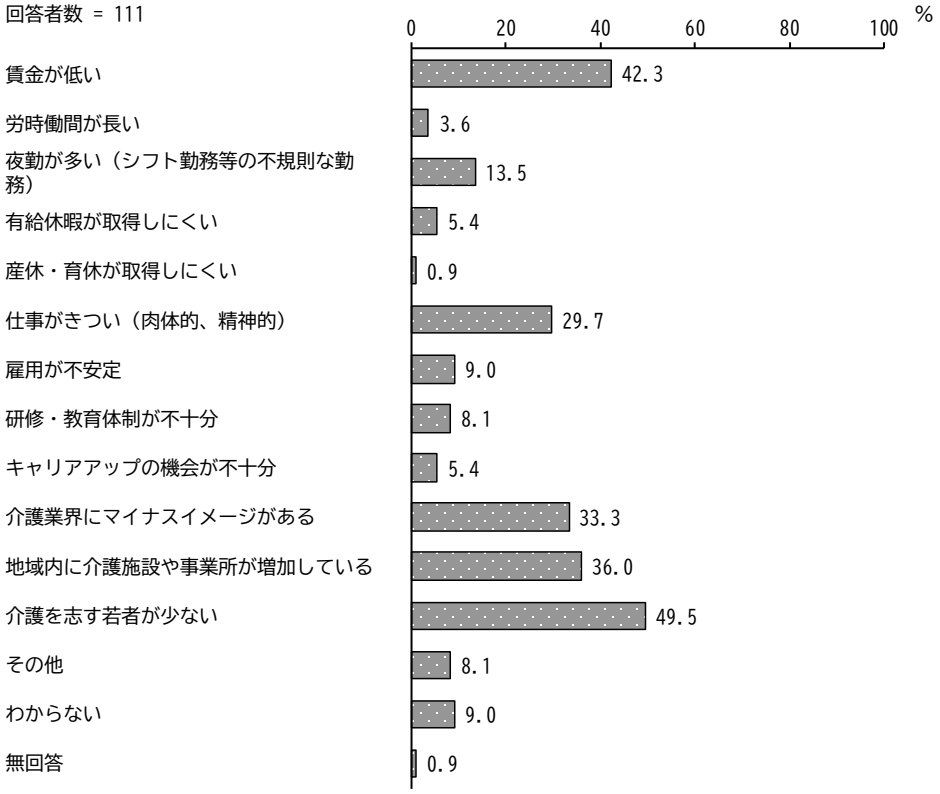
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 職員募集をしても応募がない（少ない）から | 事業の拡大に職員の確保が追い付かないから | 経営（収支）状況が厳しく、職員を増やせないから | 職員のスキルアップが難しいから | 離職が多いから | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 227 | 48.9 | 4.4 | 13.7 | 2.6 | 11.0 | 3.1 | 43.2 |
| １人 | 35 | 77.1 | 2.9 | 25.7 | 2.9 | 8.6 | 11.4 | 2.9 |
| ２人 | 35 | 85.7 | － | 20.0 | 8.6 | 17.1 | 5.7 | 2.9 |
| ３人 | 17 | 88.2 | 11.8 | 29.4 | － | 17.6 | － | － |
| ４人 | 13 | 92.3 | 30.8 | 38.5 | 15.4 | 30.8 | － | － |
| ５人以上 | 13 | 92.3 | 15.4 | 23.1 | － | 30.8 | － | － |

【問６-３において「職員募集をしても応募がない（少ない）から」と回答した事業所にお伺いします】

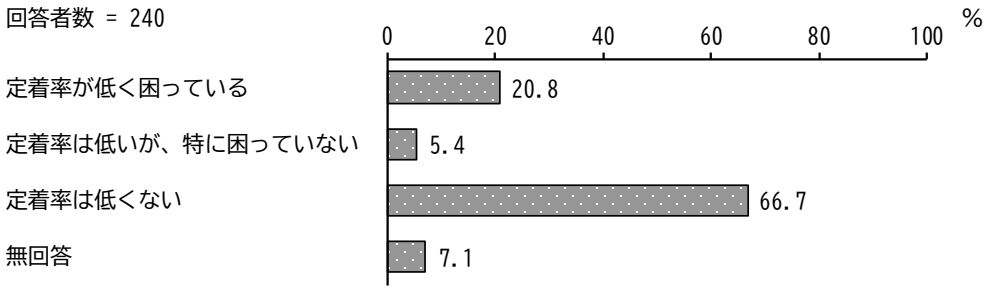
## 問６－４　その理由について、どのようにお考えですか（複数選択可）

「介護を志す若者が少ない」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「賃金が低い」の割合が 42.3%、「地域内に介護施設や事業所が増加している」の割合が 36.0%となっています。



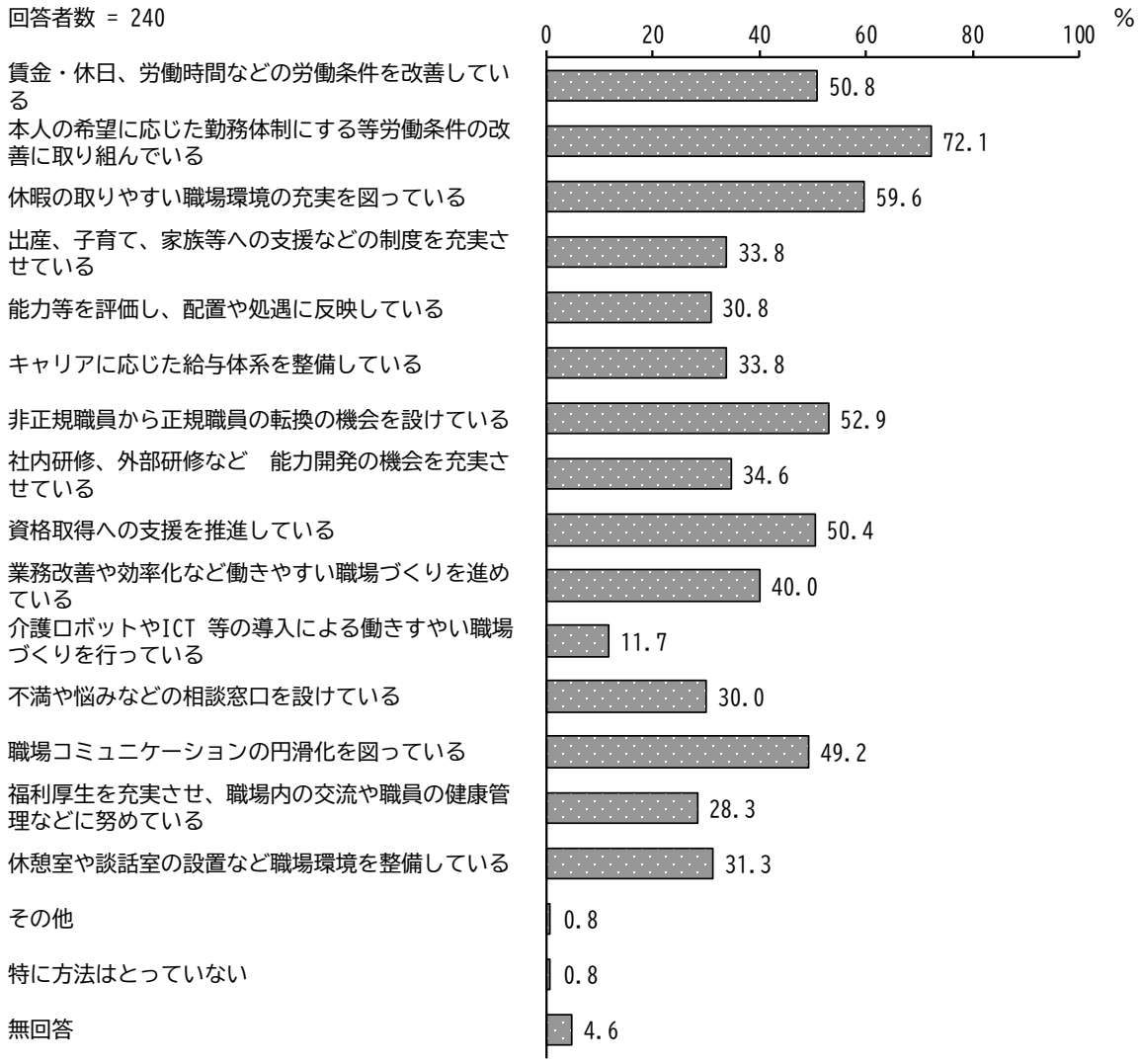

## 問７　職員の定着状況に関してどのようにお考えですか（１つを選択）

「定着率は低くない」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「定着率が低く困っている」の割合が 20.8%となっています。



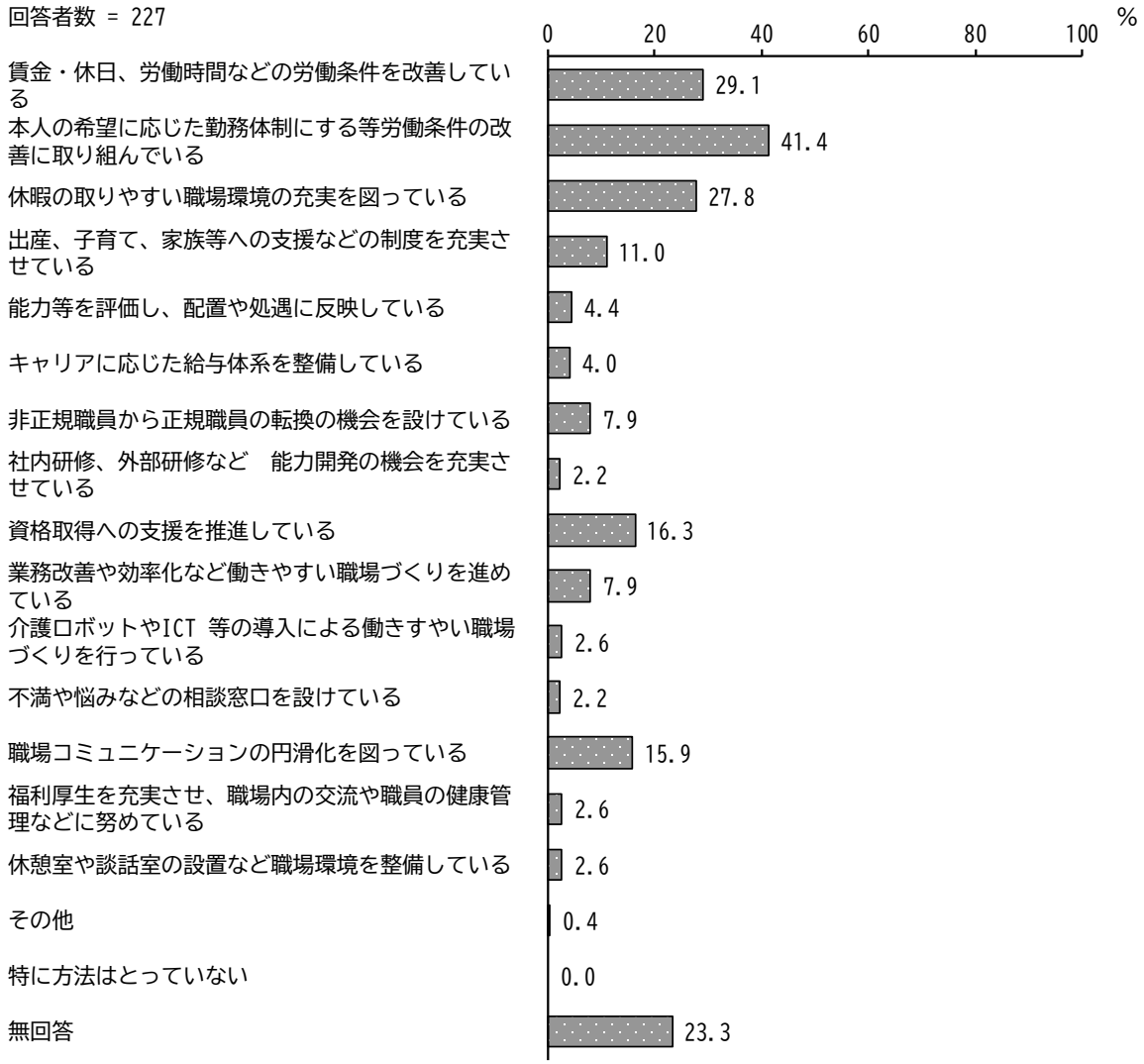
問８　職員の定着促進のために、どのような方策をとっていますか（複数選択可）また、その方策の中で、効果があったと思われるものには◎を選択してください（３つ以内に◎）

「本人の希望に応じた勤務体制にする等労働条件の改善に取り組んでいる」の割合が 72.1%と最も高く、次いで「休暇の取りやすい職場環境の充実を図っている」の割合が 59.6%、「非正規職員から正規職員の転換の機会を設けている」の割合が 52.9%となっています。



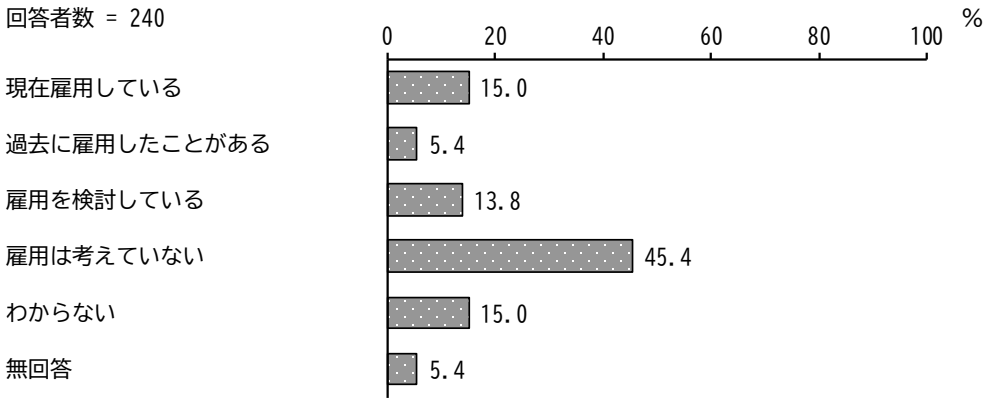
**効果があったと思われるもの（３つ以内に◎）**

「本人の希望に応じた勤務体制にする等労働条件の改善に取り組んでいる」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「賃金・休日、労働時間などの労働条件を改善している」の割合が 29.1%、「休暇の取りやすい職場環境の充実を図っている」の割合が 27.8%となっています。



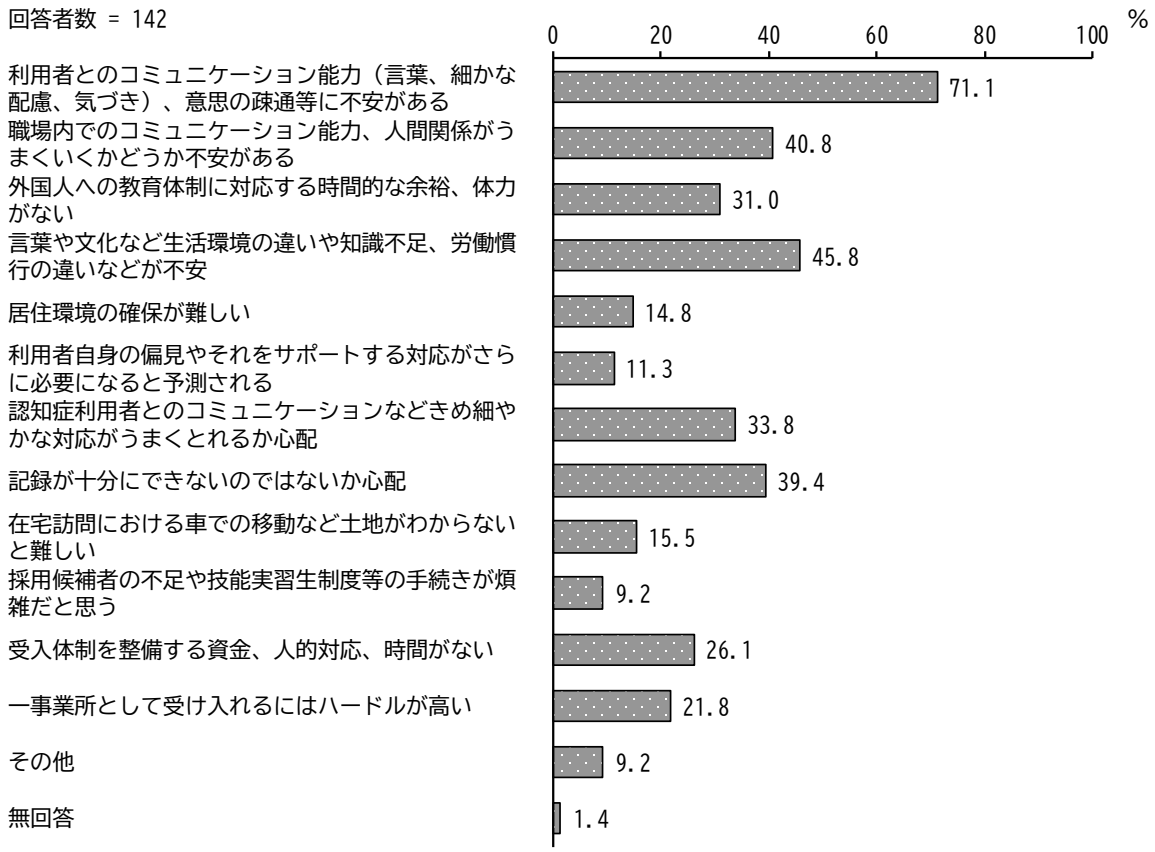
## 問９－１　外国人介護職員の雇用による人材の確保を検討されていますか（１つを選択）

「雇用は考えていない」の割合が 45.4%と最も高く、次いで「現在雇用している」、「わからない」の割合が 15.0%となっています。




## 問９－２　外国人介護職員を雇用することの課題や懸念される問題点について、どのようにお考えですか（複数選択可）

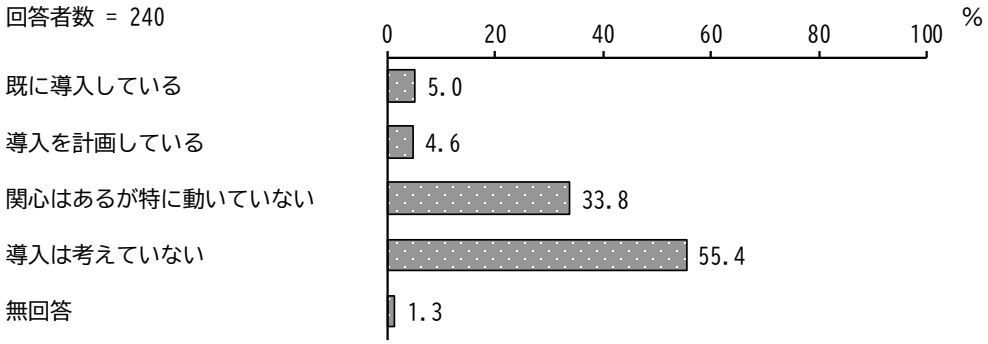
「利用者とのコミュニケーション能力（言葉、細かな配慮、気づき）、意思の疎通等に不安がある」の割合が 71.1%と最も高く、次いで「言葉や文化など生活環境の違いや知識不足、労働慣行の違いなどが不安」の割合が 45.8%、「職場内でのコミュニケーション能力、人間関係がうまくいくかどうか不安がある」の割合が 40.8%となっています。



## （7）働きやすい職場づくりについて

### 問10－1　介護ロボットを導入していますか（1つを選択）

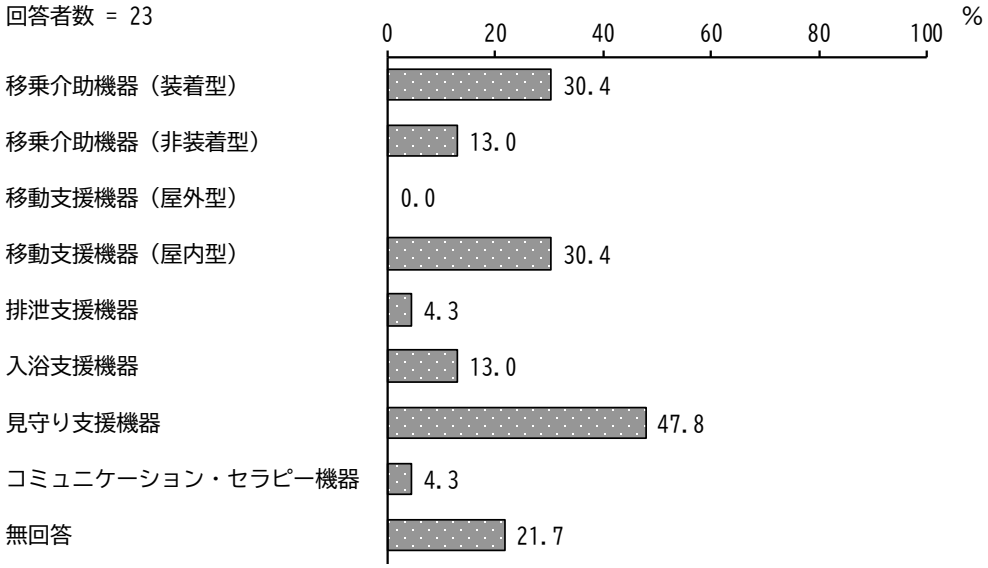
「導入は考えていない」の割合が55.4%と最も高く、次いで「関心はあるが特に動いていない」の割合が33.8%となっています。




### 問10－2　貴事業所で導入（を計画）している介護ロボットはどれですか（複数選択可）また、職員の身体的負担軽減や腰痛の予防・緩和に効果（を期待する）があったものは何ですか

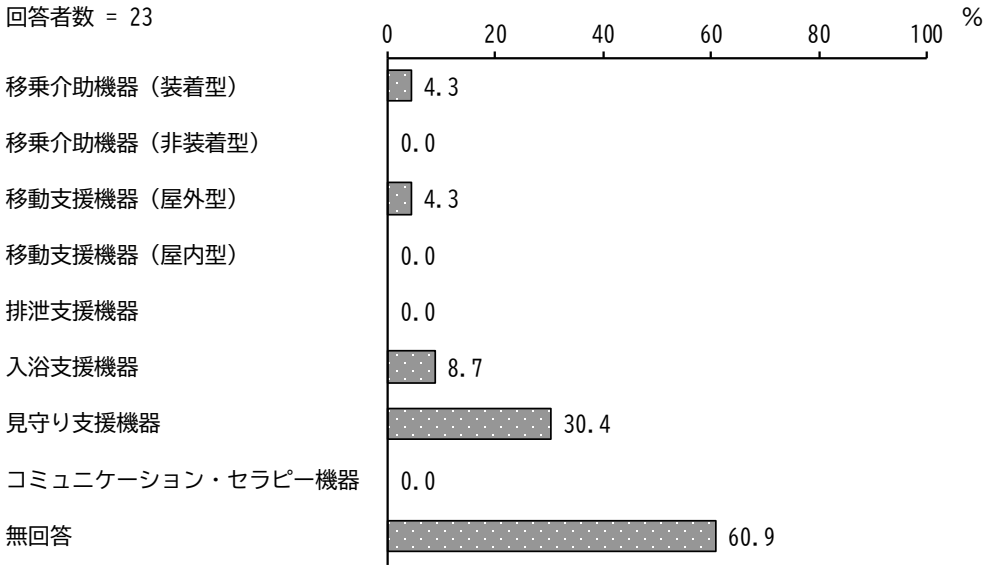
**導入している**

「見守り支援機器」の割合が47.8%と最も高く、次いで「移乗介助機器（装着型）」、「移動支援機器（屋内型）」の割合が30.4%となっています。



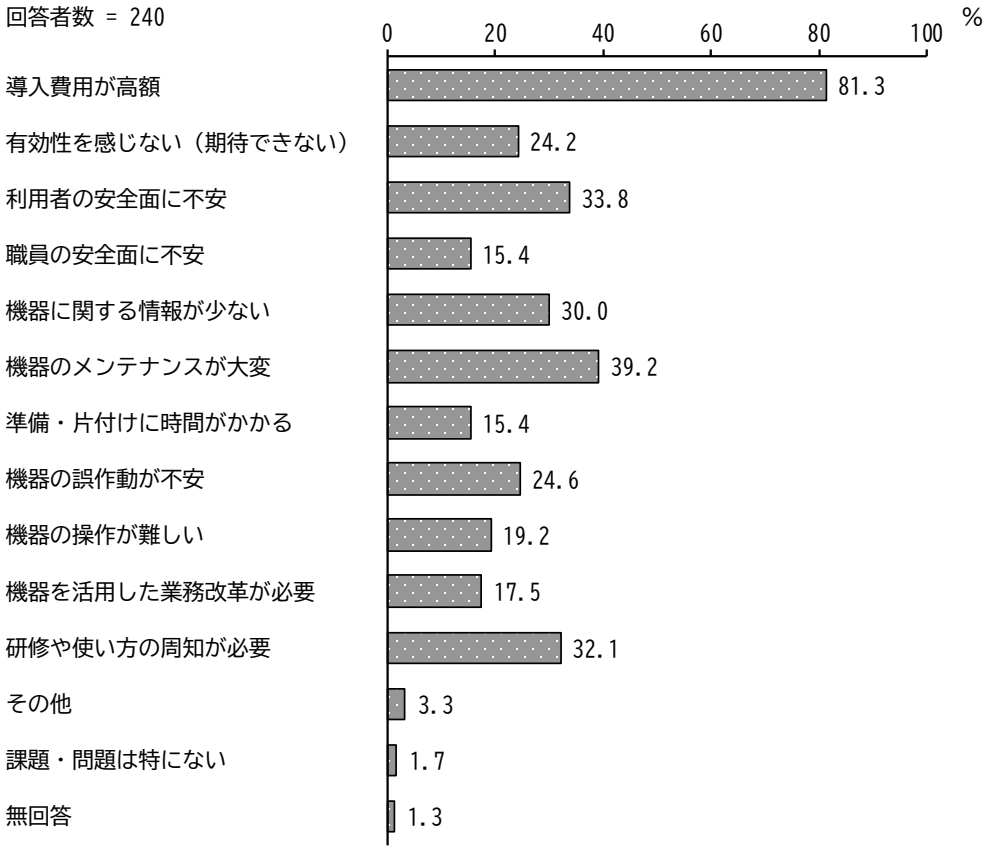
**職員の身体的負担軽減などに効果があったもの**

「見守り支援機器」の割合が 30.4%と最も高くなっています。



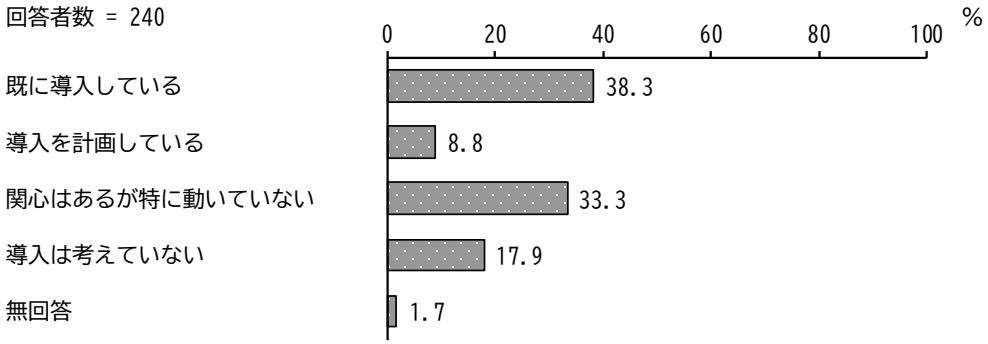

## 問 10－３　介護ロボットの導入や活用にあたって、どのような課題があるとお考えですか（複数選択可）

「導入費用が高額」の割合が 81.3%と最も高く、次いで「機器のメンテナンスが大変」の割合が 39.2%、「利用者の安全面に不安」の割合が 33.8%となっています。



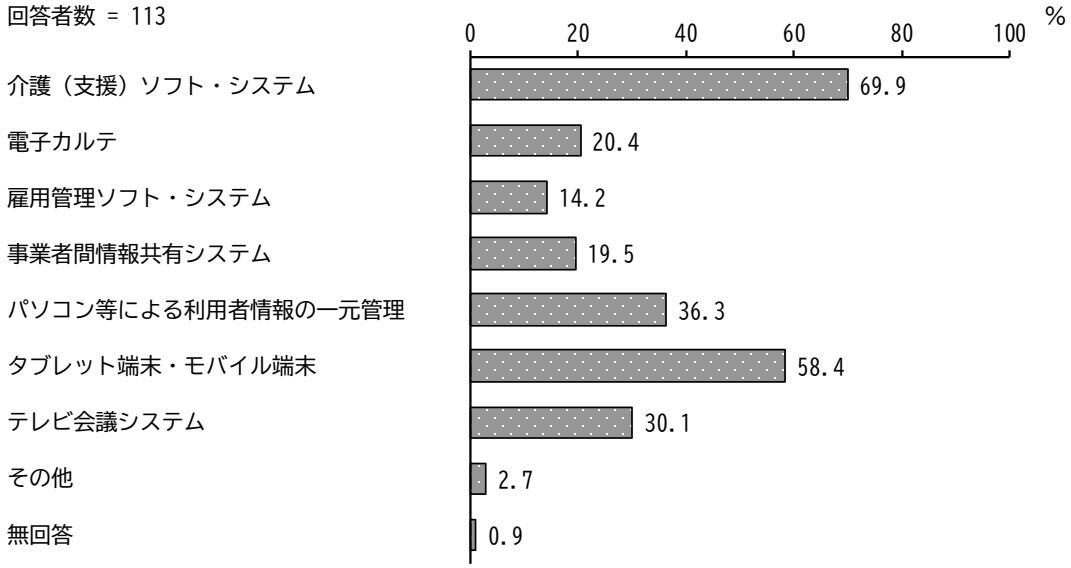
## 問11－１　ＩＣＴを利用して業務を行っていますか（１つを選択）

「既に導入している」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「関心はあるが特に動いていない」の割合が 33.3%、「導入は考えていない」の割合が 17.9%となっています。



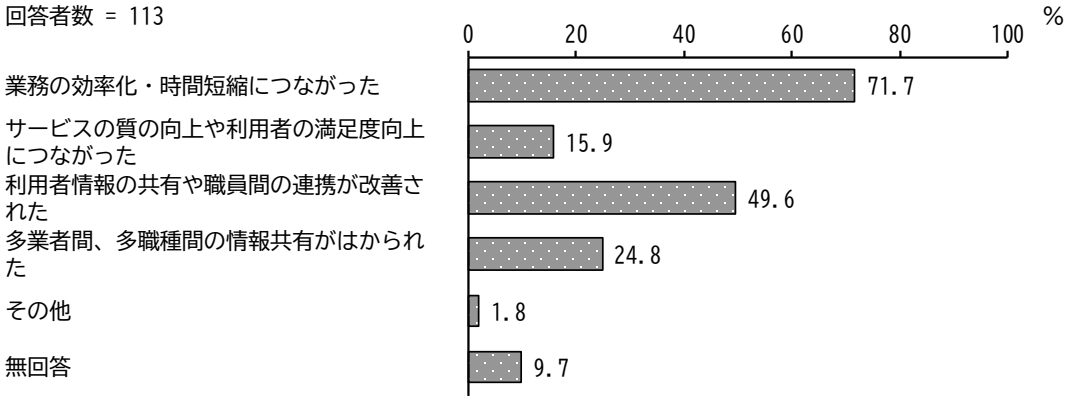

## 問11－２　導入（を計画）しているＩＣＴは次のうちどれですか（複数選択可）

「介護（支援）ソフト・システム」の割合が 69.9%と最も高く、次いで「タブレット端末・モバイル端末」の割合が 58.4%、「パソコン等による利用者情報の一元管理」の割合が 36.3%となっています。



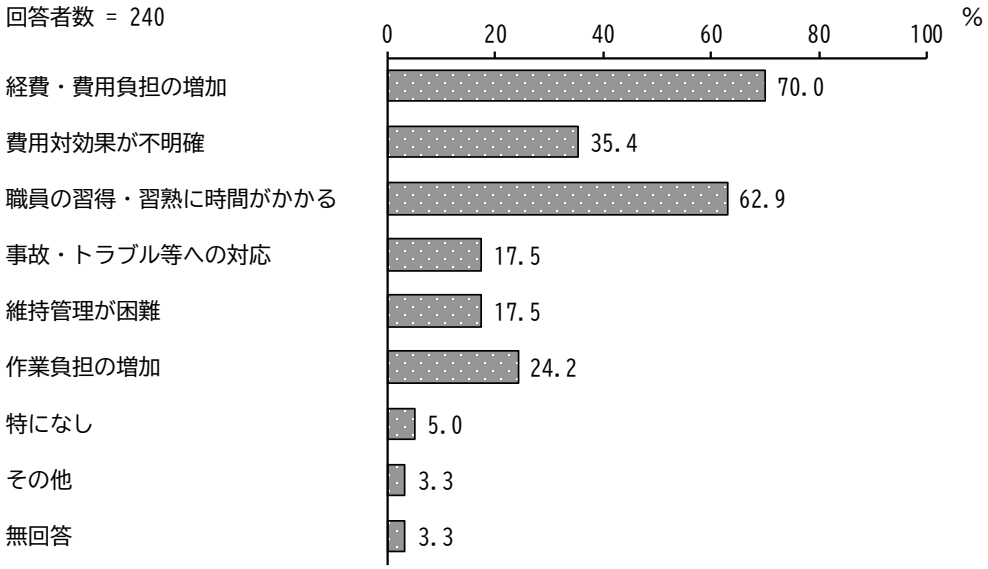
## 問11－３　ＩＣＴを導入してよかったことや効果があったまたは期待することを教えてください（複数選択可）

「業務の効率化・時間短縮につながった」の割合が71.7%と最も高く、次いで「利用者情報の共有や職員間の連携が改善された」の割合が49.6%、「多業者間、多職種間の情報共有がはかられた」の割合が24.8%となっています。




## 問11－４　ＩＣＴの導入や活用にあたって、どのような課題があるとお考えですか（複数選択可）

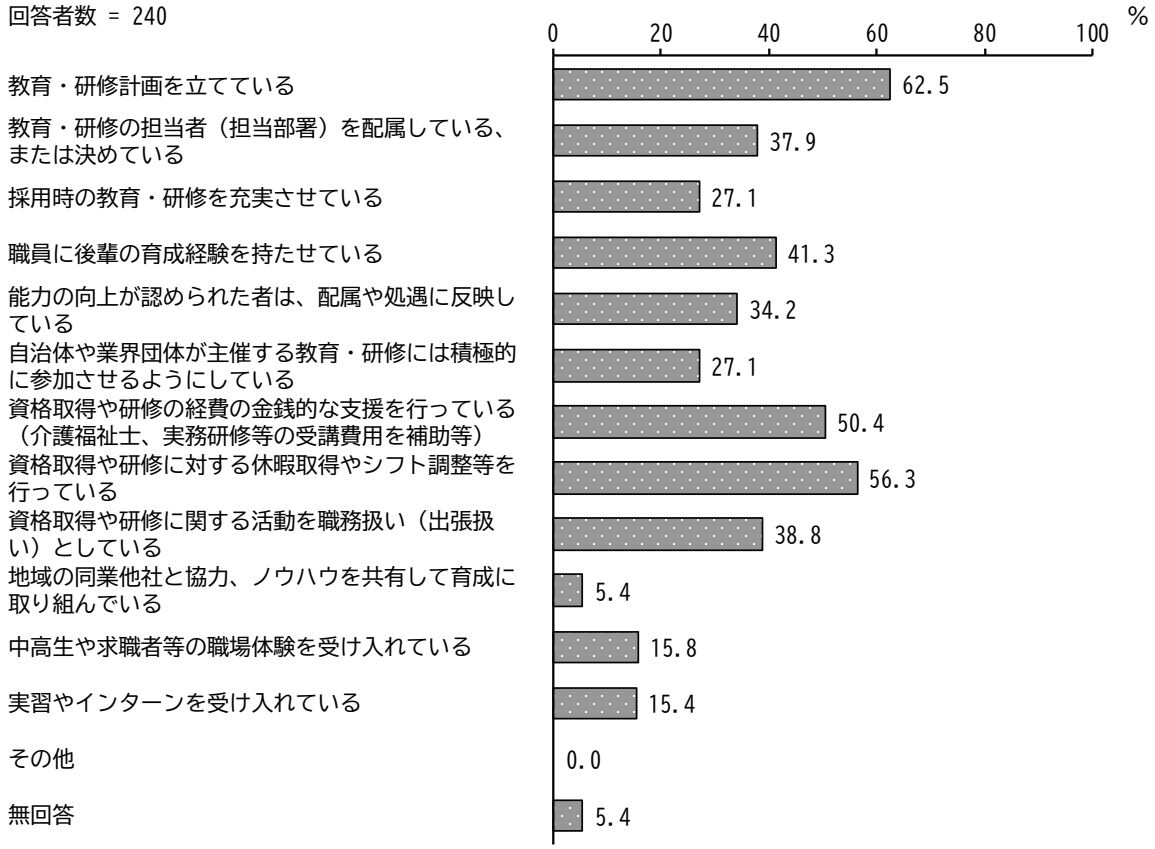
「経費・費用負担の増加」の割合が70.0%と最も高く、次いで「職員の習得・習熟に時間がかかる」の割合が62.9%、「費用対効果が不明確」の割合が35.4%となっています。



## （8）人材育成について

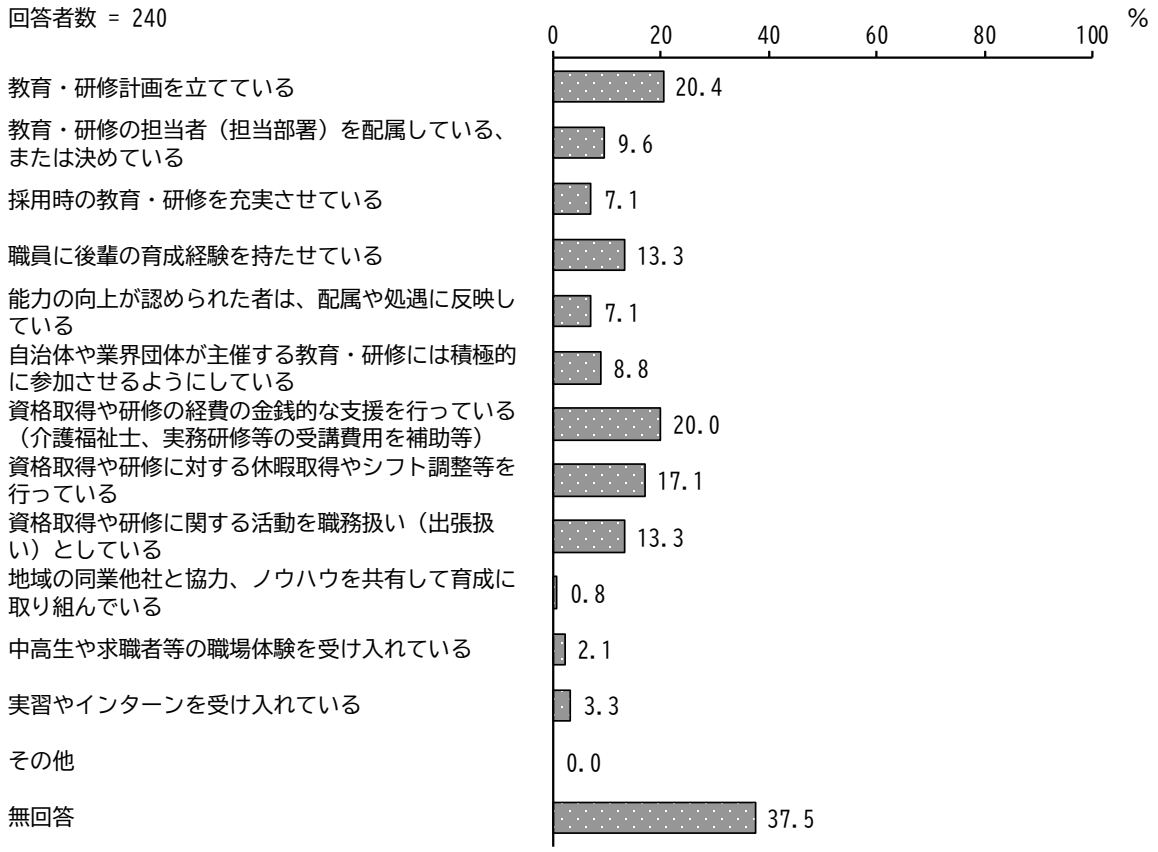
問 12　人材育成のために、どのような取組を行っていますか（複数選択可）また、その取組の中で、効果があったと思われるものには◎をしてください（３つ以内に◎）

「教育・研修計画を立てている」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「資格取得や研修に対する休暇取得やシフト調整等を行っている」の割合が 56.3%、「資格取得や研修の経費の金銭的な支援を行っている（介護福祉士、実務研修等の受講費用を補助等）」の割合が 50.4%となっています。



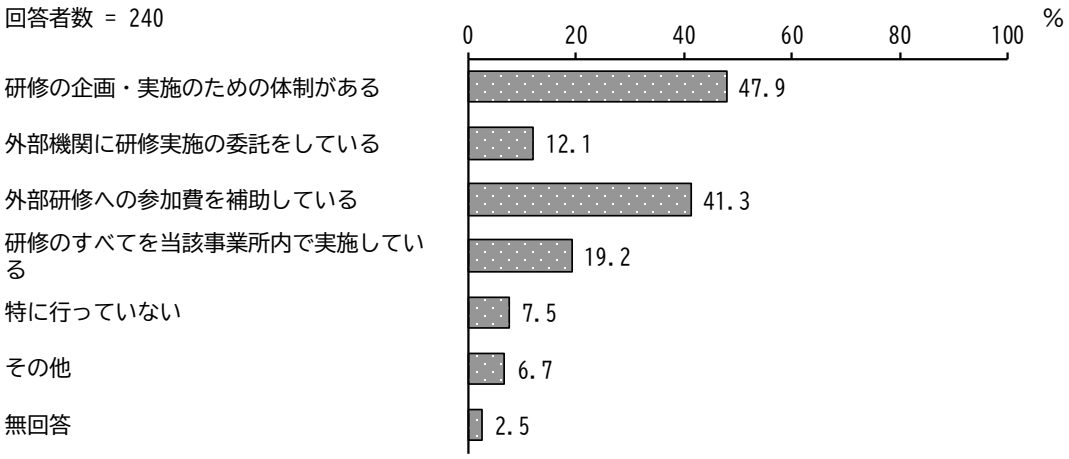
**効果があったと思われるもの（３つ以内に◎）**

「教育・研修計画を立てている」の割合が 20.4%と最も高く、次いで「資格取得や研修の経費の金銭的な支援を行っている（介護福祉士、実務研修等の受講費用を補助等）」の割合が 20.0%、「資格取得や研修に対する休暇取得やシフト調整等を行っている」の割合が 17.1%となっています。



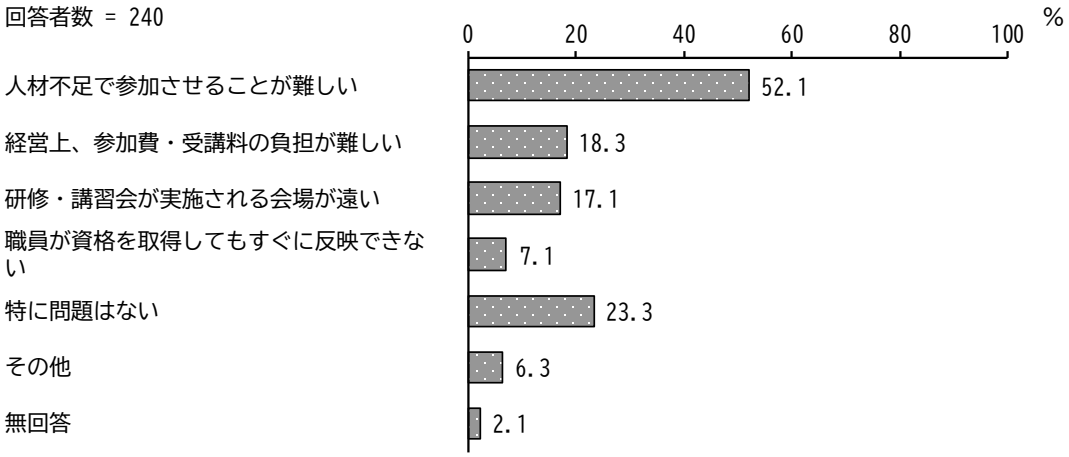

## 問 13　貴事業所が実施している職員への研修・資格取得支援についてお答えください（複数選択可）

「研修の企画・実施のための体制がある」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「外部研修への参加費を補助している」の割合が 41.3%、「研修のすべてを当該事業所内で実施している」の割合が 19.2%となっています。



## 問 14　職員の社外研修・講習会の受講にあたって、課題となっていることは何ですか（３つ以内）

「人材不足で参加させることが難しい」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「特に問題はない」の割合が 23.3%、「経営上、参加費・受講料の負担が難しい」の割合が 18.3%となっています。




## 問 15　人材確保に関する県の補助制度を知っていますか　また補助制度を利用したことがありますか　１～３それぞれに回答してください（あてはまるものに○）

『介護職員キャリアアップ研修支援事業』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。また、『外国人留学生への奨学金支給に係る支援事業』で「知らない」の割合が高くなっています。

| | 全体 | 利用したことがある | 利用したことがない | 知らない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 介護職員キャリアアップ研修支援事業 | 240 | 15.0 | 50.4 | 30.4 | 4.2 |
| 介護助手導入支援事業 | 240 | 3.8 | 45.4 | 44.2 | 6.7 |
| 外国人留学生への奨学金支給に係る支援事業 | 240 | 1.3 | 40.8 | 50.4 | 7.5 |

単位：%

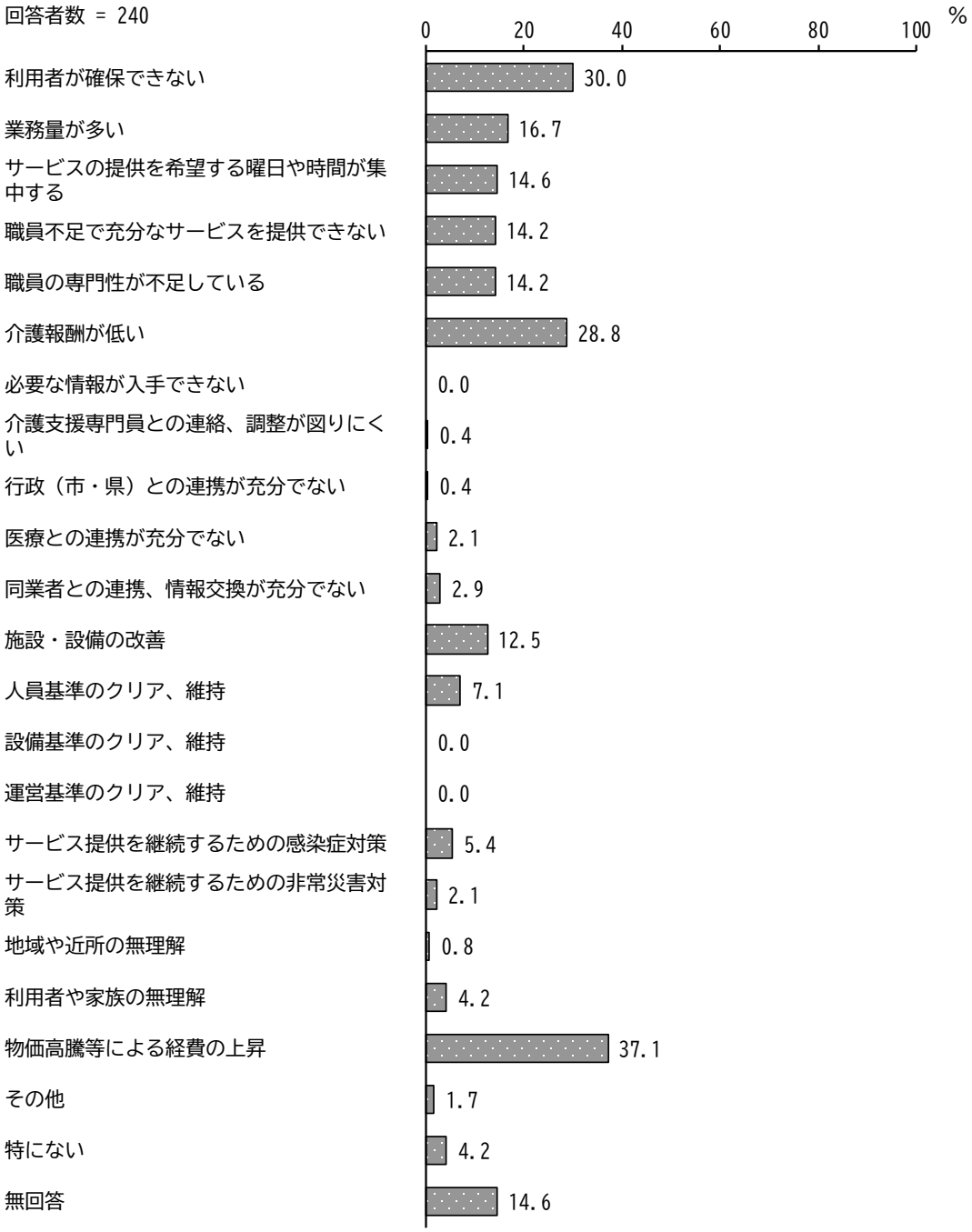
## 問 15－１　補助制度を利用しない理由にはどのようなものがありますか（自由記述）

- 特に何も考えがないから
- 利用に関しての権限がない。市の条例など制度に応じて対応する事業者である。
- 業務が忙しく申請内容・手続きとまでいかない。
- 当事業所は訪問リハビリテーションです。当設問については該当しないと存じます。
- 採用がまだまだであるため

## （9）運営上の課題について

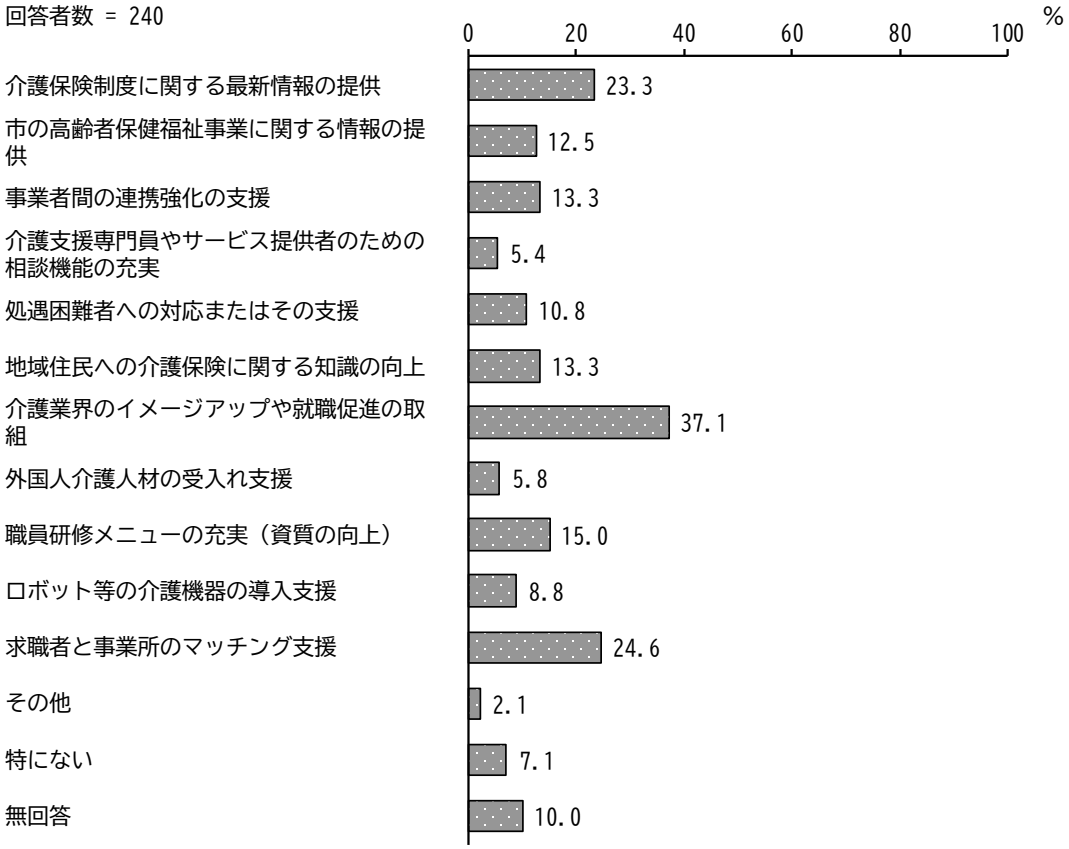
### 問16　事業所を円滑に運営していく上で困っていることはありますか（３つ以内）

「物価高騰等による経費の上昇」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「利用者が確保できない」の割合が 30.0%、「介護報酬が低い」の割合が 28.8%となっています。



## 問 17　介護保険サービス事業を行う上で、どのような行政の支援等が必要だと思いますか（３つ以内）

「介護業界のイメージアップや就職促進の取組」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「求職者と事業所のマッチング支援」の割合が 24.6%、「介護保険制度に関する最新情報の提供」の割合が 23.3%となっています。



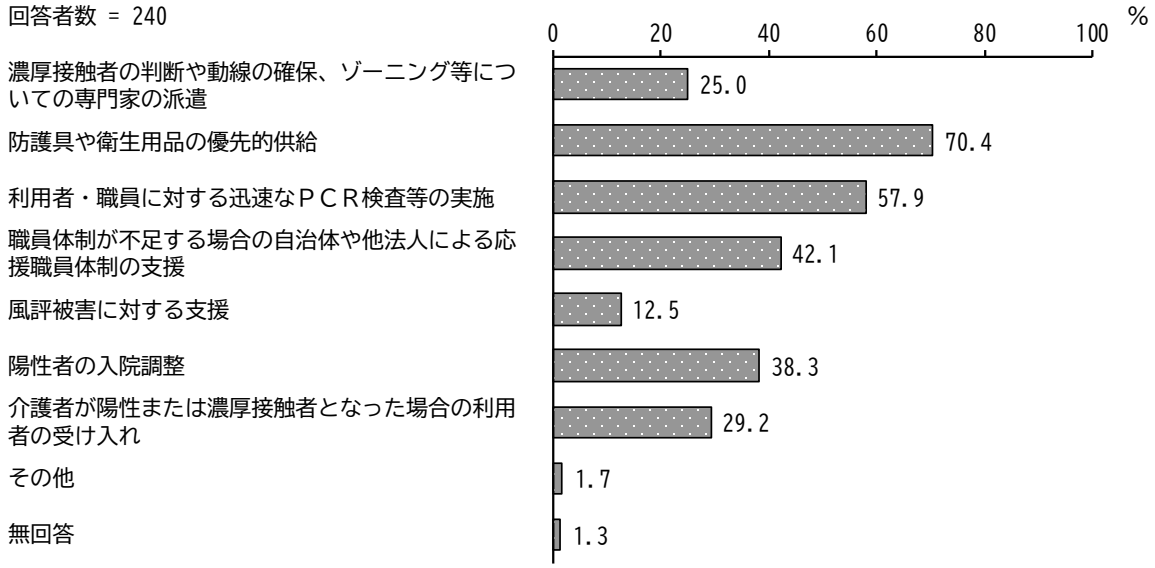

## 問 18　介護保険全般について日頃感じていることがありましたら、ご記入ください（自由記述）

- 配置基準の難しさ。報酬の低さ。CM、家族の加算に関する認識不足。理解不足。
- 要介護１、２を民間サービスでカバーするのは不可能である。
- 認定調査員が介護度を低く見積もる傾向にある。
- 同サービス事業者が多く利用者が分散しているため、どこの事業者も利用者の確保に苦慮している
- 訪問看護は医療保険での対応もしているので、介護保険サービスの中でまだまだ認知されていないのではないかと日々感じています。最近はサ高住や有料老人ホームなども増えてきて、どこまで訪問看護が介入できるかなどの情報を教えてもらえるといいなと思います。

## （10）新型コロナウイルス感染症の影響について

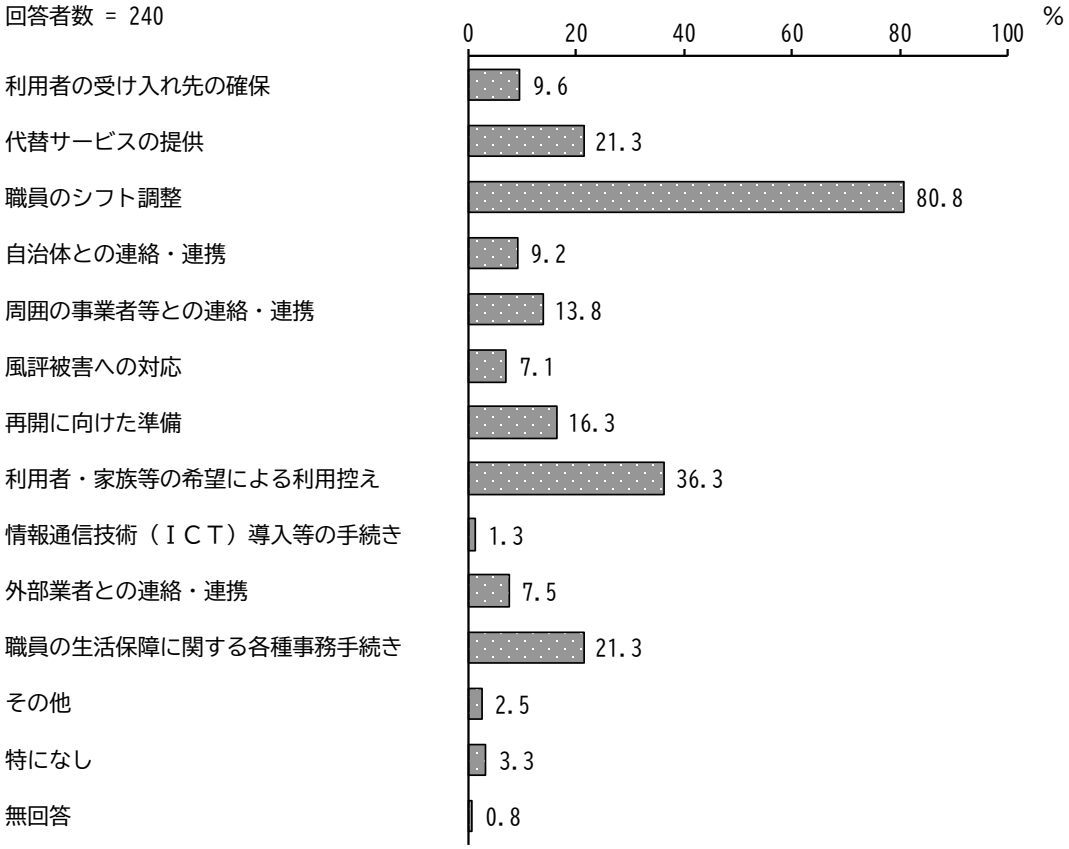
### 問 19　新型コロナウイルス感染症の発生時に必要な支援は何ですか（複数選択可）

「防護具や衛生用品の優先的供給」の割合が 70.4%と最も高く、次いで「利用者・職員に対する迅速なＰＣＲ検査等の実施」の割合が 57.9%、「職員体制が不足する場合の自治体や他法人による応援職員体制の支援」の割合が 42.1%となっています。



問 20　新型コロナウイルス感染症禍における経営への影響の対応として、特に苦慮されたことはありますか（複数選択可）

「職員のシフト調整」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「利用者・家族等の希望による利用控え」の割合が 36.3%、「代替サービスの提供」、「職員の生活保障に関する各種事務手続き」の割合が 21.3%となっています。



# Ⅲ　生活機能評価等に関する分析

## 1　機能別リスク該当者割合の分析

### （1）運動器

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、５項目のうち３項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

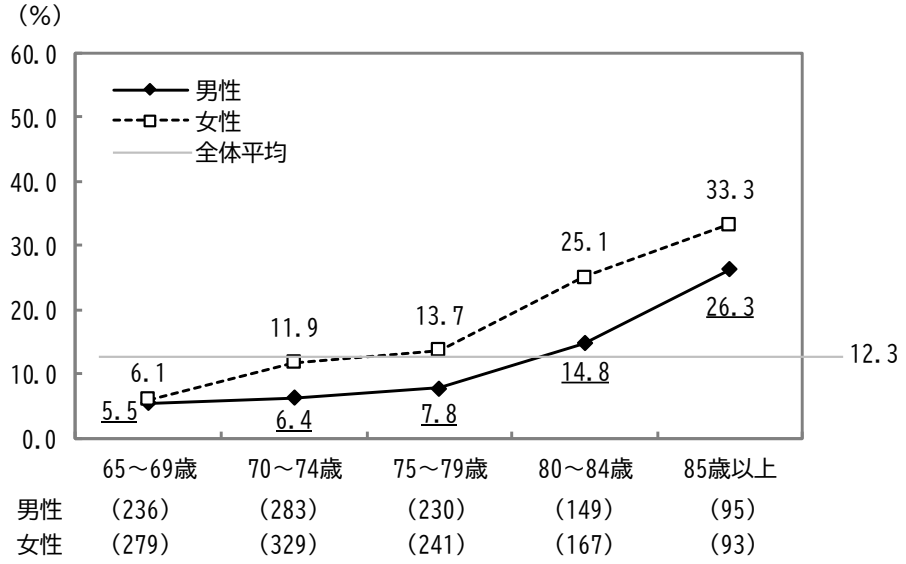
| 問番号 | 設問 | 該当する選択肢 |
|---|---|---|
| 問２（１） | 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。 | ３．できない |
| 問２（２） | 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。 | ３．できない |
| 問２（３） | 15 分位続けて歩いていますか。 | ３．できない |
| 問２（４） | 過去１年間に転んだ経験がありますか。 | １．何度もある<br>２．１度ある |
| 問２（５） | 転倒に対する不安は大きいですか。 | １．とても不安である<br>２．やや不安である |

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で 12.3%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、85 歳以上で 33.3%と 75～79 歳に比べ 19.6 ポイント上昇しています。一方、男性では、85 歳以上で 26.3%と 75～79 歳に比べ 18.5 ポイント上昇しています。したがって、男性、女性ともに 80 歳以降で運動器におけるリスクが顕在化し、特に女性でリスクが高くなっています。

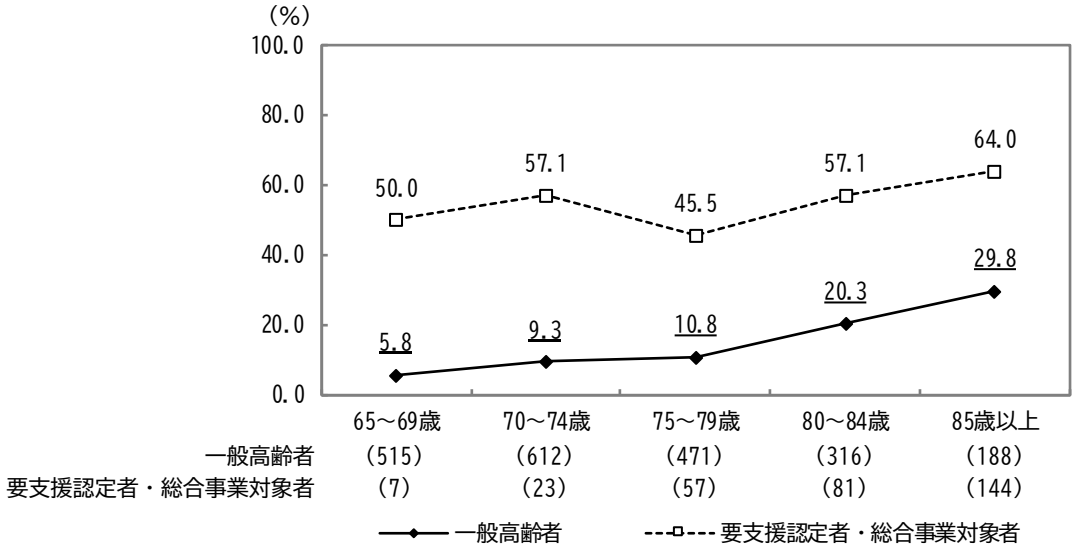
【性別・年齢階級別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者・総合事業対象者では割合がとても高くなっています。要支援認定者・総合事業対象者をみると、85 歳以上で該当者が 64.0%以上となっています。

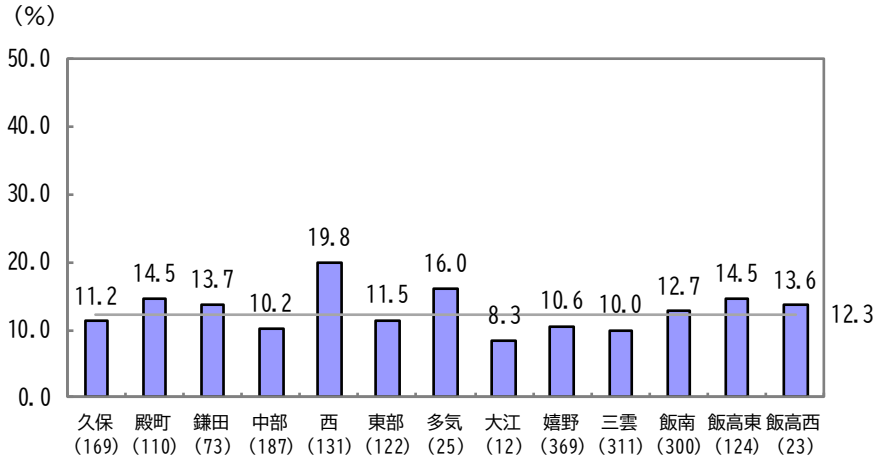
【認定別・年齢階級別】




圏域別にみると、殿町、鎌田、西、多気、飯南、飯高東、飯高西で該当者割合が全体平均の 12.3%を超えています。

また、最も高い圏域は西で 19.8%、最も低い圏域は大江で 8.3%となっており、11.5 ポイントの差となっています。

【圏域別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く

## （2）閉じこもり

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

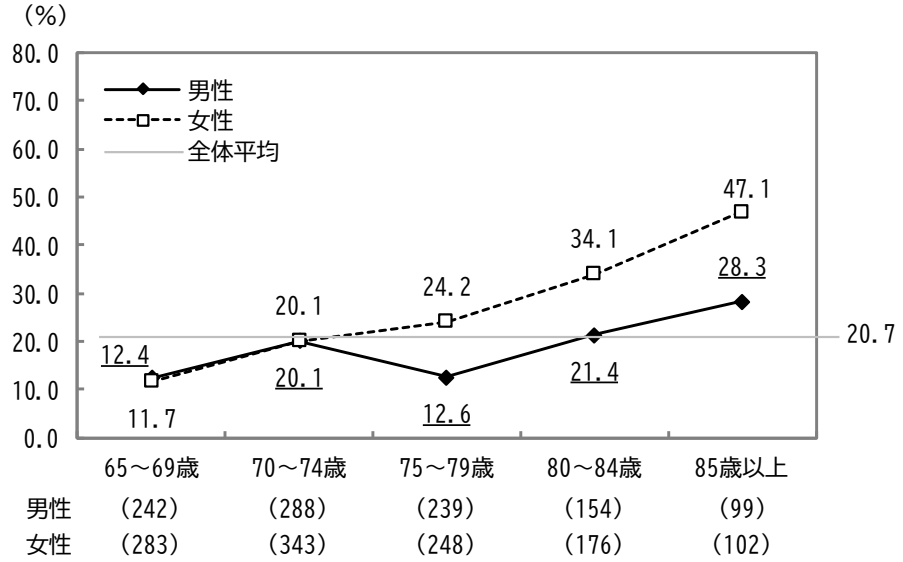
| 問番号 | 設問 | 該当する選択肢 |
|---|---|---|
| 問２（６） | 週に１回以上は外出していますか。 | １．ほとんど外出しない<br>２．週１回 |

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で 20.7%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85 歳以上で 47.1%と、75～79 歳に比べ 22.9 ポイント上昇しています。また、75 歳以上になると、男性に比べて女性で割合が高くなっており、加齢に伴う身体状態の悪化などにより急激に外出の頻度が減少しています。

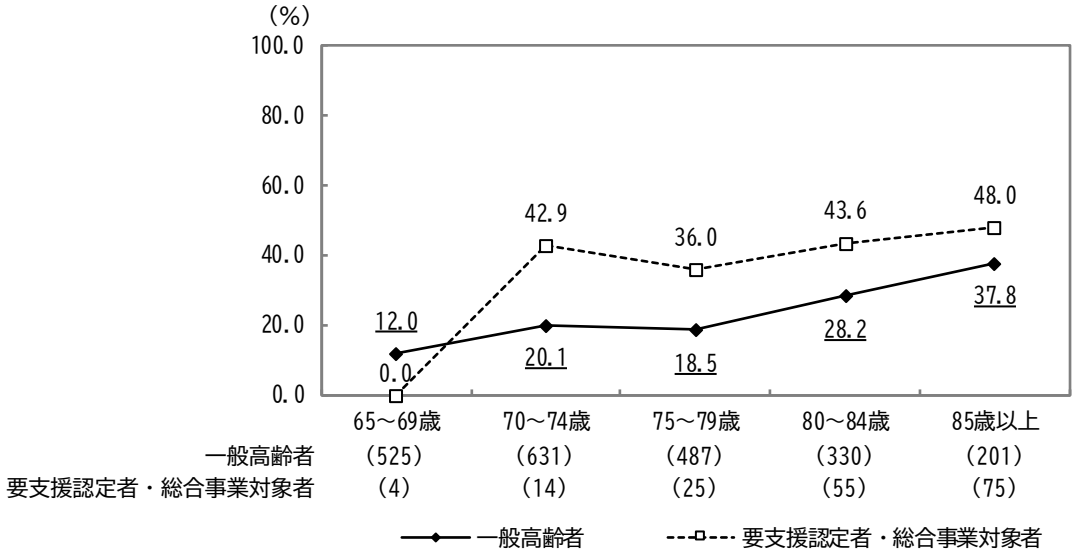
【性別・年齢階級別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、要支援認定者・総合事業対象者では、85 歳以上において 48.0%となっています。また、一般高齢者では、年齢が上がるにつれて割合が徐々に上昇しています。

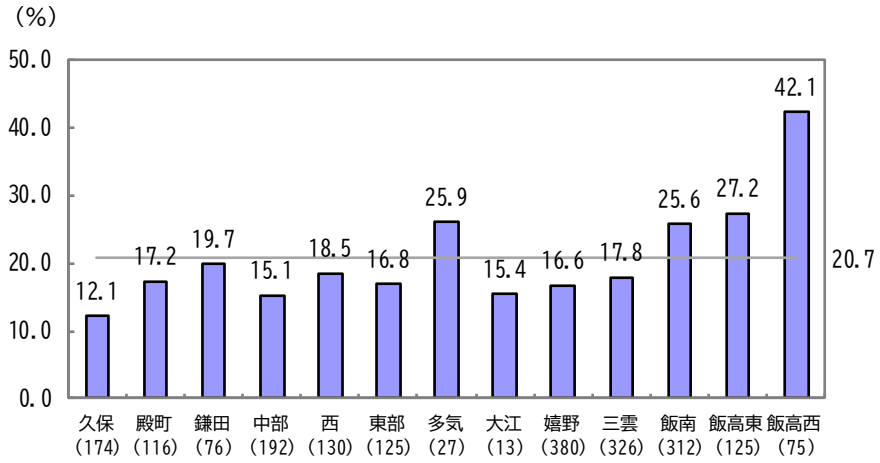
【認定別・年齢階級別】




圏域別にみると、多気、飯南、飯高東、飯高西で該当者割合が全体平均の 20.7%を超えています。

また、最も高い圏域は飯高西で 42.1%、最も低い圏域は久保で 12.1%となっており、30.0 ポイントの差となっています。

【圏域別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く

## （3）転倒

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

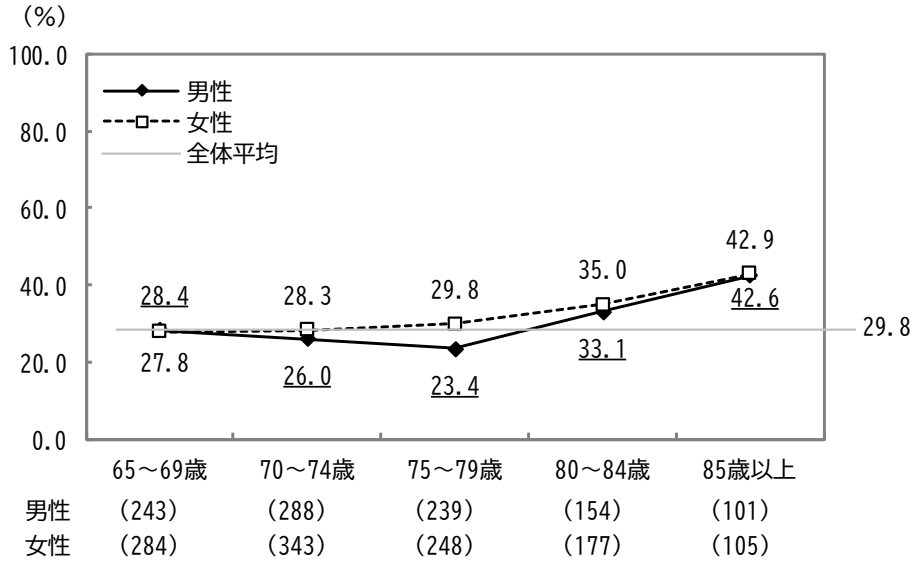
| 問番号 | 設問 | 該当する選択肢 |
|---|---|---|
| 問2（4） | 過去1年間に転んだ経験がありますか。 | 1．何度もある<br>2．1度ある |

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で29.8%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男女ともに 80 歳代以上になると全体平均より割合が高くなっており、85歳以上では女性で42.9%、男性で42.6%となっています。

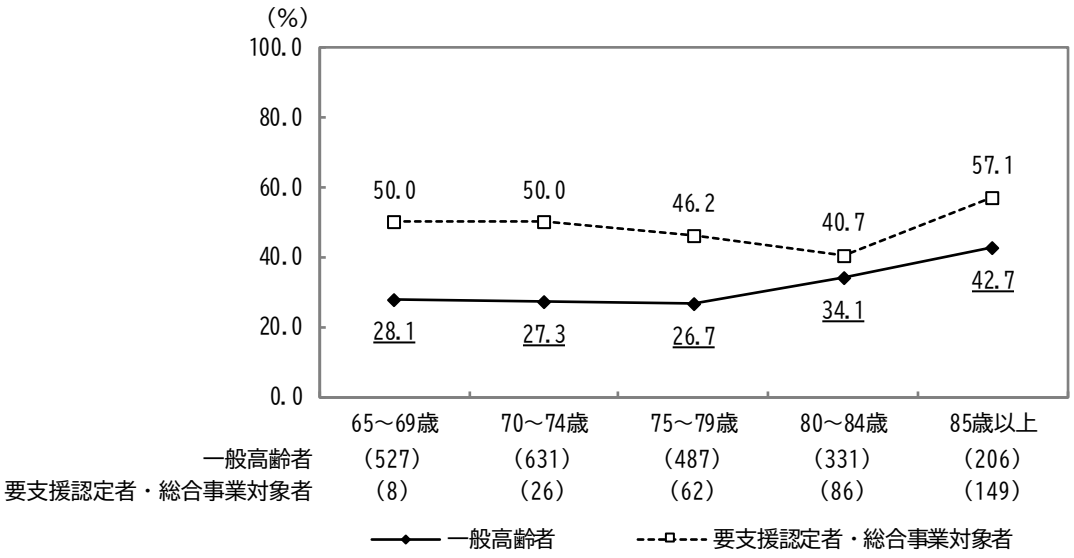
【性別・年齢階級別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く　　（ ）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、要支援認定者・総合事業対象者では、85 歳以上で転倒リスクの該当者が最も高く 57.1%となっています。一般高齢者では、年齢が上がるにつれて割合が徐々に上昇しています。

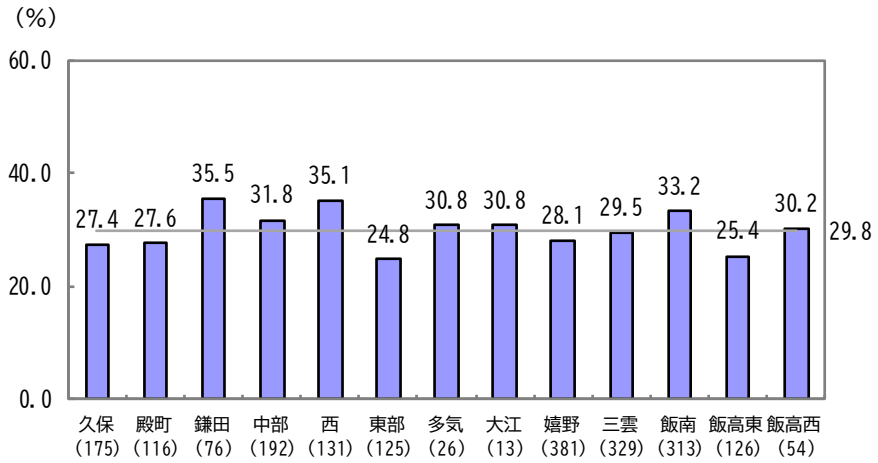
【認定別・年齢階級別】




圏域別にみると、鎌田、中部、西、多気、大江、飯南、飯高西で該当者割合が全体平均の 29.8%を超えています。

また、最も高い圏域は鎌田で 35.5%、最も低い圏域は東部で 24.8%となっており、10.7 ポイントの差となっています。

【圏域別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く

## （4）栄養

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、２項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

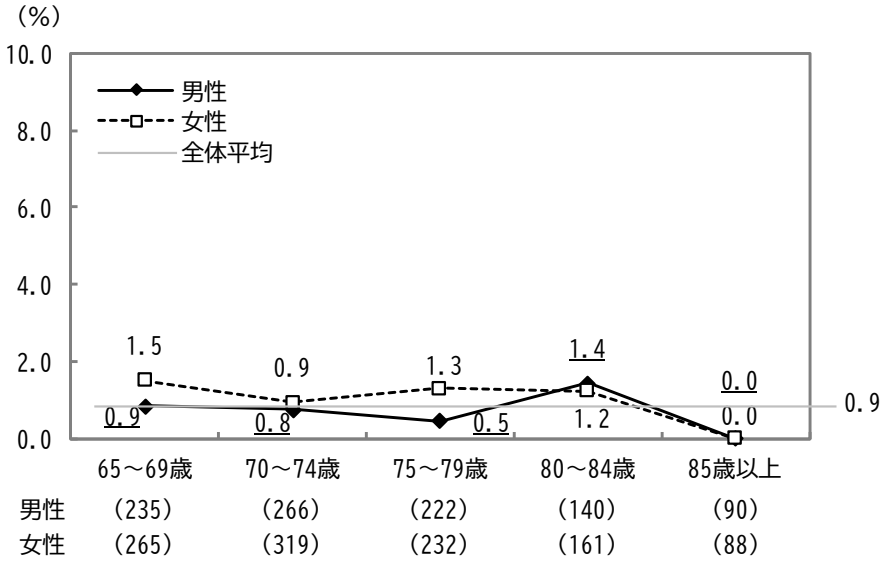
| 問番号 | 設問 | 該当する選択肢 |
|---|---|---|
| 問３（１） | 身長・体重をご記入ください。 | ＢＭＩ18.5 未満 |
| 問３（７） | ６か月間で２～３kg 以上の体重減少がありましたか。 | １．はい |

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で 0.9%が低栄養リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男女ともに 80～84 歳で全体平均より割合が高くなっています。

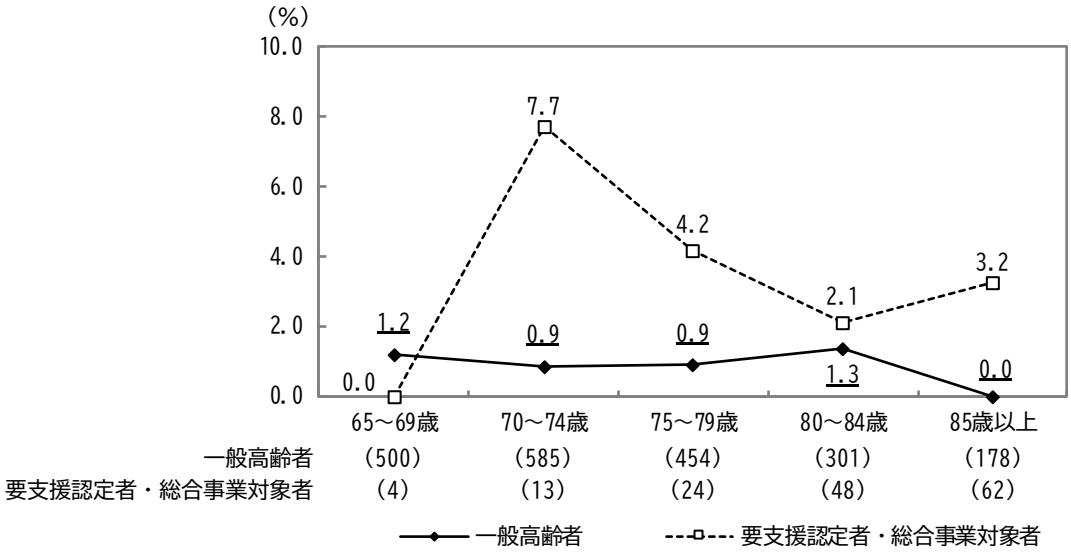
【性別・年齢階級別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、該当者割合は、要支援認定者・総合事業対象者の 70～74 歳で 7.7%と最も高くなっていますが、他のリスクに比べ加齢に伴うリスクへの影響は少ないことがうかがえます。

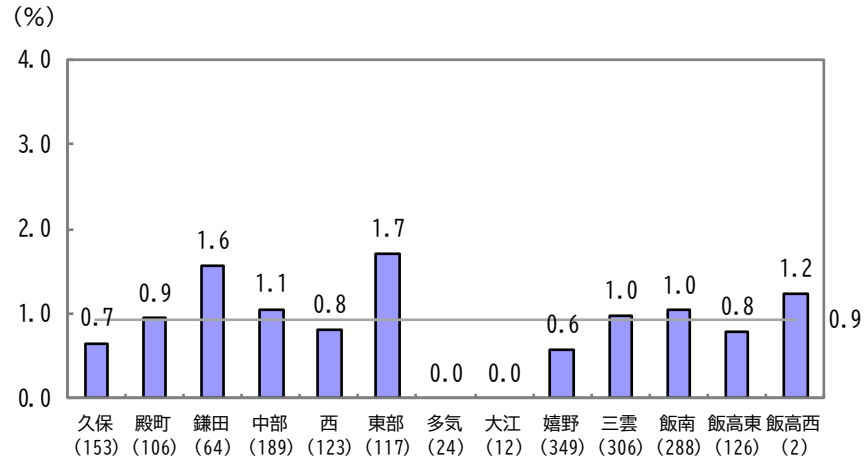
【認定別・年齢階級別】




圏域別にみると、鎌田、中部、東部、三雲、飯南、飯高西で該当者割合が全体平均の 0.9%を超えています。

また、最も高い圏域は東部で 1.7%、最も低い圏域は多気、大江で 0.0%となっており、1.7 ポイントの差となっています。

【圏域別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く

## （5）口腔

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、３項目のうち２項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

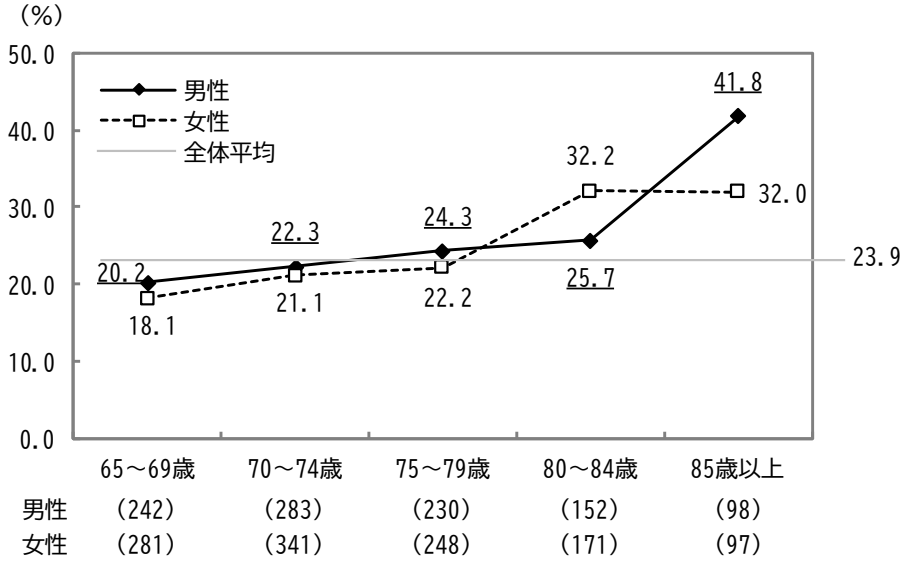
| 問番号 | 設問 | 該当する選択肢 |
|---|---|---|
| 問３（２） | 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。 | １．はい |
| 問３（３） | お茶や汁物等でむせることがありますか。 | １．はい |
| 問３（４） | 口の渇きが気になりますか。 | １．はい |

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で 23.9%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男女ともに 80 歳以上で全体平均より割合が高くなっています。男性では、85 歳以上で 41.8%と 80～84 歳に比べ 16.1 ポイント上昇しています。

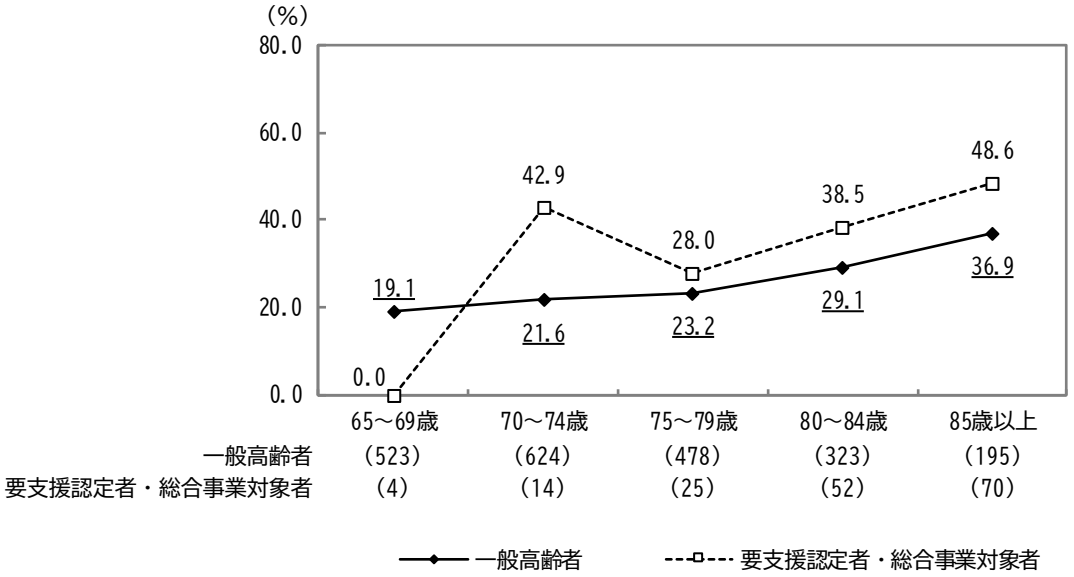
【性別・年齢階級別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、要支援認定者・総合事業対象者、一般高齢者ともに、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

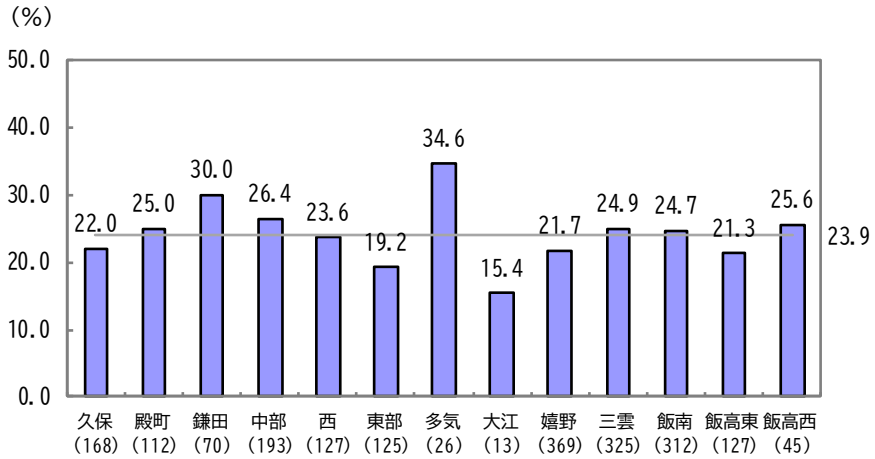
【認定別・年齢階級別】




圏域別にみると、殿町、鎌田、中部、多気、三雲、飯南、飯高西で該当者割合が全体平均の 23.9%を超えています。

また、最も高い圏域は多気で 34.6%、最も低い圏域は大江で 15.4%となっており、19.2 ポイントの差となっています。

【圏域別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く

## （6）認知

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

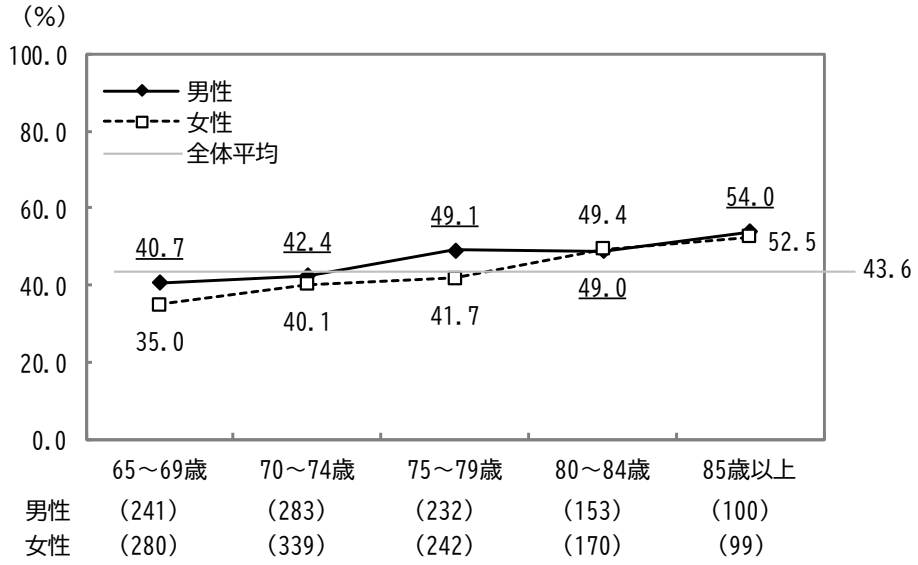
| 問番号 | 設問 | 該当する選択肢 |
|---|---|---|
| 問4（1） | 物忘れが多いと感じますか。 | 1．はい |

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で 43.6%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男女ともに年齢階級が上がるにつれて割合が高くなる傾向にあり、85 歳以上で最も高くなっており、男性で 54.0%、女性で 52.5%となっています。

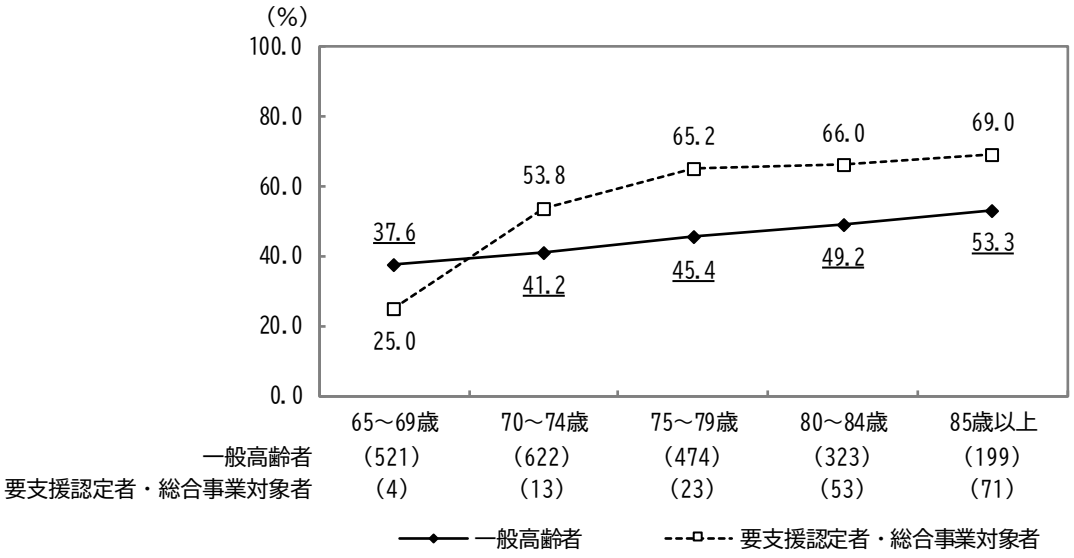
【性別・年齢階級別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者ともに年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。また、要支援認定者・総合事業対象者では、85 歳以上で 69.0%と最も高くなっています。

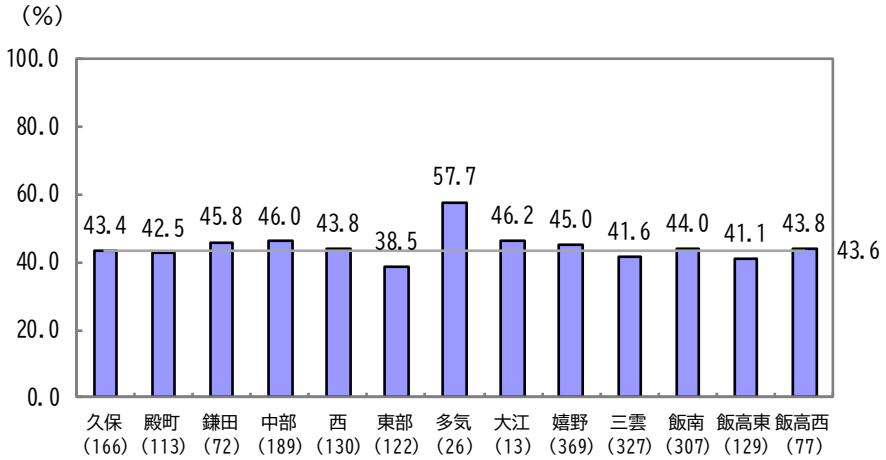
【認定別・年齢階級別】




圏域別にみると、鎌田、中部、西、多気、大江、嬉野、飯南、飯高西で該当者割合が全体平均の 43.6%を超えています。

また、最も高い圏域は多気で 57.7%、最も低い圏域は東部で 38.5%となっており、19.2 ポイントの差となっています。

【圏域別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く

## （7）うつ

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、２項目のうち１項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

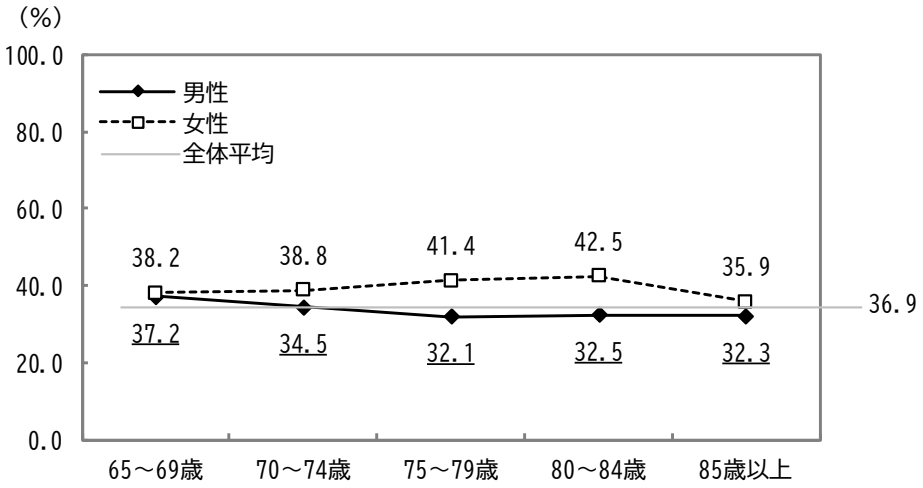
| 問番号 | 設問 | 該当する選択肢 |
|---|---|---|
| 問7（3） | この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。 | １．はい |
| 問7（4） | この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。 | １．はい |

【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で 36.9%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに、年齢階級での大きな変化はありません。

【性別・年齢階級別】

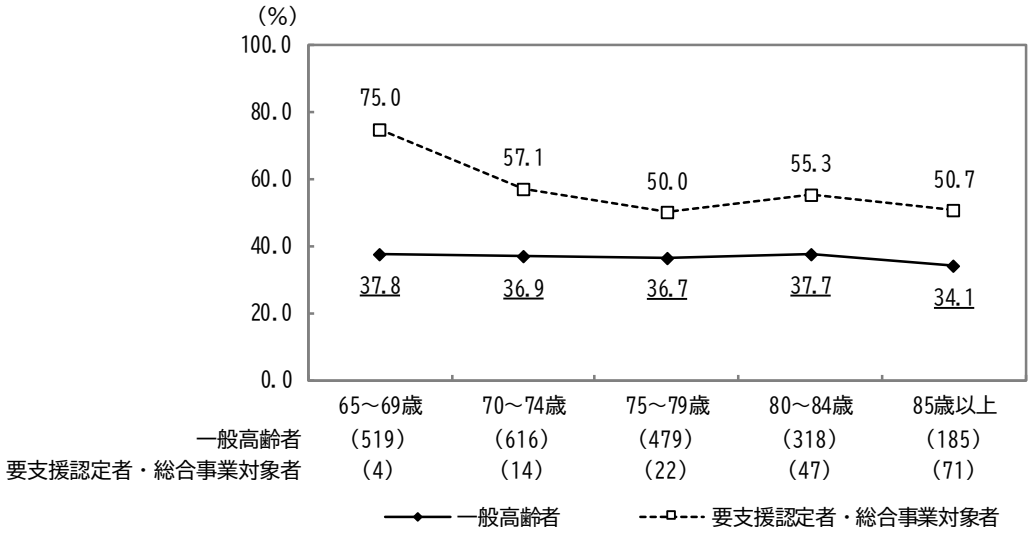



| | 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80～84歳 | 85歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|
| 男性 | (239) | (281) | (240) | (151) | (93) |
| 女性 | (280) | (335) | (239) | (167) | (92) |

※要支援認定者・総合事業対象者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、要支援認定者・総合事業対象者で年齢階級が上がるにつれて、割合が低くなる傾向にあります。一般高齢者では、年齢階級での大きな変化はありません。

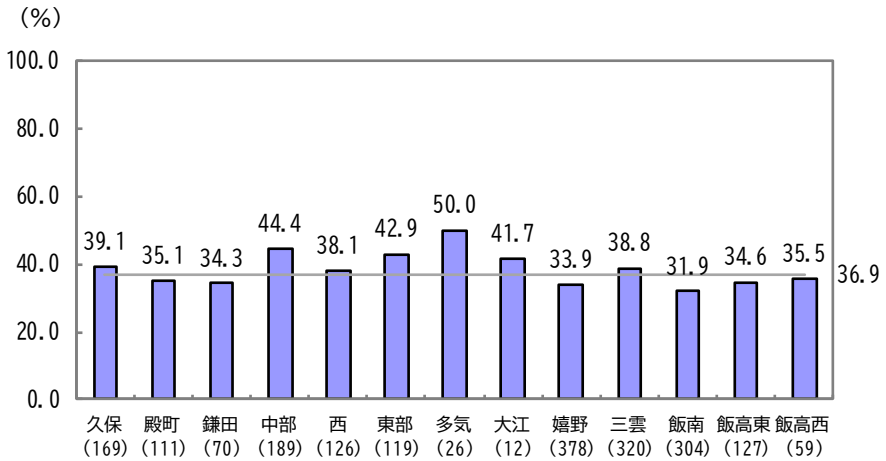
【認定別・年齢階級別】




圏域別にみると、久保、中部、西、東部、多気、大江、三雲で該当者割合が全体平均の 36.9%を超えています。

また、最も高い圏域は多気で 50.0%、最も低い圏域は飯南で 31.9%となっており、18.1 ポイントの差となっています。

【圏域別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く

## 2　日常生活

### （1）手段的自立度（ＩＡＤＬ）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度（ＩＡＤＬ）に関する設問が５問あり、「手段的自立度（ＩＡＤＬ）」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を１点として、５点満点で評価し、５点を「高い」、４点を「やや低い」、３点以下を「低い」と評価しています。

また、４点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

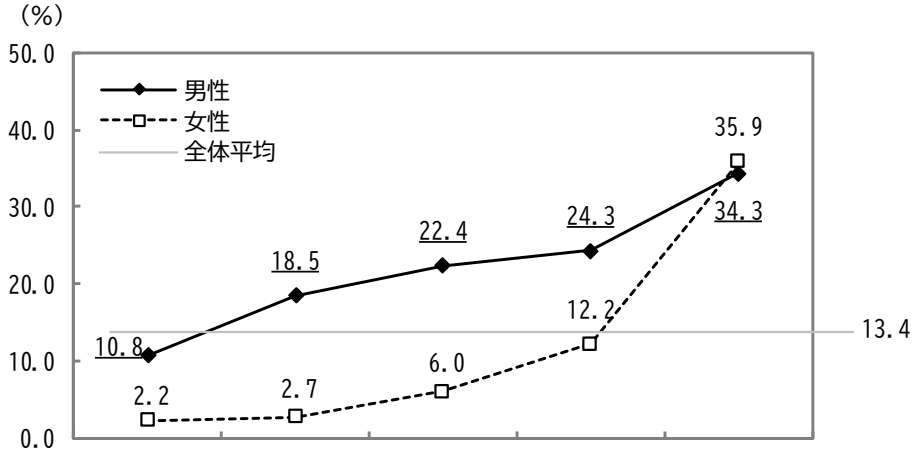
| 問番号 | 設問 | 該当する選択肢 |
|---|---|---|
| 問４（４） | バスや電車を使って１人で外出していますか。 | １．できるし、している：１点<br>２．できるけどしていない：１点 |
| 問４（５） | 自分で食品・日用品の買物をしていますか。 | １．できるし、している：１点<br>２．できるけどしていない：１点 |
| 問４（６） | 自分で食事の用意をしていますか。 | １．できるし、している：１点<br>２．できるけどしていない：１点 |
| 問４（７） | 自分で請求書の支払いをしていますか。 | １．できるし、している：１点<br>２．できるけどしていない：１点 |
| 問４（８） | 自分で預貯金の出し入れをしていますか。 | １．できるし、している：１点<br>２．できるけどしていない：１点 |

【該当状況】

全体平均では 13.4%が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別でみると、男女ともに年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。女性では、85 歳以上になると急激に上昇しており、85 歳以上で 35.9%と 80～84 歳に比べ 23.7 ポイント増加しています。

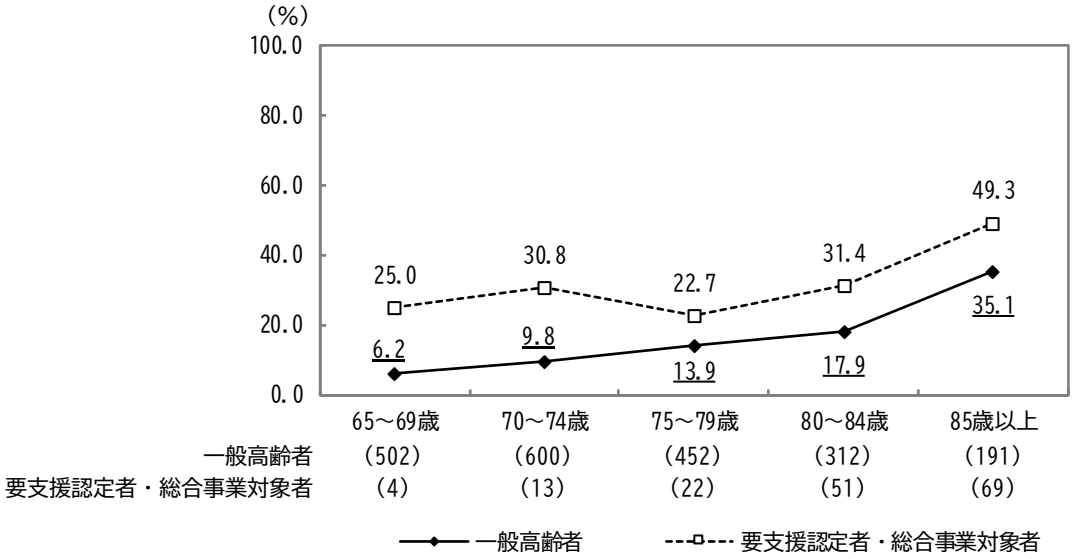
【性別・年齢階級別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別でみると、一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者ともに、年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなる傾向にあります。

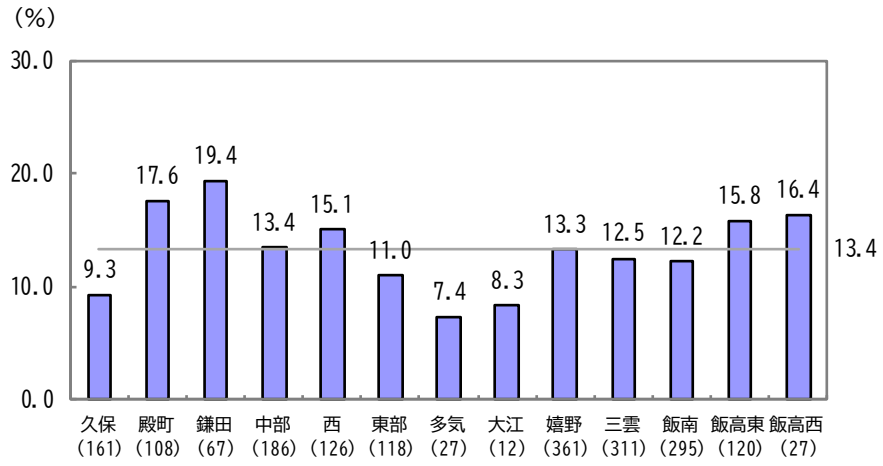
【認定別・年齢階級別】




圏域別にみると、殿町、鎌田、西、飯高東、飯高西で該当者割合が全体平均の 13.4%を超えています。

また、最も高い圏域は鎌田で 19.4%、最も低い圏域は多気で 7.4%となっており、12.0 ポイントの差となっています。

【圏域別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く

# 3　社会参加

## （1）知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が４問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を１点として、４点満点で評価し、４点を「高い」、３点を「やや低い」、２点以下を「低い」と評価しています。

また、３点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

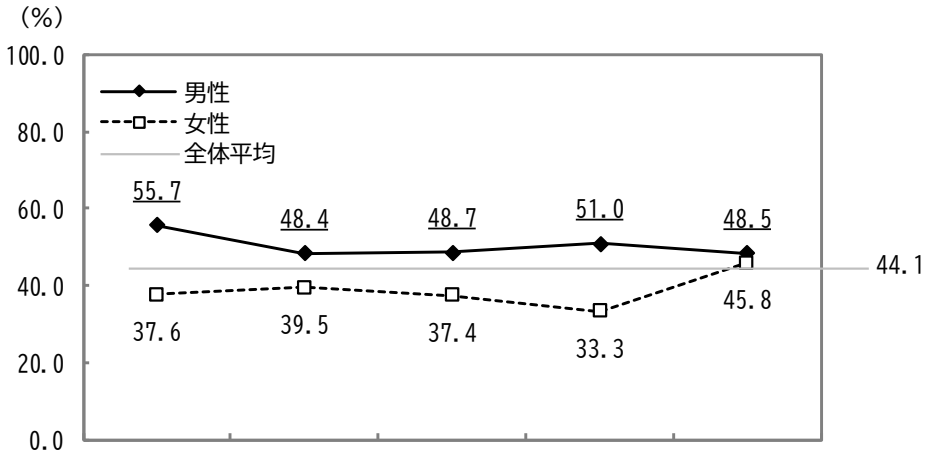
| 問番号 | 設問 | 該当する選択肢 |
|---|---|---|
| 問４（９） | 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。 | １．はい：１点 |
| 問４（10） | 新聞を読んでいますか。 | １．はい：１点 |
| 問４（11） | 本や雑誌を読んでいますか。 | １．はい：１点 |
| 問４（12） | 健康についての記事や番組に関心がありますか。 | １．はい：１点 |

【該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均では 44.1%となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性では、すべての年代で女性に比べ該当者割合が高く、すべての年代で全体平均を上回っています。

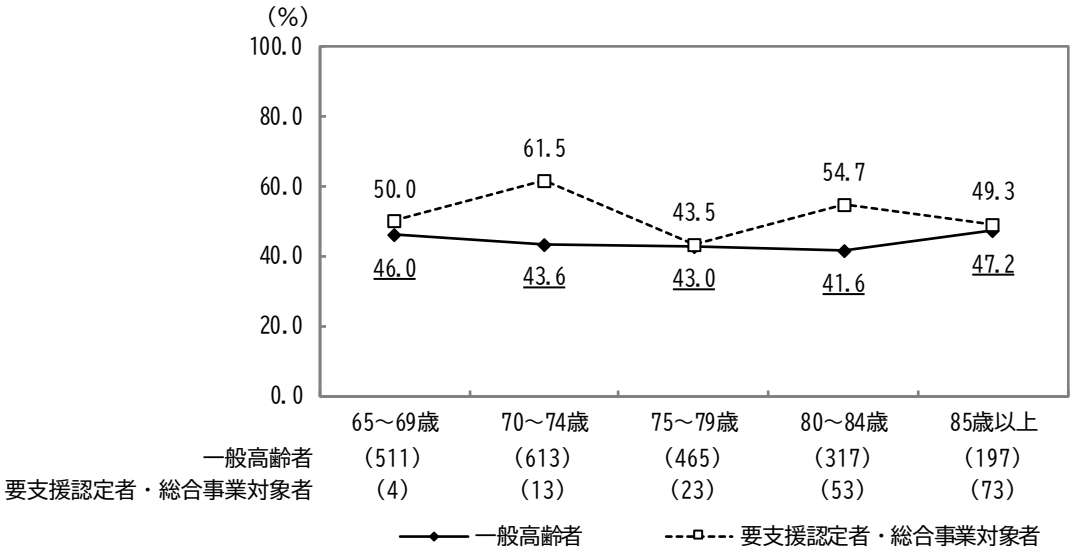
【性別・年齢階級別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く　　（　）内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別でみると、要支援認定者・総合事業対象者では、５歳刻みで増加と減少を繰り返しています。一般高齢者では、年齢階級での大きな変化はありません。

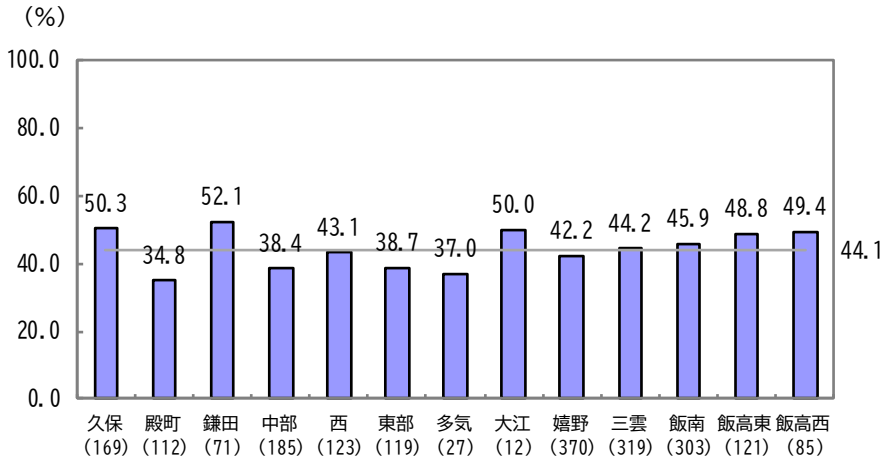
【認定別・年齢階級別】




圏域別にみると、久保、鎌田、大江、三雲、飯南、飯高東、飯高西で該当者割合が全体平均の44.1%を超えています。

また、最も高い圏域は鎌田で 52.1%、最も低い圏域は殿町で 34.8%となっており、17.3 ポイントの差となっています。

【圏域別】




※要支援認定者・総合事業対象者を除く

# Ⅳ　調査結果のまとめ

## （１）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

●家族や生活状況について

家族構成についてみると、「夫婦２人暮らし(配偶者 65 歳以上)」の割合が 42.0%と最も高くなっています。

普段の生活で介護・介助が必要かについてみると、「介護・介助は必要ない」の割合が 85.9%と最も高くなっています。しかし、要介護者等と同居の主な介護者の年齢組合せ別の割合は 60 歳以上、65 歳以上、75 歳以上といずれも年々上昇傾向にあり、主な介護者である息子・娘の子ども世代の高齢化も相まって老老介護が増加している現状があります。

●からだを動かすことについて

階段を手すりや壁をつたわらずに昇っているかについては、インドア派で「できない」の割合が高くなっています。また、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについても、インドア派で「できない」の割合が高くなっています。

このことから、インドア派はアウトドア派に比べ、運動機能の衰えがみられます。

●外出について

外出を控えている理由については、「感染症予防対策」の割合が 48.3%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」の割合が 32.0%と高くなっています。

このことから、閉じこもりの理由として、新型コロナウイルス感染症を恐れている方が多く見受けられます。家に閉じこもり、「動かない」（生活が不活発な）生活を過ごしていると、運動器のリスクにも影響があると考えられるため、在宅でもできる介護予防の周知、啓発を行っていく必要があります。

●食べることについて

高齢になると、噛む力や飲み込む力の低下、食欲の低下、食物をからだに取り入れる機能の低下により、低栄養や体重の減少につながります。今回の調査で BMI が「やせ」と判定された割合が 8.8%となっています。また、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」「お茶や汁物等でむせることがありますか」「口の渇きが気になりますか」は３割弱となっています。

このことから、正しい食事の内容や取り方の重要性について周知を行っていくことが必要です。

●毎日の生活について

趣味の有無、生きがいの有無を幸福度別にみると、趣味、生きがいともに幸福度が高い人ほど趣味や生きがいを持っている結果となっています。そのため、幸福度には趣味や生きがいの有無が大きな要素となっています。

高齢者の外出タイプ別で趣味、生きがいの有無をみると、インドア派内向的な人では趣味や生きがいを持っていない人が多くなっています。

そのため、外出が少ない方でも幸福度の高い生活を送れるよう、在宅でできる趣味や学習活動などの情報提供を一層充実していくことが必要です。

●地域での活動について

地域活動の参加状況をみると、インドア派内向的で「まったく活動に参加していない」の割合が、インドア派外交的で「週１回未満活動に参加している」の割合が高くなっています。

参加していない理由として、「興味がある内容がない」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「活動曜日・時間が合わない」の割合が 14.4%と高くなっています。

これらのことから、地域活動の内容や活動日時を見直すことで、地域活動への参加機会を確保でき、地域活動への参加者の増加、ひいては地域住民のつながりを強化することにつながると考えられます。

●たすけあいについて

家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手について、「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「そのような人はいない」の割合が 32.4%、「地域包括支援センター・市役所」の割合が 14.8%となっています。

これらのことから、相談できる相手がいないと感じている人が多いため、気軽に相談できる場所へのニーズが高まっています。

●健康について

補聴器を使用しているかについては、「持っていない」の割合が 68.9%と高くなっています。

また、補聴器を持っていない理由として、「補聴器を使用することがわずらわしいから」、「補聴器でどのくらい改善されるかわからないから」の割合が高くなっています。

●認知症にかかる相談窓口の把握について

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「知らない」の割合が 65.5%となっています。また、認知症の人やその家族への支援について、どのような支え合いが必要かについては「見守り・声掛け」の割合が 73.3%と最も高く、次いで「話し相手」の割合が 40.8%となっています。

これらのことから、認知症に関する相談窓口の周知が必要であり、認知症の人への支援として見守り活動などのニーズが高まっています。

●日常生活の不安について

日常生活で不安なことについては、「地震などの災害時や緊急時での対応」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「生活費、医療費、介護サービス費のこと」の割合は 25.2%となっています。特に、三雲地区では「地震などの災害時や緊急時の対応」が 65.6%と他の圏域と比べて高くなっています。

これらのことから、三雲では災害に関することへの不安が高いため、それらへの支援が必要と考えられます。

●地域包括支援センターについて

地域包括支援センターを知っているかについては、三雲で「知らない」の割合が高くなっています。

このことから、三雲では地域包括支援センターの周知を図っていくことが必要となります。

●在宅医療と介護について

もし、あなたが自宅での療養や介護を希望されるとき、何が大切だと思うかについては、「家族に相談して理解と協力を得ること」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「担当のケアマネジャーがいて、きちんと介護サービスを受けられること」の割合が 56.8%、「(病院に行かなくても)自宅に医師や看護師が診察に来てくれること」の割合が 45.3%となっています。

これらのことから、担当のケアマネジャーがいてきちんと介護サービスを受けられること、医師などが自宅に診察に来てくれることなどのニーズが高まっています。

●松阪市の介護予防や認知症支援の取組みについて

松阪市で力を入れている取組みについては、「どれも知らない」の割合が高くなっています。また、受けてみたい、やってみたいと思うものについては、「どれも興味はない」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「運動などの各種介護予防教室」の割合が 20.3%と高くなっています。

これらのことから、取組みに関する周知をしていくとともに、介護予防教室などを行っていくことが期待されています。

## （２）在宅介護実態調査に関する調査

●施設の検討状況について

施設の検討状況についてみると、要介護度３以上で、介護保険サービスを訪問系のみを利用している人では「検討していない」の割合が 73.3%、通所系・短期系のみを利用している人は 60.0%と高くなっており、訪問系を含めた組み合わせを利用している人では 48.1%となっており、「検討中」「申請済み」の割合が高くなっています。

また、施設の検討状況で現在、検討中の人、申請済みの人で「訪問系を含めた組み合わせ」「通所系・短期系のみ」のサービス利用者が多くなっていることから、訪問系サービスを受けることができる環境が整うことで、施設利用をせずに自宅での生活を続けることができることがうかがえます。

●介護者が不安に感じる介護について

介護者が不安に感じる介護についてみると、「屋内の移乗・移動」「認知症状への対応」「夜間の排泄」の割合が高くなっています。

このうち、「認知症状への対応」は、要介護３以上では、訪問系のみの利用者、通所系・短期系のみの利用者よりも、訪問系と通所系・短期系を組み合わせて利用している人で不安に感じている人が少なくなっています（107 ページ）。通所系・短期系と訪問系を組み合わせることで、生活の中の多様な場面でサービスが利用できることが、介護者の不安軽減につながっていると考えられます。

●介護者の勤務形態と就労の継続見込みについて

介護者の勤務形態について、「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」の割合は、介護者が回答者の子の場合で高くなっていますが、子の世代は働き盛りであると考えられます。

就労している介護者の就労の継続見込み別に不安に感じる介護をみると、就労継続を難しいと感じている介護者では「日中の排泄」「夜間の排泄」といった排泄の関係や、「認知症状への対応」が４割以上となっており、排泄や認知症状への対応の負担を和らげることが就労継続への一助となると考えられます。

また、就労継続見込み別に効果的な勤め先からの支援をみると、就労継続を難しいと感じている人では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」や「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が高いことから、介護休業・休暇制度の整備はもちろん、その制度の利用を促進する働きかけも重要と考えられます。

●訪問診療について

訪問診療の利用割合について、訪問診療を利用している人は全体では１割強ですが、要介護度別にみると、要介護度が上がるにつれて訪問診療を利用する割合が高く、要介護５では６割強の人が利用しています（162 ページ）。

また、訪問診療を利用している人のうち、診療サービスの利用状況をみると、46.7%が訪問系サービス利用しています（163 ページ）。

このことから、訪問系サービスを利用している人で、介護度が高くなるにつれて訪問診療のニーズが高まっていると考えられます。

## （３）介護支援専門員アンケート調査

●介護支援員の年齢について

介護支援員の年齢は 40 代から 60 代で全体の９割以上を占めています（181 ページ）。中でも 60 代が 26.3%と大きく増加しています。経験年数についても、令和元年度調査より「５年以上」「10 年以上」の割合が増加しており（182 ページ）、ケアマネジャーのベテラン化が進んでいるとみられます。

●サービスの状況について

量的に不足していると感じるサービスは、「夜間対応型訪問介護」「短期入所生活介護」「訪問介護」の割合が高くなっています。

夜間や緊急時などに利用できるサービス等を充実していくことが必要との結果になっています。

利用者のケアプランにおいて、インフォーマルサービスを位置づけている方が「いる」と回答した人は６割半ばとなっています。

在宅生活を支えるためには、「通院介助などの移動支援」「ごみ出しなどのちょっとした家事の援助」「移動販売・食材配達」の割合が高く、移動が困難な方への支援が求められています。

●医療と介護の連携について

在宅療養者への支援における、医療・介護の連携について、「連携が不十分である」「ほとんど連携していない」が約２割となっています。

連携が不十分または連携していない理由としては、「介護従事者の医療に関する知識や理解が不足している」「医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している」「お互いに多忙で連絡がとれない」の割合が高くなっています。

医療・介護の連携を図るためには、「医師・歯科医師がケアマネジャーの相談を受け付ける時間「ケアマネタイム」を設ける」「在宅療養者の情報を共有するためのＩＣＴ（すずの輪）等の利用を促進する」「医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する」の割合が高いことから、医療関係者と介護関係者が情報共有のできる場やＩＣＴ等を活用したより情報共有しやすいシステムを構築していくことが求められています。

●ケアマネジャー業務全般について

ケアマネジメントをする上で問題や難しさを感じているのは、「作成しなければならない書類が多い」が最も高く、負担を減らしていくためにも、業務の効率化を図っていくことが必要です。

●重層的支援について

約半数の人が、担当している利用者の世帯で、ひきこもり状態の方、8050 世帯、ダブルケア、ヤングケアラー、ごみ屋敷世帯（予備群含む）と思われる方が「いる」と回答しています。

一方で、重層的支援体制整備事業、社会的処方、多機関協働事業については、「言葉を聞いたことがない。内容も知らない」の割合が高く、周知していくことが必要です。

また、多機関協働事業については、「活用をしたい」が約９割となっており、周知から活用へとつなげていくことが必要です。

## （４）居所変更実態調査

●居所変更先について

居所変更先をみると、住宅型有料老人ホームや介護老人保健施設、特別養護老人ホームが多くみられます。

●居所変更した理由について

居所変更した理由を見ると、「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」、「費用負担が重くなった」、「必要な身体介護の発生・増大」が多くみられます。

このことから、医療機能と生活機能を提供する施設の充実、金銭面の問題により適切な施設へ入居できない方への経済的な援助などが求められていると考えられます。

## （５）介護人材実態調査

●職員数について

職員数とサービス提供量の状況については、「サービス提供体制に対して職員が充足している」が 56.3%と半数を超えているものの、「サービス提供体制に対して職員が不足している」事業所も 40.0%に上っています（231 ページ）。また、職員数とサービス提供量の均衡を保つために何らかの対応をしている事業所が８割以上となっており、特に「人員配置基準を守るため、サービス利用者を減らしている」と回答した事業所が 57.3%に上っています（231 ページ）。職員が充足しているとしても、サービス利用者を減らしている事業所があるとも考えられることから、サービスの充足のためには職員を確保することが重要となっています。

●資格取得率について

資格取得率についてみると、「介護福祉士」の割合は、訪問系サービスでは 51.4%、通所系サービスでは 44.7%、施設・居住系サービスでは 30.0%となっています（223 ページ）。

また、年齢別では、資格取得や研修修了等をしていない人の割合は 20 代で高いものの、30 代では６割以上が介護福祉士の資格を取得していることから、20 代から 30 代にかけて資格を取得している人が多いと考えられます（224 ページ）。

このことから、職員の資格取得によりサービスを手厚くするには、20 歳代の職員に対する資格取得支援が有用だと考えられます。

●介護職員の雇用形態について

介護職員の雇用形態についてみると、「正規職員」の割合は全体では 58.2%、サービス系統別では訪問系サービスが 59.5%、通所系サービスで 57.4%、施設・居住系サービスで 30.0%となっています（225 ページ）。令和３年度の令和３年度介護労働実態調査（公益財団法人 介護労働安定センター）では無期雇用職員の割合が 71.8%であり、本市の正規雇用の割合は全国に比べ、低くなっています。また、「労働力調査」（2023 年５月、総務省）では正規雇用率は 64.0%であり、それと比べても正規職員の割合が低くなっています。

●介護職員の職場の変化について

介護職員の職場の変化をみると、「以前は介護以外の職場で働いていた、または働いていなかった」人が「訪問系」「通所系」の職場に、以前から介護職員で「施設・居住系」の人が「訪問系」の職場に採用されるなど「訪問系」への転職が多くみられます。

このことから、通所系サービス、施設・居住系サービスの人員確保、積極的な採用活動が必要となります。

●事業所の状況について

採用に利用した手段・媒体についてみると、「福祉人材センター」の割合は 9.4%となっており、採用手段・媒体の中で最も低くなっています（230 ページ）。

また、主な離職理由についてみると、「体調不良などの健康上の問題」の割合が 27.6%と最も高くなっています（230 ページ）。

このことから、人材確保の手段として福祉人材センターをより活用できるよう、福祉人材センターのサービスの周知などで利用を促していくことが必要であるとともに、事業所では従業員の健康面をケアすることによって離職者数の減少に努める必要が高くなっています。

●人材確保について

職員が不足していると回答した事業所について、不足している理由をみると「職員募集をしても応募がない（少ない）から」の回答が半数近くとなっています。さらに、応募がない理由については、「介護を志す若者が少ない」「賃金が低い」「地域内に介護施設や事業所が増加している」といった理由が多く、特に「介護を志す若者が少ない」が半数近くとなっています。

そのため、介護を志す若者が増えるよう、各種媒体での介護の職場の紹介、やりがいを紹介するといった取組みと合わせて、労働条件の改善なども取り組むことが必要です。

次に、職員の定着促進のためにとった方策についてみると、「本人の希望に応じた勤務体制にする等労働条件の改善に取り組んでいる」の割合が 72.1%、「休暇の取りやすい職場環境の充実を図っている」の割合が 59.6%、「非正規職員から正規職員の転換の機会を設けている」の割合が 52.9%となっています。

また、方策について効果があったと思われるものについてみると、「本人の希望に応じた勤務体制にする等労働条件の改善に取り組んでいる」の割合が 41.4%、「休暇の取りやすい職場環境の充実を図っている」の割合が 27.8%と高めですが、「非正規職員から正規職員の転換の機会を設けている」の割合は 7.9%となっています。

このことから、方策はとっているが、効果に結びついていないケースがみられるため、さらなる方策の推進が必要とされています。

●働きやすい職場づくりについて

介護ロボットの導入についてみると、「導入は考えていない」の割合が 55.4%となっており、導入や活用にあたっての課題についてみると、「導入費用が高額」の割合が 81.3%と最も高く、次いで「機器のメンテナンスが大変」の割合が 39.2%、「利用者の安全面に不安」の割合が 33.8%「研修や使い方の周知が必要」の割合が 32.1%となっています。

このことから、高額な費用による介護ロボットの導入の見送りとともに、機器のメンテナンスの負担や利用者の安全面の不安、研修や使い方の周知の必要性などの理由により導入に慎重な事業所が多くみられる状況です。

●人材育成について

人材育成のための取組についてみると、「教育・研修計画を立てている」の割合が 62.5%、「資格取得や研修に対する休暇取得やシフト調整等を行っている」の割合が 56.3%、「資格取得や研修の経費の金銭的な支援を行っている（介護福祉士、実務研修等の受講費用を補助等）」の割合が 50.4%となっています。

また、効果があったと思われるものについてみると「教育・研修計画を立てている」の割合が 20.4%、「資格取得や研修の経費の金銭的な支援を行っている（介護福祉士、実務研修等の受講費用を補助等）」の割合が 20.0%、「資格取得や研修に対する休暇取得やシフト調整等を行っている」の割合が 17.1%となっています。

職員の社外研修・講習会の受講にあたっての課題についてみると、「人材不足で参加させることが難しい」の割合が 52.1%と最も高くなっています。

このことから、各事業所において人材育成のための取組が行われている状況はみられるが、人材の育成のためには人材の確保が課題となっています。

●運営上の課題について

事業所を円滑に運営していく上で困っていることについてみると、「物価高騰等による経費の上昇」の割合が 37.1%、「利用者が確保できない」の割合が 30.0%、「介護報酬が低い」の割合が 28.8%となっています。

また、介護保険サービス事業を行う上で必要な行政の支援についてみると「介護業界のイメージアップや就職促進の取組」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「求職者と事業所のマッチング支援」の割合が 24.6%、「介護保険制度に関する最新情報の提供」の割合が 23.3%となっています。

運営上の課題について経費の上昇に対する行政からの資金面での援助とともに、人材確保・定着のための経済的な支援が求められます。

松阪市第 10 次高齢者保健福祉計画及び
第９期介護保険事業計画策定に向けた
アンケート調査報告書
令和５年５月

発行：松阪市　健康福祉部　介護保険課
〒515-8515　三重県松阪市殿町 1340 番地 1
TEL：0598-53-4058
FAX：0598-26-4035